

少子化に関する県民意識調査報告書

平成 28 年 3 月

佐賀県こども未来課

目 次

第1章 調査の概要	1
1. 調査の目的	1
2. 調査項目	1
3. 調査の設計	1
4. 標本の抽出	1
5. 回収結果	3
6. 実施主体・実施機関	3
7. 報告書を読む際の留意点	3
8. 回答者の属性	5
第2章 調査結果	11
1. 少子化問題について	11
(1) 子どもの数が減少してきていることについて	11
(2) 子どもの数が減少してきている主な原因	13
(3) 少子化の進行による影響	15
(4) 行政が少子化対策に取り組むことについて	17
2. ライフプランについて	19
(1) 現在の生活への満足度	19
(2) 自分の生活水準	24
(3) 結婚生活をスタートさせるために必要な夫婦の世帯年収	26
(4) 希望する子どもの人数を育てるために最低限必要な世帯年収	28
3. 地域とのかかわりについて	31
(1) 現在住んでいる地域の住みやすさ	31
(2) 住みやすさの評価理由	34
(3) 近所付き合いについて	38
(4) 参加したことがある地域活動	41
4. 出会いや結婚観について	44
(1) 現在付き合っている特定の異性（恋人）の有無	44
(2) （恋人がいる、既婚者のみ）現在の配偶者、恋人と知り合ったきっかけ	47
(3) （交際経験がない人のみ）特定の異性（恋人）がほしいかどうか	49
(4) 結婚相手と出会うために必要なきっかけ（場）	51
(5) （未婚者のみ）独身でいる理由	53
(6) 結婚に対する考え方（結婚観）	56

(7) 結婚のプラス面	59
(8) 結婚相手に望むこと	62
5. 妊娠や出産について	65
(1) 欲しいと思う子どもの数	65
(2) 子どもを欲しいと思う理由	68
(3) 妊娠・出産にかかわるリスクについての認知度	71
(4) 妊娠・出産にかかわるリスクについての考え	73
(5) 欲しいと思う子どもの人数と実際の子どもの人数	76
(6) 実際の子どもの人数よりも欲しいと思う子どもの人数が少ない理由	78
6. 子育てについて	80
(1) 安心して子どもを生み育てるために必要な支援や環境	80
(2) 子育てに対するイメージ	105
(3) 男性が女性と一緒に子育てにかかわっていくために必要なこと	110
(4) 子育てについての不安感や負担感について	113
(5) 子育てについての不安感や負担感の内容	115
(6) 子育てに関する相談先や情報入手先	117
(7) 子育て支援制度の認知度	123
(8) 今後利用したい子育て支援制度について	160
(9) 佐賀県は妊婦や子連れの親が外出しやすい社会・環境か	163
(10) 重視する子育て支援策	165
7. 仕事と家庭の調査（ワーク・ライフ・バランス）について	171
(1) 「ワーク・ライフ・バランス」という言葉の認知度	171
(2) “働く” ことの意味・理由	175
(3) 今後3年間の希望する働き方	178
(4) 1週間の（残業時間を含む）労働時間	181
(5) 生活時間のバランス	183
(6) 育児休業制度の利用意向	189
(7) 育児休業制度を利用したくない（利用したいが難しい）理由	191
(8) 職場に求める出産・子育て支援制度や取組	193
(9) 仕事と家庭の調和を図るために必要なこと	196
8. 県の少子化対策や子育て支援についての意見等（自由回答）	201

参考資料（調査に使用した調査票）	203
------------------------	-----

第 1 章 調査の概要

1. 調査の目的

出会い・結婚・妊娠・出産・子育て等について佐賀県民の意見を聴取し、子育てし大県^{こそだ たいけん}“さが”プロジェクトを推進していくための基礎資料とする。

2. 調査項目

- (1) 少子化問題について
- (2) ライフプランについて
- (3) 地域とのかかわりについて
- (4) 出会いや結婚観について
- (5) 妊娠や出産について
- (6) 子育てについて
- (7) 仕事と家庭の調和（ワーク・ライフ・バランス）について

3. 調査の設計

- | | |
|------------------|------------------------------|
| (1) 調査地域 | 佐賀県内全域 |
| (2) 調査対象（母集団） | 佐賀県内に居住する 20 歳から 44 歳までの男女個人 |
| (3) 調査対象数（サンプル数） | 4,000 人 |
| (4) 抽出方法 | 選挙人名簿による層化二段無作為抽出法 |
| (5) 調査方法 | 郵送による配布・回収 |
| (6) 調査実施時期 | 平成 28 年 2 月 4 日～2 月 22 日 |

4. 標本の抽出

調査の抽出は平成 27 年 4 月 1 日時点の住民基本台帳人口をもとに行った。
抽出方法は、以下の通りである。

- (1) 佐賀県内を選挙区によって 2 グループ（県東・県西）の 2 層に分け、その母集団（平成 27 年 4 月 1 日時点の 20～44 歳の住基人口）の年齢 5 歳階級別男女別人口比によって、4,000 の標本数を配分し、市町ごとの標本数を設定した。
- (2) 2 層が等しくなるよう調査地点（100 地点）を 50 地点ずつ割り当て、それぞれの層に含まれる市町別人口の大きさによって再配分し、市町別の調査地点数を設定した。
- (3) 各市町に配分された調査地点数を町丁数で除して抽出する町丁数を設定し、選挙人名簿から等間隔抽出法によって対象者を抽出した。

【層別・市町別の調査地点数】

層区分	市町村コード	市町村名	住基人口 (人)	層別 ウエイト	市町村数	地点数	市町村別 地点数 (地点数× 層別ウエイト)	市町村別 地点数 (調整後)	町丁数	抽出間隔 (町丁数÷ 地点数)	市町村別 サンプル数	1地点当 り抽出数
県東	41201	佐賀市	68,923	0.57			29	28	260	9.3	1,173	42
	41203	鳥栖市	23,160	0.19			10	10	85	8.5	391	39
	41210	神埼市	9,030	0.07			4	4	32	8.0	156	39
	41327	吉野ヶ里町	5,064	0.04			2	2	9	4.5	88	44
	41341	基山町	4,890	0.04			2	2	8	4.0	85	43
	41345	上峰町	2,898	0.02			1	1	4	4.0	50	50
	41346	みやき町	6,606	0.05			3	3	12	4.0	114	38
			120,571	1.00	7	50	51	50	410	42.3	2,057	295
県西	41202	唐津市	33,484	0.29			15	14	248	17.7	565	40
	41204	多久市	5,047	0.04			2	2	10	5.0	87	44
	41205	伊万里市	15,004	0.13			7	7	91	13.0	254	36
	41206	武雄市	13,363	0.12			6	6	29	4.8	225	38
	41207	鹿島市	7,935	0.07			3	3	13	4.3	139	46
	41208	小城市	12,919	0.11			6	6	30	5.0	219	37
	41209	嬉野市	6,813	0.06			3	3	11	3.7	119	40
	41387	玄海町	1,678	0.01			1	1	21	21.0	32	32
	41401	有田町	5,009	0.04			2	2	62	31.0	85	43
	41423	大町町	1,617	0.01			1	1	2	2.0	32	32
	41424	江北町	2,813	0.02			1	1	6	6.0	51	51
	41425	白石町	5,923	0.05			3	3	24	8.0	100	33
	41441	太良町	2,087	0.02			1	1	9	9.0	35	35
			113,692	1.00	13	50	51	50	556	130.5	1,943	507
		total	234,263		20	100	102	100	966	-	4,000	802

【市町別・年齢5歳階級男女別の調査標本数】

	市区町村名	調査対象人口			市町村別 構成比	市町村別 サンプル数	20～24歳		25～29歳		30～34歳		35～39歳		40～44歳	
		男女計	男性	女性			男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性
1	佐賀市	68,923	33,980	34,943	0.294	1,173	130	128	132	135	100	100	111	110	113	115
3	鳥栖市	23,160	11,522	11,638	0.099	391	43	43	44	45	33	33	37	37	38	38
10	神埼市	9,030	4,556	4,474	0.039	156	17	17	18	18	13	13	15	15	15	15
11	吉野ヶ里町	5,064	2,594	2,470	0.022	88	10	10	10	10	7	8	8	8	9	9
12	基山町	4,890	2,382	2,508	0.021	85	9	9	10	10	7	7	8	8	8	8
13	上峰町	2,898	1,403	1,495	0.012	50	6	5	6	6	4	4	5	5	5	5
14	みやき町	6,606	3,336	3,270	0.028	114	13	12	13	13	10	10	11	11	11	11
2	唐津市	33,484	16,797	16,687	0.143	565	62	62	63	65	48	48	53	53	55	55
4	多久市	5,047	2,579	2,468	0.022	87	10	9	10	10	7	7	8	8	8	9
5	伊万里市	15,004	7,695	7,309	0.064	254	28	28	29	29	22	22	24	24	25	25
6	武雄市	13,363	6,672	6,691	0.057	225	25	25	25	26	19	19	21	21	22	22
7	鹿島市	7,935	3,895	4,040	0.034	139	15	15	16	16	12	12	13	13	13	14
8	小城市	12,919	6,299	6,620	0.055	219	24	24	25	25	19	19	21	21	21	21
9	嬉野市	6,813	3,357	3,456	0.029	119	13	13	13	14	10	10	11	11	12	12
15	玄海町	1,678	973	705	0.007	32	4	3	4	4	3	3	3	3	3	3
16	有田町	5,009	2,485	2,524	0.021	85	9	9	10	10	7	7	8	8	8	8
17	大町町	1,617	826	791	0.007	32	4	3	4	4	3	3	3	3	3	3
18	江北町	2,813	1,394	1,419	0.012	51	6	6	6	6	4	4	5	5	5	5
19	白石町	5,923	2,996	2,927	0.025	100	11	11	11	12	9	9	9	9	10	10
20	太良町	2,087	1,070	1,017	0.009	35	4	4	4	4	3	3	3	3	3	3
		234,263	116,811	117,452	1.000	4,000	443	436	453	462	340	341	377	376	387	391

5. 回収結果

標本数	(A)	4,000 件
転居先不明など	(B)	42 件
うち転居先不明戻り		37 件
うち県外在住など連絡あり		5 件
総回収数		1,478 件
有効回収数	(C)	1,462 件
無効回収数（白票・期限超過等）		16 件
有効回収率	$(C) / (A - B)$	36.9%

6. 実施主体・実施機関

実施主体：佐賀県くらし環境本部 こども未来課 子育てし大県推進担当

実施機関：株式会社日本統計センター 調査部

7. 報告書を読む際の留意点

- (1) 図表の数値は基本的に比率（％）を示しているが、小数点以下第2位を四捨五入して算出しているため、必ずしも合計が100％にならない場合がある。
- (2) 図表中のNは回答数を示している。
- (3) いくつでも選択可能な場合や3つまで選択可能な場合の回答数（1人の回答者が複数の選択肢を選んでよい設問）では、比率の合計が100％を超える場合がある。
- (4) クロス集計の図表は、表側項目については無回答を省略している。
- (5) 帯グラフに表示する％は、数値が見つからないため3.0％未満の数値は表示していない。
- (6) 標本数が少ない（100に満たない）場合は、誤差が大きく、数値の比較が難しいためコメントしていない（ただし副問は除く）。

(7) 報告書に掲載した表には全体との差が10%以上ある場合に色付けを行っている。

 は10%以上、上回っている場合

 は10%以上、下回っている場合

また、母集団内の「比率の差の検定」を行い、有意差があると判定された結果を符号で示している。

(両側) 1%水準 ▲▼ 5%水準 △▽

(8) 標本誤差（サンプル誤差）は下記の通りである。層化二段無作為抽出法の標本誤差は次の式で得られる。標本誤差の幅は、比率算出のサンプル数（n）、及び回答比率（P）によって異なる。

$$b = \pm 2 \sqrt{2 \frac{N-n}{N-1} \cdot \frac{P(100-P)}{n}}$$

b = 標本誤差 N = 母集団 n = サンプル数 P = 回答率

	回答率(P) サンプル数	10%または90%	20%または80%	30%または70%	40%または60%	50%
全体	1,462	±2.2%	±3.0%	±3.4%	±3.6%	±3.7%
男性	564	±3.6%	±4.8%	±5.4%	±5.8%	±5.9%
女性	854	±2.9%	±3.9%	±4.4%	±4.7%	±4.8%
20～24 歳	250	±5.4%	±7.1%	±8.2%	±8.7%	±8.9%
25～29 歳	267	±5.2%	±6.9%	±7.9%	±8.5%	±8.6%
30～34 歳	247	±5.4%	±7.2%	±8.2%	±8.8%	±9.0%
35～39 歳	300	±4.9%	±6.5%	±7.5%	±8.0%	±8.1%
40～44 歳	319	±4.7%	±6.3%	±7.2%	±7.7%	±7.9%

8. 回答者の属性

(1) 性別

上段：実数、下段：％	サンプル数	本人			サンプル数	配偶者（既婚者のみ）		
		男性	女性	無回答		男性	女性	無回答
全 体	1,462 100.0	564 38.6	854 58.4	44 3.0	715 100.0	408 57.1	266 37.2	41 5.7

(2) 年代別

上段：実数、下段：％	サンプル数	本人					
		20歳以下	25歳以下	30歳以下	35歳以下	40歳以上	無回答
全 体	1,462 100.0	250 17.1	267 18.3	247 16.9	300 20.5	319 21.8	79 5.4

上段：実数、下段：％	サンプル数	配偶者（既婚者のみ）				
		24歳以下	25歳以下	30歳以下	35歳以下	40歳以上
全 体	715 100.0	15 2.1	79 11.0	123 17.2	199 27.8	273 38.2

(3) 同居家族人数別

上段：実数、下段：％	サンプル数	1人（自分のみ）	2人	3人	4人	5人以上	無回答
全 体	1,462 100.0	82 5.6	143 9.8	361 24.7	389 26.6	456 31.2	31 2.1

(4) (本人から見た) 同居家族の続柄

上段：実数、下段：％	サンプル数	配偶者（事実婚を含む）	親	子ども	祖父母	配偶者の親	配偶者の祖父母	兄弟、姉妹	配偶者の兄弟、姉妹	甥、姪	恋人	自分のみ	その他	無回答
全 体	1,462 100.0	696 47.6	696 47.6	672 46.0	189 12.9	112 7.7	21 1.4	265 18.1	20 1.4	22 1.5	12 0.8	66 4.5	23 1.6	30 2.1

※同居家族の続柄の「その他」の記入内容は、「おば、叔母、伯母」、「おじ、叔父、伯父、配偶者の伯父」、「兄弟・姉妹の配偶者」などである。

(5) 結婚の有無別

上段：実数、下段：％		サンプル数	(結婚している) (既婚者)	(結婚していない) (未婚者)	離別・死別して	無回答
全 体		1,462 100.0	715 48.9	647 44.3	71 4.9	29 2.0
本人性別	男性	564 100.0	273 48.4	265 47.0	19 3.4	7 1.2
	女性	854 100.0	429 50.2	373 43.7	50 5.9	2 0.2
本人年齢	20～24歳	250 100.0	16 6.4	231 92.4	2 0.8	1 0.4
	25～29歳	267 100.0	83 31.1	173 64.8	10 3.7	1 0.4
	30～34歳	247 100.0	133 53.8	100 40.5	12 4.9	2 0.8
	35～39歳	300 100.0	220 73.3	63 21.0	15 5.0	2 0.7
	40～44歳	319 100.0	245 76.8	49 15.4	23 7.2	2 0.6

(6) 子どもの状況

①子どもの有無と子どもの年齢・学年

上段：実数、下段：％	サンプル数	子ども有り	未就学児	小学生（1～3年生）	小学生（4～6年生）	中学生	高校生	大学生	社会人	子ども無し	無回答
全 体	1,462 100.0	678 46.4	428 63.1	241 35.5	192 28.3	133 19.6	80 11.8	14 2.1	24 3.5	784 53.6	0 0.0

②子どもの人数

上段：実数、下段：％	サンプル数	1人	2人	3人	4人以上
全 体	678 100.0	183 27.0	301 44.4	162 23.9	32 4.7

(7) 住居形態別

上段：実数、下段：％	サンプル数	持ち家（一戸建て）	持ち家（集合住宅）	民間の賃貸住宅（一戸建て）	民間の賃貸住宅（集合住宅）	賃貸住宅（公団・公社・公営の）	社宅・宿舍などの 給与住宅	その他	無回答
全 体	1,462 100.0	1,029 70.4	24 1.6	73 5.0	225 15.4	35 2.4	31 2.1	24 1.6	21 1.4

※住居形態の「その他」の記入内容は、「親の持家」、「学生寮、学生専用アパート、大学マンション」などである。

(8) 居住の状況

①居住地域

上段：実数、下段：％	サンプル数	県東	佐賀市	鳥栖市	神埼市	吉野ヶ里町	基山町	上峰町	みやき町
全 体	1,462 100.0	766 52.4	424 29.0	155 10.6	62 4.2	29 2.0	34 2.3	22 1.5	40 2.7

上段：実数、下段：％	サンプル数	県西	唐津市	多久市	伊万里市	武雄市	鹿島市	小城市	嬉野市
全 体	1,462 100.0	671 45.9	180 12.3	26 1.8	100 6.8	75 5.1	45 3.1	67 4.6	40 2.7

上段：実数、下段：％	サンプル数	県西	玄海町	有田町	大町町	江北町	白石町	太良町	無回答
全 体	1,462 100.0	671 45.9	14 1.0	40 2.7	9 0.6	25 1.7	37 2.5	13 0.9	25 1.7

②居住歴

上段：実数、下段：％		サ ン プ ル 数	同 生 じ ま し れ た れ に か ら 住 ん ず つ い と る	転 県 入 内 し の て 他 き た の 市 町 か ら	転 県 入 外 し の て 都 道 府 県 か ら	無 回 答
全 体		1,462 100.0	697 47.7	388 26.5	361 24.7	16 1.1
居 住 地 域	県南	766 100.0	307 40.1	220 28.7	235 30.7	4 0.5
	県北	671 100.0	385 57.4	164 24.4	117 17.4	5 0.7

③県内他市町からの転入者（388人）の居住歴

上段：実数、下段：％	サンプル数	1年未満	1年以上3年未満	3年以上5年未満	5年以上10年未満	10年以上20年未満	20年以上	無回答
全 体	388 100.0	13 3.4	66 17.0	44 11.3	96 24.7	117 30.2	48 12.4	4 1.0

④県外からの転入者（361人）の居住歴

上段：実数、下段：％	サ ン プ ル 数	1 年 未 満	1 年 以 上 3 年 未 満	3 年 以 上 5 年 未 満	5 年 以 上 1 0 年 未 満	1 0 年 以 上 2 0 年 未 満	2 0 年 以 上	無 回 答
全 体	361 100.0	9 2.5	55 15.2	56 15.5	73 20.2	108 29.9	58 16.1	2 0.6

⑤県外からの転入者（361人）の前住地

上段：実数、下段：％	サ ン プ ル 数	北 海 道	青 森 県	宮 城 県	茨 城 県	群 馬 県	埼 玉 県	千 葉 県	東 京 都	神 奈 川 県	富 山 県	山 梨 県
全 体	361 100.0	1 0.3	1 0.3	1 0.3	2 0.6	1 0.3	3 0.8	8 2.2	14 3.9	15 4.2	1 0.3	1 0.3

上段：実数、下段：％	サ ン プ ル 数	静 岡 県	愛 知 県	滋 賀 県	京 都 府	大 阪 府	兵 庫 県	和 歌 山 県	島 根 県	岡 山 県	広 島 県	山 口 県
全 体	361 100.0	2 0.6	5 1.4	1 0.3	3 0.8	12 3.3	3 0.8	1 0.3	2 0.6	3 0.8	2 0.6	4 1.1

上段：実数、下段：％	サ ン プ ル 数	香 川 県	愛 媛 県	福 岡 県	長 崎 県	熊 本 県	大 分 県	宮 崎 県	鹿 児 島 県	沖 縄 県	海 外	無 回 答
全 体	361 100.0	1 0.3	1 0.3	184 51.0	35 9.7	17 4.7	12 3.3	5 1.4	11 3.0	1 0.3	1 0.3	7 1.9

⑥県外からの転入者（361人）の転入のきっかけ

上段：実数、下段：％	サ ン プ ル 数	通 学 ・ 卒 業	仕 事 の 都 合	結 婚 ・ 離 婚	出 産	子 育 て	親 の 介 護	退 職	そ の 他	無 回 答
全 体	361 100.0	26 7.2	138 38.2	86 23.8	6 1.7	5 1.4	5 1.4	11 3.0	75 20.8	9 2.5

※転入のきっかけの「その他」の記入内容は、「親の転勤・都合」、「家を購入」、「Ｕターン」、「祖父母との同居」、「配偶者の転勤」などである。

(9) 就労の状況

①就労状況

上段：実数、下段：%		サンプル数	本人				サンプル数	配偶者（既婚者のみ）			
			働いている	働いていない	は働いていたが、現在	無回答		働いている	働いていない	は働いていたが、現在	無回答
全 体		1,462 100.0	1,197 81.9	163 11.1	95 6.5	7 0.5	715 100.0	620 86.7	42 5.9	40 5.6	13 1.8
本人性別	男性	564 100.0	497 88.1	47 8.3	20 3.5	0 0.0	273 100.0	191 70.0	42 15.4	36 13.2	4 1.5
	女性	854 100.0	660 77.3	115 13.5	75 8.8	4 0.5	429 100.0	417 97.2	0 0.0	4 0.9	8 1.9

②本人の就労形態

上段：実数、下段：%		サンプル数	正社員・正職員	パート、アルバイト	契約社員・嘱託社員（臨時・非常勤職員等）	派遣社員	会社・団体等の役員	自営業等（個人経営の商店や農業等の事業主）	家族従業員（個人経営の商店や農業等の手伝い）	家庭での内職	その他	無回答
全 体		1,197 100.0	734 61.3	221 18.5	87 7.3	20 1.7	11 0.9	39 3.3	31 2.6	4 0.3	5 0.4	45 3.8
本人性別	男性	497 100.0	374 75.3	31 6.2	16 3.2	7 1.4	3 0.6	25 5.0	14 2.8	0 0.0	2 0.4	25 5.0
	女性	660 100.0	339 51.4	183 27.7	68 10.3	11 1.7	7 1.1	13 2.0	16 2.4	4 0.6	3 0.5	16 2.4

③配偶者の就労形態

上段：実数、下段：%		サンプル数	正社員・正職員	パート、アルバイト	契約社員・嘱託社員（臨時・非常勤職員等）	派遣社員	会社・団体等の役員	自営業等（個人経営の商店や農業等の事業主）	家族従業員（個人経営の商店や農業等の手伝い）	家庭での内職	その他	無回答
全 体		635 100.0	434 68.3	70 11.0	24 3.8	1 0.2	14 2.2	46 7.2	17 2.7	0 0.0	1 0.2	28 4.4
配偶者性別	男性	193 100.0	94 48.7	66 34.2	14 7.3	0 0.0	3 1.6	6 3.1	7 3.6	0 0.0	0 0.0	3 1.6
	女性	419 100.0	327 78.0	3 0.7	7 1.7	1 0.2	10 2.4	36 8.6	10 2.4	0 0.0	1 0.2	24 5.7

※本人の就労形態の「その他」の記入内容は、「塾講師、事務」などである。

※配偶者の就労形態の「その他」の記入内容は、「僧侶」である。

(10) 年収

①本人の税込年収

上段：実数、下段：％		サ ン プ ル 数	収 入 は な い	1 0 0 万 未 満	2 1 0 0 0 0 万 万 未 以 満 上	3 2 0 0 0 0 万 万 未 以 満 上	4 3 0 0 0 0 万 万 未 以 満 上	5 4 0 0 0 0 万 万 未 以 満 上	6 5 0 0 0 0 万 万 未 以 満 上	8 6 0 0 0 0 万 万 未 以 満 上	8 0 0 万 以 上	無 回 答
全 体		1,462 100.0	197 13.5	173 11.8	294 20.1	287 19.6	225 15.4	101 6.9	66 4.5	53 3.6	17 1.2	49 3.4
本人 性 別	男性	564 100.0	48 8.5	27 4.8	56 9.9	125 22.2	125 22.2	65 11.5	50 8.9	38 6.7	17 3.0	13 2.3
	女性	854 100.0	148 17.3	141 16.5	225 26.3	152 17.8	95 11.1	36 4.2	13 1.5	11 1.3	0 0.0	33 3.9
本人 年 齢	2 0 ～ 2 4 歳	250 100.0	70 28.0	41 16.4	41 16.4	58 23.2	13 5.2	3 1.2	2 0.8	0 0.0	0 0.0	22 8.8
	2 5 ～ 2 9 歳	267 100.0	26 9.7	17 6.4	68 25.5	81 30.3	55 20.6	10 3.7	3 1.1	1 0.4	1 0.4	5 1.9
	3 0 ～ 3 4 歳	247 100.0	30 12.1	25 10.1	50 20.2	63 25.5	46 18.6	19 7.7	5 2.0	6 2.4	1 0.4	2 0.8
	3 5 ～ 3 9 歳	300 100.0	31 10.3	31 10.3	62 20.7	35 11.7	67 22.3	27 9.0	22 7.3	16 5.3	3 1.0	6 2.0
	4 0 ～ 4 4 歳	319 100.0	28 8.8	49 15.4	56 17.6	36 11.3	36 11.3	40 12.5	31 9.7	25 7.8	11 3.4	7 2.2
本人 の 就 労 状 況	働いている	1,197 100.0	7 0.6	154 12.9	289 24.1	282 23.6	222 18.5	98 8.2	66 5.5	53 4.4	17 1.4	9 0.8
	働いていない	163 100.0	123 75.5	10 6.1	1 0.6	1 0.6	1 0.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	27 16.6
	働いていたが、現在は働いていない	95 100.0	67 70.5	8 8.4	4 4.2	3 3.2	2 2.1	3 3.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0	8 8.4

②配偶者の税込年収

上段：実数、下段：％		サ ン プ ル 数	収 入 は な い	1 0 0 万 未 満	2 1 0 0 0 0 万 万 未 以 満 上	3 2 0 0 0 0 万 万 未 以 満 上	4 3 0 0 0 0 万 万 未 以 満 上	5 4 0 0 0 0 万 万 未 以 満 上	6 5 0 0 0 0 万 万 未 以 満 上	8 6 0 0 0 0 万 万 未 以 満 上	8 0 0 万 以 上	無 回 答
全 体		715 100.0	68 9.5	71 9.9	76 10.6	114 15.9	157 22.0	91 12.7	60 8.4	40 5.6	18 2.5	20 2.8
本人 性 別	男性	273 100.0	65 23.8	59 21.6	51 18.7	36 13.2	32 11.7	11 4.0	10 3.7	1 0.4	0 0.0	8 2.9
	女性	429 100.0	3 0.7	10 2.3	24 5.6	78 18.2	122 28.4	78 18.2	49 11.4	39 9.1	16 3.7	10 2.3
配偶 者 年 齢	2 0 ～ 2 4 歳	16 100.0	3 18.8	0 0.0	1 6.3	5 31.3	6 37.5	1 6.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	2 5 ～ 2 9 歳	83 100.0	11 13.3	1 1.2	10 12.0	20 24.1	22 26.5	11 13.3	6 7.2	1 1.2	0 0.0	1 1.2
	3 0 ～ 3 4 歳	133 100.0	17 12.8	7 5.3	16 12.0	20 15.0	40 30.1	15 11.3	8 6.0	6 4.5	1 0.8	3 2.3
	3 5 ～ 3 9 歳	220 100.0	20 9.1	23 10.5	23 10.5	37 16.8	45 20.5	26 11.8	21 9.5	10 4.5	6 2.7	9 4.1
	4 0 ～ 4 4 歳	245 100.0	15 6.1	38 15.5	25 10.2	31 12.7	39 15.9	36 14.7	22 9.0	22 9.0	11 4.5	6 2.4
配偶 者 の 就 労 状 況	働いている	605 100.0	66 10.9	67 11.1	70 11.6	97 16.0	126 20.8	71 11.7	48 7.9	27 4.5	16 2.6	17 2.8
	働いていない	48 100.0	0 0.0	2 4.2	2 4.2	4 8.3	12 25.0	13 27.1	6 12.5	6 12.5	2 4.2	1 2.1
	働いていたが、現在は働いていない	60 100.0	2 3.3	2 3.3	4 6.7	12 20.0	19 31.7	7 11.7	6 10.0	7 11.7	0 0.0	1 1.7

第2章 調査結果

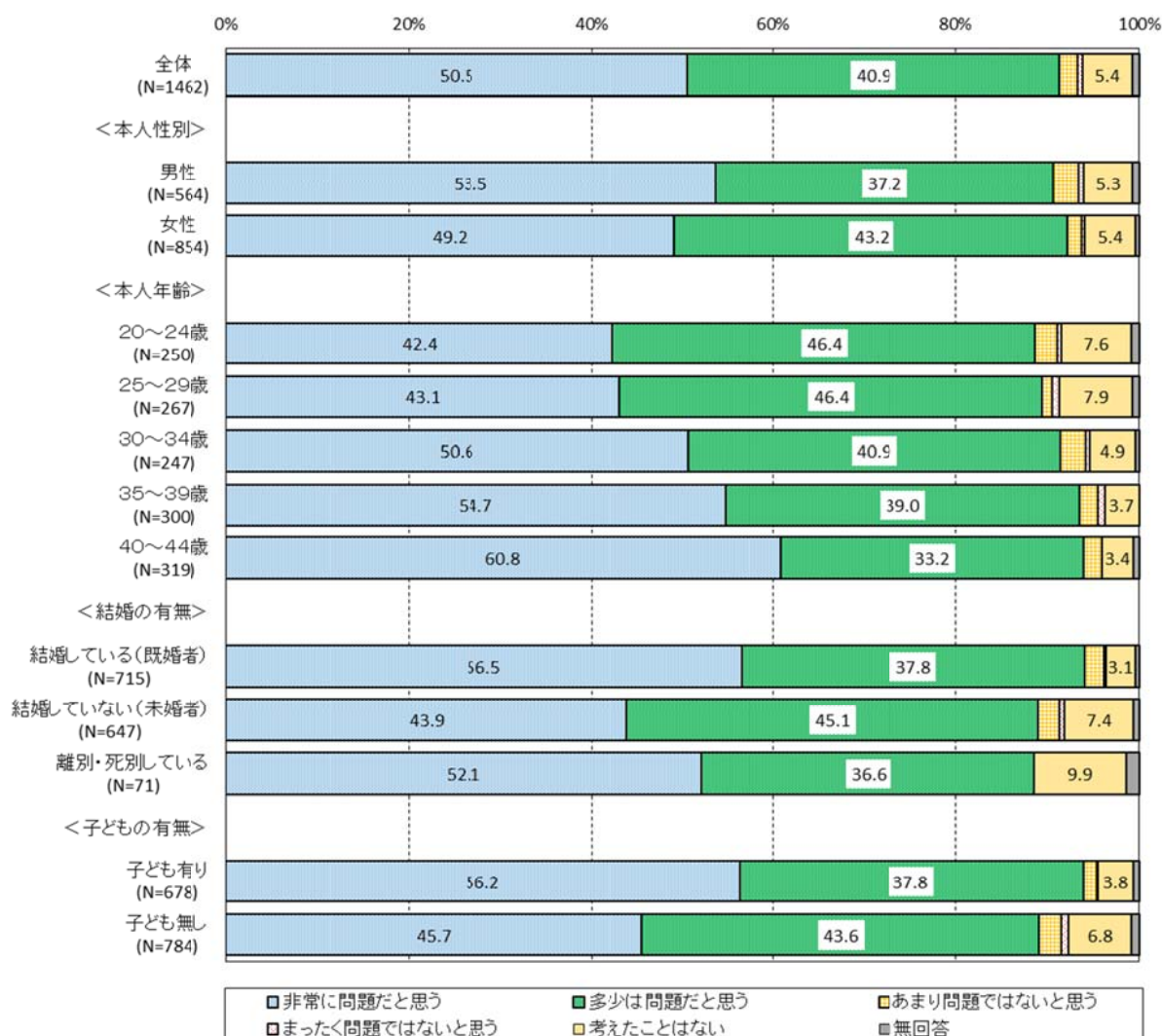
1. 少子化問題について

(1) 子どもの数が減少してきていることについて

子どもの数が減少してきていることについては、「非常に問題だと思う」が50.5%を占め、「多少は問題だと思う」(40.9%)を合わせて91.4%が問題だと感じている。

問題にしていない人(「あまり問題ではないと思う」2.0%、「全く問題ではないと思う」0.5%)は2.5%と僅少である。

図表-1 問1 あなたは、子どもの数が減少してきていることについてどう思いますか。(〇は1つ)



【属性別傾向】

<性別>

問題だと感じている人の割合は男性が90.7%、女性が92.4%で、男女による違いはほとんど見られない。

<年齢別>

年齢が高くなるほど問題だと感じている人の割合も高くなる傾向にあり、40～44歳では「非常に問題だと思う」が6割を超えている。

<結婚の有無別>

「非常に問題だと思う」は既婚者（56.5%）が未婚者（43.9%）を12.6ポイント上回っている。

<子どもの有無別>

「非常に問題だと思う」は子どもがいる人（56.2%）がいない人（45.7%）を10.5ポイント上回っている。

図表－2 問1 あなたは、子どもの数が減少してきていることについてどう思いますか。（属性別）

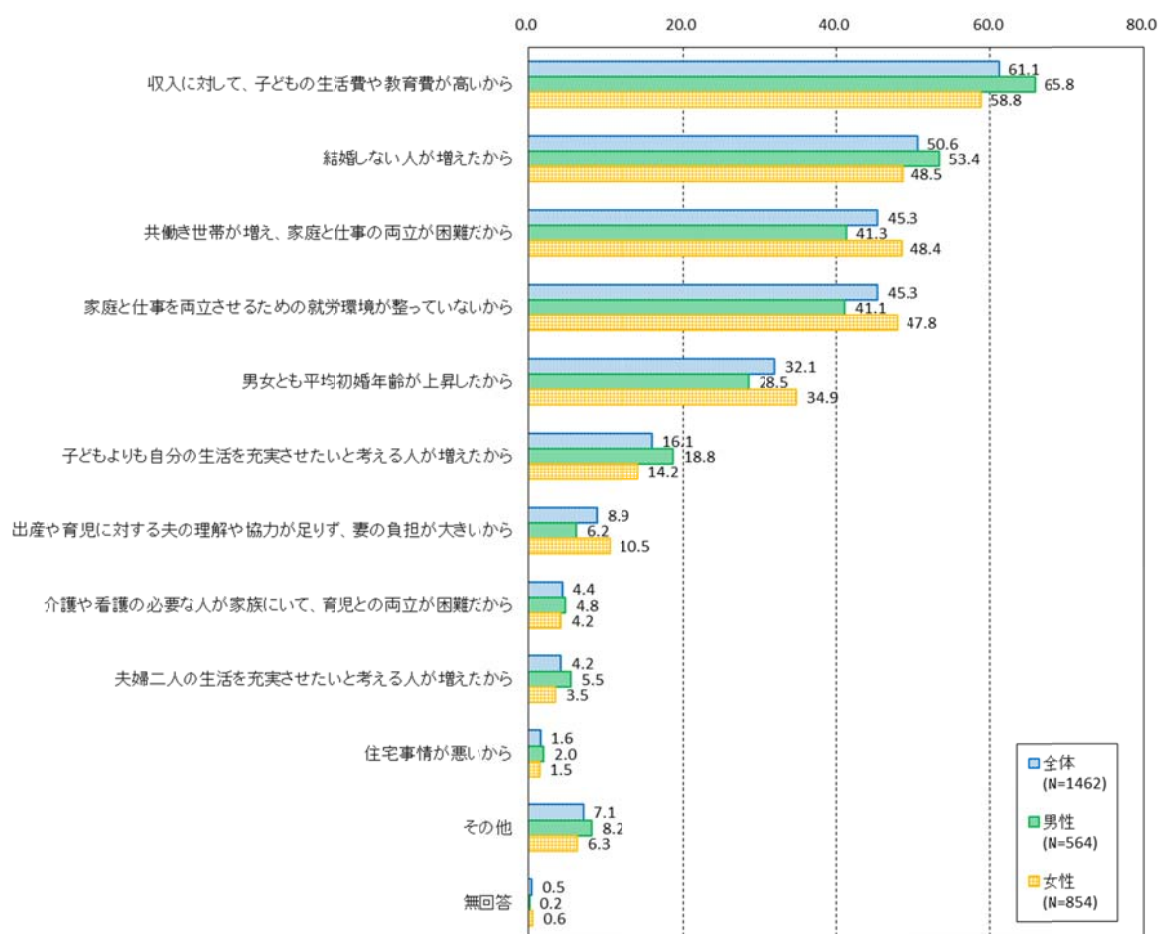
		サンプル 数	子どもの数が減少してきていることについてどう思いますか						問題だと思 う割合	問題では ないと思 う割合
			非常に問 題だと思 う	多少は問 題だと思 う	あまり問題 ではないと 思う	まったく問 題ではな いと思う	考えたこと はない	無回答		
全体		1462	50.5	40.9	2.0	0.5	5.4	0.7	91.4	2.5
本人 性別	男性	564	53.5	37.2	2.7	0.5	5.3	0.7	90.7	3.2
	女性	854	49.2	43.2	1.5	0.4	5.4	0.4	92.4	1.9
本人 年齢	20～24歳	250	▽ 42.4	46.4	2.4	0.4	7.6	0.8	88.8	2.8
	25～29歳	267	▽ 43.1	46.4	1.1	0.7	7.9	0.7	89.5	1.8
	30～34歳	247	50.6	40.9	2.8	0.4	4.9	0.4	91.5	3.2
	35～39歳	300	54.7	39.0	2.0	0.7	3.7	－	93.7	2.7
	40～44歳	319	▲ 60.8	▼ 33.2	1.9	－	3.4	0.6	94.0	1.9
結 婚 の 有 無	結婚している(既婚者)	715	▲ 56.5	37.8	2.0	0.3	▼ 3.1	0.4	94.3	2.3
	結婚していない(未婚者)	647	▼ 43.9	△ 45.1	2.3	0.6	△ 7.4	0.6	89.0	2.9
	離別・死別している	71	52.1	36.6	－	－	9.9	1.4	88.7	0.0
子 ど も の 有 無	子ども有り	678	▲ 56.2	37.8	1.5	0.1	3.8	0.6	94.0	1.6
	子ども無し	784	▼ 45.7	43.6	2.4	0.8	6.8	0.8	89.3	3.2

（２）子どもの数が減少してきている主な原因

子どもの数が減少してきている主な原因では、「収入に対して、子どもの生活費や教育費が高いから」（61.1%）が最も高く、次いで「結婚しない人が増えたから」（50.6%）となっており、この２項目が５割を超えている。以下、「共働き世帯が増え、家庭と仕事の両立が困難だから」「家庭と仕事を両立させるための就労環境が整っていないから」（同率45.3%）、「男女とも平均初婚年齢が上昇したから」（32.1%）などが続いている。

その他として、「不妊の問題」、「核家族が増えたから。」といった回答（意見）があった。

**図表－３ 問２ あなたは、子どもの数が減少してきている主な原因は何だと思いますか。
あてはまるものを３つ選んでください。（○は３つまで）**



【属性別傾向】

<性別>

男性は「収入に対して、子どもの生活費や教育費が高いから」（男性 65.8%、女性 58.8%）が女性より 7.0 ポイント高い。女性は、「家庭と仕事を両立させるための就労環境が整っていないから」（女性 47.8%、男性 41.1%）が男性より 6.7 ポイント高い。

<年齢別>

「結婚しない人が増えたから」は最も若い 20～24 歳が 59.2%と、全体を 8.6 ポイント

上回っている。35～39歳の「結婚しない人が増えたから」は44.3%で、全体を6.3ポイント下回っている。

<結婚の有無別>

既婚者は「共働き世帯が増え、家庭と仕事の両立が困難だから」(50.2%)、「家庭と仕事を両立させるための就労環境が整っていないから」(49.5%)が全体よりも高く、「結婚しない人が増えたから」(44.1%)は全体に比べて低い。

未婚者は「結婚しない人が増えたから」(58.9%)が最も高い割合となっており、「収入に対して、子どもの生活費や教育費が高いから」(56.9%)は全体を4.2ポイント、「共働き世帯が増え、家庭と仕事の両立が困難だから」(39.7%)は全体を5.6ポイント、「家庭と仕事を両立させるための就労環境が整っていないから」(39.1%)は全体を6.2ポイント下回っている。

<子どもの有無別>

子どもがいる人は子どもがいない人に比べて、「収入に対して、子どもの生活費や教育費が高いから」(子ども有り65.8%、子ども無し57.1%)、「共働き世帯が増え、家庭と仕事の両立が困難だから」(子ども有り51.3%、子ども無し40.1%)、「家庭と仕事を両立させるための就労環境が整っていないから」(子ども有り50.7%、子ども無し40.6%)、「出産や育児に対する夫の理解や協力が足りず、妻の負担が大きいから」(子ども有り11.1%、子ども無し7.0%)が高い。

子どもがいない人は子どもがいる人に比べて、「結婚しない人が増えたから」(子ども有り43.2%、子ども無し57.0%)が高い。

図表－4 問2 あなたは、子どもの数が減少してきている主な原因は何だと思いますか。
あてはまるものを3つ選んでください。(○は3つまで)(属性別)

		サンプル 数	子どもの数が減少してきている主な原因											
			住宅事情 が悪いから	収入に対し て、子どもの 生活費や教育費 が高いから	出産や育 児に対する夫の理 解や協力が足りず、 妻の負担が大きい から	共働き世 帯が増え、 家庭と仕 事の両立 が困難だ から	結婚しない 人が増え たから	男女とも平 均初婚年 齢が上昇 したから	夫婦二人 の生活を 充実させ たいと考 える人が 増えたか ら	子どもより も自分の 生活を充 実させたい と考える 人が増え たから	介護や看護 の必要な 人が家族 にいて、 育児との 両立が困 難だから	家庭と仕事 を両立さ せるため の就労環 境が整っ ていないから	その他	無回答
全体		1462	1.6	61.1	8.9	45.3	50.6	32.1	4.2	16.1	4.4	45.3	7.1	0.5
本人 性別	男性	564	2.0	△ 65.8	▽ 6.2	41.3	53.4	28.5	5.5	18.8	4.8	▽ 41.1	8.2	0.2
	女性	854	1.5	58.8	10.5	48.4	48.5	34.9	3.5	14.2	4.2	47.8	6.3	0.6
本人 年齢	20～24歳	250	2.0	60.8	8.8	41.6	▲ 59.2	30.8	4.4	18.4	3.6	39.2	5.6	0.4
	25～29歳	267	2.6	64.4	6.4	49.1	47.6	31.1	3.4	15.7	4.1	48.7	4.5	0.4
	30～34歳	247	2.8	57.5	8.1	51.4	45.7	33.6	4.9	18.6	4.5	46.2	7.7	-
	35～39歳	300	1.0	64.7	9.7	46.3	▽ 44.3	30.7	3.7	13.7	3.7	50.3	8.7	-
	40～44歳	319	0.6	59.9	9.7	40.1	55.5	35.7	4.7	14.1	6.6	42.0	8.8	1.3
結婚 の有 無	結婚している(既婚者)	715	1.5	64.5	9.4	▲ 50.2	▼ 44.1	34.1	4.3	14.1	3.8	△ 49.5	7.7	0.6
	結婚していない(未婚者)	647	2.0	▽ 56.9	7.1	▼ 39.7	▲ 58.9	31.4	3.9	18.2	4.8	▼ 39.1	6.6	0.5
	離別・死別している	71	-	70.4	▲ 19.7	54.9	▽ 38.0	23.9	5.6	16.9	7.0	54.9	7.0	-
子 ど も の 有 無	子ども有り	678	1.2	△ 65.8	△ 11.1	▲ 51.3	▼ 43.2	32.2	4.0	14.7	3.8	▲ 50.7	8.0	0.6
	子ども無し	784	2.0	▽ 57.1	7.0	▼ 40.1	▲ 57.0	32.1	4.5	17.3	5.0	▼ 40.6	6.4	0.5

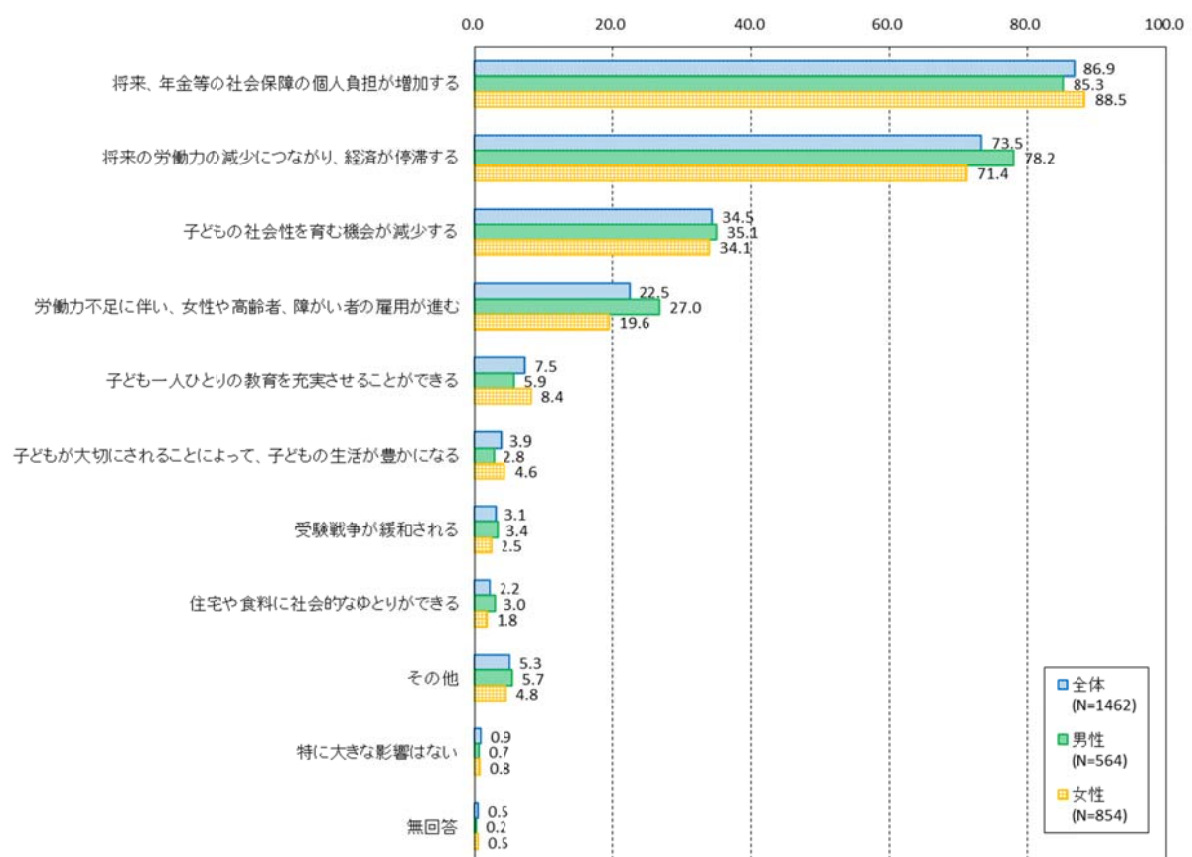
※複数回答

（３）少子化の進行による影響

少子化の進行による影響では、「将来、年金等の社会保障の個人負担が増加する」（86.9%）が最も高く、次いで「将来の労働力の減少につながり、経済が停滞する」（73.5%）となっており、この２項目が７割を超えている。大きく比率を下げて「子どもの社会性を育む機会が減少する」（34.5%）、「労働力不足に伴い、女性や高齢者、障がい者の雇用が進む」（22.5%）などが続いている。

その他として、「海外からの労働力の流入」、「地域コミュニティ活動の維持に支障が出る。」といった回答（意見）があった。

図表－５ 問３ あなたは、少子化が進むことで、今後どのような影響が出てくると思いますか。
あてはまるものを３つ選んでください。（○は３つまで）



【属性別傾向】

<性別>

男性は女性より「将来の労働力の減少につながり、経済が停滞する」（男性 78.2%、女性 71.4%）が 6.8 ポイント、「労働力不足に伴い、女性や高齢者、障がい者の雇用が進む」（男性 27.0%、女性 19.6%）が 7.4 ポイント高い。

<年齢別>

「労働力不足に伴い、女性や高齢者、障がい者の雇用が進む」は年齢が若くなるほど高くなる傾向にあり、20～24歳（30.8%）は全体を8.3ポイント上回っている。

「子どもの社会性を育む機会が減少する」は他の年齢の中で20～24歳（28.0%）が最も低く、全体を6.5ポイント下回っている。

<結婚の有無別>

既婚者は「労働力不足に伴い、女性や高齢者、障がい者の雇用が進む」（17.9%）が全体を4.6ポイント下回り、「子どもの社会性を育む機会が減少する」（38.7%）は全体を4.2ポイント上回っている。反対に、未婚者は「労働力不足に伴い、女性や高齢者、障がい者の雇用が進む」（27.7%）が全体を5.2ポイント上回り、「子どもの社会性を育む機会が減少する」（29.2%）が全体を5.3ポイント下回っている。

<子どもの有無別>

子どもがいる人は「労働力不足に伴い、女性や高齢者、障がい者の雇用が進む」（18.6%）が全体を3.9ポイント下回り、「子どもの社会性を育む機会が減少する」（38.9%）は全体を4.4ポイント上回っている。反対に、子どもがいない人は「労働力不足に伴い、女性や高齢者、障がい者の雇用が進む」（25.9%）が全体を3.4ポイント上回り、「子どもの社会性を育む機会が減少する」（30.7%）が全体を3.8ポイント下回っている。

図表－6 問3 あなたは、少子化が進むことで、今後どのような影響が出てくると思いますか。

あてはまるものを3つ選んでください。（属性別）

		サンプル 数	少子化が進むことで今後どのような影響が出てくると思いますか										
			子ども一人ひとりの教育を充実させることができる	子どもが大切にされることによって、子どもの生活が豊かになる	受験戦争が緩和される	住宅や食料に社会的なゆとりができる	労働力不足に伴い、女性や高齢者、障がい者の雇用が進む	子どもの社会性を育む機会が減少する	将来の労働力の減少に伴い、経済が停滞する	将来、年金等の社会保障の個人負担が増加する	その他	特に大きな影響はない	無回答
全体		1462	7.5	3.9	3.1	2.2	22.5	34.5	73.5	86.9	5.3	0.9	0.5
本人性別	男性	564	5.9	2.8	3.4	3.0	△ 27.0	35.1	△ 78.2	85.3	5.7	0.7	0.2
	女性	854	8.4	4.6	2.5	1.8	▽ 19.6	34.1	71.4	88.5	4.8	0.8	0.5
本人年齢	20～24歳	250	7.2	4.8	2.8	3.6	▲ 30.8	▽ 28.0	74.8	84.8	5.2	1.2	0.4
	25～29歳	267	7.1	2.2	3.4	1.9	21.7	35.2	76.8	85.8	3.7	1.5	0.4
	30～34歳	247	8.1	4.9	3.6	2.8	20.6	33.2	70.4	88.7	4.0	0.4	－
	35～39歳	300	10.3	3.7	3.0	2.7	19.3	△ 41.0	72.3	85.7	4.7	0.7	0.7
	40～44歳	319	6.3	4.4	2.5	0.6	18.8	36.7	74.9	89.0	△ 8.2	0.6	－
結婚の有無	結婚している(既婚者)	715	△ 9.5	4.2	2.7	1.7	▼ 17.9	△ 38.7	73.0	89.0	5.5	▽ 0.1	0.6
	結婚していない(未婚者)	647	▽ 5.4	3.4	2.9	2.9	▲ 27.7	▼ 29.2	74.5	85.3	4.6	1.5	0.3
	離別・死別している	71	7.0	2.8	5.6	－	19.7	40.8	73.2	83.1	8.5	1.4	－
子どもの有無	子ども有り	678	△ 10.0	4.6	3.2	1.3	▽ 18.6	△ 38.9	71.8	88.3	6.0	▽ 0.1	0.6
	子ども無し	784	▽ 5.4	3.3	2.9	2.9	△ 25.9	▽ 30.7	75.0	85.6	4.6	1.5	0.4

※複数回答

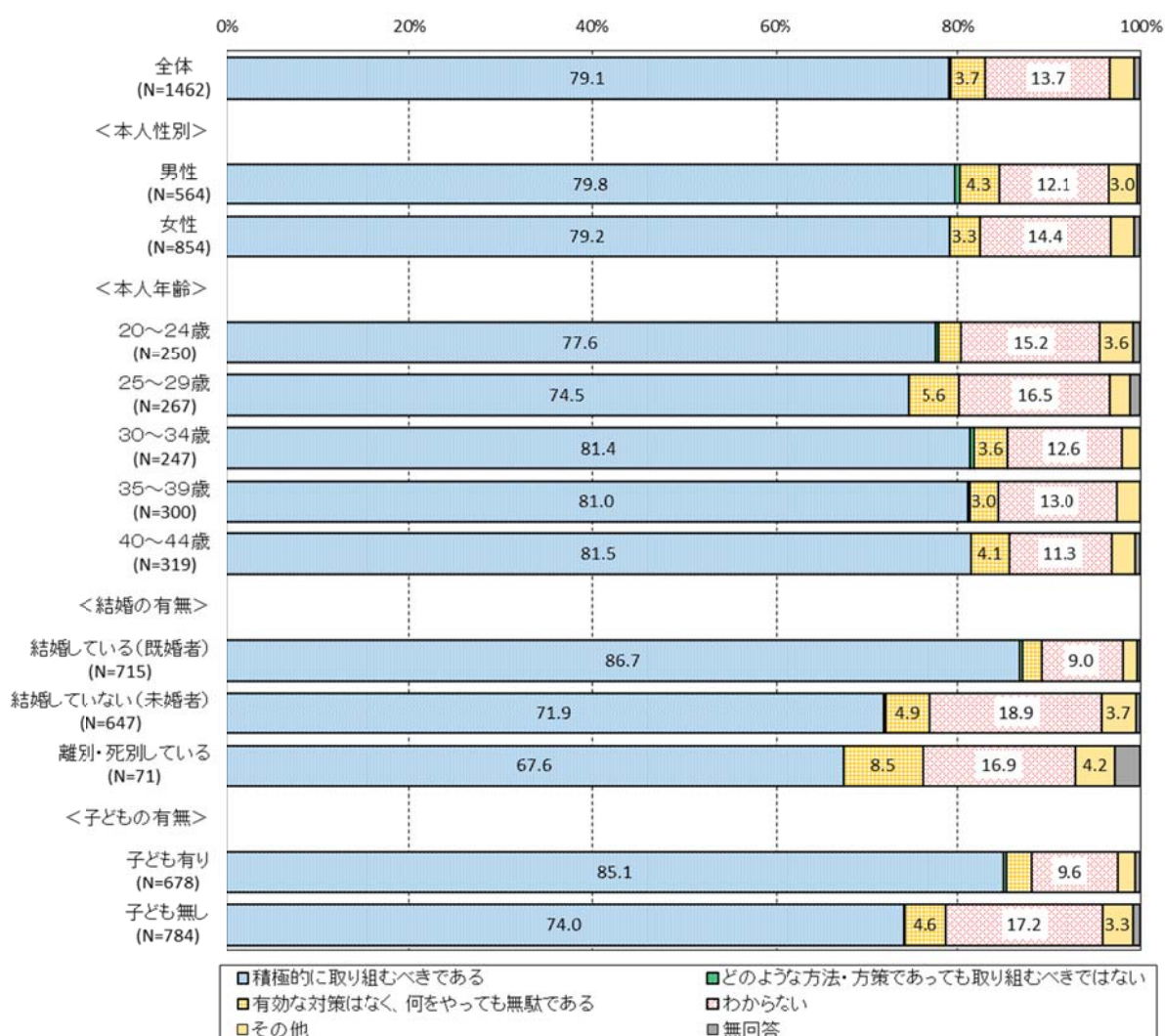
(4) 行政が少子化対策に取り組むことについて

県や市町など行政が少子化対策に取り組むことについて、8割弱が「積極的に取り組むべきである」(79.1%)と考えている。

「どのような方法・方策であっても取り組むべきではない」(0.2%)、「有効な対策はなく、何をやっても無駄である」(3.7%)など否定的な意見は僅少である。

その他として、「財源には限りがある。本当に有効なのか十分に検討して取り組むべき。」、「まず若年者の税負担を軽減し、生活面でゆとりがなければ少子化はなくなる。」といった回答(意見)があった。

図表-7 問4 県や市町など行政が少子化対策に取り組むことについて、
あなたはどのようにお考えですか。(〇は1つ)



【属性別傾向】

＜性別＞

男女とも8割弱が「積極的に取り組むべきである」と回答しており、大きな違いは見られない。

<年齢別>

年齢に関係なく7割超が「積極的に取り組むべきである」と回答しており、大きな違いは見られない。

<結婚の有無別>

既婚者は「積極的に取り組むべきである」(86.7%)が全体を7.6ポイント上回っている。

反対に、未婚者は「積極的に取り組むべきである」(71.9%)が全体を7.2ポイント下回っている。

<子どもの有無別>

子どもがいる人は「積極的に取り組むべきである」(85.1%)が全体を6.0ポイント上回っている。

反対に、子どもがいない人は「積極的に取り組むべきである」(74.0%)が全体を5.1ポイント下回っている。

図表－8 問4 県や市町など行政が少子化対策に取り組むことについて、
あなたはどのようにお考えですか。(属性別)

		サンプル数	行政が少子化対策に取り組むことについて					
			積極的に取り組むべきである	どのような方法・方策であっても取り組むべきではない	有効な対策はなく、何をやっても無駄である	わからない	その他	無回答
全体		1462	79.1	0.2	3.7	13.7	2.6	0.7
本人性別	男性	564	79.8	0.5	4.3	12.1	3.0	0.4
	女性	854	79.2	－	3.3	14.4	2.5	0.7
本人年齢	20～24歳	250	77.6	0.4	2.4	15.2	3.6	0.8
	25～29歳	267	74.5	－	5.6	16.5	2.2	1.1
	30～34歳	247	81.4	0.4	3.6	12.6	2.0	－
	35～39歳	300	81.0	0.3	3.0	13.0	2.3	0.3
	40～44歳	319	81.5	－	4.1	11.3	2.5	0.6
結婚の有無	結婚している(既婚者)	715	▲ 86.7	0.3	▽ 2.1	▼ 9.0	1.5	0.4
	結婚していない(未婚者)	647	▼ 71.9	0.2	4.9	▲ 18.9	3.7	0.5
	離別・死別している	71	▽ 67.6	－	△ 8.5	16.9	4.2	△ 2.8
子どもの有無	子ども有り	678	▲ 85.1	0.3	2.7	▼ 9.6	1.8	0.6
	子ども無し	784	▼ 74.0	0.1	4.6	▲ 17.2	3.3	0.8

2. ライフプランについて

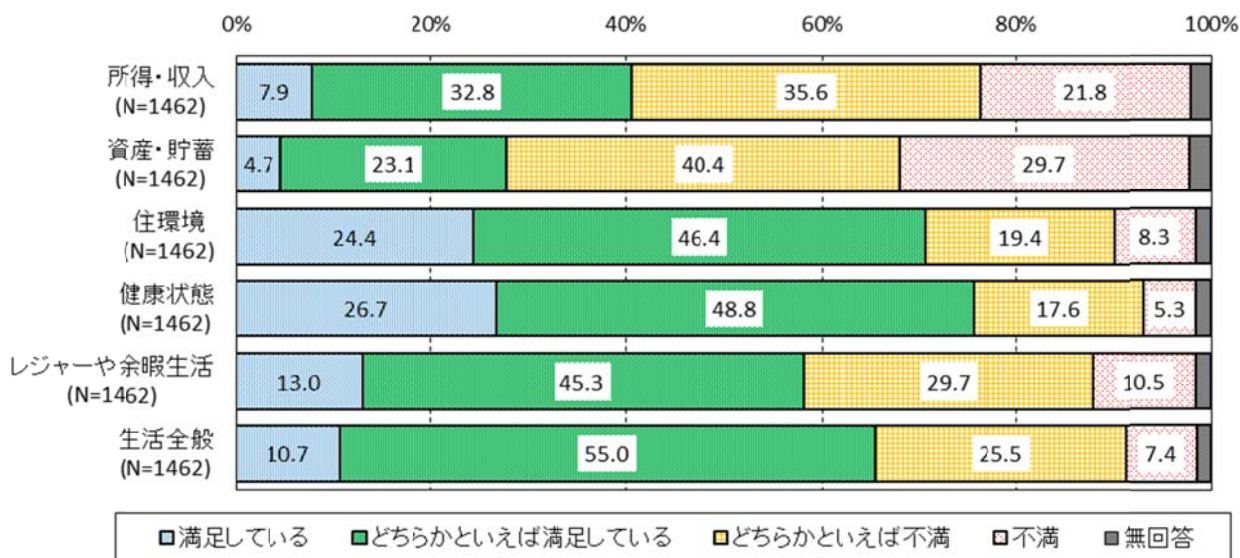
(1) 現在の生活への満足度

「満足している」「どちらかといえば満足している」を合わせた満足層の割合が最も高いのは『健康状態』（満足度 75.5%）である。次いで『住環境』（満足度 70.8%）が続き、『レジャーや余暇生活』（満足度 58.9%）の3項目で満足層が5割を超えている。

「どちらかといえば不満」「不満」を合わせた不満層が満足層を上回ったのは『資産・貯蓄』（不満度 70.1%）、『所得・収入』（不満度 57.4%）で、特に『資産・貯蓄』において不満度が高くなっている。

生活全般を総合すると、満足層の割合（65.7%）が6割を超えている。

図表－9 問5 あなたは現在の生活にどの程度満足していますか。1～6の項目について、それぞれあてはまるものを1つ選び、○をつけてください。（○は1つずつ）



【属性別傾向】

<性別>

女性はすべての項目で男性より満足層の割合が高く、『生活全般』を総合しても女性の満足層（71.8%）は男性の満足層（58.0%）を13.8ポイント上回っている。

男性は『所得・収入』、『資産・貯蓄』の不満度が高く、男性の『所得・収入』の「不満」（26.4%）は女性（18.3%）を8.1ポイント、男性の『資産・貯蓄』の「不満」（33.9%）は女性（27.0%）を6.9ポイント上回っている。

<年齢別>

最も若い20～24歳は『健康状態』（満足層80.4%）や『レジャーや余暇生活』（満足層24.0%）の満足度が全体よりも高く、『生活全般』を総合した満足度（満足層74.0%）も全体を8.3ポイント上回っている。

25～29 歳は『所得・収入』（満足層 34.1%）が全体を 6.6 ポイント下回っており、最も高い 40～44 歳（満足層 44.6%）よりも 10.5 ポイント低い。

<結婚の有無別>

既婚者は未婚者に比べて『所得・収入』の満足度が高く、未婚者は既婚者に比べて『住環境』、『レジャーや余暇生活』の満足度が高い。『生活全般』を総合すると結婚の有無による違いはほとんど見られない。

<本人の年収別>

400 万以上 500 万未満は『所得・収入』（満足層 52.4%）の満足度が高く、全体を 11.7 ポイント上回っている。

収入がない、100 万未満よりも 100 万以上 200 万未満の不満度が高く、『所得・収入』では 76.8%、『資産・貯蓄』では 81.6%が不満を感じている。『生活全般』を総合すると、程度の違いはあるものの、年収にかかわらず満足層が 5 割を超えている。

図表－10 問5 あなたは現在の生活にどの程度満足していますか。(所得・収入について)

		サンプル 数	現在の生活への満足度(所得・収入)					満足層の 割合	不満層の 割合
			満足してい る	どちらかと いえば満 足している	どちらかと いえば不 満	不満	無回答		
全体		1462	7.9	32.8	35.6	21.8	2.0	40.7	57.4
性 本 別 人	男性	564	6.0	31.2	33.9	▲ 26.4	2.5	37.2	60.3
	女性	854	9.3	33.8	37.2	▽ 18.3	1.4	43.1	55.5
本 人 年 齢	20～24歳	250	8.8	32.0	36.0	16.8	▲ 6.4	40.8	52.8
	25～29歳	267	▽ 4.1	30.0	39.3	26.2	0.4	34.1	65.5
	30～34歳	247	8.9	33.2	32.8	23.9	1.2	42.1	56.7
	35～39歳	300	7.3	32.7	37.0	22.7	▽ 0.3	40.0	59.7
	40～44歳	319	10.7	33.9	35.4	19.1	0.9	44.6	54.5
結 婚 の 有 無	結婚している(既婚者)	715	9.1	34.8	36.8	▽ 18.6	▽ 0.7	43.9	55.4
	結婚していない(未婚者)	647	7.7	31.1	35.2	22.9	△ 3.1	38.8	58.1
	離別・死別している	71	▽ -	29.6	31.0	▲ 39.4	-	29.6	70.4
本 人 の 年 収	収入はない	197	10.7	33.0	▽ 27.9	23.9	▲ 4.6	43.7	51.8
	100万未満	173	8.1	▽ 23.7	△ 43.4	22.5	2.3	31.8	65.9
	100万以上200万未満	294	▼ 2.4	▼ 20.1	△ 41.8	▲ 35.0	0.7	22.5	76.8
	200万以上300万未満	287	▽ 4.5	31.4	40.1	22.6	1.4	35.9	62.7
	300万以上400万未満	225	7.6	36.0	38.7	17.3	0.4	43.6	56.0
	400万以上500万未満	101	6.9	▲ 45.5	34.7	▽ 12.9	-	52.4	47.6
	500万以上600万未満	66	▲ 21.2	▲ 59.1	▼ 15.2	▼ 4.5	-	80.3	19.7
	600万以上800万未満	53	▲ 20.8	▲ 60.4	▼ 17.0	▼ 1.9	-	81.2	18.9
	800万以上	17	▲ 35.3	35.3	17.6	11.8	-	70.6	29.4

図表－11 問5 あなたは現在の生活にどの程度満足していますか。(資産・貯蓄について)

		サンプル 数	現在の生活への満足度(資産・貯蓄)					満足層の 割合	不満層の 割合
			満足してい る	どちらかと いえば満 足している	どちらかと いえば不 満	不満	無回答		
全体		1462	4.7	23.1	40.4	29.7	2.2	27.8	70.1
性 本 別 人	男性	564	3.4	20.6	39.4	△ 33.9	2.8	24.0	73.3
	女性	854	5.6	24.9	40.9	27.0	1.5	30.5	67.9
本 人 年 齢	20～24歳	250	▲ 8.8	22.4	38.8	▽ 23.6	▲ 6.4	31.2	62.4
	25～29歳	267	2.6	23.2	41.6	31.8	0.7	25.8	73.4
	30～34歳	247	4.0	21.1	42.9	30.8	1.2	25.1	73.7
	35～39歳	300	3.7	21.0	40.0	34.3	1.0	24.7	74.3
	40～44歳	319	5.6	26.0	37.6	29.5	1.3	31.6	67.1
結 婚 の 有 無	結婚している(既婚者)	715	4.9	21.4	43.8	29.0	▽ 1.0	26.3	72.8
	結婚していない(未婚者)	647	5.1	26.0	37.9	27.8	3.2	31.1	65.7
	離別・死別している	71	1.4	▽ 12.7	29.6	▲ 56.3	-	14.1	85.9
本 人 の 年 収	収入はない	197	7.1	25.4	36.0	27.4	4.1	32.5	63.4
	100万未満	173	4.0	18.5	37.0	△ 37.6	2.9	22.5	74.6
	100万以上200万未満	294	2.4	▼ 14.3	39.8	▲ 41.8	1.7	16.7	81.6
	200万以上300万未満	287	3.8	18.8	△ 46.7	28.6	2.1	22.6	75.3
	300万以上400万未満	225	4.0	27.6	44.4	▽ 23.6	0.4	31.6	68.0
	400万以上500万未満	101	2.0	21.8	45.5	30.7	-	23.8	76.2
	500万以上600万未満	66	9.1	▲ 42.4	33.3	▼ 15.2	-	51.5	48.5
	600万以上800万未満	53	9.4	▲ 45.3	39.6	▼ 5.7	-	54.7	45.3
	800万以上	17	▲ 23.5	41.2	17.6	17.6	-	64.7	35.2

図表－12 問5 あなたは現在の生活にどの程度満足していますか。(住環境について)

		サンプル 数	現在の生活への満足度(住環境)					満足層の 割合	不満層の 割合
			満足してい る	どちらかと いえば満 足している	どちらかと いえば不 満	不満	無回答		
全体		1462	24.4	46.4	19.4	8.3	1.6	70.8	27.7
性 本 別 人	男性	564	▽ 20.7	47.3	20.7	9.6	1.6	68.0	30.3
	女性	854	27.2	46.3	17.9	7.5	1.2	73.5	25.4
本 人 年 齢	20～24歳	250	28.0	46.0	17.2	6.0	2.8	74.0	23.2
	25～29歳	267	23.6	47.2	21.7	7.1	0.4	70.8	28.8
	30～34歳	247	28.7	40.9	18.6	10.1	1.6	69.6	28.7
	35～39歳	300	20.3	48.0	20.3	10.3	1.0	68.3	30.6
	40～44歳	319	24.5	47.6	20.1	6.6	1.3	72.1	26.7
結 婚 の 有 無	結婚している(既婚者)	715	25.6	42.9	21.5	8.8	1.1	68.5	30.3
	結婚していない(未婚者)	647	24.4	△ 50.4	16.7	6.8	1.7	74.8	23.5
	離別・死別している	71	18.3	45.1	18.3	▲ 18.3	—	63.4	36.6
本 人 の 年 収	収入はない	197	25.9	45.2	17.3	9.6	2.0	71.1	26.9
	100万未満	173	△ 31.2	▽ 37.0	19.1	11.0	1.7	68.2	30.1
	100万以上200万未満	294	21.4	45.9	22.8	8.5	1.4	67.3	31.3
	200万以上300万未満	287	22.0	47.7	19.5	9.1	1.7	69.7	28.6
	300万以上400万未満	225	24.0	50.2	19.6	5.3	0.9	74.2	24.9
	400万以上500万未満	101	21.8	40.6	24.8	12.9	—	62.4	37.7
	500万以上600万未満	66	18.2	△ 62.1	13.6	6.1	—	80.3	19.7
	600万以上800万未満	53	26.4	54.7	18.9	▽ —	—	81.1	18.9
	800万以上	17	△ 47.1	35.3	5.9	11.8	—	82.4	17.7

図表－13 問5 あなたは現在の生活にどの程度満足していますか。(健康状態について)

		サンプル 数	現在の生活への満足度(健康状態)					満足層の 割合	不満層の 割合
			満足してい る	どちらかと いえば満 足している	どちらかと いえば不 満	不満	無回答		
全体		1462	26.7	48.8	17.6	5.3	1.5	75.5	22.9
性 本 別 人	男性	564	▽ 22.0	50.9	19.1	6.2	1.8	72.9	25.3
	女性	854	▲ 30.9	47.1	16.4	4.6	1.1	78.0	21.0
本 人 年 齢	20～24歳	250	▲ 41.2	▼ 39.2	14.0	2.8	2.8	80.4	16.8
	25～29歳	267	26.2	49.4	16.9	7.1	0.4	75.6	24.0
	30～34歳	247	31.2	44.1	19.8	3.2	1.6	75.3	23.0
	35～39歳	300	▽ 20.7	54.0	19.0	5.3	1.0	74.7	24.3
	40～44歳	319	▼ 19.4	53.6	18.5	7.2	1.3	73.0	25.7
結 婚 の 有 無	結婚している(既婚者)	715	25.9	51.3	16.5	5.2	1.1	77.2	21.7
	結婚していない(未婚者)	647	29.5	46.4	17.8	4.6	1.7	75.9	22.4
	離別・死別している	71	16.9	42.3	△ 28.2	▲ 12.7	—	59.2	40.9
本 人 の 年 収	収入はない	197	△ 33.5	43.1	17.8	4.6	1.0	76.6	22.4
	100万未満	173	32.4	▼ 37.0	22.0	6.4	2.3	69.4	28.4
	100万以上200万未満	294	26.5	47.6	19.0	5.1	1.7	74.1	24.1
	200万以上300万未満	287	26.1	46.3	21.3	5.2	1.0	72.4	26.5
	300万以上400万未満	225	23.6	▲ 61.3	▼ 10.2	4.4	0.4	84.9	14.6
	400万以上500万未満	101	▼ 11.9	57.4	20.8	△ 9.9	—	69.3	30.7
	500万以上600万未満	66	25.8	60.6	9.1	4.5	—	86.4	13.6
	600万以上800万未満	53	24.5	50.9	22.6	1.9	—	75.4	24.5
	800万以上	17	29.4	41.2	23.5	—	5.9	70.6	23.5

図表－14 問5 あなたは現在の生活にどの程度満足していますか。(レジャーや余暇生活について)

		サンプル 数	現在の生活への満足度(レジャーや余暇生活)					満足層の 割合	不満層の 割合
			満足してい る	どちらかと いえば満 足している	どちらかと いえば不 満	不満	無回答		
全体		1462	13.0	45.3	29.7	10.5	1.6	58.3	40.2
性 本 別 人	男性	564	11.2	44.7	30.1	12.2	1.8	55.9	42.3
	女性	854	14.9	46.5	28.6	9.0	1.1	61.4	37.6
本 人 年 齢	20～24歳	250	▲ 24.0	39.6	25.2	7.2	▲ 4.0	63.6	32.4
	25～29歳	267	13.9	△ 52.1	24.3	9.4	0.4	66.0	33.7
	30～34歳	247	17.0	39.3	30.8	11.7	1.2	56.3	42.5
	35～39歳	300	▼ 6.0	△ 51.3	29.3	12.7	0.7	57.3	42.0
	40～44歳	319	▽ 8.5	44.2	△ 35.7	10.7	0.9	52.7	46.4
結 婚 の 有 無	結婚している(既婚者)	715	▼ 9.2	46.6	31.0	12.3	0.8	55.8	43.3
	結婚していない(未婚者)	647	▲ 18.5	45.4	▽ 26.0	▽ 8.0	2.0	63.9	34.0
	離別・死別している	71	5.6	35.2	▲ 43.7	15.5	—	40.8	59.2
本 人 の 年 収	収入はない	197	16.8	45.7	26.4	8.6	2.5	62.5	35.0
	100万未満	173	16.8	43.9	27.2	10.4	1.7	60.7	37.6
	100万以上200万未満	294	9.2	45.9	31.6	12.2	1.0	55.1	43.8
	200万以上300万未満	287	13.6	44.3	30.7	9.8	1.7	57.9	40.5
	300万以上400万未満	225	14.2	46.2	27.1	12.0	0.4	60.4	39.1
	400万以上500万未満	101	6.9	46.5	35.6	10.9	—	53.4	46.5
	500万以上600万未満	66	10.6	50.0	28.8	10.6	—	60.6	39.4
	600万以上800万未満	53	9.4	54.7	28.3	7.5	—	64.1	35.8
	800万以上	17	17.6	41.2	29.4	11.8	—	58.8	41.2

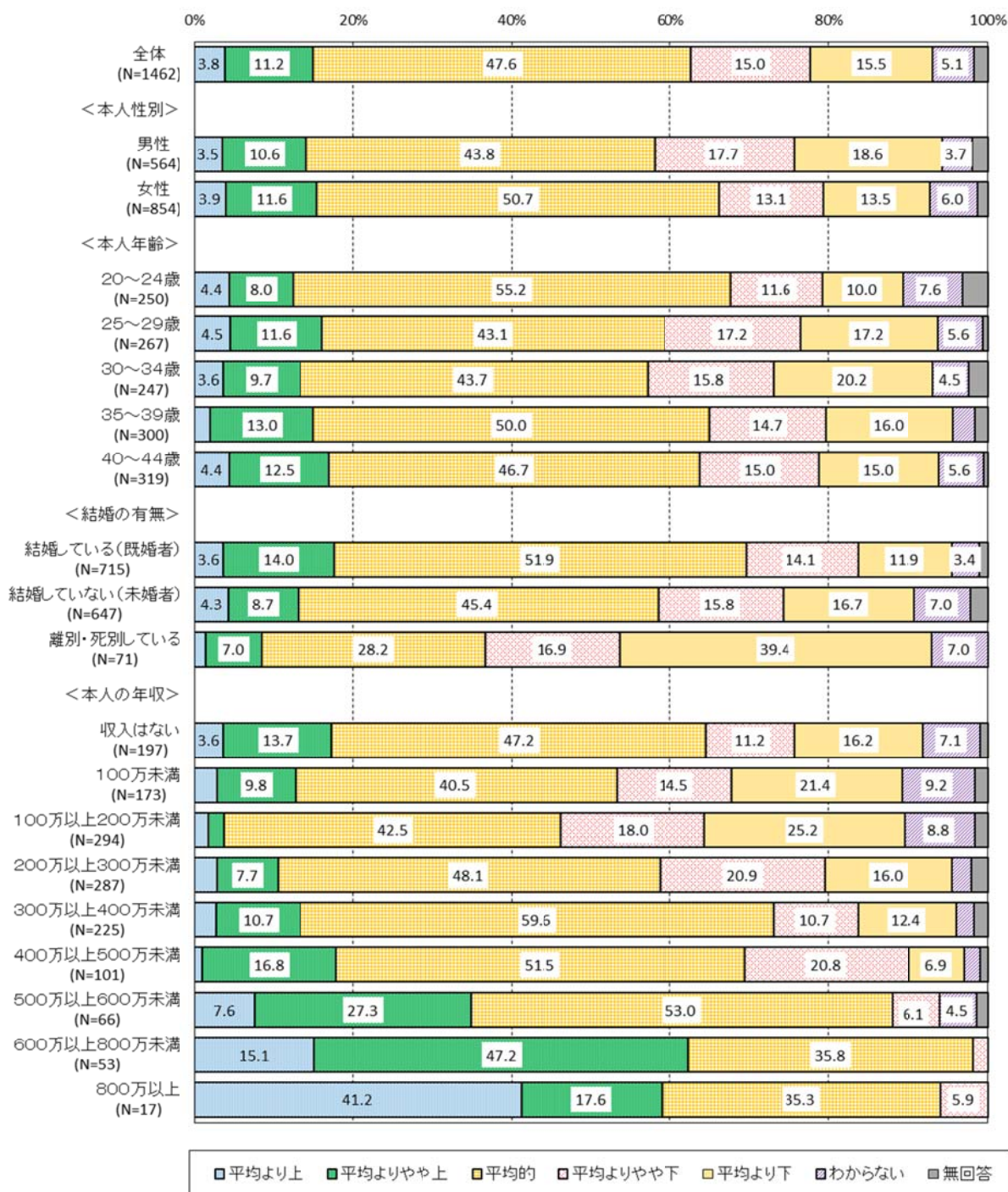
図表－15 問5 あなたは現在の生活にどの程度満足していますか。(生活全般を総合して)

		サンプル 数	現在の生活への満足度(生活全般)					満足層の 割合	不満層の 割合
			満足してい る	どちらかと いえば満 足している	どちらかと いえば不 満	不満	無回答		
全体		1462	10.7	55.0	25.5	7.4	1.4	65.7	32.9
性 本 別 人	男性	564	▽ 8.0	▽ 50.0	▲ 32.3	8.3	1.4	58.0	40.6
	女性	854	△ 13.0	△ 58.8	▼ 20.6	6.7	0.9	71.8	27.3
本 人 年 齢	20～24歳	250	▲ 16.4	57.6	▽ 18.4	4.8	2.8	74.0	23.2
	25～29歳	267	9.4	55.8	27.3	7.1	0.4	65.2	34.4
	30～34歳	247	12.6	51.4	27.1	8.1	0.8	64.0	35.2
	35～39歳	300	10.3	52.0	26.7	10.3	0.7	62.3	37.0
	40～44歳	319	8.8	56.1	27.6	6.3	1.3	64.9	33.9
結 婚 の 有 無	結婚している(既婚者)	715	10.3	55.1	26.2	7.3	1.1	65.4	33.5
	結婚していない(未婚者)	647	12.5	56.1	23.0	7.1	1.2	68.6	30.1
	離別・死別している	71	▽ 2.8	45.1	▲ 39.4	12.7	—	47.9	52.1
本 人 の 年 収	収入はない	197	▲ 18.3	53.8	▽ 18.3	9.1	0.5	72.1	27.4
	100万未満	173	12.1	53.2	24.3	8.7	1.7	65.3	33.0
	100万以上200万未満	294	7.5	50.7	28.2	▲ 12.2	1.4	58.2	40.4
	200万以上300万未満	287	▽ 7.0	56.1	29.6	5.9	1.4	63.1	35.5
	300万以上400万未満	225	11.6	58.7	24.4	4.9	0.4	70.3	29.3
	400万以上500万未満	101	6.9	49.5	△ 35.6	6.9	1.0	56.4	42.5
	500万以上600万未満	66	13.6	65.2	21.2	▽ —	—	78.8	21.2
	600万以上800万未満	53	15.1	62.3	20.8	1.9	—	77.4	22.7
	800万以上	17	23.5	52.9	23.5	—	—	76.4	23.5

(2) 自分の生活水準

自分の生活水準については「平均的」(47.6%)が最も高いものの、「平均より上」、「平均よりやや上」を合わせた『平均より上の水準』が15.0%、「平均よりやや下」、「平均より下」を合わせた『平均より下の水準』が30.5%と、『平均より下の水準』が『平均より上の水準』の2倍になっている。

図表-16 問6 あなたの生活の程度は、世間一般から見てどのように思われますか。(〇は1つ)



【属性別傾向】

<性別>

生活水準が『平均より上の水準』の割合は、男性が14.1%、女性が15.5%で、男女ともほぼ同率であるが、『平均より下の水準』の割合は、男性（36.3%）が女性（26.6%）を9.7ポイント上回っている。

<年齢別>

最も若い20～24歳では55.2%が自分の生活水準を「平均的」と評価している。

「平均より下」は30～34歳（20.2%）に高く、全体を4.7ポイント上回っている。

<結婚の有無別>

既婚者は生活水準として「平均よりやや上」（14.0%）、「平均的」（51.9%）が全体に比べて高く、「平均より下」（11.9%）は全体よりも低い。

<年収別>

300万以上400万未満は「平均的」（59.6%）が全体を12.0ポイント上回っている。100万未満、100万以上200万未満は「平均より下」が2割を超えており、全体よりも高い割合となっている。また100万以上200万未満では平均以下が43.2%と全体を12.7ポイント上回り、他の年収の中で最も高い割合となっている。

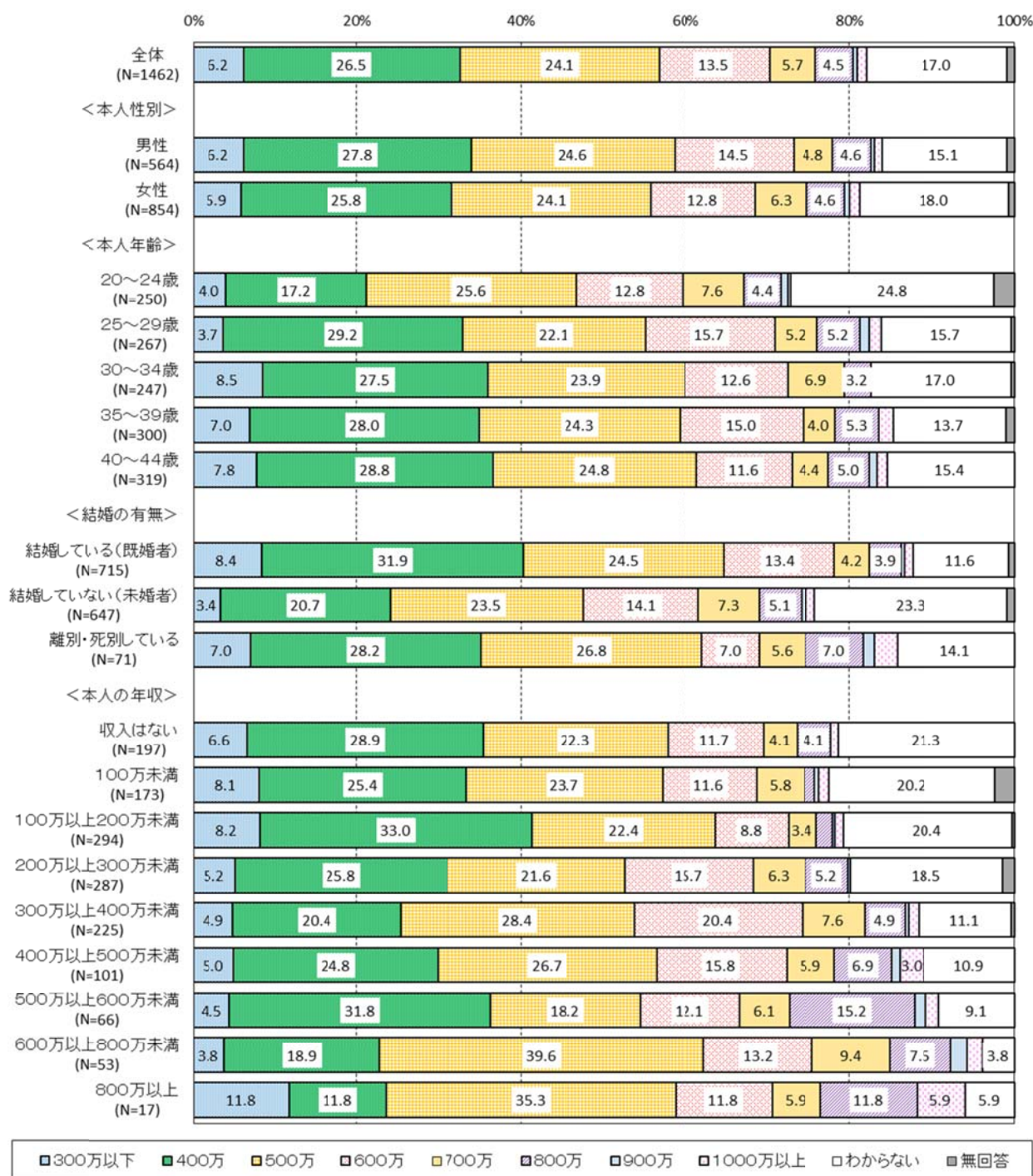
図表－17 問6 あなたの生活の程度は、世間一般から見てどのように思われますか。（属性別）

		サンプル数	あなたの生活の程度は、世間一般から見てどのように思われますか							生活水準	
			平均より上	平均よりやや上	平均的	平均よりやや下	平均より下	わからない	無回答	平均より上の水準	平均より下の水準
全体		1462	3.8	11.2	47.6	15.0	15.5	5.1	1.8	15.0	30.5
性別	男性	564	3.5	10.6	43.8	17.7	△ 18.6	3.7	2.0	14.1	36.3
	女性	854	3.9	11.6	50.7	13.1	13.5	6.0	1.3	15.5	26.6
本人年齢	20～24歳	250	4.4	8.0	△ 55.2	11.6	▽ 10.0	7.6	3.2	12.4	21.6
	25～29歳	267	4.5	11.6	43.1	17.2	17.2	5.6	0.7	16.1	34.4
	30～34歳	247	3.6	9.7	43.7	15.8	△ 20.2	4.5	2.4	13.3	36.0
	35～39歳	300	2.0	13.0	50.0	14.7	16.0	2.7	1.7	15.0	30.7
	40～44歳	319	4.4	12.5	46.7	15.0	15.0	5.6	0.6	16.9	30.0
結婚の有無	結婚している(既婚者)	715	3.6	△ 14.0	△ 51.9	14.1	▼ 11.9	▽ 3.4	1.1	17.6	26.0
	結婚していない(未婚者)	647	4.3	▽ 8.7	45.4	15.8	16.7	△ 7.0	2.2	13.0	32.5
	離別・死別している	71	1.4	7.0	▼ 28.2	16.9	▲ 39.4	7.0	-	8.4	56.3
本人の年収	収入はない	197	3.6	13.7	47.2	11.2	16.2	7.1	1.0	17.3	27.4
	100万未満	173	2.9	9.8	40.5	14.5	△ 21.4	△ 9.2	1.7	12.7	35.9
	100万以上200万未満	294	1.7	▼ 2.0	42.5	18.0	▲ 25.2	▲ 8.8	1.7	3.7	43.2
	200万以上300万未満	287	2.8	7.7	48.1	▲ 20.9	16.0	▽ 2.4	2.1	10.5	36.9
	300万以上400万未満	225	2.7	10.7	▲ 59.6	10.7	12.4	▽ 2.2	1.8	13.4	23.1
	400万以上500万未満	101	1.0	16.8	51.5	20.8	▽ 6.9	2.0	1.0	17.8	27.7
	500万以上600万未満	66	7.6	▲ 27.3	53.0	▽ 6.1	▼ -	4.5	1.5	34.9	6.1
	600万以上800万未満	53	▲ 15.1	▲ 47.2	35.8	▼ 1.9	▼ -	-	-	62.3	1.9
	800万以上	17	▲ 41.2	17.6	35.3	5.9	-	-	-	58.8	5.9

(3) 結婚生活をスタートさせるために必要な夫婦の世帯年収

結婚生活をスタートさせるために必要と思う夫婦の世帯年収では「400万」(26.5%)が最も高く、「500万」(24.1%)と合わせて全体の50.6%が400万～500万程度を想定している。平均金額は509.2万円である。

図表－18 問7 あなたが結婚生活をスタートさせるにあたって、必要だと思う夫婦の世帯年収は
いくらぐらいだと思いますか。あてはまる金額に○をつけてください。(○は1つ)



【属性別傾向】

<性別>

平均金額は男性が 505.1 万円、女性が 512.8 万円で、大きな違いは見られない。

<年齢別>

年齢による違いはほとんど見られないが、最も若い 20～24 歳では 4 人に 1 人が「わからない」(24.8%) と回答している。

<結婚の有無別>

既婚者では「400 万」(31.9%) が未婚者 (20.7%) を 11.2 ポイント上回っている。

未婚者では「わからない」(23.3%) が既婚者 (11.6%) を 11.7 ポイント上回っている。

<年収別>

いずれの年収でも 5 割前後が 400 万～500 万ぐらいを想定している。

図表－19 問7 あなたが結婚生活をスタートさせるにあたって、必要だと思う夫婦の世帯年収は
いくらぐらいだと思いますか。あてはまる金額に○をつけてください。(○は1つ)(属性別)

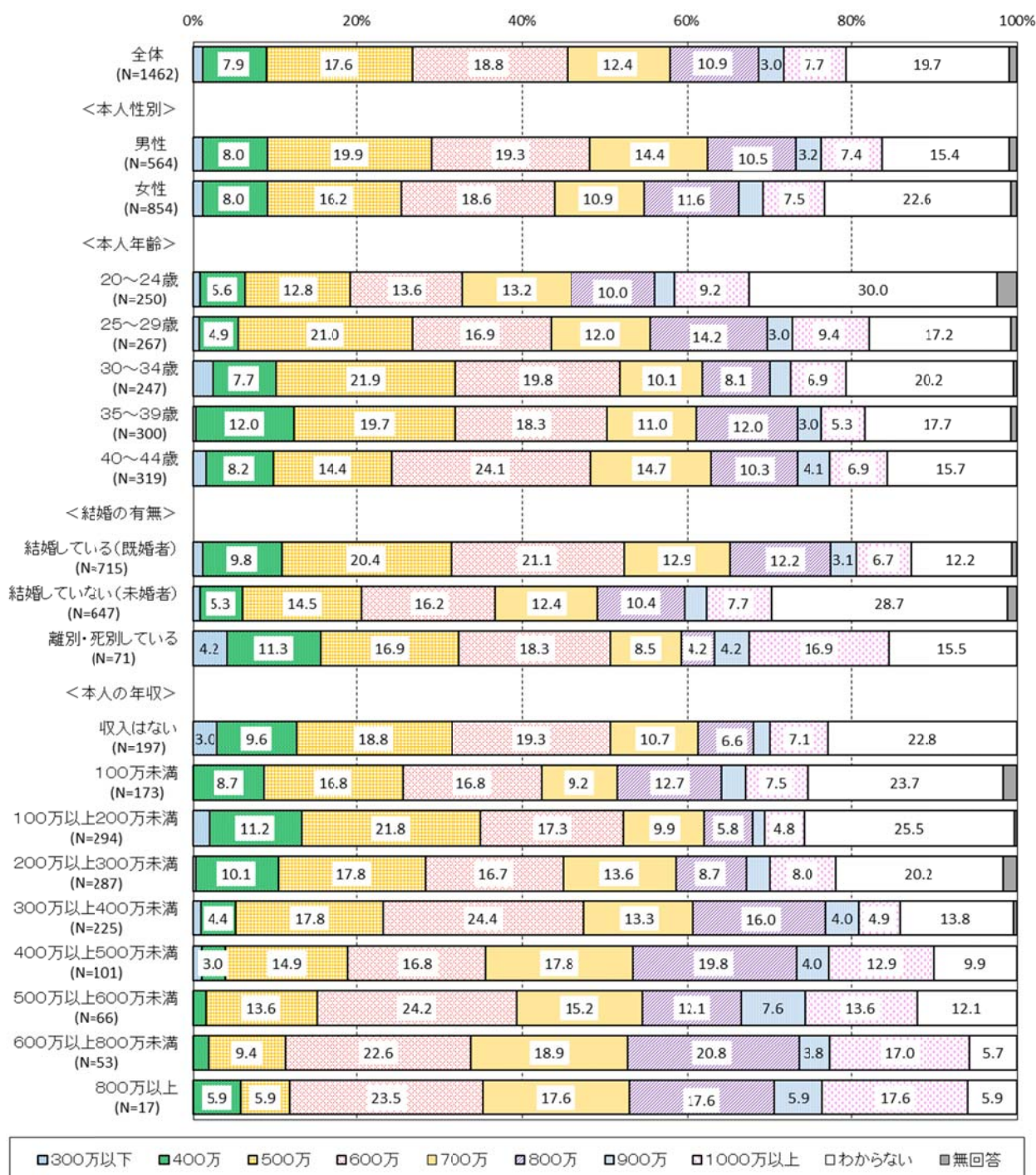
		サンプル 数	結婚生活をスタートさせる際に必要だと思う夫婦の世帯年収										平均金額 (万円)
			300万以下	400万	500万	600万	700万	800万	900万	1000万以上	わからない	無回答	
全体		1462	6.2	26.5	24.1	13.5	5.7	4.5	0.5	1.2	17.0	0.9	509.2
本 人 性	男性	564	6.2	27.8	24.6	14.5	4.8	4.6	0.5	0.9	15.1	0.9	505.1
	女性	854	5.9	25.8	24.1	12.8	6.3	4.6	0.6	1.3	18.0	0.7	512.8
本 人 年 齢	20～24歳	250	4.0	▼ 17.2	25.6	12.8	7.6	4.4	0.8	0.4	▲ 24.8	△ 2.4	529.1
	25～29歳	267	3.7	29.2	22.1	15.7	5.2	5.2	1.1	1.5	15.7	0.4	520.5
	30～34歳	247	8.5	27.5	23.9	12.6	6.9	3.2	—	—	17.0	0.4	489.7
	35～39歳	300	7.0	28.0	24.3	15.0	4.0	5.3	—	1.7	13.7	1.0	506.3
	40～44歳	319	7.8	28.8	24.8	11.6	4.4	5.0	0.9	1.3	15.4	—	501.1
結 婚 の 有 無	結婚している(既婚者)	715	△ 8.4	▲ 31.9	24.5	13.4	4.2	3.9	0.4	1.0	▼ 11.6	0.7	490.3
	結婚していない(未婚者)	647	▼ 3.4	▼ 20.7	23.5	14.1	7.3	5.1	0.6	1.1	▲ 23.3	0.9	532.0
	離別・死別している	71	7.0	28.2	26.8	7.0	5.6	7.0	1.4	2.8	14.1	—	519.7
本 人 の 年 収	収入はない	197	6.6	28.9	22.3	11.7	4.1	4.1	—	1.0	21.3	—	493.5
	100万未満	173	8.1	25.4	23.7	11.6	5.8	▽ 1.2	0.6	1.2	20.2	△ 2.3	491.0
	100万以上200万未満	294	8.2	△ 33.0	22.4	▽ 8.8	3.4	▽ 2.0	0.3	1.0	20.4	0.3	473.4
	200万以上300万未満	287	5.2	25.8	21.6	15.7	6.3	5.2	0.3	—	18.5	1.4	511.3
	300万以上400万未満	225	4.9	▽ 20.4	28.4	▲ 20.4	7.6	4.9	0.4	1.3	▽ 11.1	0.4	532.2
	400万以上500万未満	101	5.0	24.8	26.7	15.8	5.9	6.9	1.0	3.0	10.9	—	536.7
	500万以上600万未満	66	4.5	31.8	18.2	12.1	6.1	▲ 15.2	1.5	1.5	9.1	—	546.7
	600万以上800万未満	53	3.8	18.9	▲ 39.6	13.2	9.4	7.5	1.9	1.9	▽ 3.8	—	547.1
	800万以上	17	11.8	11.8	35.3	11.8	5.9	11.8	—	5.9	5.9	—	556.3

(4) 希望する子どもの人数を育てるために最低限必要な世帯年収

希望する子どもの人数を育てるのに最低限必要な世帯年収では、「600万」(18.8%)が最も高く、次が「500万」(17.6%)で、「700万」(12.4%)までを合わせた500万～700万程度を想定している人が48.8%を占めている。

平均金額は647.0万円である。

図表-20 問8 あなたが希望する子どもの人数を育てるのに、最低限必要だと思う世帯年収は
いくらぐらいだと思いますか。あてはまる金額に○をつけてください。(○は1つ)



【属性別傾向】

<性別>

平均金額は男性が 642.6 万円、女性が 649.0 万円で、大きな違いは見られない。

<年齢別>

最も若い 20～24 歳では「わからない」(30.0%) が全体を 10.3 ポイント上回っている。

他の年齢に比べて 35～39 歳では「400 万」(12.0%) の割合が高く、40～44 歳では「600 万」(24.1%) の割合が高い。

<結婚の有無別>

既婚者は「600 万」が 21.1%、「500 万」が 20.4%となっており、500 万～600 万程度を想定している割合が高い。

未婚者は「わからない」(28.7%) が既婚者 (12.2%) を 16.5 ポイント上回っている。

<子どもの有無と子どもの人数別>

子どもがいる人は「600 万」が 20.6%、「500 万」が 19.8%となっており、500 万～600 万程度を想定している割合が高い。

実際の子どもの人数別では大きな違いは見られない。

<年収別>

100 万以上 200 万未満では「わからない」(25.5%) が全体を 5.8 ポイント上回っている。

平均金額は年収 400 万以上で 700 万を超えており、最も高いのは「600 万以上 800 万未満」の 734.0 万円である。

図表－21 問8 あなたが希望する子どもの人数を育てるのに、最低限必要だと思う世帯年収はいくらぐらいだと思いますか。あてはまる金額に○をつけてください。(属性別)

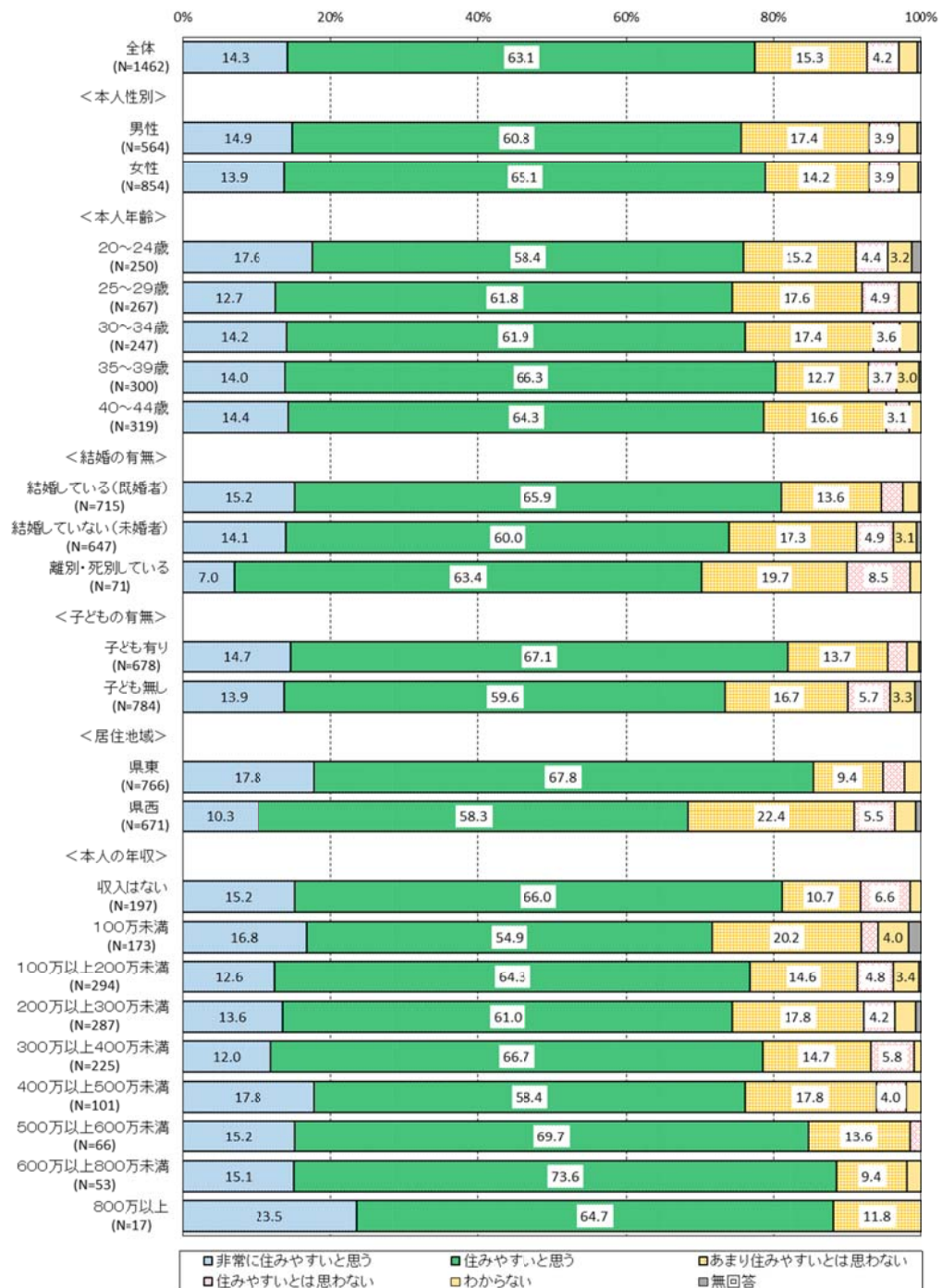
		サンプル数	希望する子どもの人数を育てるのに最低限必要だと思う世帯年収										平均金額(万円)
			300万以下	400万	500万	600万	700万	800万	900万	1000万以上	わからない	無回答	
全体		1462	1.1	7.9	17.6	18.8	12.4	10.9	3.0	7.7	19.7	0.9	647.0
性 別	男性	564	1.1	8.0	19.9	19.3	14.4	10.5	3.2	7.4	▽ 15.4	0.9	642.6
	女性	854	1.1	8.0	16.2	18.6	10.9	11.6	2.9	7.5	△ 22.6	0.7	649.0
本 人 年 齢	20～24歳	250	0.8	5.6	▽ 12.8	▽ 13.6	13.2	10.0	2.4	9.2	▲ 30.0	△ 2.4	675.1
	25～29歳	267	0.7	4.9	21.0	16.9	12.0	14.2	3.0	9.4	17.2	0.7	665.8
	30～34歳	247	△ 2.4	7.7	21.9	19.8	10.1	8.1	2.4	6.9	20.2	0.4	620.9
	35～39歳	300	0.3	▲ 12.0	19.7	18.3	11.0	12.0	3.0	5.3	17.7	0.7	625.3
	40～44歳	319	1.6	8.2	14.4	△ 24.1	14.7	10.3	4.1	6.9	15.7	–	647.2
結 婚 の 有 無	結婚している(既婚者)	715	1.1	9.8	△ 20.4	21.1	12.9	12.2	3.1	6.7	▼ 12.2	0.6	634.3
	結婚していない(未婚者)	647	0.8	▽ 5.3	▽ 14.5	16.2	12.4	10.4	2.9	7.7	▲ 28.7	1.1	664.8
	離別・死別している	71	△ 4.2	11.3	16.9	18.3	8.5	4.2	4.2	▲ 16.9	15.5	–	653.3
の 子 ど も 有 無	子ども有り	678	1.5	△ 10.3	19.8	20.6	12.2	11.4	3.2	7.4	▼ 13.0	0.6	634.0
	子ども無し	784	0.8	▽ 5.9	15.7	17.2	12.5	10.5	2.8	8.0	▲ 25.5	1.1	660.3
子 ども の 人 数	1人	183	1.6	11.5	19.7	25.7	7.7	11.5	1.6	8.2	12.0	0.5	623.8
	2人	301	1.3	9.0	20.6	18.9	15.3	12.0	3.7	6.3	12.6	0.3	637.8
	3人	162	1.9	11.7	17.9	19.8	11.7	10.5	3.7	8.0	13.6	1.2	634.1
	4人以上	32	–	9.4	21.9	12.5	12.5	9.4	6.3	9.4	18.8	–	657.7
本 人 の 年 収	収入はない	197	▲ 3.0	9.6	18.8	19.3	10.7	6.6	2.0	7.1	22.8	–	614.5
	100万未満	173	–	8.7	16.8	16.8	9.2	12.7	2.9	7.5	23.7	1.7	652.7
	100万以上200万未満	294	2.0	△ 11.2	21.8	17.3	9.9	▼ 5.8	1.4	4.8	△ 25.5	0.3	592.2
	200万以上300万未満	287	0.3	10.1	17.8	16.7	13.6	8.7	2.8	8.0	20.2	1.7	641.5
	300万以上400万未満	225	0.9	4.4	17.8	△ 24.4	13.3	△ 16.0	4.0	4.9	▽ 13.8	0.4	655.4
	400万以上500万未満	101	1.0	3.0	14.9	16.8	17.8	▲ 19.8	4.0	12.9	▽ 9.9	–	707.7
	500万以上600万未満	66	–	1.5	13.6	24.2	15.2	12.1	△ 7.6	13.6	12.1	–	713.8
	600万以上800万未満	53	–	1.9	9.4	22.6	18.9	△ 20.8	3.8	△ 17.0	▽ 5.7	–	734.0
	800万以上	17	–	5.9	5.9	23.5	17.6	17.6	5.9	17.6	5.9	–	731.3

3. 地域とのかかわりについて

(1) 現在住んでいる地域の住みやすさ

現在住んでいる地域について「非常に住みやすいと思う」(14.3%)、「住みやすいと思う」(63.1%)を合わせた『住みやすい』という評価は77.4%、「あまり住みやすいとは思わない」(15.3%)、「住みやすいとは思わない」(4.2%)を合わせた『住みやすくない』という評価は19.5%である。

図表-22 問9 あなたがお住まいの地域についてどのように思われますか。(〇は1つ)



【属性別傾向】

<性別>

男女とも『住みやすい』という評価が7割を超えており、性別による違いは見られない。

<年齢別>

年齢にかかわらず『住みやすい』という評価が7割を超えており、年齢による違いは見られない。

<結婚の有無別>

『住みやすい』という評価は既婚者（81.1%）が未婚者（74.1%）を7.0ポイント上回っている。

<子どもの有無別>

『住みやすい』という評価は子どもがいる人（81.8%）がいない人（73.5%）を8.3ポイント上回っている。

<居住地域別>

『住みやすい』という評価は、県東居住者（85.6%）が県西居住者（68.6%）を17.0ポイント上回っている。

<居住歴別>

ずっと住み続けている人も他市町や県外からの転入者も『住みやすい』という評価が7割を超えており、居住歴による大きな違いは見られない。

<本人の年収別>

『住みやすい』という評価は、収入がない人（81.2%）で8割を超えている。

図表－23 問9 あなたがお住まいの地域についてどのように思われますか。(属性別)

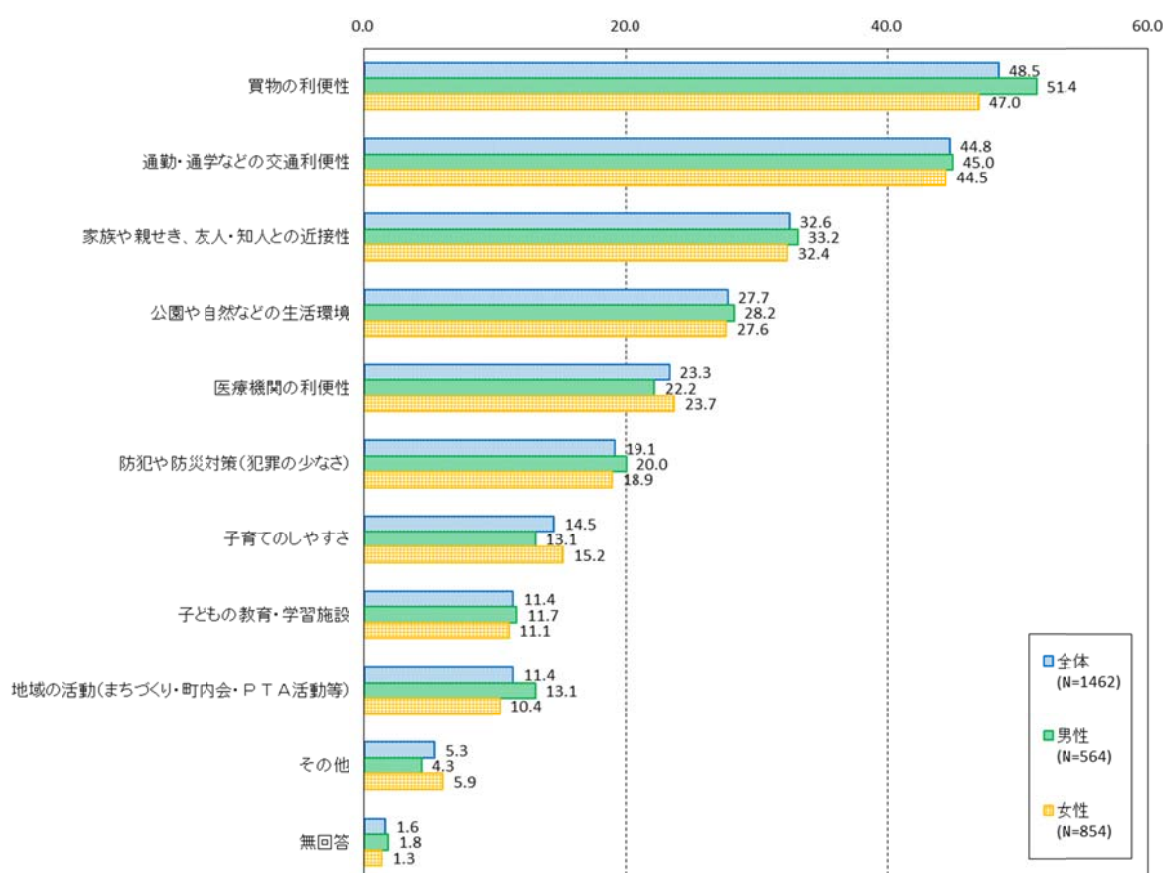
		サンプル 数	あなたがお住まいの地域についてどのように思われますか						住みやす いと思う 割合	住みやす くないと 思う割合
			非常に住 みやすいと 思う	住みやす いと思う	あまり住み やすいとは思 わない	住みやす いとは思わ ない	わからない	無回答		
全体		1462	14.3	63.1	15.3	4.2	2.5	0.5	77.4	19.5
性 別 人	男性	564	14.9	60.8	17.4	3.9	2.5	0.5	75.7	21.3
	女性	854	13.9	65.1	14.2	3.9	2.6	0.4	79.0	18.1
本 人 年 齢	20～24歳	250	17.6	58.4	15.2	4.4	3.2	1.2	76.0	19.6
	25～29歳	267	12.7	61.8	17.6	4.9	2.6	0.4	74.5	22.5
	30～34歳	247	14.2	61.9	17.4	3.6	2.4	0.4	76.1	21.0
	35～39歳	300	14.0	66.3	12.7	3.7	3.0	0.3	80.3	16.4
	40～44歳	319	14.4	64.3	16.6	3.1	1.6	－	78.7	19.7
結 婚 の 有 無	結婚している(既婚者)	715	15.2	65.9	13.6	2.9	2.1	0.3	81.1	16.5
	結婚していない(未婚者)	647	14.1	60.0	17.3	4.9	3.1	0.6	74.1	22.2
	離別・死別している	71	7.0	63.4	19.7	8.5	1.4	－	70.4	28.2
子 有 ど 無 も の	子ども有り	678	14.7	△ 67.1	13.7	▽ 2.5	1.6	0.3	81.8	16.2
	子ども無し	784	13.9	▽ 59.6	16.7	△ 5.7	3.3	0.8	73.5	22.4
居 住 地 域	県東	766	▲ 17.8	▲ 67.8	▼ 9.4	2.9	2.2	▽ ー	85.6	12.3
	県西	671	▼ 10.3	▽ 58.3	▲ 22.4	5.5	2.8	0.7	68.6	27.9
居 住 歴	生まれてからずっと同じ市町 に住んでいる	697	14.2	62.0	16.4	3.9	3.0	0.6	76.2	20.3
	県内の他の市町から転入し てきた	388	14.9	63.9	13.9	4.6	2.3	0.3	78.8	18.5
	県外の都道府県から転入し てきた	361	13.6	65.1	15.0	4.4	1.7	0.3	78.7	19.4
本 人 の 年 収	収入はない	197	15.2	66.0	10.7	6.6	1.5	－	81.2	17.3
	100万未満	173	16.8	▽ 54.9	20.2	2.3	4.0	△ 1.7	71.7	22.5
	100万以上200万未満	294	12.6	64.3	14.6	4.8	3.4	0.3	76.9	19.4
	200万以上300万未満	287	13.6	61.0	17.8	4.2	2.8	0.7	74.6	22.0
	300万以上400万未満	225	12.0	66.7	14.7	5.8	0.9	－	78.7	20.5
	400万以上500万未満	101	17.8	58.4	17.8	4.0	2.0	－	76.2	21.8
	500万以上600万未満	66	15.2	69.7	13.6	1.5	－	－	84.9	15.1
	600万以上800万未満	53	15.1	73.6	9.4	－	1.9	－	88.7	9.4
	800万以上	17	23.5	64.7	11.8	－	－	－	88.2	11.8

(2) 住みやすさの評価理由

現在住んでいる地域の評価理由では「買物の利便性」(48.5%)が最も高く、次いで「通勤・通学などの交通利便性」(44.8%)、「家族や親せき、友人・知人との近接性」(32.6%)、「公園や自然などの生活環境」(27.7%)、「医療機関の利便性」(23.3%)などが続いている。

その他として、「特に不便を感じたことがないから。」「生まれ育った町だから。」といった回答(意見)があった。

図表-24 問 10 あなたがそう思われる理由は何でしょうか。あてはまるものを3つ選んでください。
(〇は3つまで)



【属性別傾向】

<性別>

男女とも「買物の利便性」、「通勤・通学などの交通利便性」を1位、2位にあげており、性別による大きな違いは見られない。

<年齢別>

年齢にかかわらず「買物の利便性」、「通勤・通学などの交通利便性」を1位、2位にあげている。35～39歳は他の年齢に比べて「子育てのしやすさ」(19.0%)や「地域の活動（まちづくり・町内会・PTA活動等）」(16.3%)を評価する割合が高い一方で、「公園や自然などの生活環境」(22.0%)を評価する割合は低い。

<結婚の有無別>

結婚の有無にかかわらず「買物の利便性」、「通勤・通学などの交通利便性」を1位、2位にあげている。既婚者は全体に比べて「子育てのしやすさ」(21.7%)、「子どもの教育・学習施設」(14.3%)の割合が高い。

<子どもの有無別>

子どもの有無にかかわらず「買物の利便性」、「通勤・通学などの交通利便性」を1位、2位にあげている。子どもがいる人はいない人に比べて「子育てのしやすさ」(23.0%)、「子どもの教育・学習施設」(14.9%)の割合が高い。

<居住地域別>

居住地域別に見ると、県東居住者は県西居住者に比べて「買物の利便性」(52.5%)、「通勤・通学などの交通利便性」(51.4%)の割合が高く、「買物の利便性」は県西居住者を8.5ポイント、「通勤・通学などの交通利便性」は13.8ポイント上回っている。

県西居住者は、県東居住者に比べて「家族や親せき、友人・知人との近接性」(37.3%)、「地域の活動（まちづくり・町内会・PTA活動等）」(13.9%)の割合が高い。

<居住歴別>

居住歴にかかわらず「買物の利便性」、「通勤・通学などの交通利便性」を1位、2位にあげている。

生まれてからずっと同じ市町に住んでいる人は「家族や親せき、友人・知人との近接性」(39.3%)が全体を6.7ポイント上回っている。

県内他市町からの転入者は「通勤・通学などの交通利便性」(50.8%)が全体を6.0ポイント、「医療機関の利便性」(28.4%)が全体を5.1ポイント上回っており、「家族や親せき、友人・知人との近接性」(27.1%)は全体を5.5ポイント下回っている。

図表－25 問 10 あなたがそう思われる理由は何でしょうか。(属性別)

		サンプル 数	あなたがそう思われる理由は何でしょうか										
			子育てのしやすさ	子どもの教育・学習施設	通勤・通学などの交通利便性	医療機関の利便性	買物の利便性	防犯や防災対策(犯罪の少なさ)	家族や親せき、友人・知人との近接性	地域の活動(まちづくり・町内会・PTA活動等)	公園や自然などの生活環境	その他	無回答
全体		1462	14.5	11.4	44.8	23.3	48.5	19.1	32.6	11.4	27.7	5.3	1.6
本人性別	男性	564	13.1	11.7	45.0	22.2	51.4	20.0	33.2	13.1	28.2	4.3	1.8
	女性	854	15.2	11.1	44.5	23.7	47.0	18.9	32.4	10.4	27.6	5.9	1.3
本人年齢	20～24歳	250	▽ 8.8	8.8	43.6	19.2	48.0	17.2	37.2	9.6	26.8	6.8	2.8
	25～29歳	267	11.2	12.7	43.1	22.1	53.2	18.7	37.5	9.0	30.3	5.2	0.7
	30～34歳	247	15.0	8.9	43.7	25.1	51.4	17.4	34.4	8.9	31.6	▽ 2.4	2.0
	35～39歳	300	△ 19.0	12.7	45.3	23.3	48.0	19.0	29.3	▲ 16.3	▽ 22.0	7.7	1.0
	40～44歳	319	17.9	12.9	48.3	25.7	44.5	21.0	27.9	12.5	29.2	4.1	0.9
結婚の有無	結婚している(既婚者)	715	▲ 21.7	△ 14.3	43.5	25.2	47.3	17.8	34.1	12.7	27.1	4.8	▽ 0.7
	結婚していない(未婚者)	647	▼ 6.6	▼ 8.0	45.7	20.2	50.9	21.0	30.8	10.0	28.9	5.6	2.3
	離別・死別している	71	15.5	12.7	46.5	△ 33.8	45.1	18.3	33.8	8.5	25.4	8.5	1.4
子どもの有無	子ども有り	678	▲ 23.0	▲ 14.9	43.5	24.9	45.1	17.7	34.4	13.7	26.7	4.9	▽ 0.6
	子ども無し	784	▼ 7.1	▼ 8.3	45.9	21.9	51.4	20.3	31.0	9.3	28.6	5.7	△ 2.6
居住地域	県東	766	13.6	10.4	▲ 51.4	▲ 27.3	△ 52.5	18.7	▽ 28.2	9.5	27.0	4.4	1.0
	県西	671	15.9	12.5	▼ 37.6	▼ 18.8	▽ 44.0	20.0	▲ 37.3	△ 13.9	28.9	6.3	1.8
居住歴	生まれてからずっと同じ市町に住んでいる	697	▽ 11.8	9.9	▽ 40.7	21.1	45.2	20.5	▲ 39.3	11.2	28.3	6.2	1.9
	県内の他の市町から転入してきた	388	16.0	13.9	△ 50.8	△ 28.4	52.6	16.0	▽ 27.1	12.4	26.5	4.1	1.0
	県外の都道府県から転入してきた	361	18.0	11.9	46.0	23.0	50.7	19.4	▼ 25.8	11.1	28.5	5.3	1.1

※複数回答

【問 10 評価の理由×問 9 住みやすさの評価】

自分が住んでいる地域について、「非常に住みやすい」と評価する人は、他の層に比べて「子育てのしやすさ」（22.0%）、「地域の活動」（15.8%）を評価する割合が高い。

「住みやすい」と評価する人は他の層に比べて「公園や自然などの生活環境」（31.2%）、「防犯や防災対策」（24.2%）、「家族や親せき、友人・知人との近接性」（39.8%）を評価する割合が高い。

「あまり住みやすいとは思わない」と評価する人は、他の層に比べて「交通利便性」（53.1%）、「医療機関の利便性」（29.0%）、「子どもの教育・学習施設」（23.7%）を住みやすいとは思わない割合が高い。

図表－26 問 10 評価の理由×問9住みやすさの評価

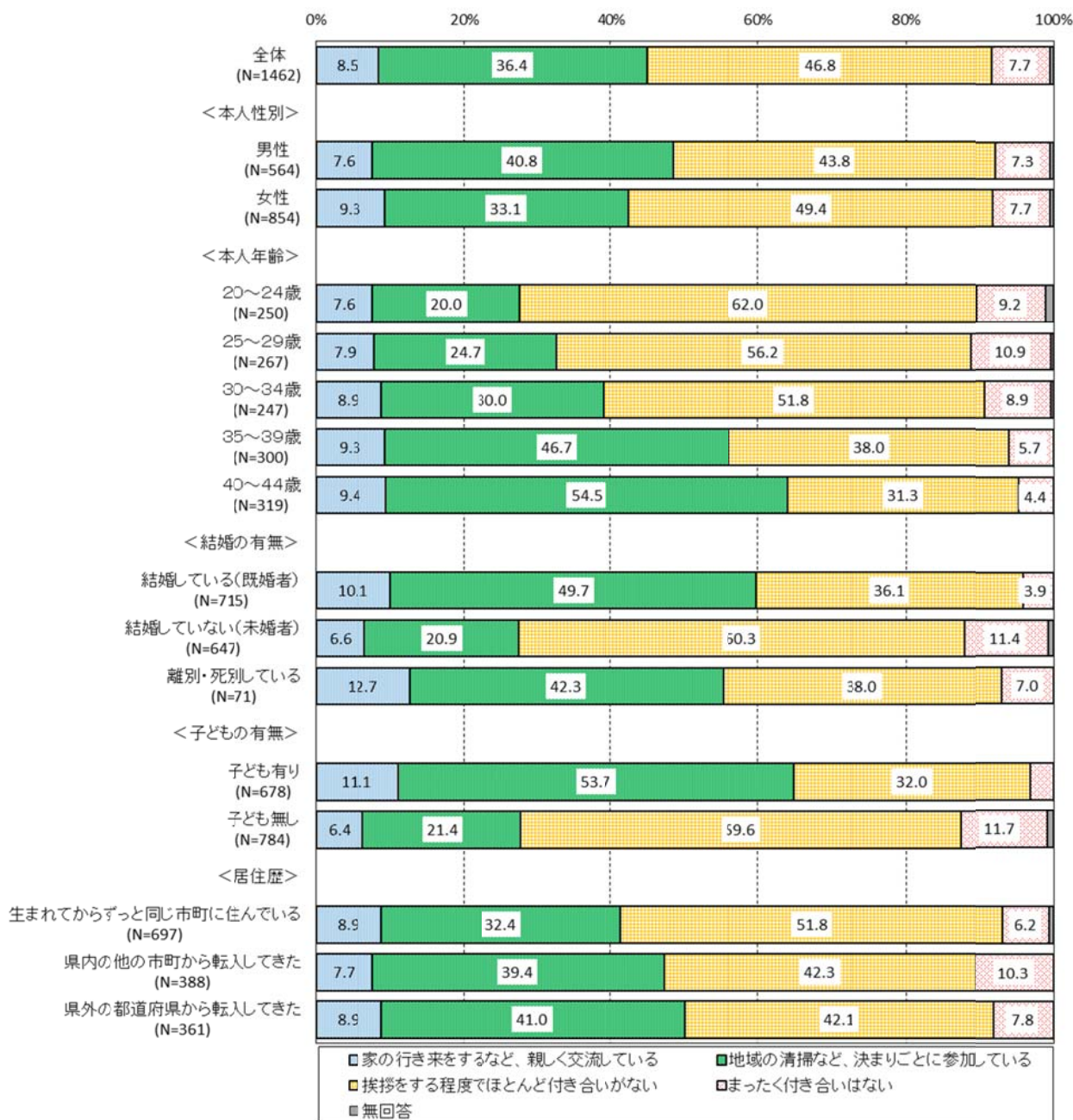
		サンプル 数	あなたがそう思われる理由は何でしょうか										
			子育てのしやすさ	子どもの教育・学習施設	通勤・通学などの交通利便性	医療機関の利便性	買物の利便性	防犯や防災対策(犯罪の少なさ)	家族や親せき、友人・知人との近接性	地域の活動(まちづくり・町内会・PTA活動等)	公園や自然などの生活環境	その他	無回答
合 計		1462	14.5	11.4	44.8	23.3	48.5	19.1	32.6	11.4	27.7	5.3	1.6
あなたが地域について	非常に住みやすいと思う	209	▲ 22.0	12.9	50.2	25.8	52.2	20.6	33.0	△ 15.8	30.6	▽ 1.4	0.5
	住みやすいと思う	922	14.9	▼ 7.8	42.6	21.6	47.1	▲ 24.2	▲ 39.8	▼ 8.4	△ 31.2	▼ 2.6	▼ 0.3
	あまり住みやすいとは思わない	224	10.7	▲ 23.7	△ 53.1	△ 29.0	53.1	▼ 4.0	▼ 12.5	▲ 17.0	▼ 19.2	▲ 11.2	0.9
	住みやすいとは思わない	62	▽ 4.8	16.1	48.4	25.8	59.7	▼ 4.8	▼ 11.3	▲ 22.6	▼ 6.5	▲ 29.0	-
	わからない	37	5.4	10.8	▼ 21.6	18.9	▼ 27.0	▽ 2.7	▽ 13.5	10.8	16.2	▲ 21.6	▲ 27.0

※複数回答

(3) 近所付き合いについて

近所付き合いの程度では「挨拶をする程度でほとんど付き合いがない」(46.8%)が最も高く、「地域の清掃など、決まりごとに参加している」が36.4%、「家の行き来をするなど、親しく交流している」が8.5%、「まったく付き合いはない」が7.7%となっており、どちらかというところと近所とのかかわりは薄いといえる。

図表-27 問 11 あなたはご近所との付き合いをどの程度されていますか。(〇は1つ)



【属性別傾向】

<性別>

男性は「地域の清掃など、決まりごとに参加している」（男性 40.8%、女性 33.1%）が女性よりも 7.7 ポイント高く、女性は「挨拶をする程度でほとんど付き合いがない」（女性 49.4%、男性 43.8%）が男性より 6.4 ポイント高くなっている。

<年齢別>

年齢が高くなるほど近所付き合いの度合いも深くなる傾向にあり、「挨拶をする程度でほとんど付き合いがない」は 20～24 歳が 62.0%、25～29 歳が 56.2%、30～34 歳が 51.8%と、35 歳未満で 5 割を超えているのに対して、35～39 歳では 38.0%、40～44 歳では 31.3%である。35 歳以上では「地域の清掃など、決まりごとに参加している」が「挨拶をする程度でほとんど付き合いがない」を上回り、最も高くなっている。

「家の行き来をするなど親しく交流している」の割合はいずれの年齢でも 1 割未満である。

<結婚の有無別>

既婚者では「地域の清掃など、決まりごとに参加している」が 49.7%で、「挨拶をする程度でほとんど付き合いがない」は 36.1%である。未婚者は「挨拶をする程度でほとんど付き合いがない」が 60.3%を占めている。

<子どもの有無別>

子どもがいる人は「地域の清掃など、決まりごとに参加している」が 53.7%を占め、「挨拶をする程度でほとんど付き合いがない」は 32.0%である。

子どもがいない人は「挨拶をする程度でほとんど付き合いがない」が 59.6%を占めている。

<居住地域別>

居住地域による違いは見られない。

<居住歴別>

生まれてからずっと同じ市町に住んでいる人は転入層に比べて、「挨拶をする程度でほとんど付き合いがない」（51.8%）の割合が高い。「地域の清掃など、決まりごとに参加している」は 32.4%である。

図表－28 問 11 あなたはご近所との付き合いをどの程度されていますか。(属性別)

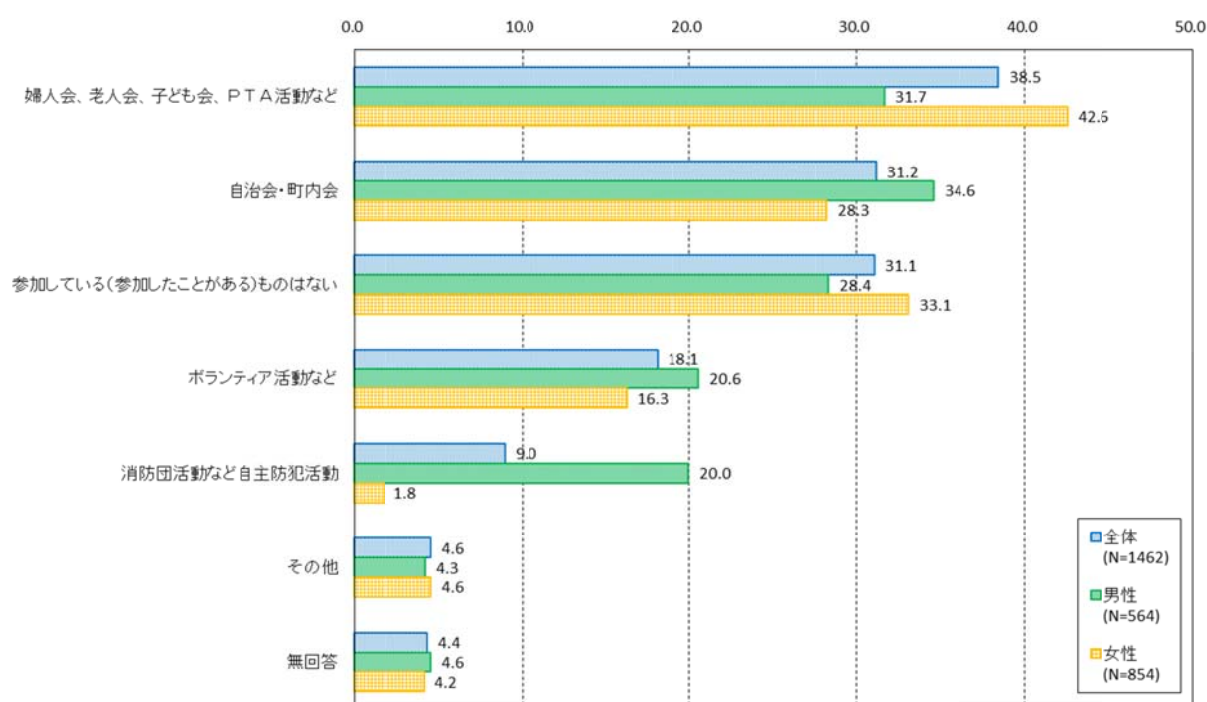
		サンプル 数	あなたはご近所との付き合いをどの程度されていますか				
			家の行き 来をするな ど、親しく 交流してい る	地域の清 掃など、決 まりごとに 参加してい る	挨拶をする 程度でほと んど付き 合いがな い	まったく付 き合いはな い	無回答
全体		1462	8.5	36.4	46.8	7.7	0.6
本人 性別	男性	564	7.6	△ 40.8	43.8	7.3	0.5
	女性	854	9.3	▽ 33.1	49.4	7.7	0.5
本人 年齢	20～24歳	250	7.6	▼ 20.0	▲ 62.0	9.2	1.2
	25～29歳	267	7.9	▼ 24.7	▲ 56.2	△ 10.9	0.4
	30～34歳	247	8.9	▽ 30.0	51.8	8.9	0.4
	35～39歳	300	9.3	▲ 46.7	▼ 38.0	5.7	0.3
	40～44歳	319	9.4	▲ 54.5	▼ 31.3	▽ 4.4	0.3
結 婚 の 有 無	結婚している(既婚者)	715	10.1	▲ 49.7	▼ 36.1	▼ 3.9	0.3
	結婚していない(未婚者)	647	6.6	▼ 20.9	▲ 60.3	▲ 11.4	0.8
	離別・死別している	71	12.7	42.3	38.0	7.0	－
子 ど も の 有 無	子ども有り	678	△ 11.1	▲ 53.7	▼ 32.0	▼ 2.9	0.3
	子ども無し	784	▽ 6.4	▼ 21.4	▲ 59.6	▲ 11.7	0.9
居 住 地 域	県東	766	7.8	36.2	48.3	7.6	0.1
	県西	671	9.5	37.0	45.3	7.5	0.7
居 住 歴	生まれてからずっと同じ市町 に住んでいる	697	8.9	▽ 32.4	▲ 51.8	6.2	0.7
	県内の他の市町から転入し てきた	388	7.7	39.4	42.3	△ 10.3	0.3
	県外の都道府県から転入し てきた	361	8.9	41.0	42.1	7.8	0.3

（４）参加したことがある地域活動

参加したことがある地域活動では「婦人会、老人会、子ども会、ＰＴＡ活動など」(38.5%)が最も高く、次いで「自治会・町内会」(31.2%)、「参加している（参加したことがある）ものはない」(31.1%)、「ボランティア活動など」(18.1%)が続いている。

その他として、「清掃、清掃活動、川掃除、草むしり、クリーン活動」、「運動会、体育会」といった回答（意見）があった。

図表－29 問 12 あなたがお住まいの地域の地域活動のうち、あなたが参加したことがあるものは何でしょうか。あてはまるものをすべて選んでください。（〇はいくつでも）



【属性別傾向】

<性別>

男性は女性に比べて「消防団活動など自主防犯活動」（男性 20.0%、女性 1.8%）が高い。
女性に比べて「婦人会、老人会、子ども会、ＰＴＡ活動など」（女性 42.6%、男性 31.7%）への参加度が高い。

<年齢別>

「自治会・町内会」「婦人会、老人会、子ども会、ＰＴＡ活動など」は年齢が高くなるほど参加度も高くなる傾向にあり、「自治会・町内会」は40～44歳の51.1%、「婦人会、老人会、子ども会、ＰＴＡ活動など」は35～39歳の50.3%、40～44歳の57.4%に参加経験がある。

「ボランティア活動など」は他の年齢に比べて20～24歳の参加度が高く、24.0%に参加経験がある。

<結婚の有無別>

既婚者は、「婦人会、老人会、子ども会、P T A活動など」に 51.2%、「自治会・町内会」に 42.1%の参加経験がある。

未婚者では「参加している（参加したことがある）ものはない」が 40.6%を占めている。

<子どもの有無別>

子どもがいる人では、「婦人会、老人会、子ども会、P T A活動など」は 57.7%、「自治会・町内会」は 44.4%に参加経験がある。

子どもがいない人では「参加している（参加したことがある）ものはない」が 41.5%である。

<居住地域別>

「消防団活動など自主防犯活動」は県西居住者（11.8%）が県東居住者（6.8%）を 5.0 ポイント上回っている。

<居住歴別>

生まれてからずっと同じ市町に住んでいる人は、転入層に比べて「消防団活動など自主防犯活動」（12.3%）の参加度が高く、「自治会・町内会」（26.0%）の参加度が低い。県外からの転入層は「自治会・町内会」（39.1%）が全体を 7.9 ポイント上回っている。

図表－30 問 12 あなたがお住まいの地域の地域活動のうち、あなたが参加したことがあるものは何でしょうか。(属性別)

		サンプル 数	お住まいの地域の地域活動で、あなたが参加したことがあるもの						
			自治会・町 内会	婦人会、老 人会、子ど も会、PTA 活動など	ボランティ ア活動など	消防団活 動など自 主防犯活 動	参加してい る(参加し たことがある) ものはない	その他	無回答
全体		1462	31.2	38.5	18.1	9.0	31.1	4.6	4.4
本人性別	男性	564	34.6	▼ 31.7	20.6	▲ 20.0	28.4	4.3	4.6
	女性	854	28.3	△ 42.6	16.3	▼ 1.8	33.1	4.6	4.2
本人年齢	20～24歳	250	▼ 16.4	▼ 29.2	△ 24.0	▼ 4.0	▲ 39.2	3.6	△ 7.6
	25～29歳	267	▼ 21.3	▼ 21.0	17.2	9.0	▲ 43.8	5.6	3.4
	30～34歳	247	▼ 21.5	▼ 25.1	18.2	10.1	▲ 40.5	5.3	5.3
	35～39歳	300	▲ 39.7	▲ 50.3	▽ 13.7	11.7	▼ 22.3	4.0	3.7
	40～44歳	319	▲ 51.1	▲ 57.4	17.6	10.7	▼ 17.6	4.4	2.2
結婚の有無	結婚している(既婚者)	715	▲ 42.1	▲ 51.2	16.1	11.0	▼ 23.2	4.3	▼ 2.1
	結婚していない(未婚者)	647	▼ 19.0	▼ 22.9	20.2	7.0	▲ 40.6	4.2	▲ 7.3
	離別・死別している	71	31.0	△ 52.1	18.3	7.0	25.4	7.0	1.4
子どもの有無	子ども有り	678	▲ 44.4	▲ 57.7	16.7	11.1	▼ 19.0	4.3	▼ 1.3
	子ども無し	784	▼ 19.8	▼ 21.9	19.3	7.1	▲ 41.5	4.8	▲ 7.1
居住地域	県東	766	33.3	36.6	16.4	▽ 6.8	32.1	4.0	4.6
	県西	671	28.9	41.0	19.8	△ 11.8	30.0	4.9	3.9
居住歴	生まれてからずっと同じ市町に住んでいる	697	▼ 26.0	35.3	19.8	▲ 12.3	31.0	4.2	4.7
	県内の他の市町から転入してきた	388	33.5	41.2	15.7	▽ 5.4	31.7	5.7	4.1
	県外の都道府県から転入してきた	361	▲ 39.1	42.1	17.7	6.4	30.5	3.9	3.3

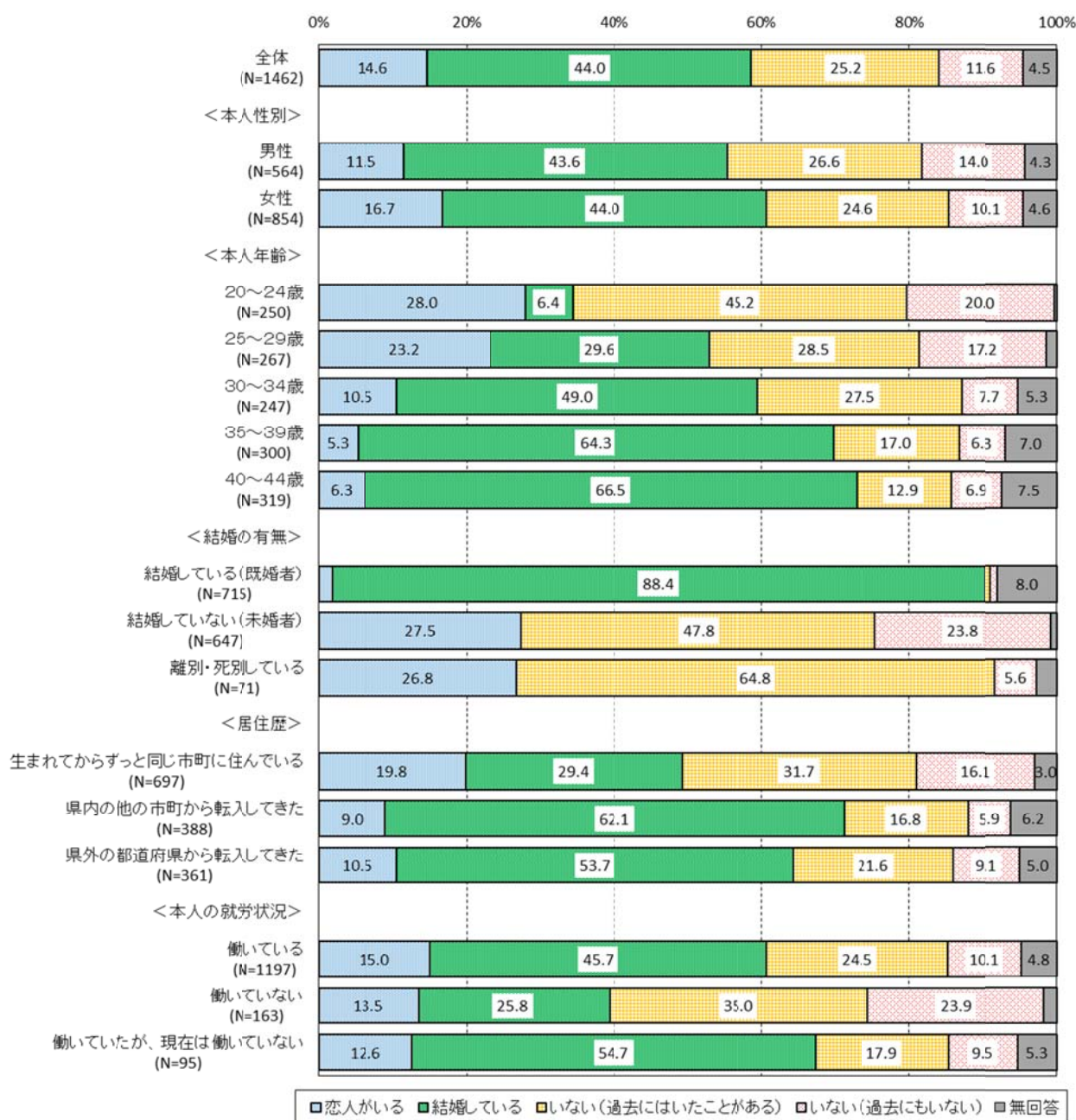
※複数回答

4. 出会いや結婚観について

(1) 現在付き合っている特定の異性（恋人）の有無

「特定の異性（恋人）がいる」が14.6%、「結婚している」が44.0%、「いない（過去にはいたことがある）」が25.2%、「いない（過去にもいない）」が11.6%と、現在付き合っている特定の異性（恋人）がいない人は全体の36.8%である。

図表-31 問 13 あなたは現在、おつき合っている特定の異性(恋人)がいますか。(〇は1つ)



【属性別傾向】

<性別>

「特定の異性（恋人）がいる」（女性 16.7%、男性 11.5%）は男性より女性の方が高い。現在付き合っている特定の異性（恋人）がいない人の割合は、男性が 40.6%、女性が 34.7%で、男性の方が高い。

<年齢別>

現在付き合っている特定の異性（恋人）がいない人の割合は、最も若い 20～24 歳で 65.2%に達し、25～29 歳が 45.7%、30～34 歳が 35.2%となっている。

「いない（過去にもいない）」は最も若い 20～24 歳が 20.0%で、30 歳以上では 1 割を切っている。

35 歳～39 歳では既婚者が 64.3%、40～44 歳では既婚者が 66.5%である。

<結婚の有無別>

未婚者のうち 23.8%が「いない（過去にもいない）」と回答しており、「いない（過去にはいたことがある）」（47.8%）を合わせると、未婚者の 71.6%が現時点で付き合っている特定の異性（恋人）がいないと回答している。

<居住歴別>

既婚者（「結婚している」の回答者）の割合は、県内他市町からの転入者が 62.1%、県外からの転入者が 53.7%である。

同じ市町に住み続けている人では「いない（過去にはいたことがある）」（31.7%）、「いない（過去にもいない）」（16.1%）を合わせて、現時点でつき合っている特定の異性（恋人）がいない人の割合は 47.8%である。

<本人の就労状況別>

既婚者（「結婚している」の回答者）の割合は、就労者が 45.7%、働いていない人が 25.8%である。

働いていない人では「いない（過去にはいたことがある）」（35.0%）、「いない（過去にもいない）」（23.9%）を合わせて、現時点でつき合っている特定の異性（恋人）がいない人の割合が 58.9%である。

図表－32 問 13 あなたは現在、おつき合いしている特定の異性(恋人)がいますか。(属性別)

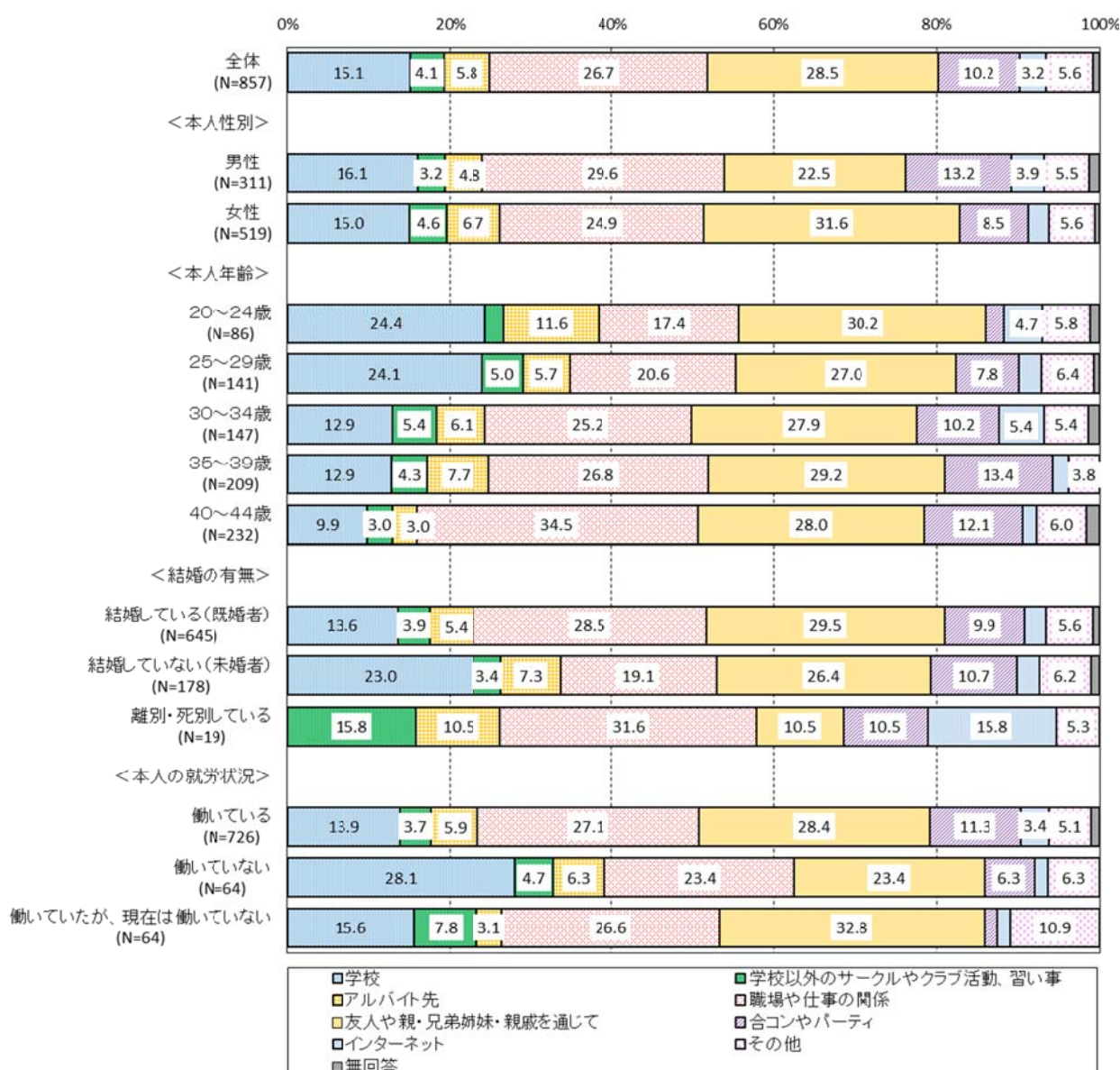
		サンプル 数	あなたは現在、おつき合いしている特定の異性(恋人)が いますか				
			恋人が いる	結婚して いる	いない(過 去にはい たことがあ る)	いない(過 去にもいな い)	無回答
全体		1462	14.6	44.0	25.2	11.6	4.5
本人 性別	男性	564	▽ 11.5	43.6	26.6	14.0	4.3
	女性	854	16.7	44.0	24.6	10.1	4.6
本人 年齢	20～24歳	250	▲ 28.0	▼ 6.4	▲ 45.2	▲ 20.0	▼ 0.4
	25～29歳	267	▲ 23.2	▼ 29.6	28.5	▲ 17.2	▽ 1.5
	30～34歳	247	10.5	49.0	27.5	7.7	5.3
	35～39歳	300	▼ 5.3	▲ 64.3	▼ 17.0	▼ 6.3	△ 7.0
	40～44歳	319	▼ 6.3	▲ 66.5	▼ 12.9	▼ 6.9	▲ 7.5
結 婚 の 有 無	結婚している(既婚者)	715	▼ 1.8	▲ 88.4	▼ 0.8	▼ 1.0	▲ 8.0
	結婚していない(未婚者)	647	▲ 27.5	▼ -	▲ 47.8	▲ 23.8	▼ 0.9
	離別・死別している	71	▲ 26.8	▼ -	▲ 64.8	5.6	2.8
居 住 歴	生まれてからずっと同じ市町 に住んでいる	697	▲ 19.8	▼ 29.4	▲ 31.7	▲ 16.1	3.0
	県内の他の市町から転入し てきた	388	▼ 9.0	▲ 62.1	▼ 16.8	▼ 5.9	6.2
	県外の都道府県から転入し てきた	361	▽ 10.5	▲ 53.7	21.6	9.1	5.0
就 労 状 況 本人の	働いている	1197	15.0	45.7	24.5	10.1	4.8
	働いていない	163	13.5	▼ 25.8	▲ 35.0	▲ 23.9	1.8
	働いていたが、現在は働い ていない	95	12.6	△ 54.7	17.9	9.5	5.3

(2) (恋人がいる、既婚者のみ) 現在の配偶者、恋人と知り合ったきっかけ

恋人がいるか既婚者である 857 人の現在の配偶者もしくは恋人と出会ったきっかけでは、「友人や親・兄弟姉妹・親戚を通じて」(28.5%) が最も高く、次いで「職場や仕事の関係」(26.7%)、「学校」(15.1%)、「合コンやパーティ」(10.2%) などが続いている。

その他として、「飲食店」、「友人や仲間の結婚式」といった回答(意見)があった。

図表-33 問 13 副問1 (恋人がいる・結婚している方に)あなたが、現在の配偶者、恋人と知り合ったきっかけは何でしょうか。(〇は1つ)



【属性別傾向】

＜性別＞

男性は女性に比べて「友人や親・兄弟姉妹・親戚を通じて」(男性 22.5%、女性 31.6%)の割合が低い。

<年齢別>

年齢が若くなるほど「学校」、「アルバイト先」の割合が高く、「合コンやパーティ」の割合が低くなる傾向にある。

「職場や仕事の関係」は年齢が高くなるほど高くなる傾向にあり、40～44歳では「職場や仕事の関係」（34.5％）が「友人や親・兄弟姉妹・親戚を通じて」（28.0％）を上回り、最も高い割合になっている。

<結婚の有無別>

結婚の有無にかかわらず「友人や親・兄弟姉妹・親戚を通じて」が最も高い割合となっている。

未婚者は全体に比べて「学校」（23.0％）の割合が高く、「職場や仕事の関係」（19.1％）の割合が低い。

<本人の就労状況別>

就労者では「友人や親・兄弟姉妹・親戚を通じて」（28.4％）が最も高く、ほぼ同率で「職場や仕事の関係」（27.1％）が続いている。

働いていない人は「学校」（28.1％）の割合が最も高い。

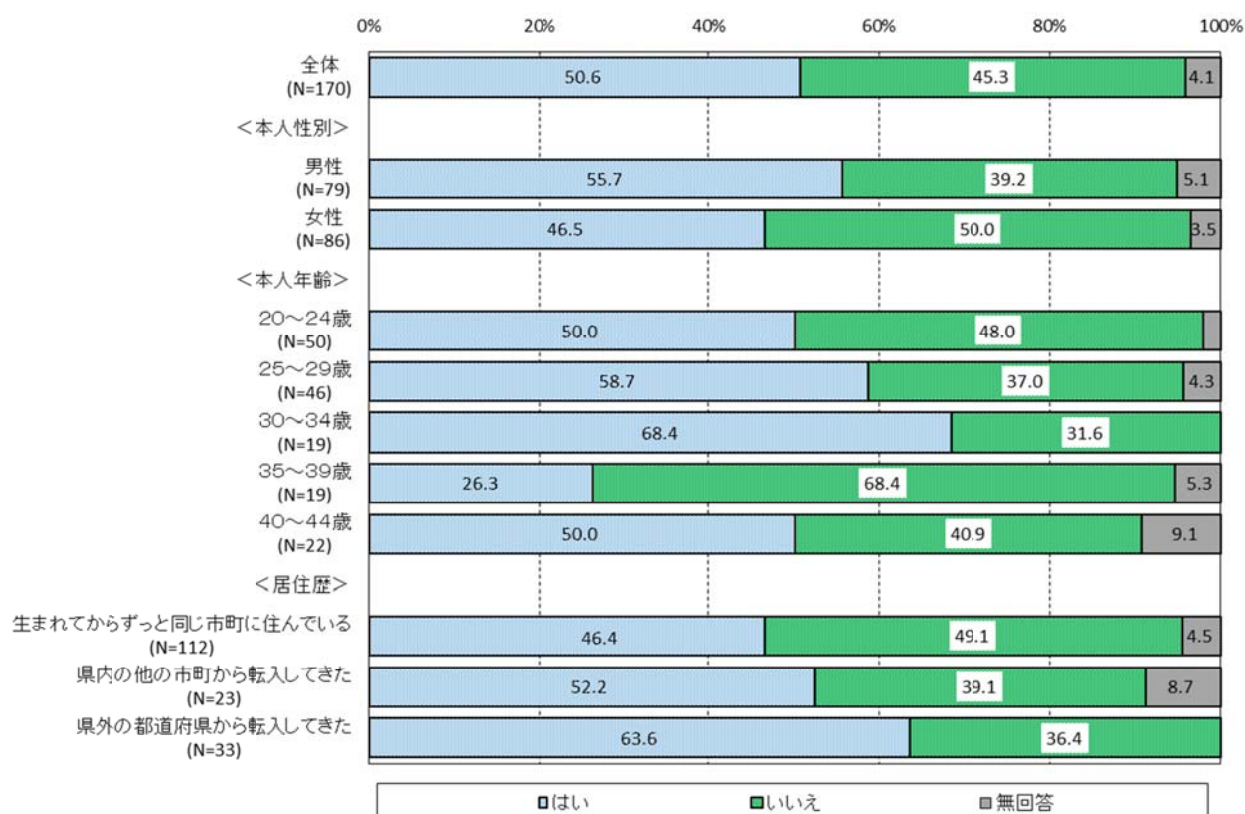
図表－34 問 13 副問1（恋人がいる・結婚している方に）あなたが、現在の配偶者、恋人と知り合ったきっかけは何でしょうか。（属性別）

		サンプル 数	(恋人あり・既婚者に)現在の配偶者、恋人と知り合ったきっかけ								
			学校	学校以外 のサークル やクラブ 活動、習い 事	アルバイト 先	職場や仕 事の関係	友人や親・ 兄弟姉妹・ 親戚を通じ て	合コンや パーティ	インター ネット	その他	無回答
全体		857	15.1	4.1	5.8	26.7	28.5	10.2	3.2	5.6	0.9
本人性別	男性	311	16.1	3.2	4.8	29.6	▽ 22.5	13.2	3.9	5.5	1.3
	女性	519	15.0	4.6	6.7	24.9	31.6	8.5	2.5	5.6	0.6
本人年齢	20～24歳	86	△ 24.4	2.3	△ 11.6	17.4	30.2	▽ 2.3	4.7	5.8	1.2
	25～29歳	141	▲ 24.1	5.0	5.7	20.6	27.0	7.8	2.8	6.4	0.7
	30～34歳	147	12.9	5.4	6.1	25.2	27.9	10.2	5.4	5.4	1.4
	35～39歳	209	12.9	4.3	7.7	26.8	29.2	13.4	1.9	3.8	－
	40～44歳	232	▽ 9.9	3.0	3.0	▲ 34.5	28.0	12.1	1.7	6.0	1.7
結婚の有無	結婚している(既婚者)	645	13.6	3.9	5.4	28.5	29.5	9.9	2.6	5.6	0.9
	結婚していない(未婚者)	178	▲ 23.0	3.4	7.3	▽ 19.1	26.4	10.7	2.8	6.2	1.1
	離別・死別している	19	－	△ 15.8	10.5	31.6	10.5	10.5	▲ 15.8	5.3	－
就労状況 本人の	働いている	726	13.9	3.7	5.9	27.1	28.4	11.3	3.4	5.1	1.1
	働いていない	64	▲ 28.1	4.7	6.3	23.4	23.4	6.3	1.6	6.3	－
	働いていたが、現在は働いていない	64	15.6	7.8	3.1	26.6	32.8	▽ 1.6	1.6	10.9	－

（３）（交際経験がない人のみ）特定の異性（恋人）がほしいかどうか

これまで交際経験がない170人のうち、特定の異性（恋人）がほしい人（「はい」と回答した人）は50.6%、ほしくない人（「いいえ」と回答した人）は45.3%で、ほぼ同率である。

図表－35 問13 副問2（交際経験がない方に）あなたは今、特定の異性（恋人）がほしいですか。
（〇は1つ）



【属性別傾向】

<性別>

男性では、特定の異性（恋人）がほしい人（55.7%）がほしくない人（39.2%）を16.5ポイント上回っている。

女性は、特定の異性（恋人）がほしくない人（50.0%）がほしい人（46.5%）を3.5ポイント上回っている。

<年齢別>

サンプル数は少ないものの、最も若い年代の20～24歳では特定の異性（恋人）がほしい人とほしくない人がほぼ同率となっている。

<居住歴別>

生まれてからずっと同じ市町に住んでいる人は、特定の異性（恋人）がほしい人とほしくない人がほぼ同率となっている。

<本人の就労状況>

就労状況にかかわらず、特定の異性（恋人）がほしい人の割合がほしくない人を上回っている。

図表－36 問 13 副問2（交際経験がない方に）あなたは今、特定の異性（恋人）がほしいですか。
（属性別）

		サンプル 数	（交際経験がない方に） 特定の異性（恋人）がほしいですか		
			はい	いいえ	無回答
全体		170	50.6	45.3	4.1
本人 性別	男性	79	55.7	39.2	5.1
	女性	86	46.5	50.0	3.5
本人 年齢	20～24歳	50	50.0	48.0	2.0
	25～29歳	46	58.7	37.0	4.3
	30～34歳	19	68.4	31.6	－
	35～39歳	19	▽ 26.3	△ 68.4	5.3
	40～44歳	22	50.0	40.9	9.1
居住 歴	生まれてからずっと同じ市町 に住んでいる	112	46.4	49.1	4.5
	県内の他の市町から転入し てきた	23	52.2	39.1	8.7
	県外の都道府県から転入し てきた	33	63.6	36.4	－
就 本人 労 状 況	働いている	121	50.4	44.6	5.0
	働いていない	39	48.7	48.7	2.6
	働いていたが、現在は働い ていない	9	55.6	44.4	－

(4) 結婚相手と出会うために必要なきっかけ(場)

結婚相手と出会うために必要なきっかけ(場)では、「友人からの紹介」(71.6%)が最も高く、次いで「職場の同僚や先輩の紹介」(49.5%)、「合コンや婚活パーティ」(43.5%)、「趣味のサークル」(42.1%)が続いている。

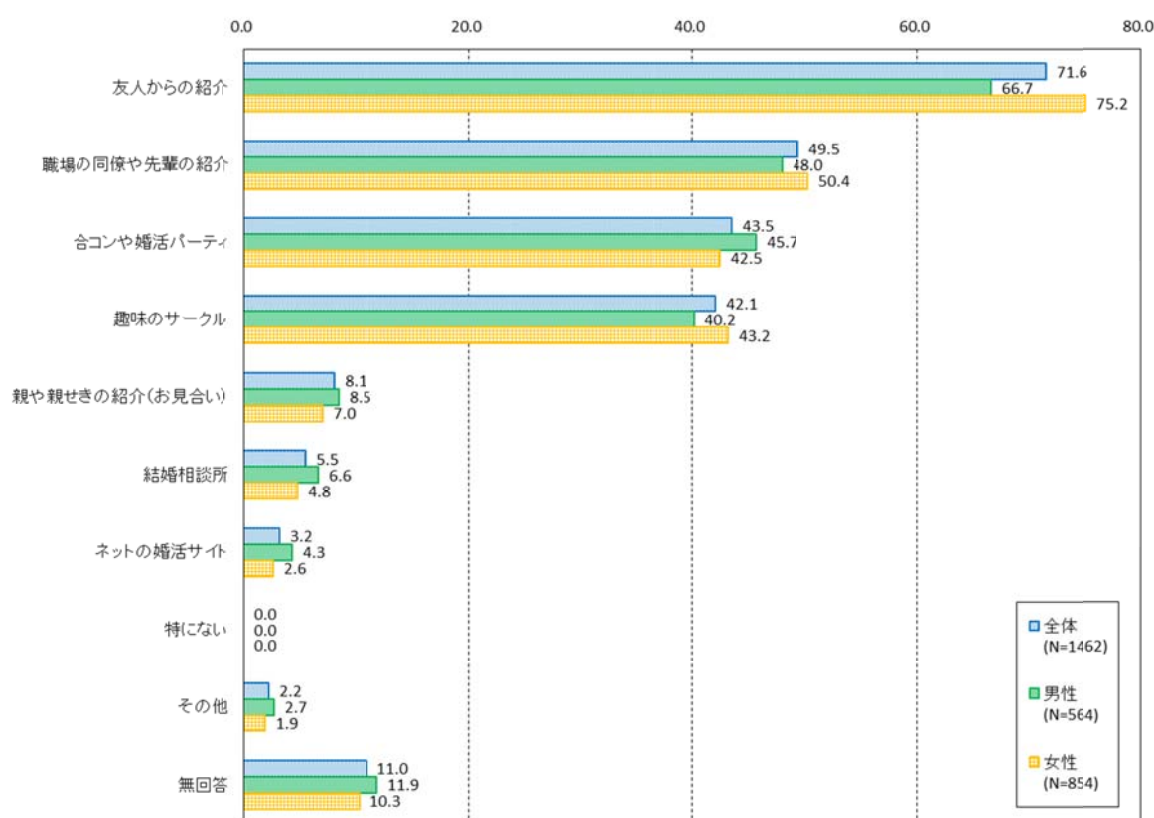
「親や親せきでの紹介(お見合い)」(8.1%)、「結婚相談所」(5.5%)、「ネットの婚活サイト」(3.2%)などを出会いのきっかけと考える人は僅少である。

その他として、「しっかりと信頼のおける人からの紹介や場の活用」、「趣味の集まりではなく、若い人たちが気軽に集まって意見を交換したり、何かを共同で作ったり、婚活と思わず、同世代の人たちと交流できる場があるといい。」といった回答(意見)があった。

図表-37 問 14 結婚相手と出会うためにどのようなきっかけ(場)があるとよいと思いますか。

あてはまるものを3つ選んでください。(〇は3つまで)

※既婚者の方は、結婚前にどう考えていたかでお答えください。



【属性別傾向】

<性別>

男女とも「友人からの紹介」が最も高いが、女性の「友人からの紹介」は75.2%と男性(66.7%)を8.5ポイント上回っている。

<年齢別>

年齢別に見ても大きな違いはなく、「友人からの紹介」が最も高い。40～44歳は全体に比べて「友人からの紹介」(65.8%)が低く、「趣味のサークル」(48.0%)が高い。

<居住歴別>

居住歴にかかわらず「友人からの紹介」が最も高いが、県内他市町からの転入者では「合コンや婚活パーティ」(51.3%)が高く、全体を7.8ポイント上回っている。反対に、県外からの転入者は「合コンや婚活パーティ」(37.1%)は全体を6.4ポイント下回り、「趣味のサークル」(46.5%)が「合コンや婚活パーティ」を上回っている。

<本人の就労状況>

就労状況にかかわらず「友人からの紹介」が最も高い。就労者は「職場の同僚や先輩の紹介」(49.5%)の次が「合コンや婚活パーティ」(44.6%)であるのに対して、働いていない人は「趣味のサークル」(39.9%)が「合コンや婚活パーティ」(37.4%)を上回っている。また、働いていない人では「親や親せきの紹介(お見合い)」(12.3%)が全体を4.2ポイント上回っている。

図表－38 問 14 結婚相手と出会うためにどのようなきっかけ(場)があるとよいと思いますか。

あてはまるものを3つ選んでください。(属性別)

※既婚者の方は、結婚前にどう考えていたかでお答えください。

		サンプル 数	結婚相手と出会うためにどのようなきっかけ(場)があるとよいか									
			友人からの 紹介	職場の同 僚や先輩 の紹介	合コンや婚 活パーティ	ネットの婚 活サイト	親や親せ きの紹介 (お見合 い)	趣味の サークル	結婚相談 所	特にな い	その他	無回答
全体		1462	71.6	49.5	43.5	3.2	8.1	42.1	5.5	－	2.2	11.0
本人 性別	男性	564	▼ 66.7	48.0	45.7	4.3	8.5	40.2	6.6	－	2.7	11.9
	女性	854	△ 75.2	50.4	42.5	2.6	7.0	43.2	4.8	－	1.9	10.3
本人 年齢	20～24歳	250	75.6	55.2	38.4	3.2	7.6	42.0	3.6	－	1.6	10.4
	25～29歳	267	71.9	51.7	46.4	3.0	6.4	40.8	6.4	－	2.6	9.4
	30～34歳	247	73.3	44.5	44.9	4.9	6.1	41.3	4.9	－	2.4	12.6
	35～39歳	300	74.0	50.7	46.3	2.0	7.7	38.0	6.7	－	2.3	9.7
	40～44歳	319	▽ 65.8	46.1	40.8	3.4	10.3	△ 48.0	4.7	－	1.9	12.5
居 住 歴	生まれてからずっと同じ市町 に住んでいる	697	70.6	48.1	42.6	3.0	9.5	40.3	4.7	－	1.6	11.9
	県内の他の市町から転入し てきた	388	74.0	50.8	▲ 51.3	2.6	5.7	41.8	6.2	－	2.6	8.5
	県外の都道府県から転入し てきた	361	71.2	50.7	▽ 37.1	4.4	8.3	46.5	6.1	－	2.8	11.1
就 労 状 況	本人の 働いている	1197	71.7	49.5	44.6	3.3	7.4	42.4	5.5	－	2.4	10.5
	働いていない	163	71.2	49.7	37.4	2.5	△ 12.3	39.9	6.1	－	0.6	12.3
	働いていたが、現在は働い ていない	95	72.6	48.4	42.1	3.2	9.5	42.1	4.2	－	2.1	13.7

※複数回答

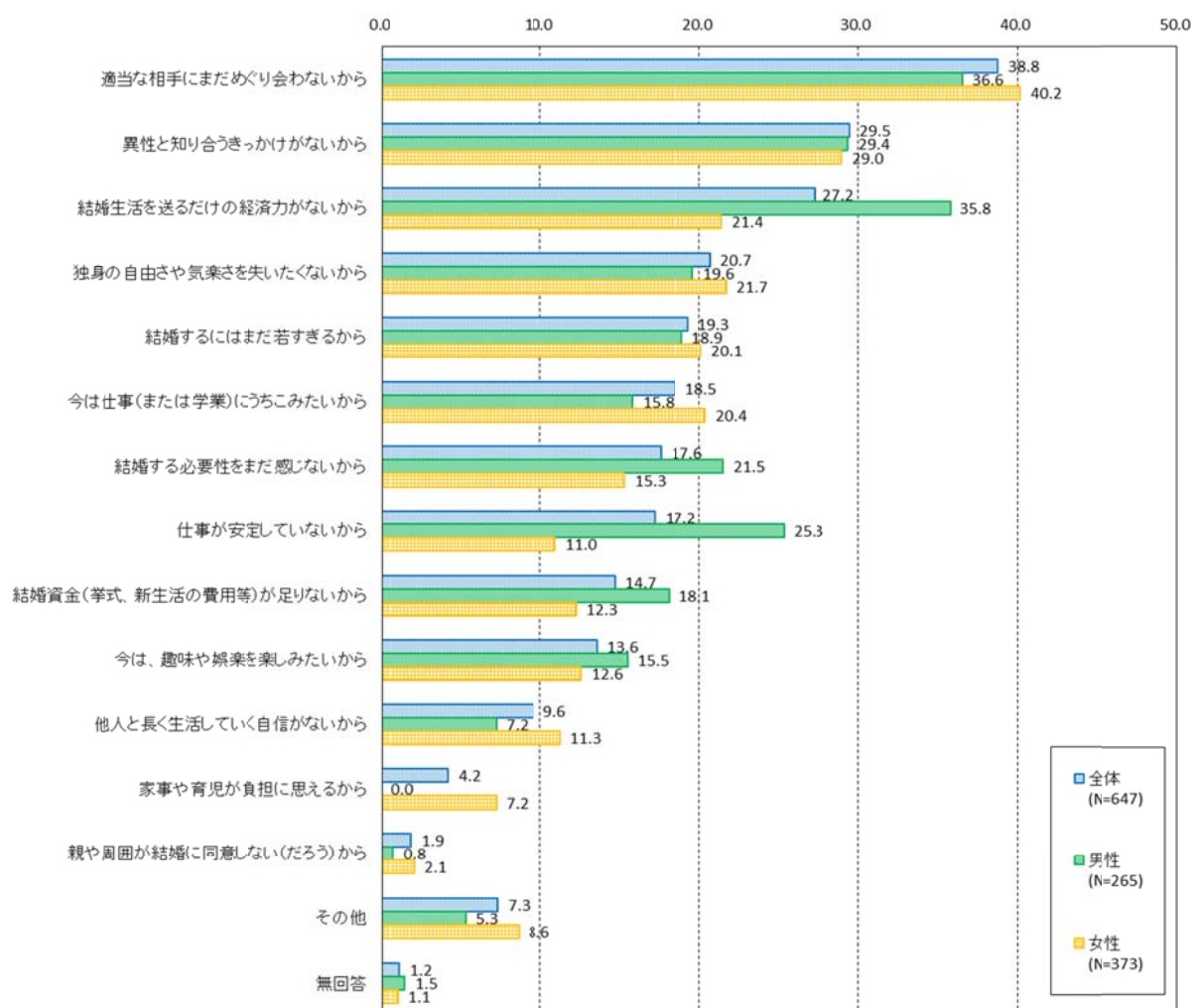
(5) (未婚者のみ) 独身でいる理由

未婚者（647人）が独身でいる理由で最も高いのは「適当な相手にまだめぐり会わないから」（38.8％）で、次いで「異性と知り合うきっかけがないから」（29.5％）、「結婚生活を送るだけの経済力がないから」（27.2％）、「独身の自由さや気楽さを失いたくないから」（20.7％）、「結婚するにはまだ若すぎるから」（19.3％）、「今は仕事（または学業）にうちこみたいから」（18.5％）、「結婚する必要性をまだ感じないから」（17.6％）などが続いている。

その他として、「結婚する予定」、「学生だから。」といった回答（意見）があった。

図表－39 問 15（未婚の方のみ）あなたが独身でいる理由は何ですか。

あてはまるものを3つ選んでください。（〇は3つまで）



【属性別傾向】

<性別>

男女とも「適当な相手にまだめぐり会わないから」が最も高い。

男性は女性に比べて「結婚生活を送るだけの経済力がないから」（男性 35.8%、女性 21.4%）、「仕事が安定していないから」（男性 25.3%、女性 11.0%）が高い。

女性は男性に比べて「家事や育児が負担に思えるから」（女性 7.2%、男性 0.0%）が高い。

<年齢別>

最も若い 20～24 歳では「結婚するにはまだ若すぎるから」（48.5%）、「今は仕事（または学業）にうちこみたいから」（31.2%）が「適当な相手にまだめぐり会わないから」（30.7%）を上回っている。

30～34 歳では「適当な相手にまだめぐり会わないから」（55.0%）が全体を 16.2 ポイント上回っている。

35～39 歳では「適当な相手にまだめぐり会わないから」（47.6%）の割合が最も高いが、35 歳未満と比較すると「他人と長く生活していく自信がないから」（23.8%）が高い傾向にある。

40～44 歳では「異性と知り合うきっかけがないから」（44.9%）が最も高く、「適当な相手にまだめぐり会わないから」（34.7%）を上回っている。

<本人の就労状況別>

働いていない人は就労者に比べて「結婚するにはまだ若すぎるから」（54.1%）、「今は仕事（または学業）にうちこみたいから」（48.6%）が高い。

<居住地域別>

居住地域による違いは見られない。

図表－40 問 15（未婚の方のみ）あなたが独身でいる理由は何ですか。（属性別）

		サンプル 数	(未婚の方のみ)あなたが独身でいる理由							
			結婚する にはまだ 若すぎる から	結婚する 必要性を まだ感じな いから	今は仕事 (または学 業)にうち こみたいか ら	今は、趣味 や娯楽を 楽しみたい から	独身の自 由さや気 楽さを失い たくないか ら	適当な相 手にまだ めぐり会わ ないから	異性と知り 合っけがな いから	結婚資金 (挙式、新 生活の費 用等)が足 りないから
全体		647	19.3	17.6	18.5	13.6	20.7	38.8	29.5	14.7
本人 性別	男性	265	18.9	21.5	15.8	15.5	19.6	36.6	29.4	18.1
	女性	373	20.1	15.3	20.4	12.6	21.7	40.2	29.0	12.3
本人 年齢	20～24歳	231	▲ 48.5	18.6	▲ 31.2	15.2	▽ 13.9	▽ 30.7	▼ 21.2	13.9
	25～29歳	173	▼ 1.7	17.9	13.9	17.3	23.7	39.9	35.8	19.1
	30～34歳	100	▼ -	18.0	▼ 8.0	11.0	26.0	▲ 55.0	37.0	17.0
	35～39歳	63	▼ -	15.9	▼ 4.8	9.5	25.4	47.6	30.2	9.5
	40～44歳	49	▼ -	12.2	▽ 6.1	4.1	24.5	34.7	△ 44.9	10.2
就労 本人の 状況	働いている	501	▼ 12.4	17.0	▼ 11.2	14.6	23.8	42.1	31.5	17.0
	働いていない	109	▲ 54.1	20.2	▲ 48.6	10.1	▼ 8.3	▽ 28.4	▽ 18.3	▼ 3.7
	働いていたが、現在は働いていない	34	11.8	17.6	△ 32.4	8.8	14.7	▽ 17.6	32.4	17.6
居住 地域	県東	335	20.3	17.9	18.8	14.0	20.9	36.7	29.0	12.8
	県西	306	17.6	17.3	18.3	13.1	20.9	41.5	30.7	16.7

		サンプル 数	(未婚の方のみ)あなたが独身でいる理由						
			結婚生活 を送るだけ の経済力 がないから	仕事が安 定していな いから	家事や育 児が負担 に思えるか ら	親や周囲 が結婚に 同意しない (だろう)か ら	他人と長く 生活してい く自信がな いから	その他	無回答
全体		647	27.2	17.2	4.2	1.9	9.6	7.3	1.2
本人 性別	男性	265	▲ 35.8	▲ 25.3	▼ -	0.8	7.2	5.3	1.5
	女性	373	▽ 21.4	▼ 11.0	▲ 7.2	2.1	11.3	8.6	1.1
本人 年齢	20～24歳	231	25.5	14.7	1.7	1.3	▽ 4.8	6.1	1.3
	25～29歳	173	28.9	17.9	5.8	△ 4.0	8.7	6.9	1.2
	30～34歳	100	25.0	19.0	1.0	1.0	7.0	6.0	1.0
	35～39歳	63	27.0	23.8	△ 9.5	1.6	▲ 23.8	7.9	1.6
	40～44歳	49	36.7	20.4	8.2	-	▲ 22.4	14.3	-
就労 本人の 状況	働いている	501	30.3	17.8	5.0	1.8	10.4	7.0	1.2
	働いていない	109	▼ 13.8	▼ 7.3	1.8	0.9	4.6	9.2	1.8
	働いていたが、現在は働いていない	34	26.5	▲ 41.2	-	5.9	14.7	5.9	-
居住 地域	県東	335	26.6	16.7	4.5	1.5	10.4	8.7	0.9
	県西	306	27.8	17.6	3.9	2.3	8.8	5.6	1.6

※複数回答

(6) 結婚に対する考え方（結婚観）

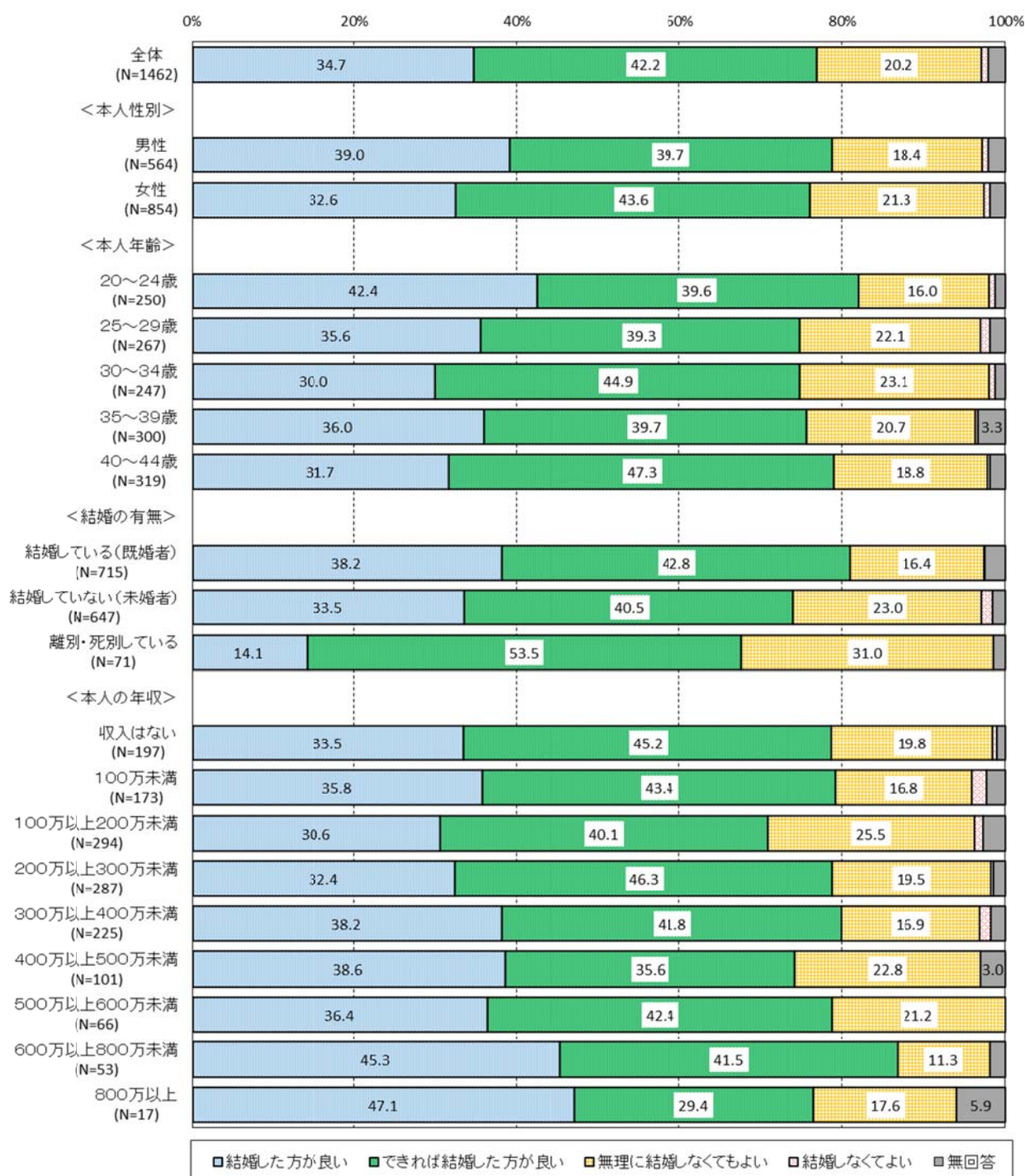
結婚に対する考え方（結婚観）では「結婚した方が良い」（34.7%）、「できれば結婚した方が良い」（42.2%）など結婚を肯定する考えが76.9%である。

「無理に結婚しなくてもよい」は20.2%で、結婚を否定する人（「結婚しなくてよい」）は0.8%と僅かである。

図表－41 問 16 結婚に対する考え方について、最もあなたのお考えに近いのはどれでしょうか。

（〇は1つ）

※既婚者の方は、結婚前にどう考えていたかでお答えください



【属性別傾向】

<性別>

結婚肯定の割合は男女ともほぼ同率であるが、「結婚した方が良い」は男性（39.0%）が女性（32.6%）を6.4ポイント上回っている。

<年齢別>

結婚肯定の割合は、最も若い20～24歳（82.0%）が全体を5.1ポイント上回り、「結婚した方が良い」（42.4%）が4割を超えている。

<結婚の有無別>

結婚肯定の割合は既婚者（81.0%）が未婚者（74.0%）を7.0ポイント上回っている。

<居住地域別>

居住地域による違いは見られない。

<本人の年収別>

年収による違いは見られない。

図表－42 問 16 結婚に対する考え方について、最もあなたのお考えに近いのはどれでしょうか。(属性別)

※既婚者の方は、結婚前にどう考えていたかでお答えください

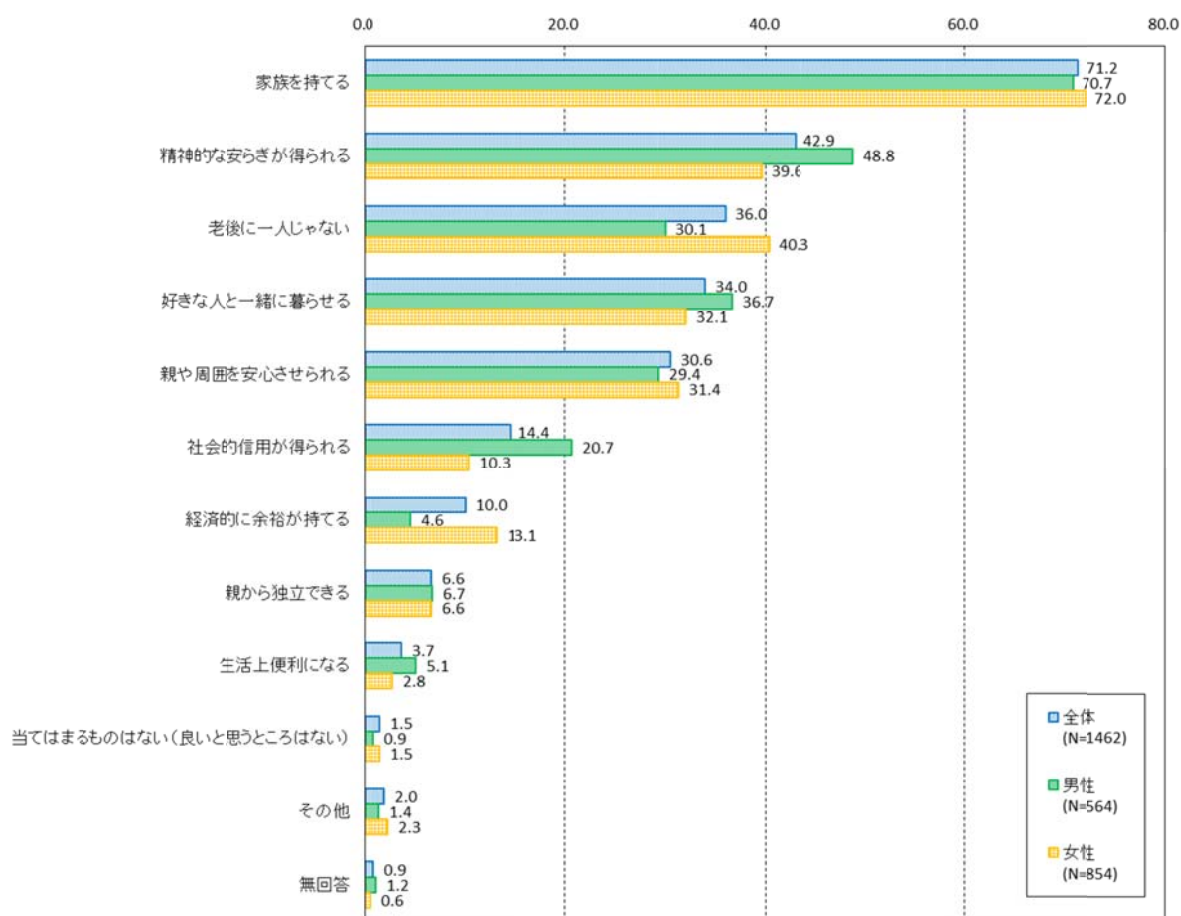
		サンプル 数	結婚に対する考え方について最もあなたのお考えに近いもの					結婚肯定 の割合	結婚否定 の割合
			結婚した方 が良い	できれば 結婚した方 が良い	無理に結 婚しなくて もよい	結婚しなく てもよい	無回答		
全体		1462	34.7	42.2	20.2	0.8	2.1	76.9	21.0
本人 性別	男性	564	△ 39.0	39.7	18.4	0.7	2.1	78.7	19.1
	女性	854	32.6	43.6	21.3	0.7	1.9	76.2	22.0
本人 年齢	20～24歳	250	△ 42.4	39.6	16.0	0.8	1.2	82.0	16.8
	25～29歳	267	35.6	39.3	22.1	1.1	1.9	74.9	23.2
	30～34歳	247	30.0	44.9	23.1	0.8	1.2	74.9	23.9
	35～39歳	300	36.0	39.7	20.7	0.3	3.3	75.7	21.0
	40～44歳	319	31.7	47.3	18.8	0.3	1.9	79.0	19.1
結婚 の有無	結婚している(既婚者)	715	38.2	42.8	▼ 16.4	0.1	2.5	81.0	16.5
	結婚していない(未婚者)	647	33.5	40.5	23.0	1.4	1.5	74.0	24.4
	離別・死別している	71	▼ 14.1	53.5	△ 31.0	－	1.4	67.6	31.0
居住 地域	県東	766	35.6	41.4	20.0	1.0	2.0	77.0	21.0
	県西	671	34.0	43.2	20.4	0.3	2.1	77.2	20.7
本人 の年 収	収入はない	197	33.5	45.2	19.8	0.5	1.0	78.7	20.3
	100万未満	173	35.8	43.4	16.8	1.7	2.3	79.2	18.5
	100万以上200万未満	294	30.6	40.1	△ 25.5	1.0	2.7	70.7	26.5
	200万以上300万未満	287	32.4	46.3	19.5	0.3	1.4	78.7	19.8
	300万以上400万未満	225	38.2	41.8	16.9	1.3	1.8	80.0	18.2
	400万以上500万未満	101	38.6	35.6	22.8	－	3.0	74.2	22.8
	500万以上600万未満	66	36.4	42.4	21.2	－	－	78.8	21.2
	600万以上800万未満	53	45.3	41.5	11.3	－	1.9	86.8	11.3
	800万以上	17	47.1	29.4	17.6	－	5.9	76.5	17.6

(7) 結婚のプラス面

結婚のプラス面では「家族を持てる」(71.2%)が最も高い。次いで「精神的な安らぎが得られる」(42.9%)、「老後に一人じゃない」(36.0%)、「好きな人と一緒に暮らせる」(34.0%)、「親や周囲を安心させられる」(30.6%)などが続いている。

その他として、「子どもが持てる。子どもが欲しい。」、「人として成長する。」といった回答(意見)があった。

図表-43 問 17 あなたが思う結婚の「良いところ」は何でしょうか。
あてはまるものを3つ選んでください。(〇は3つまで)



【属性別傾向】

<性別>

男性は「精神的な安らぎが得られる」(男性 48.8%、女性 39.6%)が女性を 9.2 ポイント、「社会的信用が得られる」(男性 20.7%、女性 10.3%)が 10.4 ポイント上回っている。

女性は「老後に一人じゃない」(女性 40.3%、男性 30.1%)が男性を 10.2 ポイント、「経済的に余裕が持てる」(女性 13.1%、男性 4.6%)が男性を 8.5 ポイント上回っている。

<年齢別>

年齢にかかわらず「家族を持てる」が最も高いが、20代では「好きな人と一緒に暮らせる」が4割を超えており、30歳以上を10ポイント近く上回っている。20～24歳は「老後に一人じゃない」（30.0％）が全体を6.0ポイント下回っている。

「社会的信用が得られる」は他の年齢に比べて40～44歳（18.8％）に高い。

<結婚の有無別>

既婚者は全体に比べて「家族を持てる」（78.6％）、「精神的な安らぎが得られる」（47.3％）が高く、未婚者は全体に比べて「親や周囲を安心させられる」（35.5％）が高い。

<本人の年収別>

100万～200万は全体に比べて「経済的に余裕が持てる」（15.3％）が高く、「家族を持てる」（65.3％）、「精神的な安らぎが得られる」（35.4％）が低い。

図表－44 問17 あなたが思う結婚の「良いところ」は何でしょうか。（属性別）

		サンプル数	あなたが思う結婚の「良いところ」は何でしょうか											
			経済的に余裕が持てる	社会的信用が得られる	精神的な安らぎが得られる	好きな人と一緒に暮らせる	家族を持てる	老後に一人じゃない	生活上便利になる	親から独立できる	親や周囲を安心させられる	当てはまるものはない (良いと思うところはない)	その他	無回答
全体		1462	10.0	14.4	42.9	34.0	71.2	36.0	3.7	6.6	30.6	1.5	2.0	0.9
本人性別	男性	564	▼ 4.6	▲ 20.7	▲ 48.8	36.7	70.7	▼ 30.1	5.1	6.7	29.4	0.9	1.4	1.2
	女性	854	▲ 13.1	▼ 10.3	39.6	32.1	72.0	△ 40.3	2.8	6.6	31.4	1.5	2.3	0.6
本人年齢	20～24歳	250	9.6	11.6	40.0	▲ 46.0	70.8	▽ 30.0	3.2	9.2	31.6	0.8	2.0	0.8
	25～29歳	267	7.5	14.6	41.9	△ 40.1	72.3	39.3	3.7	7.1	32.6	1.5	1.1	0.4
	30～34歳	247	11.7	10.9	42.5	31.6	72.1	37.2	4.9	6.1	31.6	2.4	2.8	0.8
	35～39歳	300	11.7	14.0	45.0	▼ 26.7	67.3	37.7	4.0	6.7	32.3	1.3	2.0	1.7
	40～44歳	319	10.0	△ 18.8	45.8	30.1	73.4	35.7	2.8	4.7	26.6	0.9	1.9	0.6
結婚の有無	結婚している(既婚者)	715	10.2	12.9	△ 47.3	32.3	▲ 78.6	33.0	3.4	6.2	27.8	0.7	2.0	0.8
	結婚していない(未婚者)	647	9.3	15.1	39.7	36.0	▼ 64.5	38.5	4.3	7.0	▲ 35.5	2.0	1.7	0.8
	離別・死別している	71	16.9	21.1	▼ 26.8	31.0	▽ 59.2	46.5	2.8	7.0	▼ 15.5	2.8	△ 5.6	1.4
本人の年収	収入はない	197	8.6	11.2	45.2	37.1	69.5	32.5	4.1	8.1	36.5	0.5	0.5	0.5
	100万未満	173	14.5	13.9	38.7	31.8	70.5	33.5	1.7	9.8	30.1	1.7	2.3	0.6
	100万以上200万未満	294	▲ 15.3	12.9	▼ 35.4	33.7	▽ 65.3	41.5	2.7	7.1	28.9	2.0	2.4	1.0
	200万以上300万未満	287	7.0	13.9	43.2	39.0	72.8	31.7	4.5	6.3	32.1	1.4	2.4	0.7
	300万以上400万未満	225	8.0	17.3	48.4	29.8	70.2	38.7	4.0	5.8	32.4	1.8	0.9	1.3
	400万以上500万未満	101	7.9	15.8	43.6	32.7	77.2	35.6	5.0	2.0	28.7	1.0	4.0	－
	500万以上600万未満	66	4.5	22.7	54.5	28.8	77.3	39.4	4.5	1.5	30.3	1.5	4.5	－
	600万以上800万未満	53	7.5	18.9	△ 56.6	32.1	83.0	34.0	1.9	9.4	▽ 17.0	－	－	－
	800万以上	17	－	5.9	58.8	41.2	70.6	52.9	－	5.9	29.4	－	5.9	－

※複数回答

【問 17 結婚のプラス面×問 16 結婚に対する考え方】

「結婚した方が良い」と結婚に前向きな人は、「無理に結婚しなくてもよい」という消極的な人に比べて「家族を持てる」(81.2%)、「精神的な安らぎが得られる」(53.5%)、「好きな人と一緒に暮らせる」(44.3%)の割合が高い。

図表－45 問 17 結婚のプラス面×問 16 結婚に対する考え方

		サンプル数	あなたが思う結婚の「良いところ」は何でしょうか										その他	無回答
			経済的に余裕が持てる	社会的信用が得られる	精神的な安らぎが得られる	好きな人と一緒に暮らせる	家族を持てる	老後に一人じゃない	生活上便利になる	親から独立できる	親や周囲を安心させられる	当てはまるものはない(良いと思うところはない)		
全体		1462	10.0	14.4	42.9	34.0	71.2	36.0	3.7	6.6	30.6	1.5	2.0	0.9
結婚に対する考え	結婚した方が良い	508	10.4	13.8	▲ 53.5	▲ 44.3	▲ 81.9	32.5	2.6	6.7	29.9	▽ 0.2	2.4	▽ -
	できれば結婚した方が良い	617	9.6	15.1	42.8	▽ 29.8	72.3	△ 40.5	4.5	5.3	33.1	▽ 0.3	1.5	▽ -
	無理に結婚しなくてもよい	296	10.5	14.9	▼ 27.4	▼ 26.0	▼ 55.1	35.5	4.4	8.8	28.4	▲ 4.7	2.4	0.7
	結婚しなくてよい	11	-	-	▼ -	9.1	▼ 18.2	18.2	-	18.2	27.3	▲ 45.5	-	▲ 9.1

(8) 結婚相手に望むこと

結婚相手に望むことでは「自分と価値観が近いこと」(62.5%)に回答が集中している。

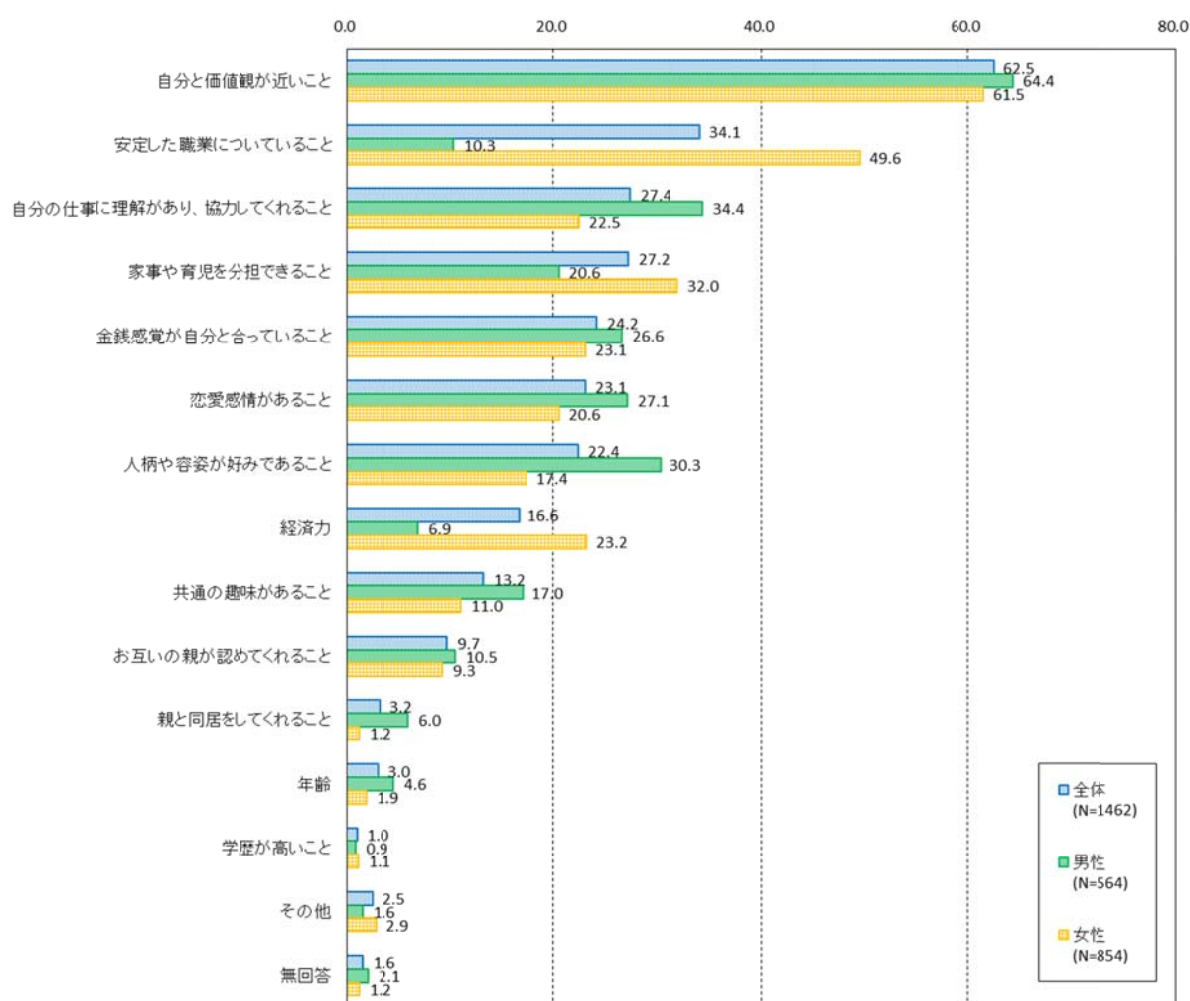
大きく比率を下げて「安定した職業についていること」(34.1%)が続き、2割台で「自分の仕事に理解があり、協力してくれること」(27.4%)、「家事や育児を分担できること」(27.2%)、「金銭感覚が自分と合っていること」(24.2%)、「恋愛感情があること」(23.1%)、「人柄や容姿が好みであること」(22.4%)があげられている。

その他として、「お互いが敬意を持てること。尊敬できること。高め合えること。」「一緒にいて楽。落ち着く。気を使わなくてよい。居心地の良さ。」といった回答(意見)があった。

図表-46 問 18 あなたが結婚相手に望むことは何でしょうか。あてはまるものを3つ選んでください。

(○は3つまで)

※既婚者の方は、結婚前にどう考えていたかでお答えください。



【属性別傾向】

<性別>

男女とも「自分と価値観が近いこと」が最も高いが、その他の項目では男女に違いが見られ、男性は女性よりも「自分の仕事に理解があり、協力してくれること」（男性 34.4%、女性 22.5%）、「人柄や容姿が好みであること」（男性 30.3%、女性 17.4%）を望む割合が高い。

女性は男性よりも「安定した職業についていること」（女性 49.6%、男性 10.3%）、「家事や育児を分担できること」（女性 32.0%、男性 20.6%）、「経済力」（女性 23.2%、男性 6.9%）を望む割合が高い。

<年齢別>

年齢にかかわらず「自分と価値観が近いこと」を最も高いが、その他の項目では年齢によって違いが見られ、最も若い 20～24 歳は他の年齢に比べて「共通の趣味があること」（23.2%）、「お互いの親が認めてくれること」（14.4%）の割合が高い。

同じ 20 代でも 25 歳以上になると、「共通の趣味があること」や「お互いの親が認めてくれること」は大きく低下し、「人柄や容姿が好みであること」（27.7%）、「家事や育児を分担できること」（34.8%）の割合が高くなる傾向にあり、「恋愛感情があること」（17.6%）は 24 歳以下の若い年代ほどは求めている。

40～44 歳では「家事や育児を分担できること」（17.9%）は他の年齢の中で最も低く、「恋愛感情があること」（30.1%）が 20～24 歳を上回り、すべての年齢の中で最も高くなっている。

<結婚の有無別>

結婚の有無にかかわらず「自分と価値観が近いこと」が最も高いが、既婚と未婚で最も違いが見られたのは「共通の趣味があること」（既婚者 9.2%、未婚者 17.9%）である。

<本人の年収別>

年収が高くなるほど「自分と価値観が近いこと」、「自分の仕事に理解があり、協力してくれること」の割合が高くなる傾向にあり、反対に年収が低くなるほど「安定した職業についていること」、「経済力」の割合が高くなる傾向が見られる。

図表－47 問 18 あなたが結婚相手に望むことは何でしょうか。(属性別)

※既婚者の方は、結婚前にどう考えていたかでお答えください

		サンプル数	あなたが結婚相手に望むことは何でしょうか							
			自分と価値観が近いこと	家事や育児を分担できること	恋愛感情があること	共通の趣味があること	学歴が高いこと	安定した職業についていること	人柄や容姿が好みであること	金銭感覚が自分と合っていること
全体		1462	62.5	27.2	23.1	13.2	1.0	34.1	22.4	24.2
本人性別	男性	564	64.4	▼ 20.6	△ 27.1	▲ 17.0	0.9	▼ 10.3	▲ 30.3	26.6
	女性	854	61.5	▲ 32.0	20.6	11.0	1.1	▲ 49.6	▼ 17.4	23.1
本人年齢	20～24歳	250	60.4	29.2	27.2	▲ 23.2	1.2	34.0	22.0	21.6
	25～29歳	267	64.0	▲ 34.8	▽ 17.6	12.0	1.5	37.8	△ 27.7	21.0
	30～34歳	247	62.8	31.2	17.8	13.0	1.6	30.0	21.5	25.1
	35～39歳	300	62.7	27.3	23.0	10.7	0.7	35.0	21.7	26.3
	40～44歳	319	63.6	▼ 17.9	▲ 30.1	10.0	0.3	31.3	19.7	27.3
結婚の有無	結婚している(既婚者)	715	62.9	28.8	24.2	▼ 9.2	0.8	35.0	21.4	23.5
	結婚していない(未婚者)	647	63.8	25.8	20.7	▲ 17.9	1.1	33.2	23.5	25.3
	離別・死別している	71	▼ 45.1	25.4	32.4	11.3	1.4	33.8	23.9	25.4
本人の年収	収入はない	197	66.0	28.4	25.4	15.2	1.5	32.0	21.8	23.9
	100万未満	173	63.0	24.9	25.4	13.9	1.2	35.8	25.4	21.4
	100万以上200万未満	294	▼ 53.4	△ 32.3	23.8	13.6	0.7	▲ 43.5	18.7	20.1
	200万以上300万未満	287	60.3	29.6	21.3	13.6	1.0	34.8	22.6	23.3
	300万以上400万未満	225	61.8	28.0	20.9	12.0	1.3	30.7	25.8	28.4
	400万以上500万未満	101	△ 74.3	24.8	18.8	10.9	－	26.7	23.8	26.7
	500万以上600万未満	66	△ 75.8	▼ 12.1	27.3	13.6	－	22.7	22.7	▲ 40.9
	600万以上800万未満	53	75.5	18.9	18.9	9.4	－	22.6	28.3	26.4
	800万以上	17	76.5	17.6	29.4	11.8	－	11.8	11.8	11.8

		サンプル数	あなたが結婚相手に望むことは何でしょうか						
			自分の仕事に理解があり、協力してくれること	お互いの親が認められること	親と同居をしてくれること	年齢	経済力	その他	無回答
全体		1462	27.4	9.7	3.2	3.0	16.6	2.5	1.6
本人性別	男性	564	▲ 34.4	10.5	▲ 6.0	△ 4.6	▼ 6.9	1.6	2.1
	女性	854	▼ 22.5	9.3	▼ 1.2	1.9	▲ 23.2	2.9	1.2
本人年齢	20～24歳	250	24.4	△ 14.4	2.4	1.6	14.4	2.8	1.2
	25～29歳	267	27.7	7.5	2.2	2.2	19.1	3.0	0.7
	30～34歳	247	28.3	9.3	2.4	△ 5.3	19.4	1.2	2.4
	35～39歳	300	27.7	9.7	5.0	2.7	14.3	3.0	1.3
	40～44歳	319	27.3	7.8	3.8	3.8	16.3	2.5	2.2
結婚の有無	結婚している(既婚者)	715	29.1	8.8	3.1	3.1	15.2	2.5	1.5
	結婚していない(未婚者)	647	24.9	11.3	3.4	3.4	17.5	2.2	1.5
	離別・死別している	71	26.8	5.6	2.8	－	△ 25.4	5.6	1.4
本人の年収	収入はない	197	22.3	12.2	1.5	2.0	16.8	3.0	2.0
	100万未満	173	▼ 16.8	9.2	1.7	2.3	▲ 25.4	3.5	1.2
	100万以上200万未満	294	▽ 22.1	10.5	3.7	4.1	20.4	2.7	1.7
	200万以上300万未満	287	△ 33.8	9.4	2.8	4.2	15.3	1.7	0.7
	300万以上400万未満	225	26.7	8.9	5.3	3.1	15.1	1.8	1.3
	400万以上500万未満	101	33.7	5.9	5.9	1.0	9.9	2.0	3.0
	500万以上600万未満	66	△ 39.4	7.6	1.5	3.0	▼ 4.5	1.5	－
	600万以上800万未満	53	▲ 49.1	7.5	3.8	1.9	▽ 5.7	5.7	－
	800万以上	17	41.2	17.6	5.9	5.9	5.9	5.9	－

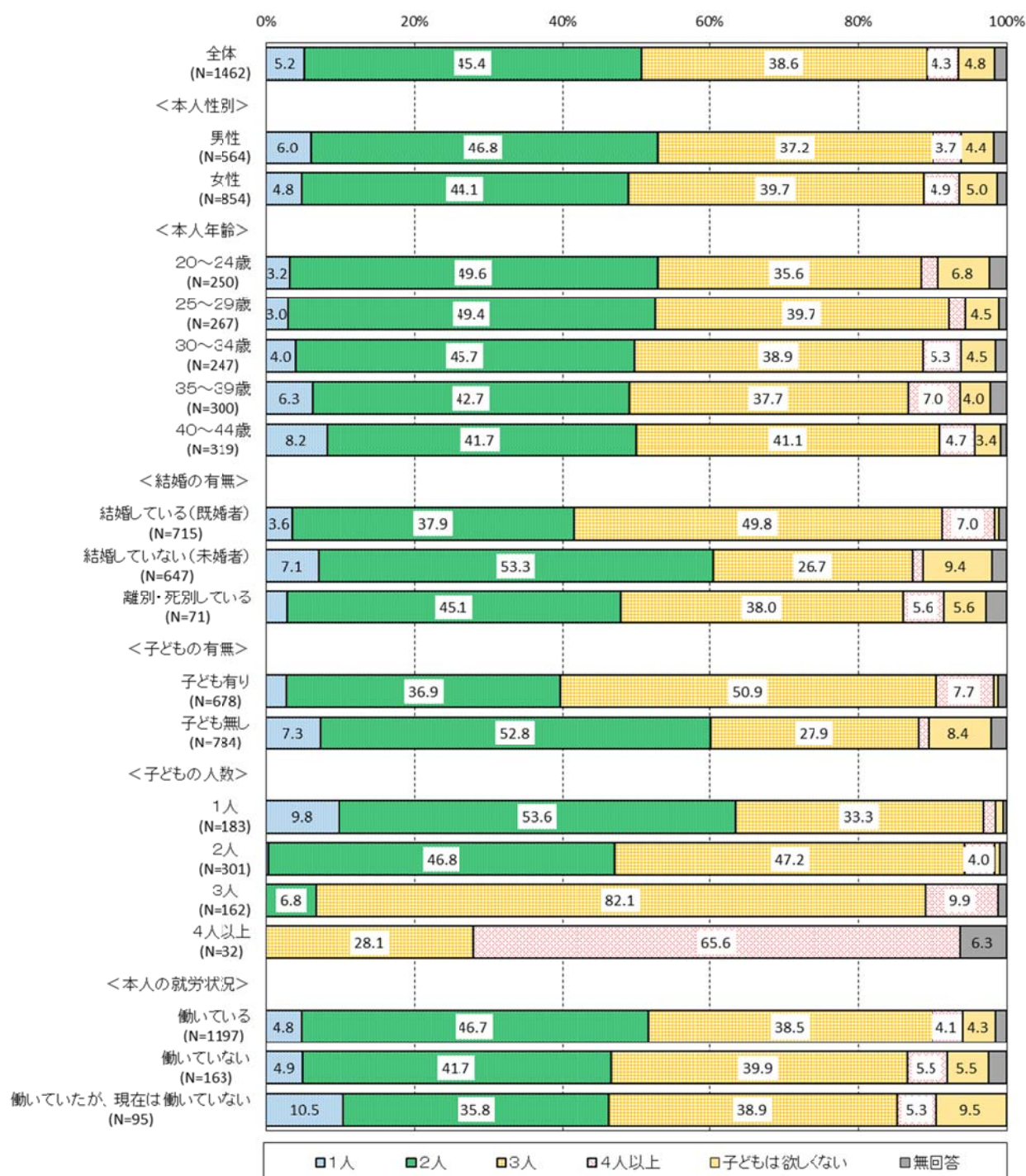
※複数回答

5. 妊娠や出産について

(1) 欲しいと思う子どもの数

欲しいと思う子どもの数は「2人」(45.4%)が最も高いが、「3人」(38.6%)、「4人以上」(4.3%)を合わせると、子ども3人以上を望む割合が42.9%となり、「2人」とほぼ同率である。実際に子どもがいる人の子どもの平均人数は2.06人、欲しいと思う子どもの平均人数は2.33人である。

図表-48 問19 あなたが欲しいと思う子どもの人数は何人ですか。(○は1つ)



【属性別傾向】

<性別>

性別による違いは見られない。

<年齢別>

年齢による違いは見られない。

<同居家族数>

同居家族数が多くなる（世帯構成が大きくなる）ほど、欲しいと思う子どもの数も増える傾向にあり、5人以上世帯で子どもを3人以上望む割合は64.9%と全体を22.0ポイント上回っている。

<結婚の有無別>

既婚者は子ども3人以上望む割合が56.8%で、未婚者（28.1%）を28.7ポイント上回っている。

<子どもの有無と子どもの人数別>

子どもがいる人は子ども3人以上を望む割合が58.6%で、子どもがいない人（29.3%）を29.3ポイント上回っている。

子どもの人数別に見ると、現在の子どもの1人で「2人」を希望する割合は53.6%、実際の子どもの2人で「3人」を希望する割合は47.2%となっており、子どもが1人、2人では、実際の子どもの数+1人を望む割合が高い。

実際の子どもの3人では「3人」が82.1%、4人以上では「4人以上」が65.6%となっている。

<本人の就労状況別>

就労状況による違いは見られない。

<本人の年収別>

年収によって希望する子どもの人数は違い、3人以上を希望する割合は、全体に比べて収入はない（47.2%）が高く、200万以上300万未満（37.3%）が低い。

図表－49 問 19 あなたが欲しいと思う子どもの人数は何人ですか。(属性別)

		サンプル 数	あなたが欲しいと思う子どもの人数は何人ですか						3人以上 希望する 割合	実施の子 ども 平均人数	欲しい子ど も 平均人数
			1人	2人	3人	4人以上	子どもは 欲しくない	無回答			
全体		1462	5.2	45.4	38.6	4.3	4.8	1.7	42.9	2.06	2.33
本人 性別	男性	564	6.0	46.8	37.2	3.7	4.4	1.8	40.9	2.07	2.30
	女性	854	4.8	44.1	39.7	4.9	5.0	1.4	44.6	2.07	2.35
本人 年齢	20～24歳	250	3.2	49.6	35.6	2.4	6.8	2.4	38.0	1.20	2.24
	25～29歳	267	3.0	49.4	39.7	2.2	4.5	1.1	41.9	1.52	2.33
	30～34歳	247	4.0	45.7	38.9	5.3	4.5	1.6	44.2	1.96	2.37
	35～39歳	300	6.3	42.7	37.7	△ 7.0	4.0	2.3	44.7	2.18	2.38
	40～44歳	319	△ 8.2	41.7	41.1	4.7	3.4	0.9	45.8	2.21	2.36
同居 家族 数	1人(自分のみ)	82	9.8	52.4	▼ 24.4	4.9	6.1	2.4	29.3	1.33	2.13
	2人	143	▲ 10.5	46.9	▼ 26.6	1.4	▲ 14.0	0.7	28.0	1.33	1.91
	3人	361	▲ 8.3	▲ 52.6	▼ 28.0	▽ 1.9	6.9	2.2	29.9	1.13	2.10
	4人	389	▽ 2.8	▲ 55.0	36.2	▼ 1.5	3.1	1.3	37.7	2.00	2.31
	5人以上	456	▼ 2.2	▼ 29.8	▲ 55.3	▲ 9.6	▼ 1.5	1.5	64.9	2.55	2.70
結婚 の有 無	結婚している(既婚者)	715	3.6	▼ 37.9	▲ 49.8	▲ 7.0	▼ 0.6	1.1	56.8	2.09	2.60
	結婚していない(未婚者)	647	△ 7.1	▲ 53.3	▼ 26.7	▼ 1.4	▲ 9.4	2.0	28.1	1.00	2.04
	離別・死別している	71	2.8	45.1	38.0	5.6	5.6	2.8	43.6	1.80	2.36
子 ども 有 無	子ども有り	678	▼ 2.8	▼ 36.9	▲ 50.9	▲ 7.7	▼ 0.6	1.2	58.6	2.06	2.63
	子ども無し	784	▲ 7.3	▲ 52.8	▼ 27.9	▼ 1.4	▲ 8.4	2.2	29.3	0.00	2.07
子 ども の 人 数	1人	183	▲ 9.8	▲ 53.6	▼ 33.3	▼ 1.6	1.1	0.5	34.9	1.00	2.25
	2人	301	▼ 0.3	▲ 46.8	47.2	▽ 4.0	0.7	1.0	51.2	2.00	2.54
	3人	162	▽ -	▼ 6.8	▲ 82.1	9.9	-	1.2	92.0	3.00	3.03
	4人以上	32	-	▼ -	▽ 28.1	▲ 65.6	-	▲ 6.3	93.7	4.00	3.70
就 労 状 況 本人 の	働いている	1197	4.8	46.7	38.5	4.1	4.3	1.6	42.6	2.08	2.34
	働いていない	163	4.9	41.7	39.9	5.5	5.5	2.5	45.4	2.02	2.36
	働いていたが、現在は働いていない	95	△ 10.5	35.8	38.9	5.3	△ 9.5	-	44.2	1.96	2.20
本人 の 年 収	収入はない	197	7.1	▽ 37.6	40.6	6.6	6.1	2.0	47.2	1.98	2.35
	100万未満	173	6.4	39.9	38.2	6.4	7.5	1.7	44.6	2.22	2.30
	100万以上200万未満	294	6.5	45.9	36.1	4.1	4.8	2.7	40.2	2.13	2.29
	200万以上300万未満	287	3.8	△ 53.0	35.9	▽ 1.4	4.2	1.7	37.3	1.79	2.27
	300万以上400万未満	225	3.1	44.9	43.6	5.3	2.7	0.4	48.9	1.94	2.46
	400万以上500万未満	101	6.9	42.6	40.6	3.0	5.9	1.0	43.6	2.06	2.28
	500万以上600万未満	66	1.5	50.0	40.9	4.5	3.0	-	45.4	2.27	2.42
	600万以上800万未満	53	1.9	49.1	39.6	7.5	1.9	-	47.1	2.33	2.49
	800万以上	17	△ 17.6	35.3	47.1	-	-	-	47.1	1.93	2.29

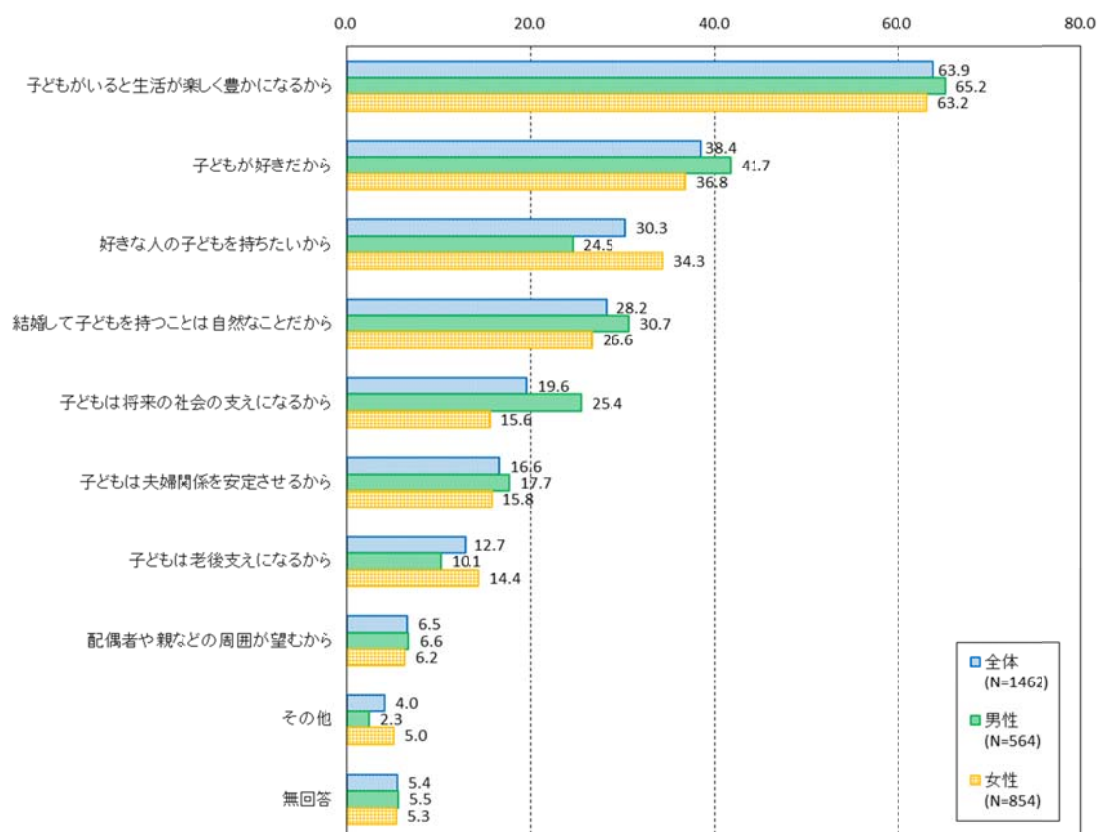
(2) 子どもを欲しいと思う理由

子どもを欲しいと思う理由では、「子どもがいると生活が楽しく豊かになるから」(63.9%)に回答が集中している。

大きく比率を下げて「子どもが好きだから」(38.4%)が続く、次いで「好きな人の子どもを持ちたいから」(30.3%)、「結婚して子どもを持つことは自然なことだから」(28.2%)、「子どもは将来の社会の支えになるから」(19.6%)、「子どもは夫婦関係を安定させるから」(16.6%)などが続いている。

その他として、「子どもがいることで子どもからたくさんのことを教えられることがあり、夫婦（大人）が成長させられる部分があると思うから。」、「(自分が) 兄弟がいると楽しかったから」といった回答（意見）があった。

図表－50 問 20 あなたが子どもを欲しいと思う理由は何ですか。あてはまるものを3つ選んでください。
(○は3つまで)



【属性別傾向】

<性別>

男女とも「子どもがいると生活が楽しく豊かになるから」が6割を超えているが、男性は女性より「子どもは将来の社会の支えになるから」(男性 25.4%、女性 15.6%)が高く、女性は男性より「好きな人の子どもを持ちたいから」(女性 34.3%、男性 24.5%)が高い。

<年齢別>

年齢が高くなるほど「子どもがいると生活が楽しく豊かになるから」も高くなる傾向にあり、最も割合が高いのは40～44歳（69.9%）である。反対に、年齢が高くなるほど「子どもが好きだから」、「好きな人の子どもを持ちたいから」は低くなる傾向にある。

40～44歳では「結婚して子どもを持つことは自然なことだから」（34.8%）がその他の年代を大きく上回っている。

<同居家族数別>

同居家族数が多くなる（世帯構成が大きくなる）ほど、「子どもがいると生活が楽しく豊かになるから」が高くなる傾向にあり、5人以上の世帯では68.6%である。

<結婚の有無別>

既婚者は「子どもがいると生活が楽しく豊かになるから」（73.7%）が全体を9.8ポイント、「子どもは夫婦関係を安定させるから」（22.5%）が全体を5.9ポイント上回っている。

<子どもの有無別>

子どもがいる人は「子どもがいると生活が楽しく豊かになるから」（73.2%）が全体を9.3ポイント、「子どもは夫婦関係を安定させるから」（22.3%）が全体を5.7ポイント上回っている。

子どもがいない人は「好きな人の子どもを持ちたいから」（34.2%）が全体を3.9ポイント上回っている。

図表－51 問 20 あなたが子どもを欲しいと思う理由は何ですか。(属性別)

		サンプル 数	あなたが子どもを欲しいと思う理由は何ですか									
			子どもが 好きだから	好きな人 の子どもを 持ちたいか ら	子どもがい ると生活が 楽しく豊か になるから	子どもは 老後支え になるから	子どもは 将来の社 会の支え になるから	子どもは 夫婦関係 を安定させ るから	結婚して子 どもを持つ ことは自然 なことだか ら	配偶者や 親などの 周囲が望 むから	その他	無回答
全体		1462	38.4	30.3	63.9	12.7	19.6	16.6	28.2	6.5	4.0	5.4
本人 性別	男性	564	41.7	▼ 24.5	65.2	10.1	▲ 25.4	17.7	30.7	6.6	▽ 2.3	5.5
	女性	854	36.8	△ 34.3	63.2	14.4	▼ 15.6	15.8	26.6	6.2	5.0	5.3
本人 年齢	20～24歳	250	△ 45.2	△ 36.4	60.4	12.4	18.0	▼ 9.6	28.8	5.6	2.0	7.2
	25～29歳	267	▲ 48.7	35.2	61.0	15.0	16.1	18.7	25.5	8.6	4.1	3.7
	30～34歳	247	40.9	32.0	61.9	11.7	15.4	15.8	26.3	5.7	6.5	5.3
	35～39歳	300	35.7	27.7	65.7	11.7	22.0	18.7	26.0	7.3	3.7	5.3
	40～44歳	319	▼ 27.3	▼ 23.2	△ 69.9	12.2	23.8	20.4	▲ 34.8	5.6	4.7	4.4
同居 家族 数	1人(自分のみ)	82	45.1	39.0	▼ 48.8	11.0	17.1	▽ 6.1	25.6	8.5	4.9	7.3
	2人	143	▽ 30.1	36.4	▽ 53.8	15.4	15.4	14.0	21.7	9.8	5.6	▲ 14.0
	3人	361	36.8	26.3	61.2	14.7	18.8	18.0	25.2	▲ 10.5	5.0	7.2
	4人	389	39.3	26.2	68.1	10.8	19.3	17.0	30.8	▽ 3.6	3.6	3.6
	5人以上	456	41.2	34.0	△ 68.6	12.3	22.1	18.2	30.3	4.4	2.9	▼ 2.4
結 婚 の 有 無	結婚している(既婚者)	715	37.6	28.0	▲ 73.7	12.0	20.4	▲ 22.5	29.4	6.2	3.6	▼ 1.5
	結婚していない(未婚者)	647	40.6	32.9	▼ 54.6	13.0	18.1	▼ 10.2	26.9	7.0	3.9	▲ 9.6
	離別・死別している	71	32.4	32.4	▽ 52.1	16.9	18.3	15.5	25.4	5.6	△ 9.9	5.6
子 ど も の 有 無	子ども有り	678	37.2	▽ 25.8	▲ 73.2	11.9	21.1	▲ 22.3	30.8	5.3	4.6	▼ 1.3
	子ども無し	784	39.4	△ 34.2	▼ 55.9	13.3	18.4	▼ 11.7	25.9	7.5	3.6	▲ 8.9

※複数回答

（３）妊娠・出産にかかわるリスクについての認知度

妊娠・出産の適齢期は 20 代で、それ以降は加齢に伴い妊娠、分娩、出生児のリスクが増加することについて、「知っている」は 93.7%、「知らない」は 5.6%で、加齢に伴うリスクを認識している人は 9 割を超えている。

図表－52 問 21 妊娠・出産に適した時期は男女とも 20 代で、それ以降は加齢に伴い妊娠する・させる力は低下します。また、妊娠中や分娩時のリスク、出生児のリスクも増加します。

あなたはこのことを知っていますか。(○は1つ)



【属性別傾向】

<性別>

男女ともリスクについての認知度が 9 割を超えており、女性（96.0%）の認知度は男性（90.4%）より 5.6 ポイント高い。

<年齢別>

年齢が高くなるほどリスクについての認知度も高くなる傾向にあり、最も認知度が高いのは40～44歳（96.2％）である。

<結婚の有無別>

結婚の有無にかかわらずリスクについての認知度は9割を超えており、既婚者（96.8％）の認知度は未婚者（90.0％）を6.8ポイント上回っている。

<子どもの有無別>

子どもの有無にかかわらずリスクについての認知度は9割を超えており、子どもがいる人（97.2％）の認知度は子どもがいない人（90.7％）を6.5ポイント上回っている。

図表－53 問 21 妊娠・出産に適した時期は男女とも20代で、それ以降は加齢に伴い妊娠する・させる力は低下します。また、妊娠中や分娩時のリスク、出生児のリスクも増加します。
あなたはこのことを知っていますか。（属性別）

		サンプル数	加齢により妊娠する・させる力、妊娠、分娩、出産のリスク認知度		
			知っている	知らない	無回答
全体		1462	93.7	5.6	0.7
本人性別	男性	564	▼ 90.4	▲ 9.0	0.5
	女性	854	▲ 96.0	▼ 3.4	0.6
本人年齢	20～24歳	250	▼ 88.0	▲ 12.0	－
	25～29歳	267	93.3	6.7	－
	30～34歳	247	94.3	4.5	1.2
	35～39歳	300	96.0	▽ 2.7	1.3
	40～44歳	319	96.2	3.1	0.6
結婚の有無	結婚している(既婚者)	715	▲ 96.8	▼ 2.4	0.8
	結婚していない(未婚者)	647	▼ 90.0	▲ 9.6	0.5
	離別・死別している	71	△ 100.0	▽ －	－
子どもの有無	子ども有り	678	▲ 97.2	▼ 1.9	0.9
	子ども無し	784	▼ 90.7	▲ 8.8	0.5

（４）妊娠・出産にかかわるリスクについての考え

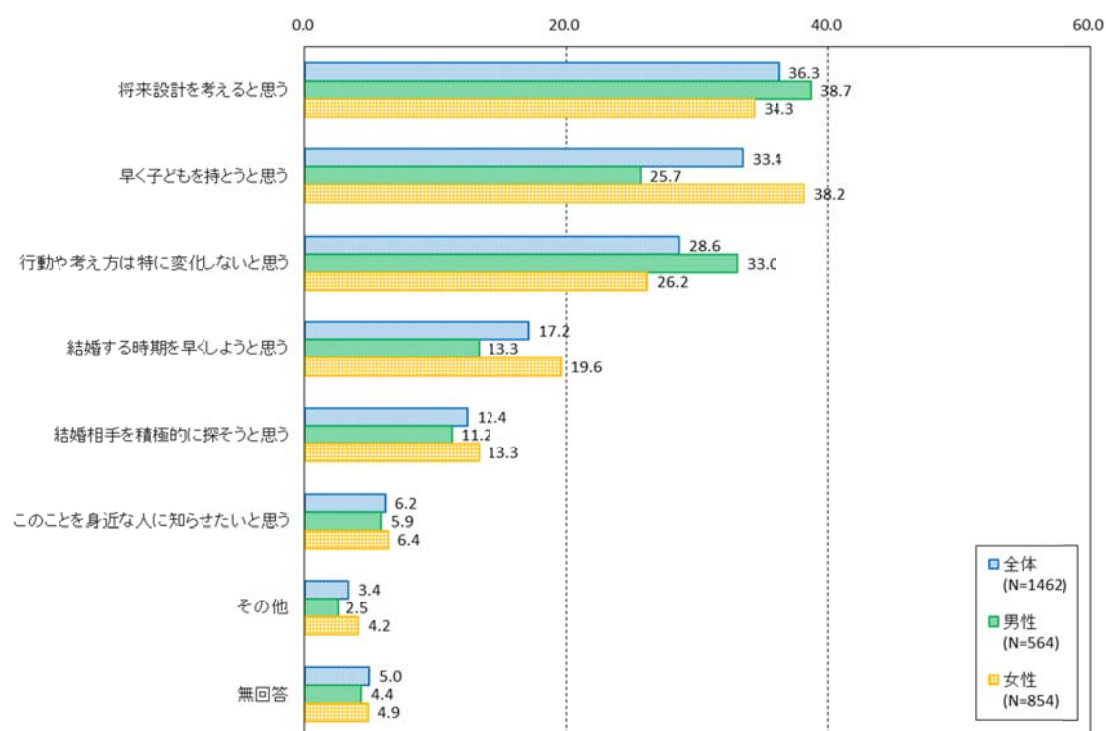
妊娠・出産の適齢期は20代で、それ以降は加齢に伴い妊娠、分娩、出生児のリスクが増加することについては、「将来設計を考えるとと思う」(36.3%)、「早く子どもを持とうと思う」(33.4%)が3割を超え、「結婚する時期を早くしようと思う」(17.2%)「結婚相手を積極的に探そうと思う」(12.4%)など、早く婚活を始めるという考えは1～2割である。

リスクについては理解しているが「行動や考え方は特に変化しないと思う」は28.6%である。

その他として、「そうは言っても社会的、経済的…様々な環境が変わっているため、仕方がない部分もあると思う。」「妊娠出産に適した時期にそれができる社会であってほしいと思う。」といった回答（意見）があった。

図表－54 問21 副問1 このことについて、あなたはどのように思いますか。

あてはまるものをすべて選んでください。(〇はいくつでも)



【属性別傾向】

<性別>

男性は「将来設計を考えるとと思う」(38.7%)が最も高く、次が「行動や考え方は特に変化しないと思う」(33.0%)である。

女性は「早く子どもを持とうと思う」(38.2%)が最も高く、次が「将来設計を考えるとと思う」(34.3%)である。「行動や考え方は特に変化しないと思う」(26.2%)は男性を6.8ポイント下回っている。

<年齢別>

年齢が若くなるほど「結婚する時期を早くしようと思う」、「結婚相手を積極的に探そうと思う」が高くなる傾向が見られる。

20～24 歳では「将来設計を考えるとと思う」(41.6%) が最も高く、次が「早く子どもを持とうと思う」(32.4%) である。

25～29 歳では「早く子どもを持とうと思う」(39.0%) が最も高く、「将来設計を考えるとと思う」(37.1%) を上回っている。

35 歳以上になると再び「将来設計を考えるとと思う」が最も高くなっており、35～39 歳が 33.0%、40～44 歳が 36.1%となっている。

<結婚の有無別>

既婚者は「早く子どもを持とうと思う」(39.7%)、「将来設計を考えるとと思う」(39.2%) がほぼ同率である。

未婚者は「行動や考え方は特に変化しないと思う」(39.6%) が最も高く、既婚者(18.9%) を 20.7 ポイント上回っている。「結婚相手を積極的に探そうと思う」(17.3%) も全体を 4.9 ポイント上回っている。

<子どもの有無別>

子どもがいる人は「将来設計を考えるとと思う」(38.1%) が最も高く、次が「早く子どもを持とうと思う」(36.7%) である。

子どもがいない人は「行動や考え方は特に変化しないと思う」(36.7%) が最も高く、子どもがいる人(19.2%) を 17.5 ポイント上回っている。「早く子どもを持とうと思う」は 30.5%である。

図表－55 問 21 副問1 このことについて、あなたはどのように思いますか。(属性別)

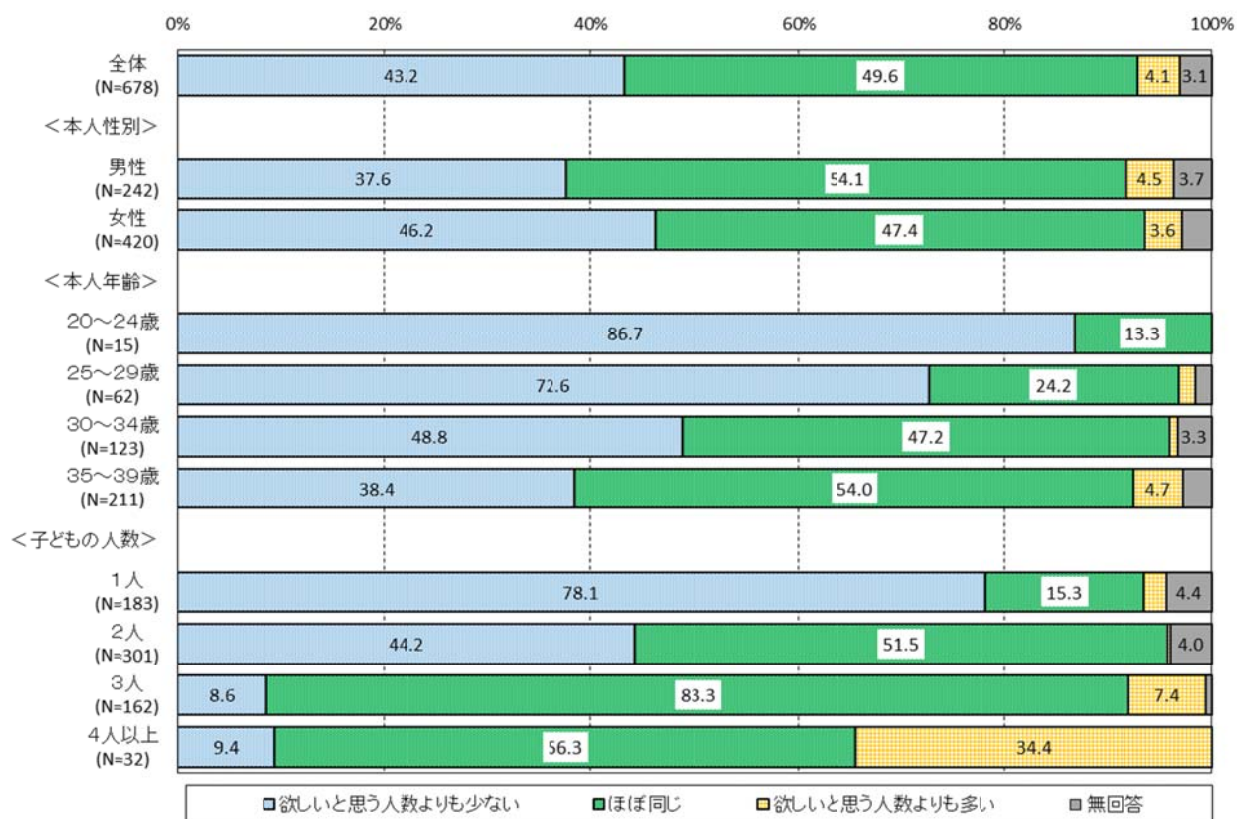
		サンプル 数	リスクに対するあなたの考え							
			結婚する 時期を早く しようと思う	早く子ども を持つと思う	結婚相手 を積極的 に探そうと 思う	将来設計 を考えると 思う	行動や考 え方は特 に変化しな いと思う	このことを 身近な人 に知らせた いと思う	その他	無回答
全体		1462	17.2	33.4	12.4	36.3	28.6	6.2	3.4	5.0
本人 性別	男性	564	▽ 13.3	▼ 25.7	11.2	38.7	△ 33.0	5.9	2.5	4.4
	女性	854	19.6	▲ 38.2	13.3	34.3	26.2	6.4	4.2	4.9
本人 年齢	20～24歳	250	21.2	32.4	15.2	41.6	28.4	▽ 2.8	2.4	3.2
	25～29歳	267	16.9	39.0	15.7	37.1	30.7	▼ 2.2	▽ 1.1	▼ 1.1
	30～34歳	247	15.4	34.8	14.2	34.8	32.8	8.1	2.4	2.4
	35～39歳	300	14.7	31.7	10.3	33.0	29.0	6.3	▲ 6.3	6.7
	40～44歳	319	17.6	30.4	▽ 7.8	36.1	▽ 23.5	▲ 11.0	3.8	▲ 8.8
結 婚 の 有 無	結婚している(既婚者)	715	17.2	▲ 39.7	▼ 8.3	39.2	▼ 18.9	▲ 9.7	3.4	6.0
	結婚していない(未婚者)	647	18.1	▼ 27.2	▲ 17.3	34.2	▲ 39.6	▼ 2.2	3.2	▽ 3.2
	離別・死別している	71	9.9	26.8	9.9	28.2	26.8	8.5	7.0	8.5
子 ど も の 有 無	子ども有り	678	17.7	36.7	▼ 8.8	38.1	▼ 19.2	▲ 9.9	3.5	△ 6.6
	子ども無し	784	16.7	30.5	▲ 15.6	34.8	▲ 36.7	▼ 3.1	3.3	3.6

※複数回答

（５）欲しいと思う子どもの人数と実際の子どもの人数

実際に子どもを持つ 678 人について、希望する子どもの人数と実際の子どもの人数との乖離を見ると、「ほぼ同じ」（49.6%）が半数を占め、「欲しいと思う人数よりも少ない」が 43.2%、「欲しいと思う人数よりも多い」が 4.1%となっている。

図表－56 問 22（実際に子どもを持つ方に）あなたが欲しいと思う子どもの人数は、
実際の子どもの人数よりも少ないですか。（○は1つ）



【属性別傾向】

＜性別＞

「欲しいと思う人数よりも少ない」は男性（37.6%）が女性（46.2%）を 8.6 ポイント上回っている。

＜年齢別＞

29 歳以下では「欲しいと思う人数よりも少ない」が 7 割を超えているものの、年齢が高くなるほど「ほぼ同じ」が高くなる傾向にあり、35 歳以上では過半数が「ほぼ同じ」と回答している。

<実際の子どもの人数>

実際の子どもの1人では78.1%を「欲しいと思う人数よりも少ない」が占め、子ども2人までは「欲しいと思う人数よりも少ない」が4割を超えている。

実際の子どもの人数と希望する子どもの人数が最も近いのは子ども3人の場合で、「ほぼ同じ」が83.3%に達している。

子ども4人以上では「ほぼ同じ」が56.3%、「欲しいと思う人数よりも多い」が34.4%である。

<本人の年収別>

実際の子どもの人数と希望する子どもの人数に近い「ほぼ同じ」の割合は、400万以上で5割を超えている。

「欲しいと思う人数よりも少ない」は300万以上400万未満（62.1%）で高い。

**図表－57 問 22（実際に子どもを持つ方に）あなたが欲しいと思う子どもの人数は、
実際の子どもの人数よりも少ないですか。（属性別）**

		サンプル 数	(子どもありのみ)欲しい子どもの人数と 実際の子どもの人数			
			欲しいと思 う人数より も少ない	ほぼ同じ	欲しいと思 う人数より も多い	無回答
全体		678	43.2	49.6	4.1	3.1
本人 性別	男性	242	37.6	54.1	4.5	3.7
	女性	420	46.2	47.4	3.6	2.9
本人 年齢	20～24歳	15	▲ 86.7	▼ 13.3	－	－
	25～29歳	62	▲ 72.6	▼ 24.2	1.6	1.6
	30～34歳	123	48.8	47.2	0.8	3.3
	35～39歳	211	38.4	54.0	4.7	2.8
	40～44歳	242	▼ 33.5	△ 56.6	6.6	3.3
子 ど も の 人 数	1人	183	▲ 78.1	▼ 15.3	2.2	4.4
	2人	301	44.2	51.5	▼ 0.3	4.0
	3人	162	▼ 8.6	▲ 83.3	△ 7.4	0.6
	4人以上	32	▼ 9.4	56.3	▲ 34.4	－
本人 の 年 収	収入はない	82	48.8	50.0	1.2	－
	100万未満	102	36.3	57.8	2.0	3.9
	100万以上200万未満	122	41.8	46.7	▲ 9.0	2.5
	200万以上300万未満	91	48.4	45.1	2.2	4.4
	300万以上400万未満	103	▲ 62.1	▼ 33.0	1.9	2.9
	400万以上500万未満	65	33.8	56.9	3.1	6.2
	500万以上600万未満	44	34.1	59.1	6.8	－
	600万以上800万未満	40	30.0	55.0	10.0	5.0
	800万以上	14	28.6	71.4	－	－

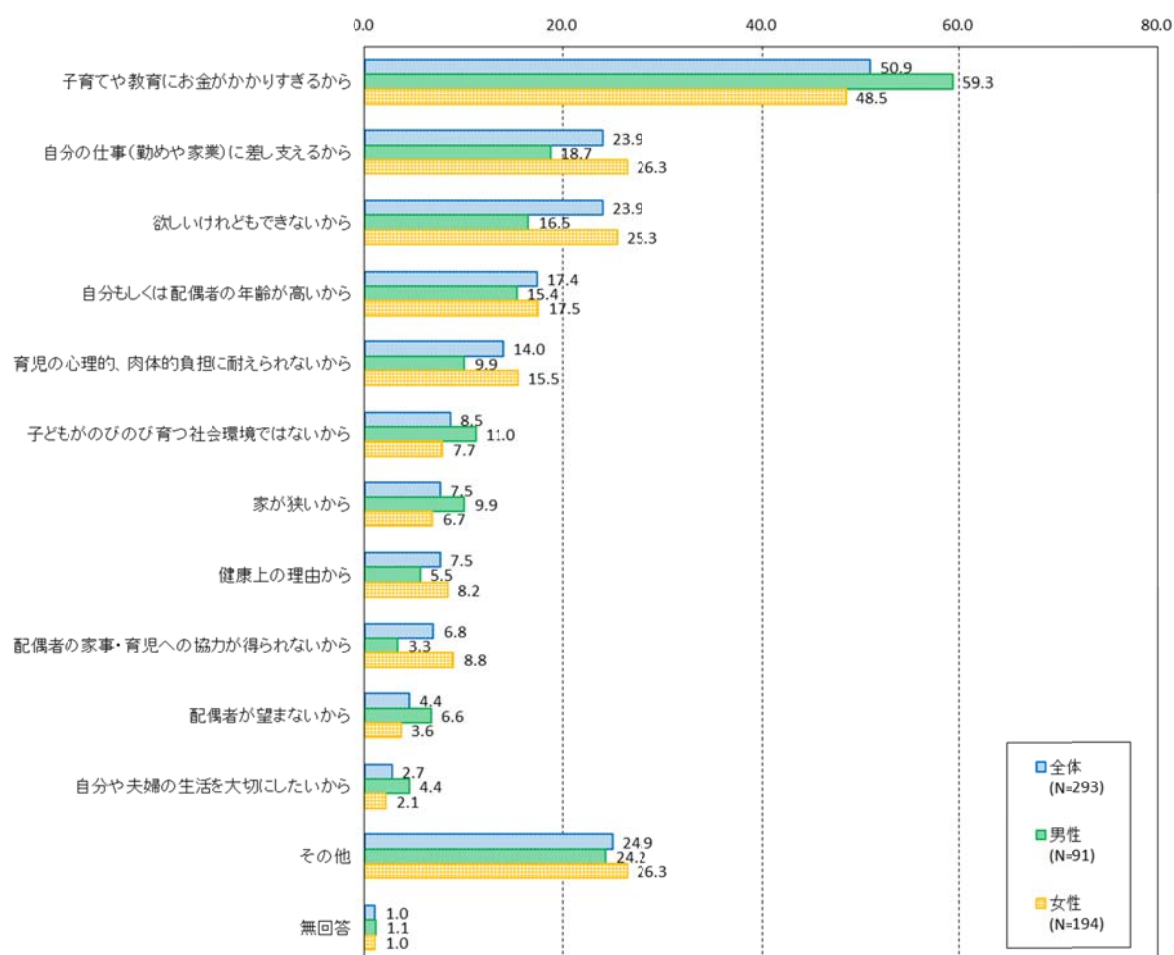
（６）実際の子どもの人数よりも欲しいと思う子どもの人数が少ない理由

実際の子どもの人数よりも欲しいと思う子どもの人数が少ない 293 人の理由では、「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」（50.9％）に回答が集中している。

大きく比率を下げて、「自分の仕事（勤めや家業）に差し支えるから」「欲しいけれどもできないから」（同率 23.9％）、「自分もしくは配偶者の年齢が高いから」（17.4％）、「育児の心理的、肉体的負担に耐えられないから」（14.0％）などが続いている。

その他として、「1 人目が生まれたばかりだから。」「これから欲しいと考えている。」といった回答（意見）があった。

図表－58 問 22 副問1（実際の子どもの人数より欲しいと思う子どもの人数が少ない方に）その理由は
何でしょうか。あてはまるものを3つ選んでください。（○は3つまで）



【属性別傾向】

<性別>

男女とも「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」（男性 59.3％、女性 48.5％）が最も高い。

<年齢別>

年齢が高くなるほど「自分もしくは配偶者の年齢が高いから」、「欲しいけれどもできないから」、「健康上の理由から」が高くなる傾向にある。

<子どもの人数>

子ども1人の人では「欲しいけれどもできないから」(35.0%)が「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」(33.6%)を僅かに上回り、最も高い。

子どもの人数が増えるほど「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」が高くなる傾向にある。

図表－59 問22 副問1（実際の子どもの人数より欲しいと思う子どもの人数が少ない方に）
その理由は何でしょうか。（属性別）

		サンプル 数	(実際の子ども的人数より欲しい子ども的人数が少ない理由)												
			自分の仕 事(勤めや 家業)に差 し支えるか ら	子育てや 教育にお 金がかか りすぎるか ら	自分や夫 婦の生活 を大切に したいか ら	家が狭い から	配偶者の 家事・育 児への協 力が得ら れないか ら	育児の心 理的、肉 体的負担 に耐えら れないか ら	自分もし くは配偶 者の年齢 が高いか ら	健康上の 理由から	欲しいけれ どもでき ないから	配偶者が 望まない から	子どもが のびのび 育つ社会 環境では ないから	その他	無回答
全体		293	23.9	50.9	2.7	7.5	6.8	14.0	17.4	7.5	23.9	4.4	8.5	24.9	1.0
本人性別	男性	91	18.7	59.3	4.4	9.9	3.3	9.9	15.4	5.5	16.5	6.6	11.0	24.2	1.1
	女性	194	26.3	48.5	2.1	6.7	8.8	15.5	17.5	8.2	25.3	3.6	7.7	26.3	1.0
本人年齢	20～24歳	13	30.8	53.8	—	15.4	—	—	—	—	15.4	7.7	7.7	▲ 69.2	—
	25～29歳	45	20.0	42.2	—	6.7	4.4	15.6	▽ 4.4	2.2	20.0	—	8.9	▲ 44.4	—
	30～34歳	60	25.0	60.0	3.3	10.0	6.7	16.7	▽ 5.0	3.3	23.3	1.7	10.0	30.0	—
	35～39歳	81	29.6	56.8	4.9	6.2	6.2	9.9	19.8	4.9	28.4	7.4	11.1	17.3	1.2
	40～44歳	81	16.0	43.2	2.5	6.2	7.4	18.5	▲ 33.3	▲ 18.5	25.9	4.9	4.9	▽ 13.6	1.2
子どもの人数	1人	143	19.6	▼ 33.6	0.7	8.4	3.5	9.8	14.0	6.3	▲ 35.0	4.2	4.9	▲ 36.4	2.1
	2人	133	27.8	▲ 65.4	4.5	6.8	9.8	16.5	21.1	9.8	▼ 14.3	5.3	11.3	▼ 15.0	—
	3人	14	35.7	△ 78.6	7.1	7.1	14.3	28.6	21.4	—	7.1	—	21.4	7.1	—
	4人以上	3	—	100.0	—	—	—	33.3	—	—	—	—	—	—	—
本人の年収	収入はない	40	▽ 10.0	50.0	2.5	15.0	△ 15.0	22.5	25.0	10.0	25.0	—	5.0	25.0	—
	100万未満	37	18.9	56.8	2.7	10.8	5.4	13.5	18.9	△ 16.2	27.0	5.4	8.1	18.9	—
	100万以上200万未満	51	25.5	56.9	—	3.9	13.7	15.7	11.8	7.8	21.6	5.9	11.8	27.5	2.0
	200万以上300万未満	44	31.8	47.7	—	11.4	4.5	11.4	11.4	2.3	25.0	4.5	4.5	29.5	—
	300万以上400万未満	64	26.6	53.1	4.7	4.7	1.6	12.5	18.8	6.3	15.6	4.7	7.8	29.7	—
	400万以上500万未満	22	31.8	40.9	9.1	—	4.5	18.2	27.3	4.5	△ 45.5	—	4.5	9.1	—
	500万以上600万未満	15	6.7	40.0	6.7	6.7	—	—	20.0	6.7	26.7	6.7	6.7	26.7	△ 6.7
	600万以上800万未満	12	25.0	58.3	—	—	8.3	—	16.7	—	16.7	8.3	▲ 33.3	25.0	—
	800万以上	4	50.0	25.0	—	25.0	—	25.0	—	—	25.0	△ 25.0	—	—	—

※複数回答

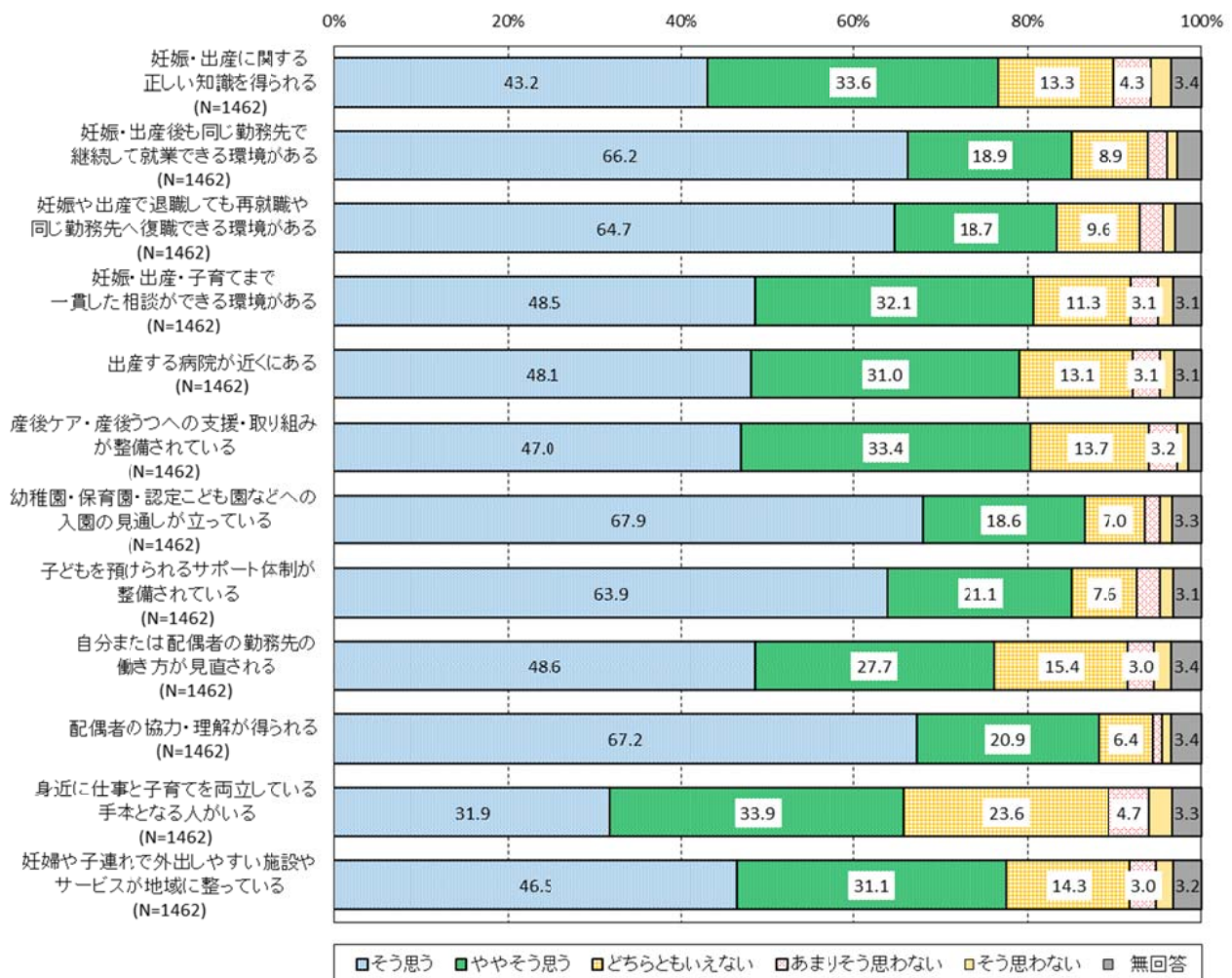
6. 子育てについて

(1) 安心して子どもを生み育てるために必要な支援や環境

安心して子どもを生み育てるために必要な支援や環境として、「そう思う」、「ややそう思う」を合わせた割合は「身近に仕事と子育てを両立している手本となる人がある」(65.8%)以外の項目で7割を超えており、あらゆる面で要望が高い。

「そう思う」の割合が高いのは「幼稚園・保育園・認定こども園などへの入園の見通しが立っている」(67.9%)、「配偶者の協力・理解が得られる」(67.2%)、「妊娠・出産後も同じ勤務先で継続して就業できる環境がある」(66.2%)、「妊娠や出産で退職しても再就職や同じ勤務先へ復職できる環境がある」(64.7%)、「子どもを預けられるサポート体制が整備されている」(63.9%)の5項目である。

図表-60 問23 あなたはどのような支援や環境があれば、安心して子どもを生み育てることができると思いますか。それぞれの項目について、あてはまるものを選んでください。(〇はそれぞれ1つ)



①妊娠・出産に関する正しい知識を得られる

※「そう思う」「ややそう思う」を必要と思う割合、「あまりそう思わない」「そう思わない」を必要と思わない割合で表記している。

<性別>

必要と思う割合は女性(80.9%)が男性(71.3%)よりも高く、女性の「そう思う」(46.5%)は男性(39.4%)を7.1ポイント上回っている。

<年齢別>

年齢が若くなるほど必要と思う割合が高くなる傾向にあり、20～24歳が84.0%、25～29歳が80.5%と、20代で8割を超えている。

<結婚の有無別>

必要と思う割合に結婚の有無による違いは見られない。

<子どもの有無別>

必要と思う割合に子どもの有無による違いは見られない。

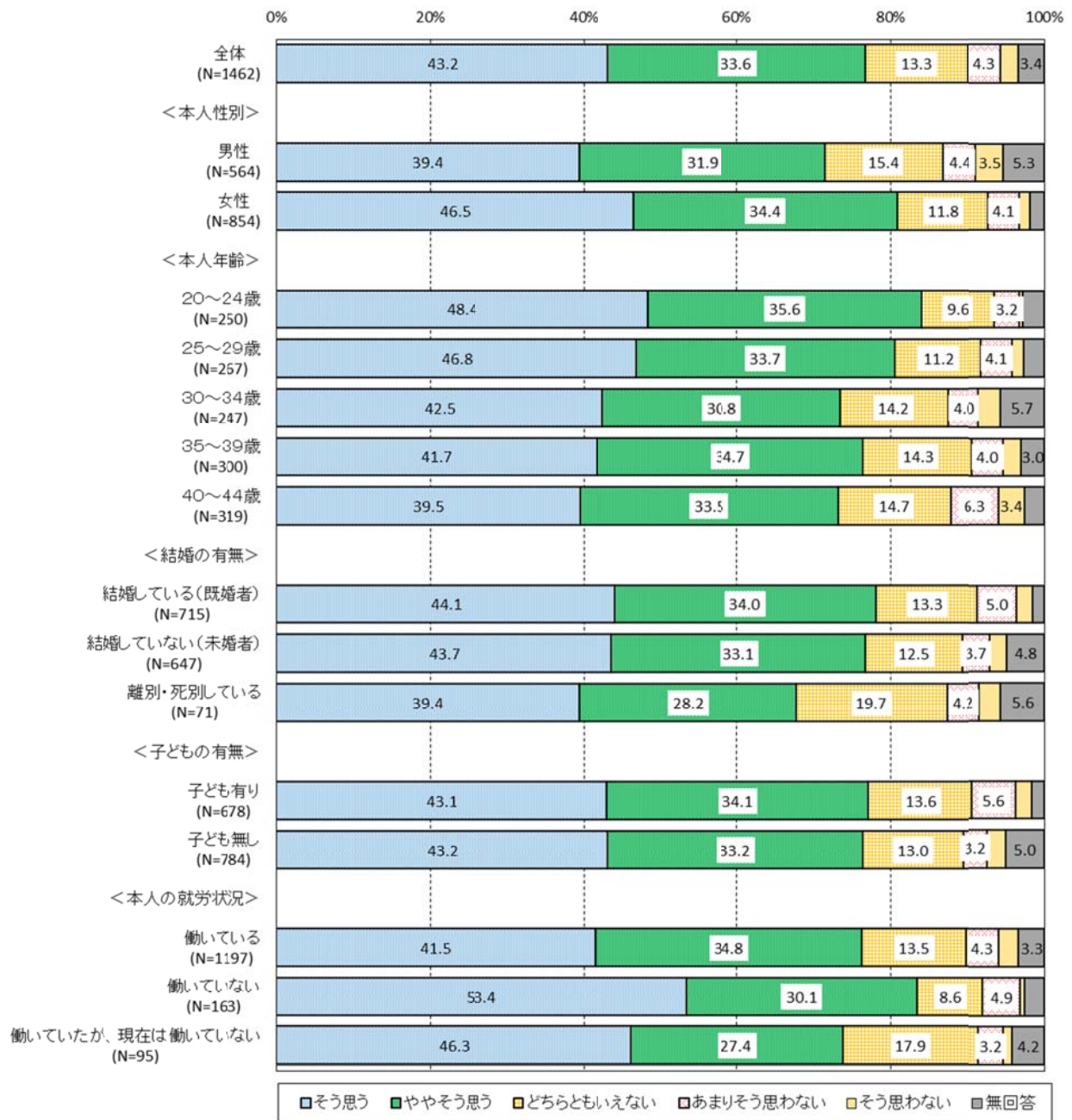
<本人の就労状況別>

就労者に比べると働いていない人に必要と思う割合が高く、働いていない人では「そう思う」(53.4%)が5割を超えている。

図表－61 問 23 1. 妊娠・出産に関する正しい知識を得られる

		サンプル数	支援や環境(妊娠・出産に関する正しい知識を得られる)						必要と思う割合	必要と思わない割合
			そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	無回答		
全体		1462	43.2	33.6	13.3	4.3	2.3	3.4	76.8	6.6
本人性別	男性	564	39.4	31.9	15.4	4.4	△ 3.5	△ 5.3	71.3	7.9
	女性	854	△ 46.5	34.4	11.8	4.1	1.3	▽ 1.9	80.9	5.4
本人年齢	20～24歳	250	48.4	35.6	9.6	3.2	▽ 0.4	2.8	84.0	3.6
	25～29歳	267	46.8	33.7	11.2	4.1	1.5	2.6	80.5	5.6
	30～34歳	247	42.5	30.8	14.2	4.0	2.8	5.7	73.3	6.8
	35～39歳	300	41.7	34.7	14.3	4.0	2.3	3.0	76.4	6.3
	40～44歳	319	39.5	33.5	14.7	6.3	3.4	2.5	73.0	9.7
結婚の有無	結婚している(既婚者)	715	44.1	34.0	13.3	5.0	2.1	▼ 1.5	78.1	7.1
	結婚していない(未婚者)	647	43.7	33.1	12.5	3.7	2.2	4.8	76.8	5.9
	離別・死別している	71	39.4	28.2	19.7	4.2	2.8	5.6	67.6	7.0
子どもの有無	子ども有り	678	43.1	34.1	13.6	5.6	2.1	▽ 1.6	77.2	7.7
	子ども無し	784	43.2	33.2	13.0	3.2	2.4	△ 5.0	76.4	5.6
就労状況	働いている	1197	41.5	34.8	13.5	4.3	2.6	3.3	76.3	6.9
	働いていない	163	▲ 53.4	30.1	8.6	4.9	0.6	2.5	83.5	5.5
	働いていたが、現在は働いていない	95	46.3	27.4	17.9	3.2	1.1	4.2	73.7	4.3

図表－62 問 23 1. 妊娠・出産に関する正しい知識を得られる



②妊娠・出産後も同じ勤務先で継続して就業できる環境がある

※「そう思う」「ややそう思う」を必要と思う割合、「あまりそう思わない」「そう思わない」を必要と思わない割合で表記している。

<性別>

必要と思う割合に性別による違いは見られない。

<年齢別>

必要と思う割合に年齢による違いは見られない。

<結婚の有無別>

必要と思う割合に結婚の有無による違いは見られない。

<子どもの有無別>

必要と思う割合に子どもの有無による違いは見られない。

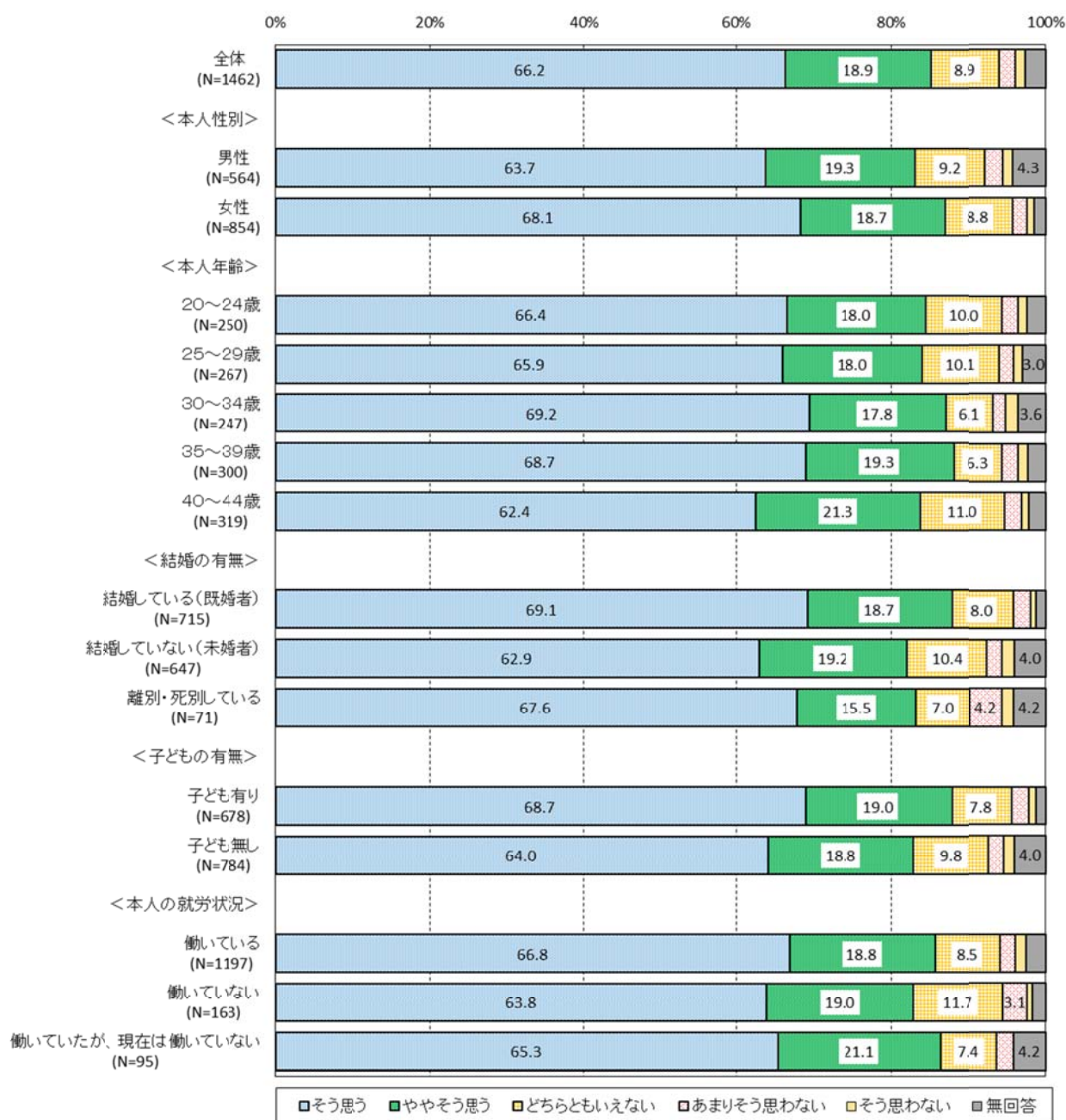
<本人の就労状況別>

必要と思う割合に就労状況による違いは見られない。

図表－63 問 23 2. 妊娠・出産後も同じ勤務先で継続して就業できる環境がある

		サンプル 数	支援や環境(妊娠・出産後も同じ勤務先で継続して就業できる環境がある)						必要と 思う割合	必要と 思わない 割合
			そう思う	ややそう 思う	どちらとも いえない	あまりそう 思わない	そう思わ ない	無回答		
全体		1462	66.2	18.9	8.9	2.1	1.2	2.7	85.1	3.3
本人 性別	男性	564	63.7	19.3	9.2	2.3	1.2	△ 4.3	83.0	3.5
	女性	854	68.1	18.7	8.8	1.9	0.9	▽ 1.5	86.8	2.8
本人 年齢	20～24歳	250	66.4	18.0	10.0	2.0	1.2	2.4	84.4	3.2
	25～29歳	267	65.9	18.0	10.1	1.9	1.1	3.0	83.9	3.0
	30～34歳	247	69.2	17.8	6.1	1.6	1.6	3.6	87.0	3.2
	35～39歳	300	68.7	19.3	6.3	2.0	1.3	2.3	88.0	3.3
	40～44歳	319	62.4	21.3	11.0	2.2	0.9	2.2	83.7	3.1
結 婚 の 有 無	結婚している(既婚者)	715	69.1	18.7	8.0	2.2	0.7	▽ 1.3	87.8	2.9
	結婚していない(未婚者)	647	62.9	19.2	10.4	1.9	1.7	△ 4.0	82.1	3.6
	離別・死別している	71	67.6	15.5	7.0	4.2	1.4	4.2	83.1	5.6
子 ど も の 有 無	子ども有り	678	68.7	19.0	7.8	2.2	0.9	▽ 1.3	87.7	3.1
	子ども無し	784	64.0	18.8	9.8	2.0	1.4	△ 4.0	82.8	3.4
就 労 状 況 本人の	働いている	1197	66.8	18.8	8.5	2.0	1.3	2.6	85.6	3.3
	働いていない	163	63.8	19.0	11.7	3.1	0.6	1.8	82.8	3.7
	働いていたが、現在は働いていない	95	65.3	21.1	7.4	2.1	-	4.2	86.4	2.1

図表－64 問 23 2. 妊娠・出産後も同じ勤務先で継続して就業できる環境がある



③妊娠や出産で退職しても再就職や同じ勤務先へ復職できる環境がある

※「そう思う」「ややそう思う」を必要と思う割合、「あまりそう思わない」「そう思わない」を必要としない割合で表記している。

<性別>

必要と思う割合は女性(86.1%)が男性(79.8%)よりも高く、女性の「そう思う」(67.0%)は男性(61.9%)を5.1ポイント上回っている。

<年齢別>

必要と思う割合に年齢による違いは見られない。

<結婚の有無別>

必要と思う割合は未婚者(80.7%)よりも既婚者(86.3%)に高く、既婚者の「そう思う」(68.0%)は未婚者(61.2%)を6.8ポイント上回っている。

<子どもの有無別>

必要と思う割合に子どもの有無による違いは見られない。

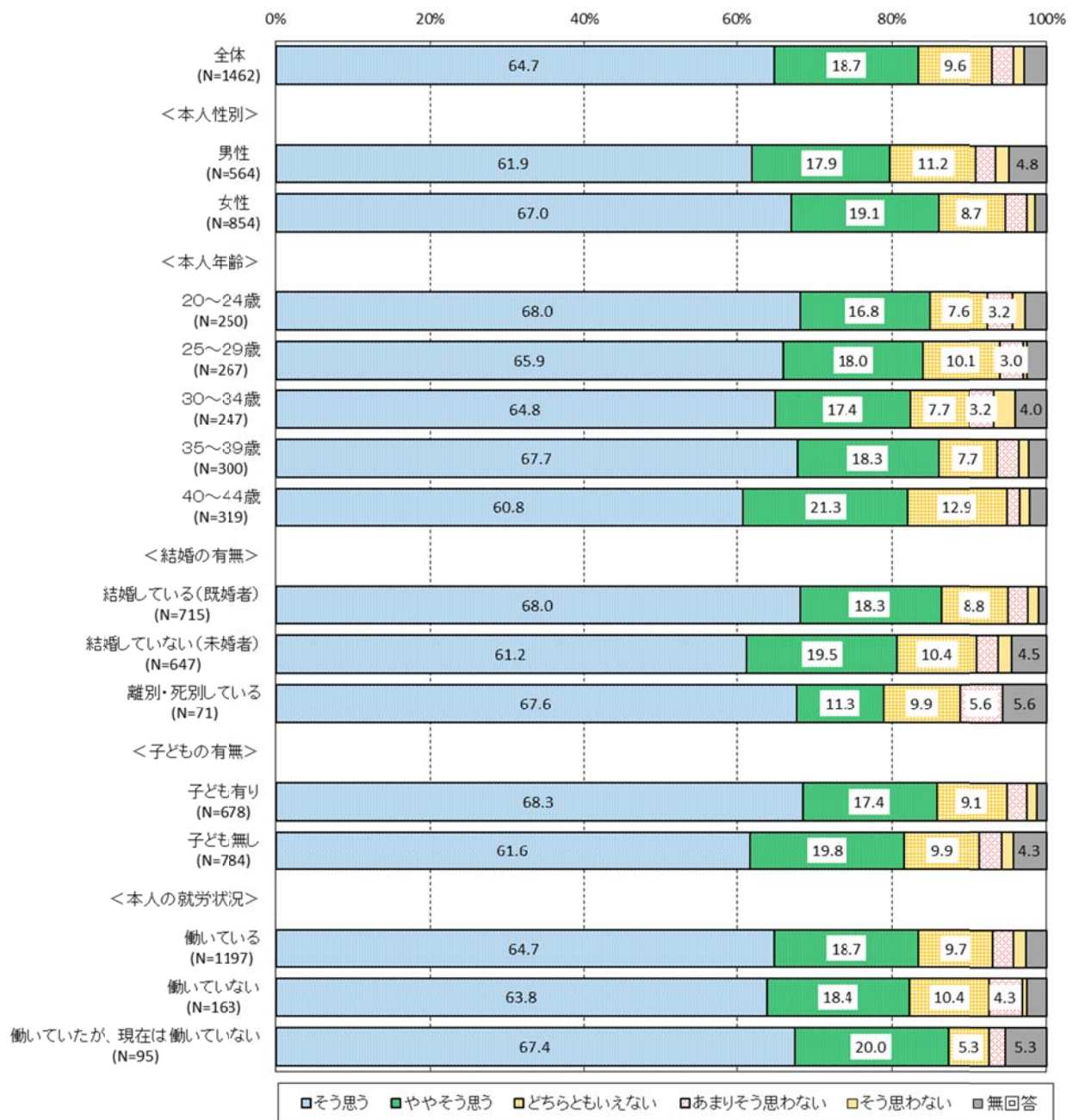
<本人の就労状況別>

必要と思う割合に就労状況による違いは見られない。

図表-65 問 23 3. 妊娠や出産で退職しても再就職や同じ勤務先へ復職できる環境がある

		サンプル 数	支援や環境(妊娠や出産で退職しても再就職や同じ勤務先へ復職できる環境がある)						必要と 思う割合	必要と 思わない 割合
			そう思う	ややそう思 う	どちらとも いえない	あまりそう 思わない	そう思わな い	無回答		
全体		1462	64.7	18.7	9.6	2.7	1.4	2.9	83.4	4.1
本人 性別	男性	564	61.9	17.9	11.2	2.5	1.8	▲ 4.8	79.8	4.3
	女性	854	67.0	19.1	8.7	2.7	1.1	▽ 1.5	86.1	3.8
本人 年齢	20～24歳	250	68.0	16.8	7.6	3.2	1.6	2.8	84.8	4.8
	25～29歳	267	65.9	18.0	10.1	3.0	0.4	2.6	83.9	3.4
	30～34歳	247	64.8	17.4	7.7	3.2	△ 2.8	4.0	82.2	6.0
	35～39歳	300	67.7	18.3	7.7	2.7	1.3	2.3	86.0	4.0
	40～44歳	319	60.8	21.3	△ 12.9	1.6	1.3	2.2	82.1	2.9
結 婚 の 有 無	結婚している(既婚者)	715	68.0	18.3	8.8	2.5	1.3	▼ 1.1	86.3	3.8
	結婚していない(未婚者)	647	61.2	19.5	10.4	2.8	1.7	△ 4.5	80.7	4.5
	離別・死別している	71	67.6	11.3	9.9	5.6	—	5.6	78.9	5.6
子 ど も の 有 無	子ども有り	678	68.3	17.4	9.1	2.5	1.3	▽ 1.3	85.7	3.8
	子ども無し	784	61.6	19.8	9.9	2.9	1.4	△ 4.3	81.4	4.3
就 労 状 況 本人の	働いている	1197	64.7	18.7	9.7	2.6	1.6	2.7	83.4	4.2
	働いていない	163	63.8	18.4	10.4	4.3	0.6	2.5	82.2	4.9
	働いていたが、現在は働いていない	95	67.4	20.0	5.3	2.1	—	5.3	87.4	2.1

図表－66 問 23 3. 妊娠や出産で退職しても再就職や同じ勤務先へ復職できる環境がある



④妊娠・出産・子育てまで一貫した相談ができる環境がある

※「そう思う」「ややそう思う」を必要と思う割合、「あまりそう思わない」「そう思わない」を必要としない割合で表記している。

<性別>

必要と思う割合は女性（84.3%）が男性（76.2%）よりも高く、女性の52.0%が「そう思う」と回答している。

<年齢別>

年齢が若くなるほど必要と思う割合が高くなる傾向にあり、20～24歳では57.2%が「そう思う」と回答している。

<結婚の有無別>

必要と思う割合に結婚の有無による違いは見られない。

<子どもの有無別>

必要と思う割合に子どもの有無による違いは見られない。

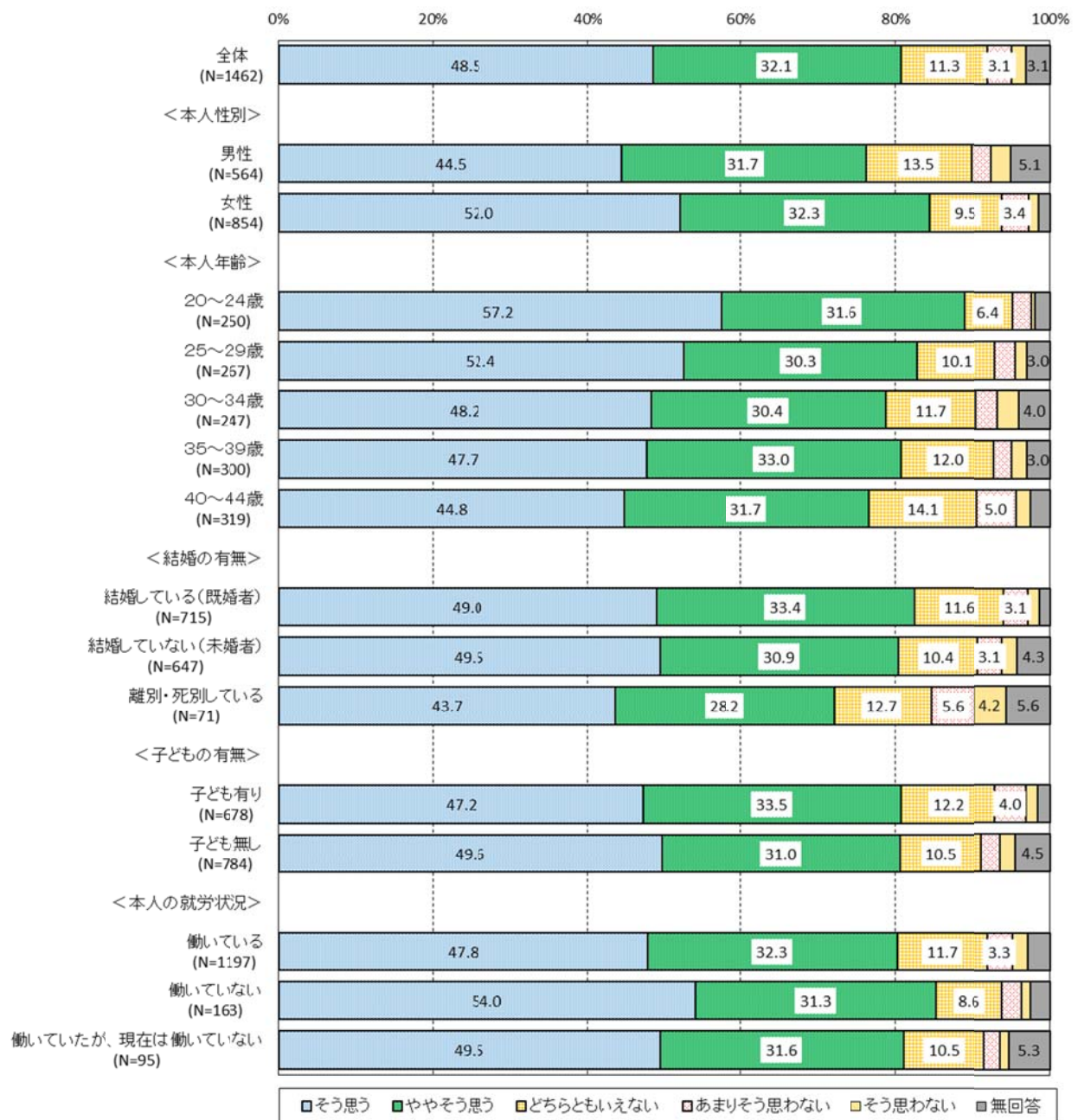
<本人の就労状況別>

必要と思う割合は就労者（80.1%）よりも働いていない人（85.3%）に高く、働いていない人の過半数が「そう思う」（54.0%）と回答している。

図表－67 問 23 4. 妊娠・出産・子育てまで一貫した相談ができる環境がある

		サンプル数	支援や環境（妊娠・出産・子育てまで一貫した相談ができる環境がある）						必要と思う割合	必要としない割合
			そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	無回答		
全体		1462	48.5	32.1	11.3	3.1	1.8	3.1	80.6	4.9
本人性別	男性	564	44.5	31.7	13.5	2.7	2.5	▲ 5.1	76.2	5.2
	女性	854	△ 52.0	32.3	9.5	3.4	1.3	▼ 1.5	84.3	4.7
本人年齢	20～24歳	250	▲ 57.2	31.6	▽ 6.4	2.4	0.4	2.0	88.8	2.8
	25～29歳	267	52.4	30.3	10.1	2.6	1.5	3.0	82.7	4.1
	30～34歳	247	48.2	30.4	11.7	2.8	2.8	4.0	78.6	5.6
	35～39歳	300	47.7	33.0	12.0	2.3	2.0	3.0	80.7	4.3
	40～44歳	319	44.8	31.7	14.1	5.0	1.9	2.5	76.5	6.9
結婚の有無	結婚している（既婚者）	715	49.0	33.4	11.6	3.1	1.5	▼ 1.4	82.4	4.6
	結婚していない（未婚者）	647	49.5	30.9	10.4	3.1	1.9	4.3	80.4	5.0
	離別・死別している	71	43.7	28.2	12.7	5.6	4.2	5.6	71.9	9.8
子どもの有無	子ども有り	678	47.2	33.5	12.2	4.0	1.5	▽ 1.6	80.7	5.5
	子ども無し	784	49.6	31.0	10.5	2.4	2.0	△ 4.5	80.6	4.4
就労状況	働いている	1197	47.8	32.3	11.7	3.3	1.9	2.9	80.1	5.2
	働いていない	163	54.0	31.3	8.6	2.5	1.2	2.5	85.3	3.7
	働いていたが、現在は働いていない	95	49.5	31.6	10.5	2.1	1.1	5.3	81.1	3.2

図表－68 問 23 4. 妊娠・出産・子育てまで一貫した相談ができる環境がある



⑤出産する病院が近くにある

※「そう思う」「ややそう思う」を必要と思う割合、「あまりそう思わない」「そう思わない」を必要としない割合で表記している。

<性別>

必要と思う割合は女性（83.0%）が男性（74.3%）より高く、女性の50.8%が「そう思う」と回答している。

<年齢別>

年齢が若くなるほど必要と思う割合が高くなる傾向にあり、25～29歳の55.1%が「そう思う」と回答している。

<結婚の有無別>

必要と思う割合は既婚者（82.2%）が未婚者（76.8%）を5.4ポイント上回っている。

<子どもの有無別>

必要と思う割合は子どもがいる人（81.2%）がいない人（77.1%）を4.1ポイント上回っている。

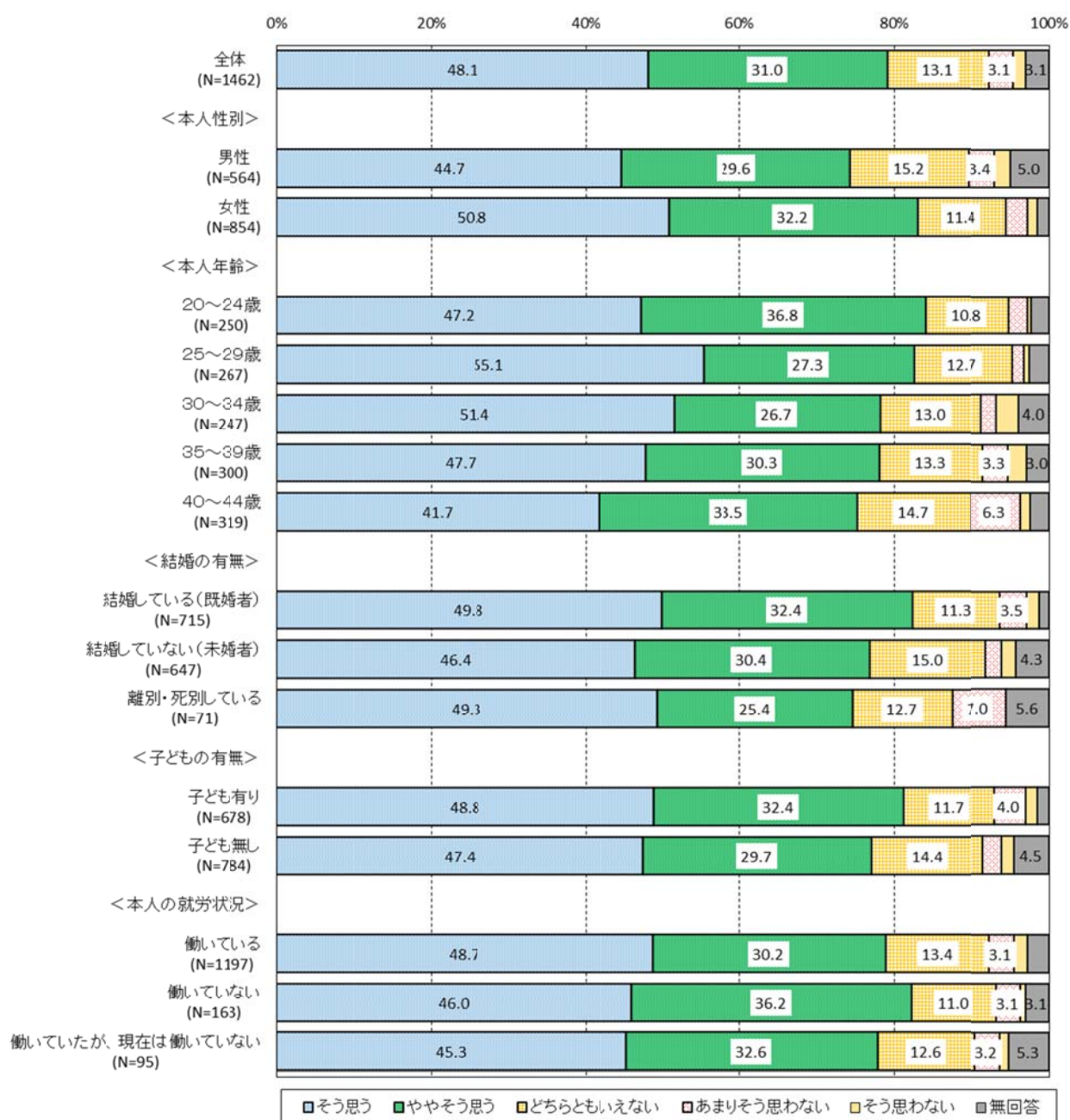
<本人の就労状況別>

必要と思う割合に就労状況による違いは見られない。

図表－69 問 23 5. 出産する病院が近くにある

		サンプル数	支援や環境（出産する病院が近くにある）						必要と 思う割合	必要と 思わない 割合
			そう思う	ややそう 思う	どちらとも いえない	あまりそう 思わない	そう思わ ない	無回答		
全体		1462	48.1	31.0	13.1	3.1	1.6	3.1	79.1	4.7
本人性別	男性	564	44.7	29.6	15.2	3.4	2.1	△ 5.0	74.3	5.5
	女性	854	50.8	32.2	11.4	2.8	1.2	▽ 1.6	83.0	4.0
本人年齢	20～24歳	250	47.2	△ 36.8	10.8	2.4	0.4	2.4	84.0	2.8
	25～29歳	267	△ 55.1	27.3	12.7	1.5	0.7	2.6	82.4	2.2
	30～34歳	247	51.4	26.7	13.0	2.0	2.8	4.0	78.1	4.8
	35～39歳	300	47.7	30.3	13.3	3.3	2.3	3.0	78.0	5.6
	40～44歳	319	▽ 41.7	33.5	14.7	▲ 6.3	1.3	2.5	75.2	7.6
結婚の有無	結婚している（既婚者）	715	49.8	32.4	11.3	3.5	1.5	▼ 1.4	82.2	5.0
	結婚していない（未婚者）	647	46.4	30.4	15.0	2.0	1.9	4.3	76.8	3.9
	離別・死別している	71	49.3	25.4	12.7	7.0	—	5.6	74.7	7.0
子どもの有無	子ども有り	678	48.8	32.4	11.7	4.0	1.5	▽ 1.6	81.2	5.5
	子ども無し	784	47.4	29.7	14.4	2.3	1.7	△ 4.5	77.1	4.0
就労状況	働いている	1197	48.7	30.2	13.4	3.1	1.8	2.8	78.9	4.9
	働いていない	163	46.0	36.2	11.0	3.1	0.6	3.1	82.2	3.7
	働いていたが、現在は働いていない	95	45.3	32.6	12.6	3.2	1.1	5.3	77.9	4.3

図表－70 問 23 5. 出産する病院が近くにある



⑥産後ケア・産後うつへの支援・取り組みが整備されている

※「そう思う」「ややそう思う」を必要と思う割合、「あまりそう思わない」「そう思わない」を必要としない割合で表記している。

<性別>

必要と思う割合は女性（81.2%）が男性（74.2%）より高く、女性の50.8%が「そう思う」と回答している。

<年齢別>

年齢が若くなるほど必要と思う割合が高くなる傾向にあり、20～24歳の56.0%が「そう思う」と回答している。

<結婚の有無別>

必要と思う割合に結婚の有無による違いは見られない。

<子どもの有無別>

必要と思う割合に子どもの有無による違いは見られない。

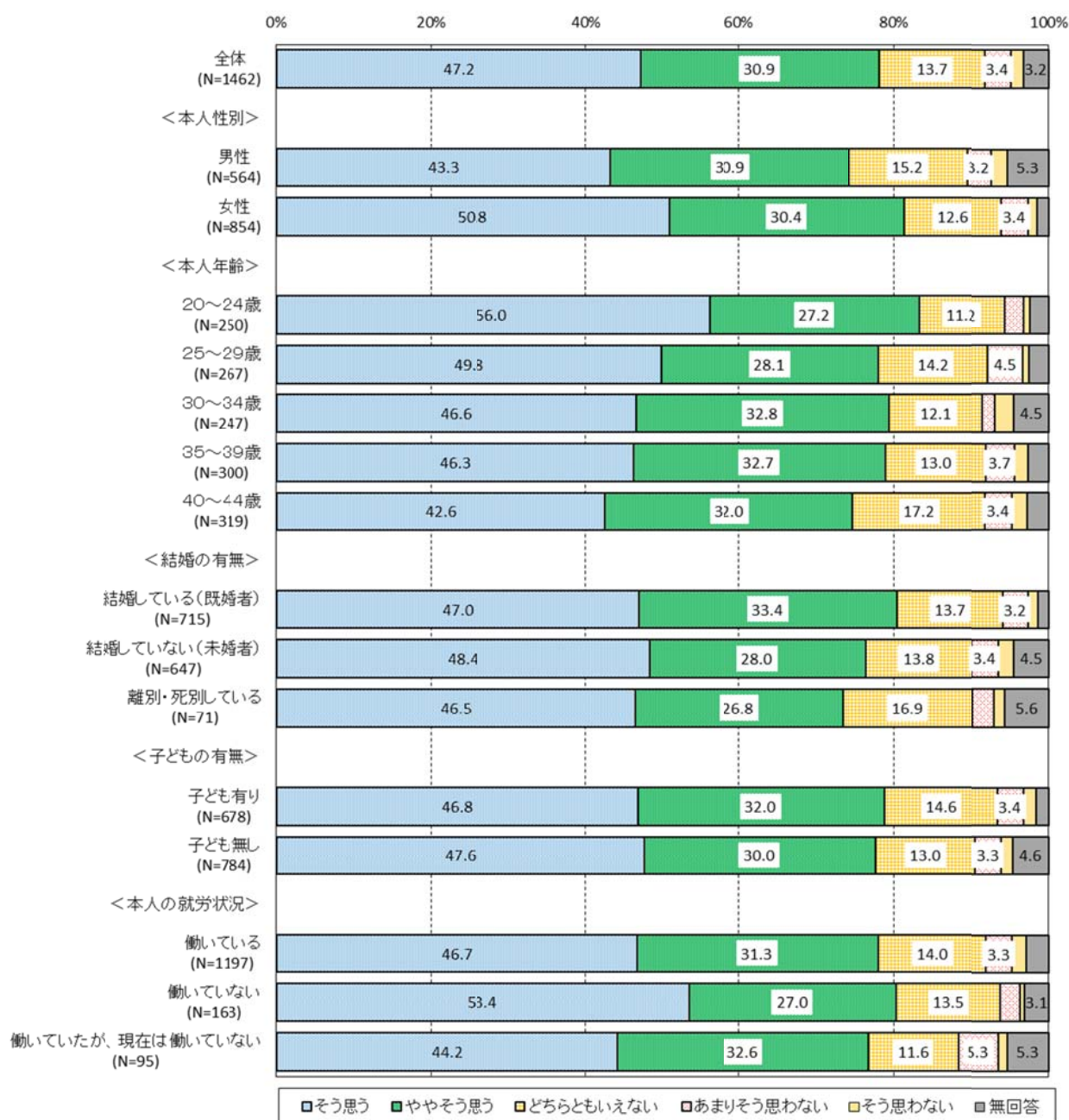
<本人の就労状況別>

必要と思う割合に就労状況による違いは見られない。

図表－71 問 23 6. 産後ケア・産後うつへの支援・取り組みが整備されている

		サンプル数	支援や環境（産後ケア・産後うつへの支援・取り組みが整備されている）						必要と思う割合	必要としない割合
			そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	無回答		
全体		1462	47.2	30.9	13.7	3.4	1.6	3.2	78.1	5.0
本人性別	男性	564	43.3	30.9	15.2	3.2	2.1	▲ 5.3	74.2	5.3
	女性	854	△ 50.8	30.4	12.6	3.4	1.2	▼ 1.5	81.2	4.6
本人年齢	20～24歳	250	▲ 56.0	27.2	11.2	2.4	0.8	2.4	83.2	3.2
	25～29歳	267	49.8	28.1	14.2	4.5	0.7	2.6	77.9	5.2
	30～34歳	247	46.6	32.8	12.1	1.6	2.4	4.5	79.4	4.0
	35～39歳	300	46.3	32.7	13.0	3.7	1.7	2.7	79.0	5.4
	40～44歳	319	42.6	32.0	17.2	3.4	1.9	2.8	74.6	5.3
結婚の有無	結婚している（既婚者）	715	47.0	33.4	13.7	3.2	1.3	▼ 1.4	80.4	4.5
	結婚していない（未婚者）	647	48.4	28.0	13.8	3.4	2.0	4.5	76.4	5.4
	離別・死別している	71	46.5	26.8	16.9	2.8	1.4	5.6	73.3	4.2
子どもの有無	子ども有り	678	46.8	32.0	14.6	3.4	1.6	▽ 1.6	78.8	5.0
	子ども無し	784	47.6	30.0	13.0	3.3	1.5	△ 4.6	77.6	4.8
就労状況	働いている	1197	46.7	31.3	14.0	3.3	1.8	2.9	78.0	5.1
	働いていない	163	53.4	27.0	13.5	2.5	0.6	3.1	80.4	3.1
	働いていたが、現在は働いていない	95	44.2	32.6	11.6	5.3	1.1	5.3	76.8	6.4

図表－72 問 23 6. 産後ケア・産後うつへの支援・取り組みが整備されている



⑦幼稚園・保育園・認定こども園などへの入園の見通しが立っている

※「そう思う」「ややそう思う」を必要と思う割合、「あまりそう思わない」「そう思わない」を必要としない割合で表記している。

<性別>

必要と思う割合は男性が82.9%、女性が89.1%で、女性の「そう思う」(72.4%)は男性(62.9%)を9.5ポイント上回っている。

<年齢別>

年齢による違いは見られないが、35～39歳では必要と思う割合が90.0%に達している。

<結婚の有無別>

必要と思う割合は既婚者で9割を超えており、既婚者の「そう思う」(73.7%)は未婚者(63.2%)を10.5ポイント上回っている。

<子どもの有無別>

必要と思う割合は子どもがいる人で9割に達しており、子どもがいる人の「そう思う」(73.6%)は未婚者(63.0%)を10.6ポイント上回っている。

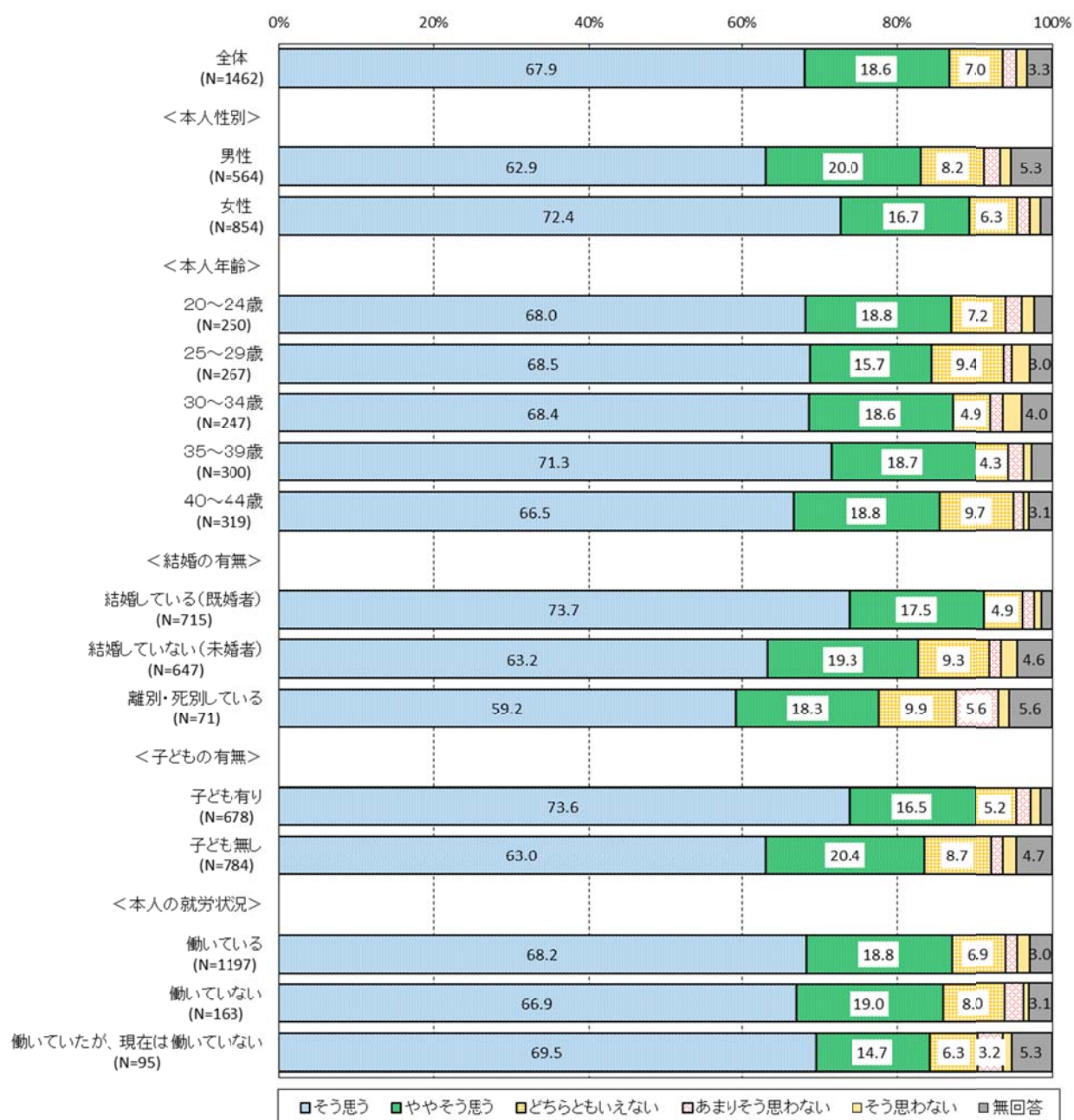
<本人の就労状況別>

必要と思う割合に就労状況による違いは見られない。

図表－73 問 23 7. 幼稚園・保育園・認定こども園などへの入園の見通しが立っている

	サンプル数	支援や環境(幼稚園・保育園・認定こども園などへの入園の見通しが立っている)						必要と思う割合	必要としない割合
		そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	無回答		
全体	1462	67.9	18.6	7.0	1.7	1.4	3.3	86.5	3.1
本人性別	男性	▽ 62.9	20.0	8.2	2.1	1.4	▲ 5.3	82.9	3.5
	女性	▲ 72.4	16.7	6.3	1.5	1.4	▼ 1.6	89.1	2.9
本人年齢	20～24歳	68.0	18.8	7.2	2.0	1.6	2.4	86.8	3.6
	25～29歳	68.5	15.7	9.4	1.1	2.2	3.0	84.2	3.3
	30～34歳	68.4	18.6	4.9	1.6	2.4	4.0	87.0	4.0
	35～39歳	71.3	18.7	4.3	2.0	1.0	2.7	90.0	3.0
	40～44歳	66.5	18.8	9.7	1.3	0.6	3.1	85.3	1.9
結婚の有無	結婚している(既婚者)	▲ 73.7	17.5	▽ 4.9	1.5	1.0	▼ 1.4	91.2	2.5
	結婚していない(未婚者)	▽ 63.2	19.3	△ 9.3	1.5	2.0	4.6	82.5	3.5
	離別・死別している	59.2	18.3	9.9	△ 5.6	1.4	5.6	77.5	7.0
子どもの有無	子ども有り	▲ 73.6	16.5	5.2	1.9	1.2	▽ 1.6	90.1	3.1
	子ども無し	▼ 63.0	20.4	8.7	1.5	1.7	△ 4.7	83.4	3.2
就労状況	働いている	68.2	18.8	6.9	1.5	1.6	3.0	87.0	3.1
	働いていない	66.9	19.0	8.0	2.5	0.6	3.1	85.9	3.1
	働いていたが、現在は働いていない	69.5	14.7	6.3	3.2	1.1	5.3	84.2	4.3

図表－74 問 23 7. 幼稚園・保育園・認定こども園などへの入園の見通しが立っている



⑧子どもを預けられるサポート体制が整備されている

※「そう思う」「ややそう思う」を必要と思う割合、「あまりそう思わない」「そう思わない」を必要としない割合で表記している。

<性別>

必要と思う割合は男性が81.6%、女性が87.8%で、女性の「そう思う」(67.3%)は男性(59.6%)を7.7ポイント上回っている。

<年齢別>

必要と思う割合に年齢による違いは見られない。

<結婚の有無別>

必要と思う割合は既婚者が88.7%、未婚者が82.3%で、既婚者の「そう思う」(68.4%)は未婚者(59.7%)を8.7ポイント上回っている。

<子どもの有無別>

必要と思う割合は子どもがいる人が87.2%、子どもがいない人が83.1%で、子どもがいる人の「そう思う」(68.0%)は子どもがいない人(60.3%)を7.7ポイント上回っている。

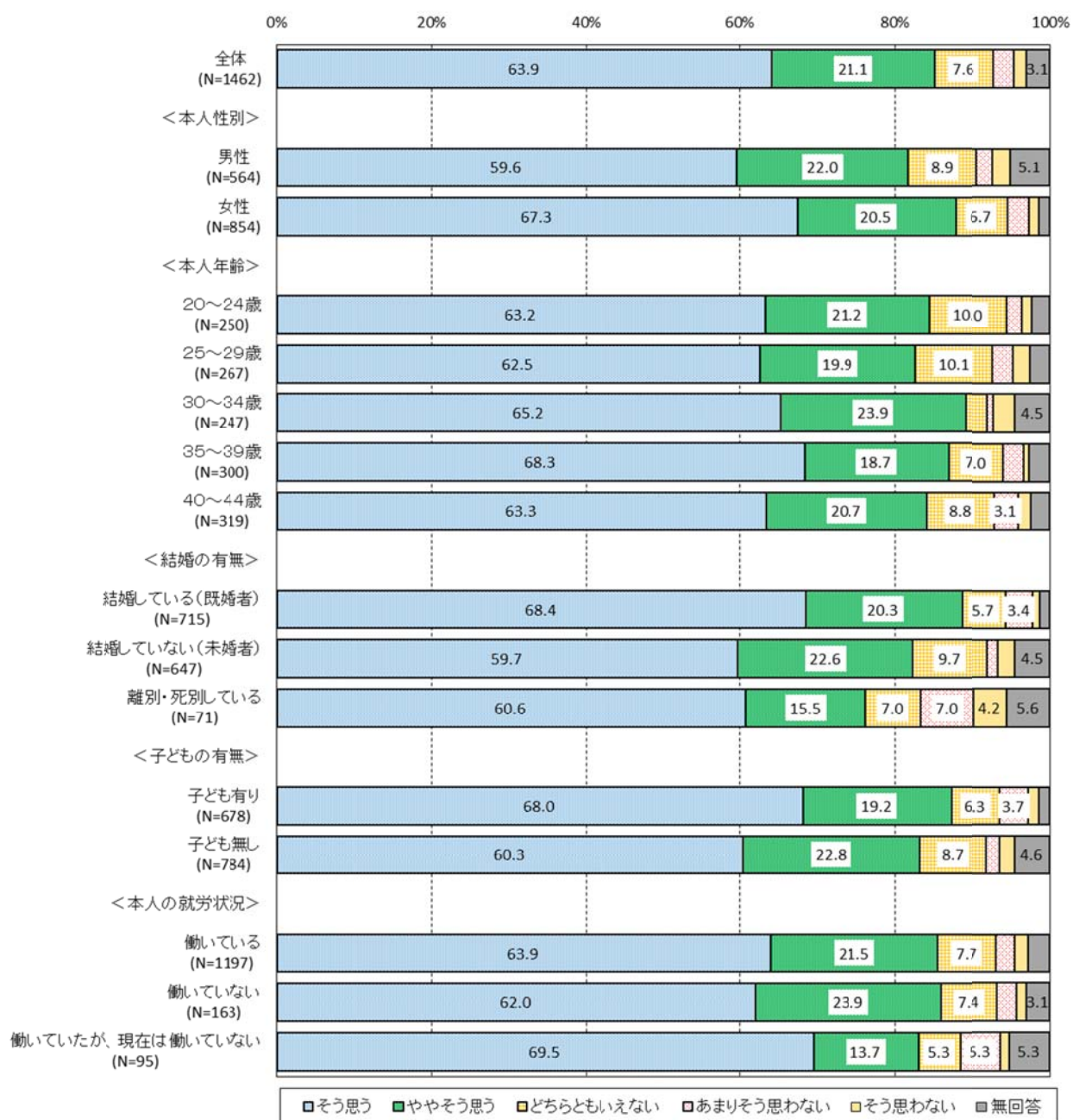
<本人の就労状況別>

必要と思う割合に就労状況による違いは見られない。

図表-75 問 23 8. 子どもを預けられるサポート体制(病児保育や一時預かりなど)が整備されている

	サンプル数	支援や環境(子どもを預けられるサポート体制(病児保育や一時預かりなど)が整備されている)						必要と 思う割合	必要と 思わない 割合
		そう思う	ややそう 思う	どちらとも いえない	あまりそう 思わない	そう思わ ない	無回答		
全体	1462	63.9	21.1	7.6	2.6	1.6	3.1	85.0	4.2
本人 性別	男性	▽ 59.6	22.0	8.9	2.1	2.3	▲ 5.1	81.6	4.4
	女性	△ 67.3	20.5	6.7	2.8	1.2	▼ 1.5	87.8	4.0
本人 年齢	20～24歳	63.2	21.2	10.0	2.0	1.2	2.4	84.4	3.2
	25～29歳	62.5	19.9	10.1	2.6	2.2	2.6	82.4	4.8
	30～34歳	65.2	23.9	▼ 2.8	0.8	2.8	4.5	89.1	3.6
	35～39歳	68.3	18.7	7.0	2.7	0.7	2.7	87.0	3.4
	40～44歳	63.3	20.7	8.8	3.1	1.6	2.5	84.0	4.7
結 婚 の 有 無	結婚している(既婚者)	△ 68.4	20.3	5.7	3.4	1.0	▼ 1.3	88.7	4.4
	結婚していない(未婚者)	▽ 59.7	22.6	△ 9.7	1.4	2.2	4.5	82.3	3.6
	離別・死別している	60.6	15.5	7.0	△ 7.0	4.2	5.6	76.1	11.2
子 ど も の 有 無	子ども有り	△ 68.0	19.2	6.3	3.7	1.3	▽ 1.5	87.2	5.0
	子ども無し	▽ 60.3	22.8	8.7	1.7	1.9	△ 4.6	83.1	3.6
就 労 状 況	働いている	63.9	21.5	7.7	2.3	1.8	2.8	85.4	4.1
	働いていない	62.0	23.9	7.4	2.5	1.2	3.1	85.9	3.7
	働いていたが、現在は働いていない	69.5	13.7	5.3	5.3	1.1	5.3	83.2	6.4

図表－76 問 23 8. 子どもを預けられるサポート体制（病児保育や一時預かりなど）が整備されている



⑨自分または配偶者の勤務先の働き方が見直される

※「そう思う」「ややそう思う」を必要と思う割合、「あまりそう思わない」「そう思わない」を必要としない割合で表記している。

<性別>

必要と思う割合は女性(79.3%)が男性(72.3%)よりも高く、女性の「そう思う」(52.3%)は男性(42.9%)を9.4ポイント上回っている。

<年齢別>

「そう思う」は30～34歳(53.0%)、35～39歳(55.0%)で過半数を超えている。

<結婚の有無別>

必要と思う割合は既婚者(79.4%)が未婚者(73.4%)よりも高く、既婚者の「そう思う」(53.1%)は未婚者(43.0%)を10.1ポイント上回っている。

<子どもの有無別>

必要と思う割合に大きな違いは見られないが、子どもがいる人「そう思う」(52.9%)はいない人(44.8%)を8.1ポイント上回っている。

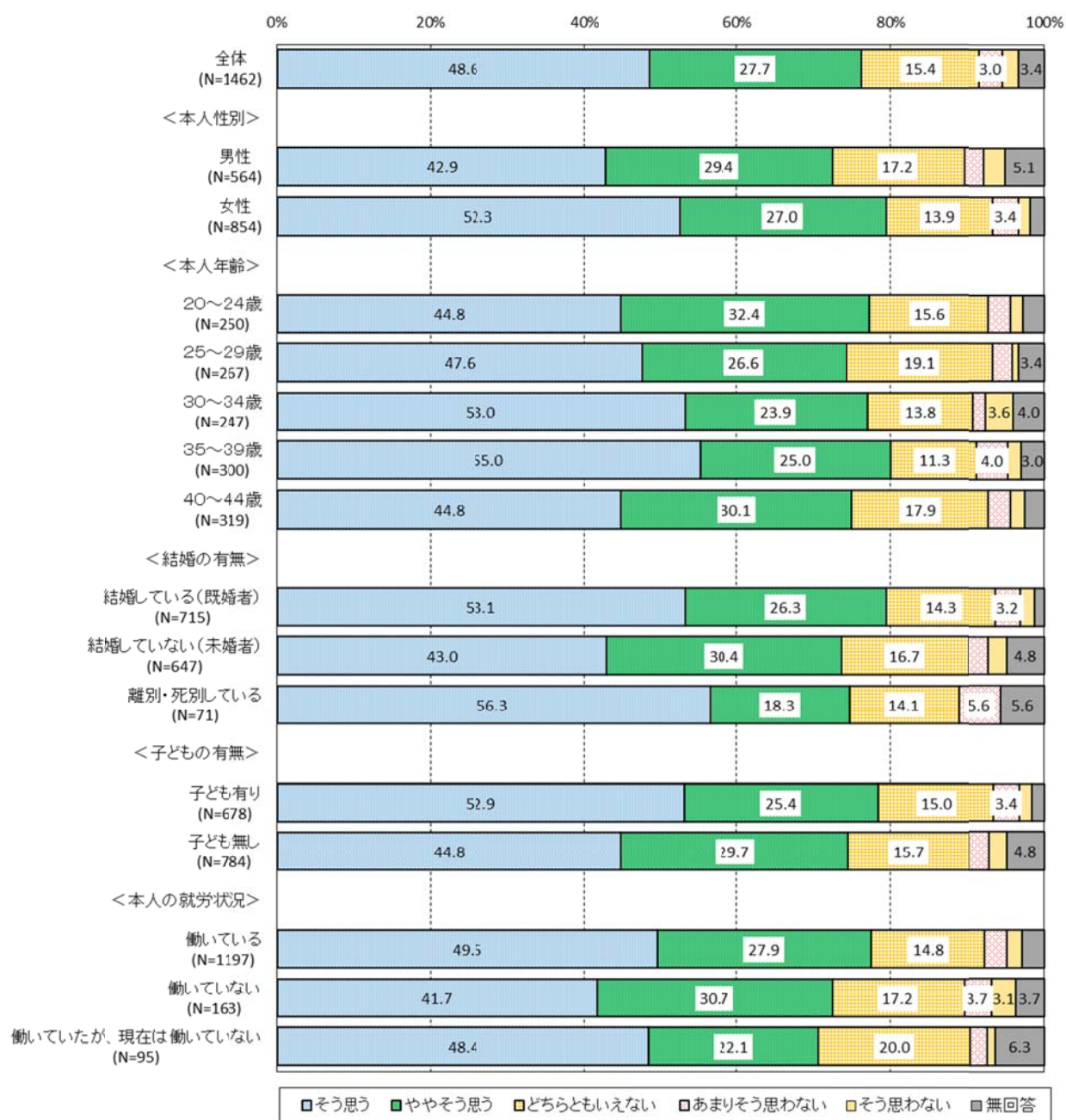
<本人の就労状況別>

必要と思う割合は、就労者(77.4%)が働いていない人(72.4%)より高い。

図表－77 問 23 9. 自分または配偶者の勤務先の働き方が見直される

	サンプル数	支援や環境(自分または配偶者の勤務先の働き方が見直される)						必要と思う割合	必要としない割合
		そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	無回答		
全体	1462	48.6	27.7	15.4	3.0	2.0	3.4	76.3	5.0
本人性別	男性	▼ 42.9	29.4	17.2	2.7	2.7	△ 5.1	72.3	5.4
	女性	△ 52.3	27.0	13.9	3.4	1.5	▼ 1.8	79.3	4.9
本人年齢	20～24歳	44.8	32.4	15.6	2.8	1.6	2.8	77.2	4.4
	25～29歳	47.6	26.6	19.1	2.6	0.7	3.4	74.2	3.3
	30～34歳	53.0	23.9	13.8	1.6	3.6	4.0	76.9	5.2
	35～39歳	△ 55.0	25.0	11.3	4.0	1.7	3.0	80.0	5.7
	40～44歳	44.8	30.1	17.9	2.8	1.9	2.5	74.9	4.7
結婚の有無	結婚している(既婚者)	△ 53.1	26.3	14.3	3.2	1.8	▼ 1.3	79.4	5.0
	結婚していない(未婚者)	▼ 43.0	30.4	16.7	2.6	2.5	△ 4.8	73.4	5.1
	離別・死別している	56.3	18.3	14.1	5.6	—	5.6	74.6	5.6
子どもの有無	子ども有り	△ 52.9	25.4	15.0	3.4	1.6	▽ 1.6	78.3	5.0
	子ども無し	▽ 44.8	29.7	15.7	2.7	2.3	△ 4.8	74.5	5.0
就労状況	働いている	49.5	27.9	14.8	2.9	1.9	2.9	77.4	4.8
	働いていない	41.7	30.7	17.2	3.7	3.1	3.7	72.4	6.8
	働いていたが、現在は働いていない	48.4	22.1	20.0	2.1	1.1	6.3	70.5	3.2

図表－78 問 23 9. 自分または配偶者の勤務先の働き方が見直される



⑩配偶者の協力・理解が得られる

※「そう思う」「ややそう思う」を必要と思う割合、「あまりそう思わない」「そう思わない」を必要としない割合で表記している。

<性別>

必要と思う割合は女性で9割に達しており、「そう思う」の割合は女性（72.2%）が男性（60.6%）を11.6ポイント上回っている。

<年齢別>

「そう思う」の割合は30～34歳（70.0%）、35～39歳（73.3%）で7割を超えており、前項（自分または配偶者の勤務先の働き方が見直される）同様、他の年代に比べて30代に高い割合となっている。

<結婚の有無別>

必要と思う割合は既婚者（91.8%）が未婚者（84.9%）より高く、「そう思う」の割合は既婚者（71.0%）が未婚者（64.0%）を7.0ポイント上回っている。

<子どもの有無別>

「そう思う」の割合は子どもがいる人（70.9%）がいない人（64.0%）を6.9ポイント上回っている。

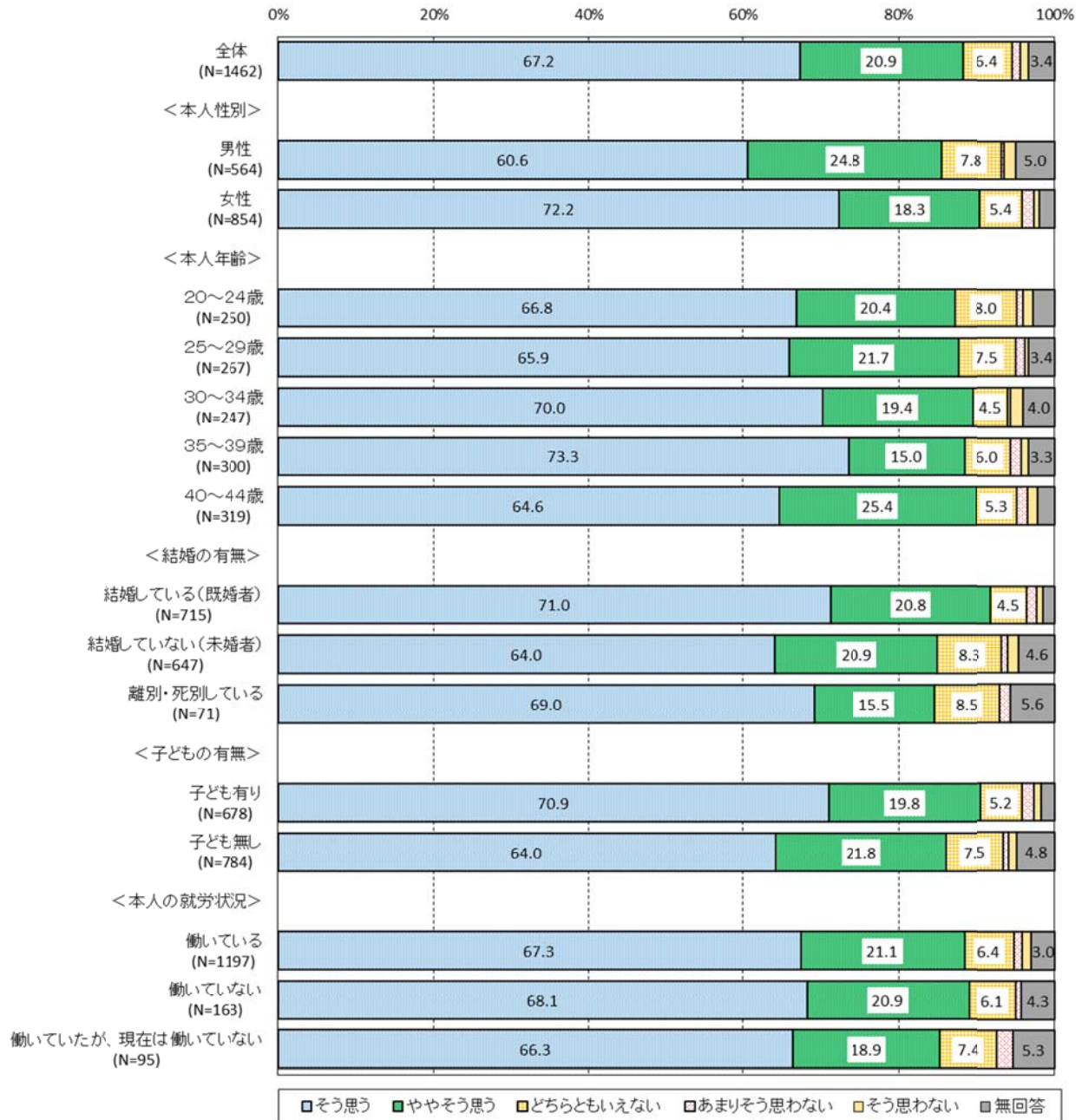
<本人の就労状況別>

必要と思う割合に就労状況による違いは見られない。

図表－79 問 23 10. 配偶者の協力・理解が得られる

		サンプル数	支援や環境(配偶者の協力・理解が得られる)						必要と 思う割合	必要と 思わない 割合
			そう思う	ややそう 思う	どちらとも いえない	あまりそう 思わない	そう思わ ない	無回答		
全体		1462	67.2	20.9	6.4	1.0	1.0	3.4	88.1	2.0
本人 性別	男性	564	▼ 60.6	△ 24.8	7.8	0.4	1.4	△ 5.0	85.4	1.8
	女性	854	▲ 72.2	18.3	5.4	1.4	0.7	▽ 2.0	90.5	2.1
本人 年齢	20～24歳	250	66.8	20.4	8.0	0.8	1.2	2.8	87.2	2.0
	25～29歳	267	65.9	21.7	7.5	1.1	0.4	3.4	87.6	1.5
	30～34歳	247	70.0	19.4	4.5	0.4	1.6	4.0	89.4	2.0
	35～39歳	300	△ 73.3	▽ 15.0	6.0	1.3	1.0	3.3	88.3	2.3
	40～44歳	319	64.6	△ 25.4	5.3	1.3	1.3	2.2	90.0	2.6
結婚 の有 無	結婚している(既婚者)	715	△ 71.0	20.8	▽ 4.5	1.3	0.8	▼ 1.5	91.8	2.1
	結婚していない(未婚者)	647	64.0	20.9	△ 8.3	0.8	1.4	4.6	84.9	2.2
	離別・死別している	71	69.0	15.5	8.5	1.4	—	5.6	84.5	1.4
子 ど も の 有 無	子ども有り	678	△ 70.9	19.8	5.2	1.5	0.9	▽ 1.8	90.7	2.4
	子ども無し	784	64.0	21.8	7.5	0.6	1.1	△ 4.8	85.8	1.7
就 労 状 況 の 本 人	働いている	1197	67.3	21.1	6.4	1.0	1.2	3.0	88.4	2.2
	働いていない	163	68.1	20.9	6.1	0.6	—	4.3	89.0	0.6
	働いていたが、現在は働いていない	95	66.3	18.9	7.4	2.1	—	5.3	85.2	2.1

図表-80 問 23 10. 配偶者の協力・理解が得られる



⑪身近に仕事と子育てを両立している手本となる人がいる

※「そう思う」「ややそう思う」を必要と思う割合、「あまりそう思わない」「そう思わない」を必要としない割合で表記している。

<性別>

必要と思う割合は女性（70.0％）が男性（60.6％）を9.4ポイント上回っている。

<年齢別>

必要と思う割合は最も若い20～24歳（74.8％）で7割を超え、「そう思う」は20～24歳（38.8％）が40～44歳（26.6％）を12.2ポイント上回っている。

<結婚の有無別>

必要と思う割合に結婚の有無による違いは見られない。

<子どもの有無別>

必要と思う割合に子どもの有無による違いは見られない。

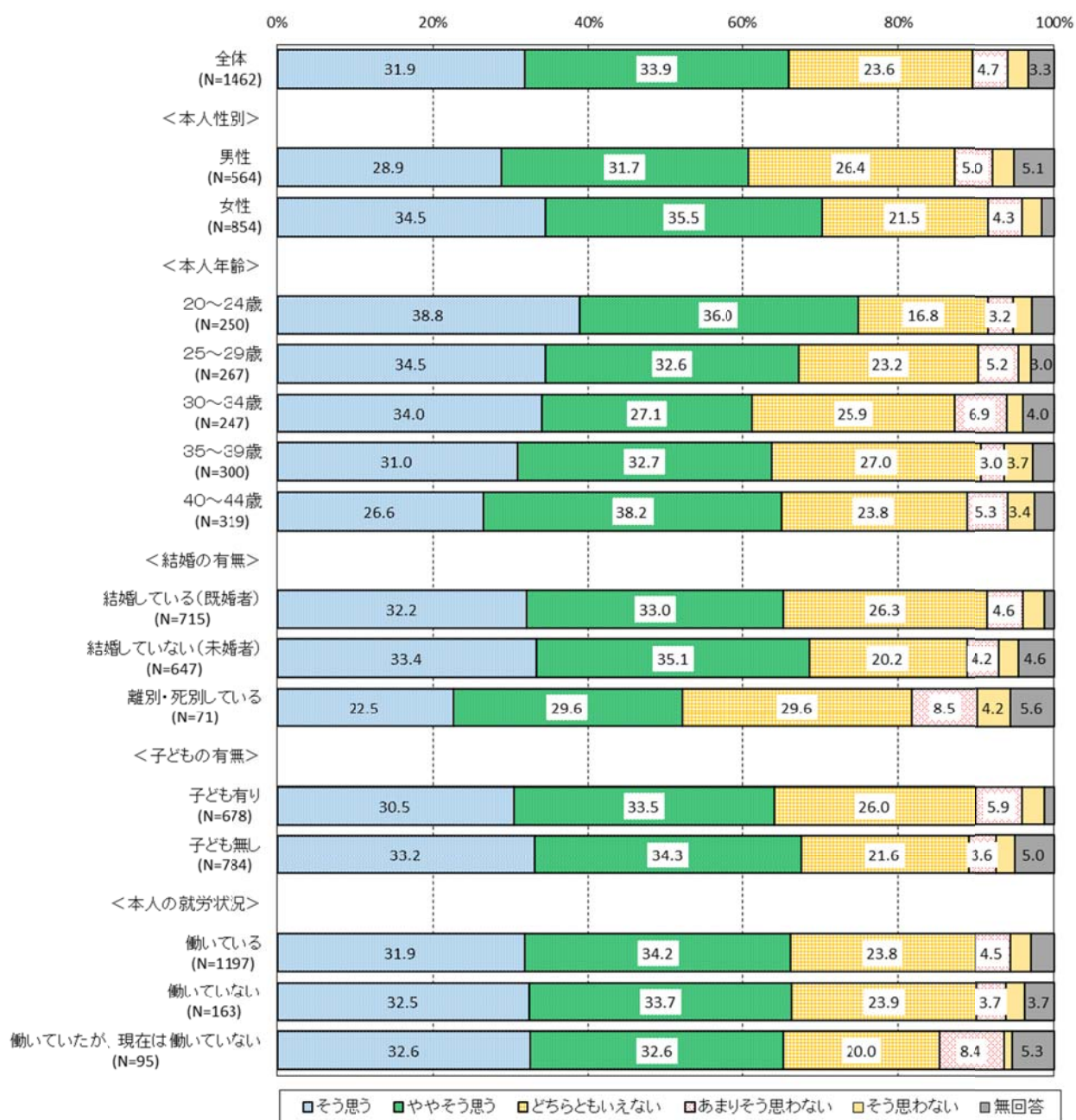
<本人の就労状況別>

必要と思う割合に就労状況による違いは見られない。

図表－81 問 23 11. 身近に仕事と子育てを両立している手本となる人がいる

		サンプル数	支援や環境(身近に仕事と子育てを両立している手本となる人がいる)						必要と 思う割合	必要と 思わない 割合
			そう思う	ややそう思 う	どちらとも いえない	あまりそう 思わない	そう思わな い	無回答		
全体		1462	31.9	33.9	23.6	4.7	2.6	3.3	65.8	7.3
本人 性別	男性	564	28.9	31.7	26.4	5.0	2.8	△ 5.1	60.6	7.8
	女性	854	34.5	35.5	21.5	4.3	2.5	▼ 1.6	70.0	6.8
本人 年齢	20～24歳	250	△ 38.8	36.0	▽ 16.8	3.2	2.4	2.8	74.8	5.6
	25～29歳	267	34.5	32.6	23.2	5.2	1.5	3.0	67.1	6.7
	30～34歳	247	34.0	▽ 27.1	25.9	6.9	2.0	4.0	61.1	8.9
	35～39歳	300	31.0	32.7	27.0	3.0	3.7	2.7	63.7	6.7
	40～44歳	319	▽ 26.6	38.2	23.8	5.3	3.4	2.5	64.8	8.7
結 婚 の 有 無	結婚している(既婚者)	715	32.2	33.0	26.3	4.6	2.7	▼ 1.3	65.2	7.3
	結婚していない(未婚者)	647	33.4	35.1	▽ 20.2	4.2	2.5	4.6	68.5	6.7
	離別・死別している	71	22.5	29.6	29.6	8.5	4.2	5.6	52.1	12.7
子 ど も の 有 無	子ども有り	678	30.5	33.5	26.0	5.9	2.8	▼ 1.3	64.0	8.7
	子ども無し	784	33.2	34.3	21.6	3.6	2.4	▲ 5.0	67.5	6.0
就 労 状 況 の 本 人	働いている	1197	31.9	34.2	23.8	4.5	2.7	2.9	66.1	7.2
	働いていない	163	32.5	33.7	23.9	3.7	2.5	3.7	66.2	6.2
	働いていたが、現在は働いていない	95	32.6	32.6	20.0	8.4	1.1	5.3	65.2	9.5

図表－82 問 23 11. 身近に仕事と子育てを両立している手本となる人がある



⑫妊婦や子連れで外出しやすい施設やサービスが地域に整っている

※「そう思う」「ややそう思う」を必要と思う割合、「あまりそう思わない」「そう思わない」を必要と思わない割合で表記している。

<性別>

必要と思う割合は女性（82.1％）が男性（71.5％）よりも高く、「そう思う」の割合は女性（51.3％）が男性（40.1％）を11.2ポイント上回っている。

<年齢別>

必要と思う割合は他の年代に比べて40歳以上で低く、「そう思う」の割合は40～44歳（37.6％）で4割を切っており、全体に比べて「どちらともいえない」（20.7％）の割合が高い。

<結婚の有無別>

必要と思う割合に結婚の有無による違いは見られない。

<子どもの有無別>

必要と思う割合に子どもの有無による違いは見られない。

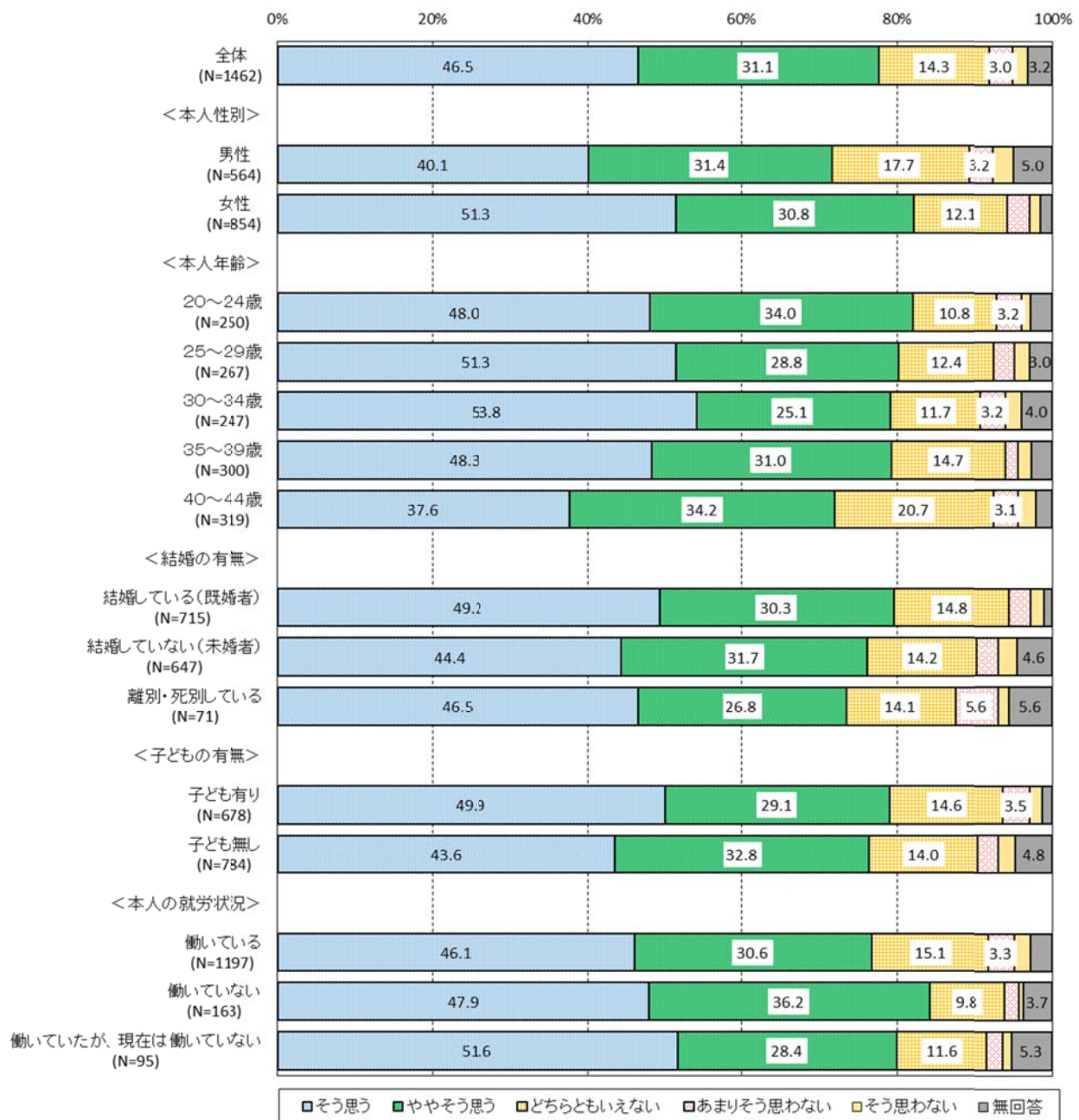
<本人の就労状況別>

必要と思う割合は就労者（76.7％）よりも働いていない人（84.1％）に高い。

図表－83 問 23 12. 妊婦や子連れで外出しやすい施設やサービスが地域に整っている

		サンプル数	支援や環境（妊婦や子連れで外出しやすい施設やサービスが地域に整っている）						必要と思う割合	必要と思わない割合
			そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	無回答		
全体		1462	46.5	31.1	14.3	3.0	1.9	3.2	77.6	4.9
本人性別	男性	564	▼ 40.1	31.4	△ 17.7	3.2	2.7	△ 5.0	71.5	5.9
	女性	854	▲ 51.3	30.8	12.1	2.8	1.4	▼ 1.6	82.1	4.2
本人年齢	20～24歳	250	48.0	34.0	10.8	3.2	1.2	2.8	82.0	4.4
	25～29歳	267	51.3	28.8	12.4	2.6	1.9	3.0	80.1	4.5
	30～34歳	247	△ 53.8	▼ 25.1	11.7	3.2	2.0	4.0	78.9	5.2
	35～39歳	300	48.3	31.0	14.7	1.7	1.7	2.7	79.3	3.4
	40～44歳	319	▼ 37.6	34.2	▲ 20.7	3.1	2.2	2.2	71.8	5.3
結婚の有無	結婚している（既婚者）	715	49.2	30.3	14.8	2.8	1.7	▼ 1.1	79.5	4.5
	結婚していない（未婚者）	647	44.4	31.7	14.2	2.8	2.3	△ 4.6	76.1	5.1
	離別・死別している	71	46.5	26.8	14.1	5.6	1.4	5.6	73.3	7.0
子どもの有無	子ども有り	678	49.9	29.1	14.6	3.5	1.6	▼ 1.3	79.0	5.1
	子ども無し	784	43.6	32.8	14.0	2.6	2.2	▲ 4.8	76.4	4.8
就労状況	働いている	1197	46.1	30.6	15.1	3.3	2.1	2.8	76.7	5.4
	働いていない	163	47.9	36.2	9.8	1.8	0.6	3.7	84.1	2.4
	働いていたが、現在は働いていない	95	51.6	28.4	11.6	2.1	1.1	5.3	80.0	3.2

図表－84 問 23 12. 妊婦や子連れで外出しやすい施設やサービスが地域に整っている



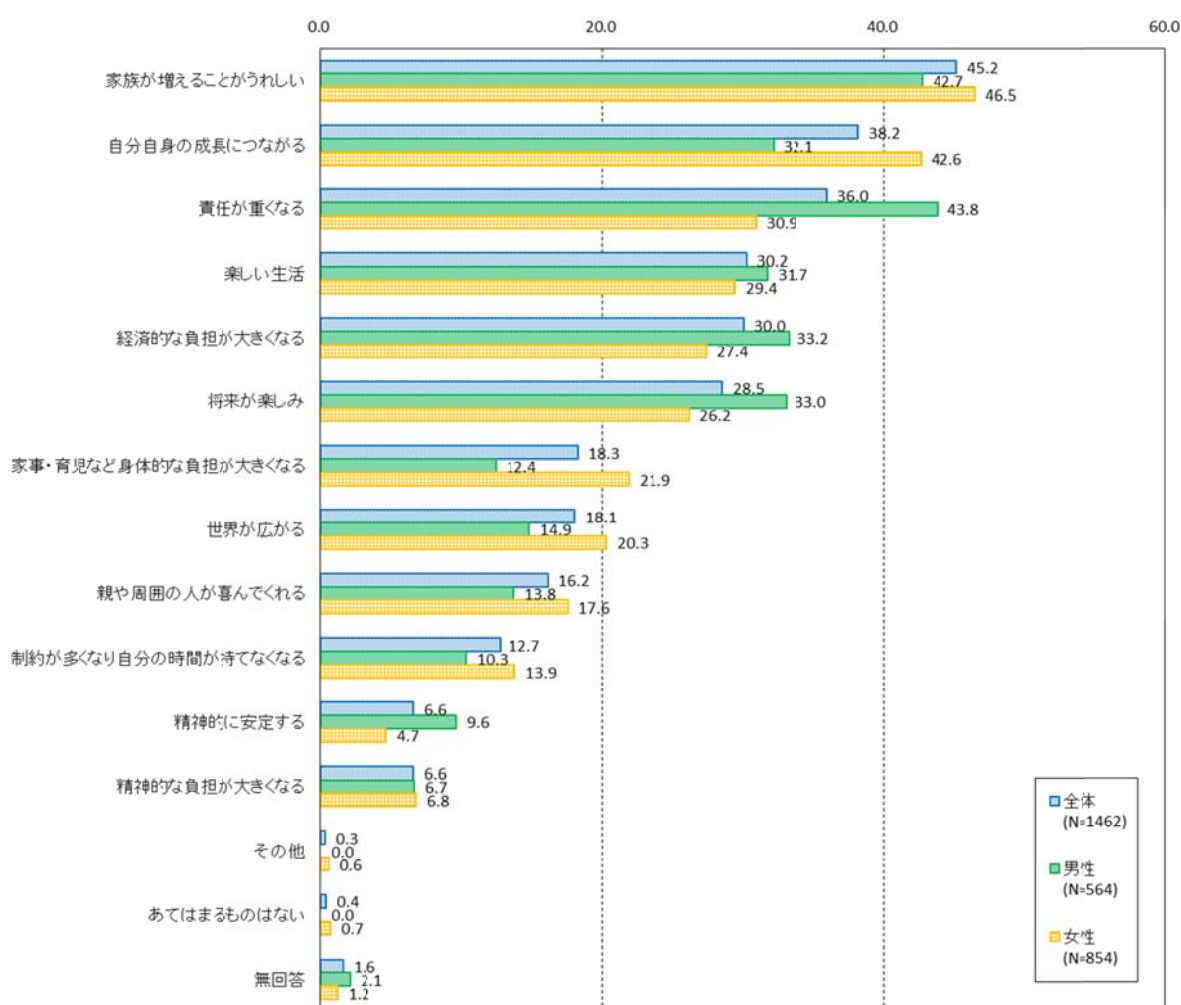
（２）子育てに対するイメージ

子育てに対するイメージで最も割合が高いのは「家族が増えることがうれしい」(45.2%)である。次いで、「自分自身の成長につながる」(38.2%)、「責任が重くなる」(36.0%)、「楽しい生活」(30.2%)、「経済的な負担が大きくなる」(30.0%)、「将来が楽しみ」(28.5%)などが続いている。

その他として、「経験したことがないから、正直イメージがない。」、「地域行事や学校行事に参加しないといけない。」といった回答（意見）があった。

図表－85 問 24 あなたは、子育てについてどのようなイメージをお持ちですか。

あてはまるものを3つ選んでください。(〇は3つまで)



【属性別傾向】

<性別>

男性では「責任が重くなる」(43.8%)が最も高く、「家族が増えることがうれしい」(42.7%)を上回っている。「将来が楽しみ」(33.0%)も女性(26.2%)を6.8ポイント上回っている。

女性は「家族が増えることがうれしい」(46.5%)が最も高いものの、男性に比べて「自分自身の成長につながる」(女性 42.6%、男性 32.1%)、「家事・育児など身体的な負担が大きくなる」(女性 21.9%、男性 12.4%)が高い。

<年齢別>

40歳未満では「家族が増えることがうれしい」が最も高いが、40～44歳では「自分自身の成長につながる」(44.5%)が最も高い。

年齢が高くなるほど「世界が広がる」は高くなる傾向にあり、40～44歳(23.2%)では2割を超えている。「将来が楽しみ」というイメージは、他の年齢の中で40～44歳(33.5%)が最も高くなっている。

<結婚の有無別>

既婚者も未婚者も最も割合が高いのは「家族が増えることがうれしい」であるが、既婚者は「自分自身の成長につながる」(43.4%)、「楽しい生活」(36.1%)、「将来が楽しみ」(34.5%)、「世界が広がる」(21.3%)などが未婚者より高い。

未婚者は既婚者に比べて「責任が重くなる」(42.8%)、「親や周囲の人が喜んでくれる」(20.9%)が高い。

<子どもの有無別>

子どもがいる人は子どもがいない人よりも「自分自身の成長につながる」(44.0%)、「楽しい生活」(35.7%)、「将来が楽しみ」(35.3%)、「世界が広がる」(22.4%)が高く、子どもがいない人は子どもがいる人よりも「責任が重くなる」(41.2%)、「親や周囲の人が喜んでくれる」(21.0%)が高い。

図表－86 問 24 あなたは、子育てについてどのようなイメージをお持ちですか。(属性別)

		サンプル 数	あなたは、子育てについてどのようなイメージをお持ちですか														
			楽しい生活	将来が楽 しみ	家族が増 えることが うれしい	精神的に 安定する	親や周囲 の人が喜 んでくれる	世界が広 がる	自分自身 の成長に つながる	責任が重く なる	制約が多く なり自分の 時間が持 てなくなる	精神的な 負担が大 きくなる	経済的な 負担が大 きくなる	家事・育児 など身体 的な負担 が大きくな る	その他	あてはまる ものはない	無回答
全体		1462	30.2	28.5	45.2	6.6	16.2	18.1	38.2	36.0	12.7	6.6	30.0	18.3	0.3	0.4	1.6
本人 性別	男性	564	31.7	△ 33.0	42.7	▲ 9.6	13.8	14.9	▼ 32.1	▲ 43.8	10.3	6.7	33.2	▼ 12.4	－	－	2.1
	女性	854	29.4	26.2	46.5	▽ 4.7	17.6	20.3	▲ 42.6	▼ 30.9	13.9	6.8	27.4	▲ 21.9	0.6	0.7	1.2
本人 年齢	20～24歳	250	32.4	25.6	47.6	7.2	20.0	15.2	37.6	38.0	12.0	6.0	30.0	15.2	0.4	－	1.2
	25～29歳	267	33.0	25.8	49.1	7.5	17.2	15.4	▽ 30.7	40.8	12.4	△ 9.7	30.0	16.9	－	0.4	1.5
	30～34歳	247	28.3	32.0	49.0	4.9	19.4	14.2	39.3	34.0	14.6	7.7	25.9	18.6	0.8	0.4	2.8
	35～39歳	300	32.0	26.3	43.7	6.0	14.3	21.0	38.0	36.3	11.7	6.3	30.7	22.3	－	0.7	1.3
	40～44歳	319	27.9	△ 33.5	▽ 38.9	6.9	12.5	△ 23.2	△ 44.5	33.2	12.5	4.7	31.3	17.9	0.3	0.3	1.3
結 婚 の 有 無	結婚している(既婚者)	715	▲ 36.1	▲ 34.5	45.2	6.0	▼ 12.4	△ 21.3	▲ 43.4	▼ 29.8	▽ 9.9	5.2	30.6	18.2	0.3	0.3	1.3
	結婚していない(未婚者)	647	▼ 24.7	▼ 21.5	45.9	7.0	▲ 20.9	▽ 14.4	▼ 32.0	▲ 42.8	15.1	8.5	28.3	18.5	0.3	0.6	2.0
	離別・死別している	71	25.4	36.6	35.2	7.0	12.7	21.1	45.1	35.2	15.5	7.0	38.0	16.9	1.4	－	1.4
子 ど も の 有 無	子ども有り	678	▲ 35.7	▲ 35.3	43.7	5.0	▼ 10.6	▲ 22.4	▲ 44.0	▼ 29.9	10.3	4.9	31.6	17.8	0.3	0.3	0.9
	子ども無し	784	▼ 25.5	▼ 22.7	46.6	7.9	▲ 21.0	▼ 14.3	▼ 33.3	▲ 41.2	14.7	8.2	28.6	18.8	0.4	0.5	2.3

※複数回答

【問 24 子育てのイメージ×問 16 結婚に対する考え】

「結婚した方が良い」と回答した人は、「無理に結婚しなくてもよい」と回答した人よりも「家族が増えることがうれしい」（「結婚した方が良い」56.9%、「無理に結婚しなくてもよい」30.4%）が26.5ポイント、「楽しい生活」（「結婚した方が良い」39.8%、「無理に結婚しなくてもよい」19.9%）が19.9ポイント、「将来が楽しみ」（「結婚した方が良い」35.2%、「無理に結婚しなくてもよい」19.3%）が15.9ポイント高い。

「無理に結婚しなくてもよい」と回答した人は、「結婚した方が良い」と回答した人よりも「責任が重くなる」（「結婚した方が良い」27.2%、「無理に結婚しなくてもよい」47.0%）が19.8ポイント、「精神的な負担が大きくなる」（「結婚した方が良い」2.6%、「無理に結婚しなくてもよい」13.9%）が11.3ポイント、「制約が多くなり自分の時間が持てなくなる」（「結婚した方が良い」8.9%、「無理に結婚しなくてもよい」19.3%）が10.4ポイント、「家事・育児など身体的な負担が大きくなる」（「結婚した方が良い」15.2%、「無理に結婚しなくてもよい」23.6%）が8.4ポイント高い。

結婚に前向きな人は子育てについてもプラスイメージを持つ割合が高く、結婚に消極的な人は、結婚に前向きな人よりもマイナスイメージを持つ割合が高い。

図表－87 問 24 子育てのイメージ×問 16 結婚に対する考え

		サンプル 数	あなたは、子育てについてどのようなイメージをお持ちですか												
			楽しい生活	将来が楽 しみ	家族が増 えることが うれしい	精神的に 安定する	親や周囲 の人が喜 んでくれる	世界が広 がる	自分自身 の成長に つながる	責任が重 くなる	制約が多 くなり自 分の時 間が減る	精神的な 負担が大 きくなる	経済的な 負担が大 きくなる	家事・育児 など身体 的な負担 が大きくな る	あてはまる ものはない
全体		1462	30.2	28.5	45.2	6.6	16.2	18.1	38.2	36.0	12.7	6.6	30.0	18.3	0.4
結 婚 に 対 する 考 え	結婚した方が良い	508	▲ 39.8	▲ 35.2	▲ 56.9	7.5	14.2	17.3	41.5	▼ 27.2	▽ 8.9	▼ 2.6	26.4	15.2	—
	できれば結婚した方が良い	617	27.7	28.0	43.1	6.5	17.5	19.4	39.1	37.8	12.6	6.2	30.1	18.5	0.3
	無理に結婚しなくてもよい	296	▼ 19.9	▼ 19.3	▼ 30.4	5.4	16.9	17.6	33.8	▲ 47.0	▲ 19.3	▲ 13.9	35.1	△ 23.6	0.7
	結婚しなくてよい	11	18.2	9.1	▽ 9.1	—	—	—	▼ —	54.5	△ 36.4	▲ 36.4	27.3	27.3	▲ 18.2

※複数回答

【問 24 子育てのイメージ×問 19 欲しいと思う子どもの人数】

「家族が増えることがうれしい」、「楽しい生活」、「将来が楽しみ」は、欲しいと思う子どもの人数が増えるほど高くなる傾向にある。

欲しいと思う子どもが1人の場合、2人以上を望む人に比べて「経済的な負担が大きくなる」(40.8%)というイメージが強い。

欲しいと思う子どもが3人の場合、全体に比べて「家族が増えることがうれしい」(49.8%)、「楽しい生活」(36.7%)、「将来が楽しみ」(34.6%)に加えて「自分自身の成長につながる」(44.5%)の割合も高く、プラスイメージをより多く持っているといえる。

子どもは欲しくない人の場合、全体に比べて「責任が重くなる」(57.1%)、「経済的な負担が大きくなる」(47.1%)、「制約が多くなり自分の時間が持てなくなる」(34.3%)、「精神的な負担が大きくなる」(31.4%)などマイナスイメージの割合が非常に高い。

図表－88 問 24 子育てのイメージ×問 19 欲しいと思う子どもの人数

		サンプル 数	あなたは、子育てについてどのようなイメージをお持ちですか												
			楽しい生活	将来が楽 しみ	家族が増 えることが うれしい	精神的に 安定する	親や周囲 の人が喜 んでくれる	世界が広 がる	自分自身 の成長に つながる	責任が重く なる	制約が多く なり自分の 時間が持 てなくなる	精神的な 負担が大 きくなる	経済的な 負担が大 きくなる	家事・育児 など身体 的な負担 が大きくな る	あてはまるも のはない
全体		1462	30.2	28.5	45.2	6.6	16.2	18.1	38.2	36.0	12.7	6.6	30.0	18.3	0.4
子 ど も の 人 数 を 欲 し い と 思 う	1人	76	▽ 17.1	19.7	▼ 27.6	9.2	21.1	18.4	▽ 26.3	44.7	18.4	9.2	△ 40.8	25.0	－
	2人	664	28.0	26.7	47.1	7.5	▲ 20.3	18.1	36.3	38.4	13.0	6.0	27.3	19.7	－
	3人	564	▲ 36.7	▲ 34.6	△ 49.8	6.7	▽ 12.4	18.6	▲ 44.5	▽ 31.0	10.3	▼ 3.7	28.4	15.8	0.4
	4人以上	63	▲ 47.6	33.3	54.0	1.6	7.9	27.0	42.9	▼ 19.0	4.8	7.9	36.5	15.9	－
	子どもは欲しくない	70	▼ 5.7	▼ 1.4	▼ 10.0	▽ ー	8.6	▽ 8.6	▼ 18.6	▲ 57.1	▲ 34.3	▲ 31.4	▲ 47.1	25.7	▲ 5.7

※複数回答

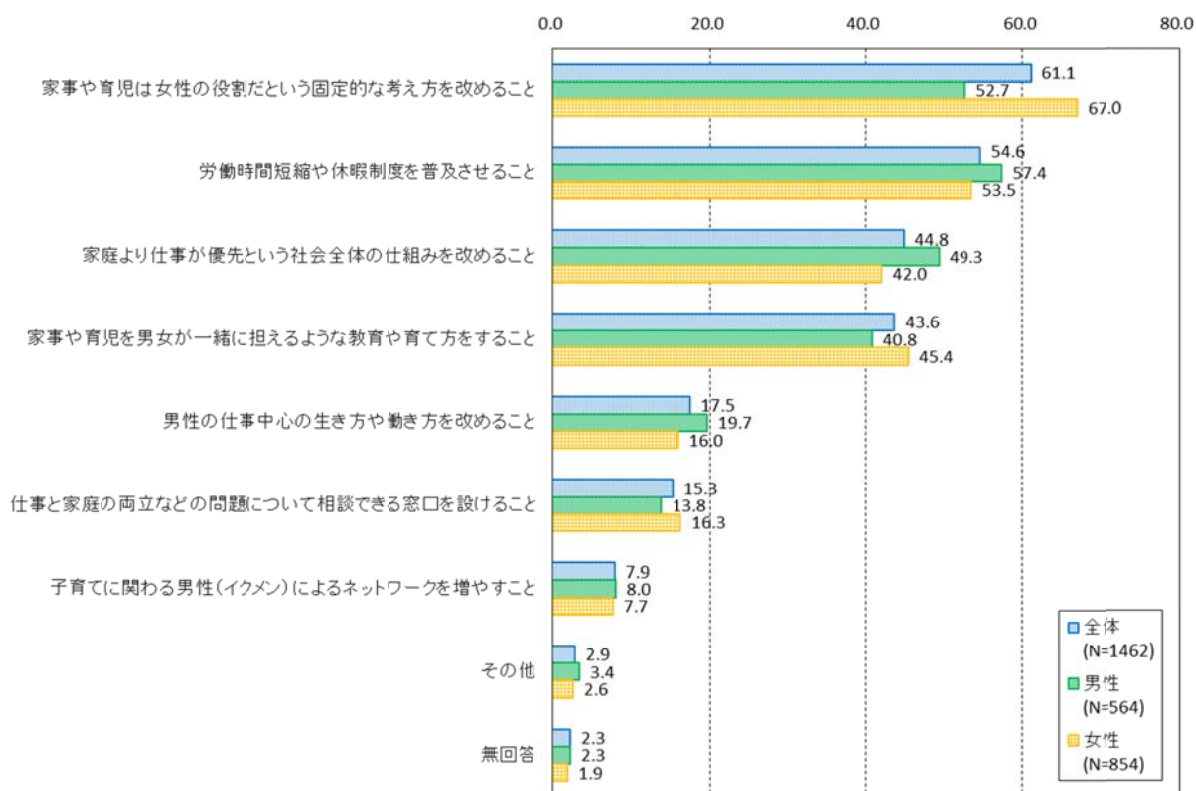
（３）男性が女性と一緒に子育てにかかわっていくために必要なこと

今後、男性が女性と一緒に子育てにかかわっていくために必要なことでは、「家事や育児は女性の役割だ」という固定的な考え方を改めること（61.1%）が最も高く、次いで「労働時間短縮や休暇制度を普及させること」（54.6%）の２項目が半数以上にあげられている。

以下、「家庭より仕事優先という社会全体の仕組みを改めること」（49.3%）、「家事や育児を男女が一緒に担えるような教育や育て方をすること」（43.6%）などが続いている。

その他として、「夫婦の意思疎通ができていること。」「男性の考え方次第。環境は整ってきつつあると思う。」といった回答（意見）があった。

図表－89 問 25 あなたは、今後、男性が女性と一緒に子育てに関わっていくためには、どのようなことが必要だと思いますか。あてはまるものを3つ選んでください。（○は3つまで）



【属性別傾向】

<性別>

男性は女性よりも「家庭より仕事優先という社会全体の仕組みを改めること」（男性 49.3%、女性 42.0%）が高い。女性は男性よりも「家事や育児は女性の役割だ」という固定的な考え方を改めること（女性 67.0%、男性 52.7%）が高く、男性を 14.3 ポイント上回っている。

<年齢別>

年齢が高くなるほど「家庭より仕事が優先という社会全体の仕組みを改めること」が高くなる傾向がある。反対に「労働時間短縮や休暇制度を普及させること」は年齢が若くなるほど高くなる傾向がある。

<結婚の有無別>

結婚の有無にかかわらず「家事や育児は女性の役割だ」という固定的な考え方を改めること」が最も高いが、「家庭より仕事が優先という社会全体の仕組みを改めること」は既婚者（49.5%）が未婚者（38.8%）を 10.7 ポイント上回っている。

<子どもの有無別>

子どもの有無にかかわらず「家事や育児は女性の役割だ」という固定的な考え方を改めること」が最も高く、大きな違いは見られない。

<本人の就労状況別>

就労状況にかかわらず「家事や育児は女性の役割だ」という固定的な考え方を改めること」が最も高いが、就労者に比べて働いていない人では「家庭より仕事が優先という社会全体の仕組みを改めること」（35.0%）の割合が低く、「子育てにかかわる男性（イクメン）によるネットワークを増やすこと」（12.9%）が高い。

図表－90 問 25 あなたは、今後、男性が女性と一緒に子育てに関わっていくためには、どのようなことが必要だと思いますか。(属性別)

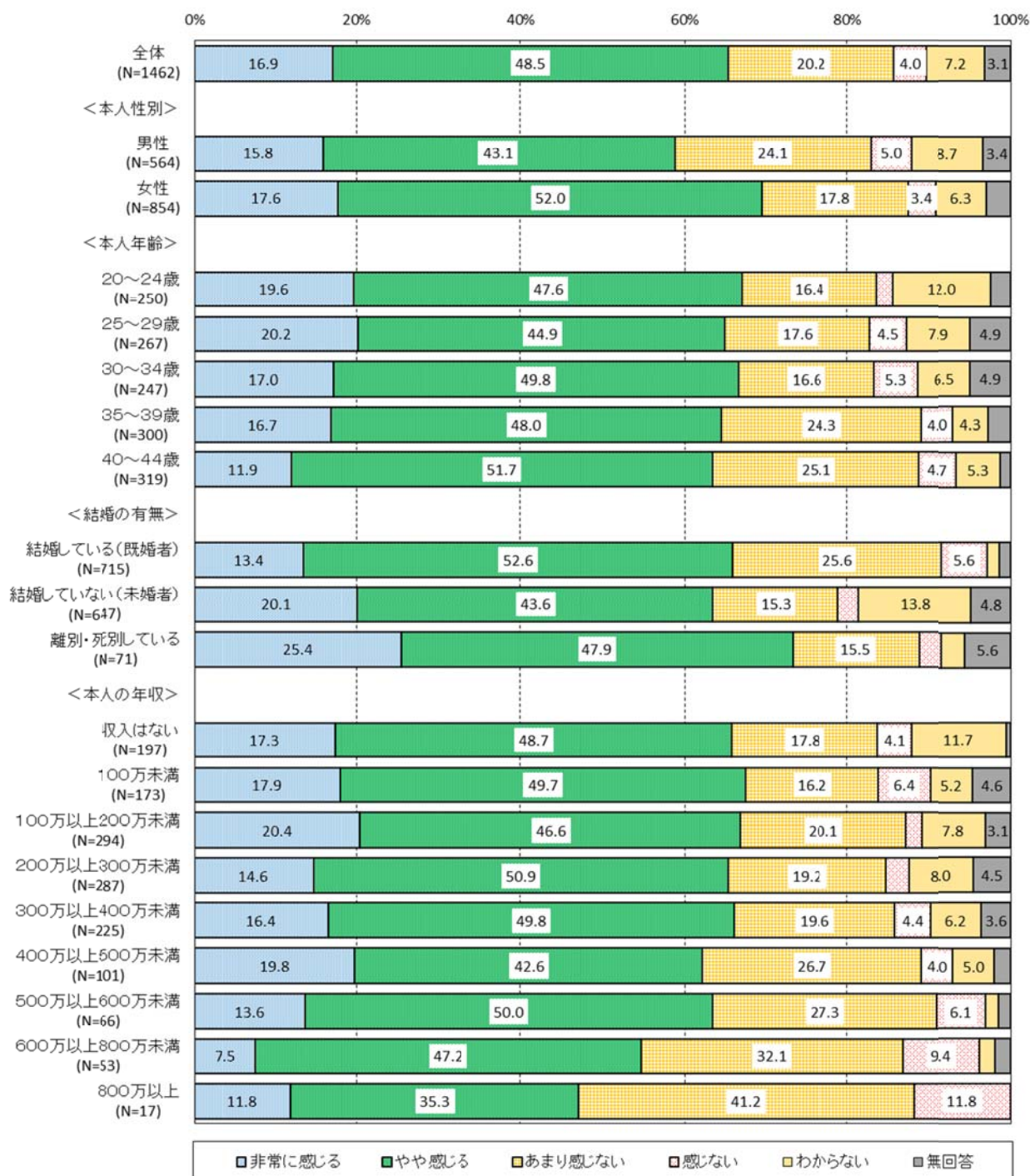
		サンプル数	男性が女性と一緒に子育てに関わっていくために必要なこと								
			家事や育児は女性 の役割だとい う固定的な考 え方を改める こと	家庭より仕事 が優先という 社会全体の仕 組みを改める こと	労働時間短縮 や休暇制度を 普及させるこ と	家事や育児を 男女が一緒に 担えるような 教育や育て方 をすること	男性の仕事中心 の生き方や働 き方を改める こと	子育てに関わ る男性(イクメ ン)によるネッ トワークを増や すこと	仕事と家庭の 両立などの問 題について相 談できる窓口 を設けること	その他	無回答
全体		1462	61.1	44.8	54.6	43.6	17.5	7.9	15.3	2.9	2.3
本人性別	男性	564	▼ 52.7	△ 49.3	57.4	40.8	19.7	8.0	13.8	3.4	2.3
	女性	854	▲ 67.0	42.0	53.5	45.4	16.0	7.7	16.3	2.6	1.9
本人年齢	20～24歳	250	63.2	▽ 38.0	60.0	42.8	17.6	11.2	17.6	2.8	1.2
	25～29歳	267	59.9	45.7	△ 60.7	45.7	16.9	9.7	14.2	1.9	2.2
	30～34歳	247	56.7	47.8	56.3	42.5	14.6	8.1	16.2	3.2	2.8
	35～39歳	300	61.0	46.7	50.3	43.7	18.3	5.7	14.0	3.7	1.7
	40～44歳	319	65.5	48.0	49.8	43.9	20.4	▽ 4.7	15.7	3.1	1.9
結婚の有無	結婚している(既婚者)	715	63.5	△ 49.5	53.0	42.8	18.9	6.4	13.6	3.4	1.4
	結婚していない(未婚者)	647	59.4	▼ 38.8	57.8	44.0	15.8	9.1	16.2	2.5	2.9
	離別・死別している	71	60.6	56.3	46.5	42.3	22.5	9.9	22.5	2.8	2.8
子ども有無	子ども有り	678	64.5	48.2	52.1	44.5	19.8	6.8	13.6	3.2	1.5
	子ども無し	784	58.3	41.8	56.8	42.9	15.6	8.8	16.8	2.6	2.9
就労状況 本人の	働いている	1197	60.7	46.4	54.4	43.4	17.5	7.1	14.7	3.2	2.3
	働いていない	163	65.6	▽ 35.0	54.0	47.2	17.2	△ 12.9	20.2	1.2	1.2
	働いていたが、現在は働いていない	95	60.0	43.2	57.9	43.2	17.9	9.5	15.8	2.1	2.1

※複数回答

(4) 子育てについての不安感や負担感について

子育てについて不安感や負担感を感じる割合(「非常に感じる」、「やや感じる」の回答者)は65.4%、感じない割合(「あまり感じない」「感じない」)は24.2%である。

図表-91 問 26 あなたは、子育てについて、不安感や負担感を感じますか。(〇は1つ)



【属性別傾向】

<性別>

女性の69.6%が子育てについて不安感や負担感を感じており、男性（58.9%）を10.7ポイント上回っている。

<年齢別>

年齢が高くなるほど子育てについての不安感や負担感は低くなる傾向にあり、40～44歳では「非常に感じる」（11.9%）の割合が最も低い。

<結婚の有無別>

結婚の有無による違いは見られない。

<本人の年収別>

年収が高くなるほど子育てについての不安感や負担感は低くなる傾向にある。

図表－92 問 26 あなたは、子育てについて、不安感や負担感を感じますか。(属性別)

		サンプル数	あなたは、子育てについて、不安感や負担感を感じますか						感じるの割合	感じないの割合
			非常に感じる	やや感じる	あまり感じない	感じない	わからない	無回答		
全体		1462	16.9	48.5	20.2	4.0	7.2	3.1	65.4	24.2
本人性別	男性	564	15.8	▽ 43.1	△ 24.1	5.0	8.7	3.4	58.9	29.1
	女性	854	17.6	△ 52.0	17.8	3.4	6.3	2.9	69.6	21.2
本人年齢	20～24歳	250	19.6	47.6	16.4	2.0	▲ 12.0	2.4	67.2	18.4
	25～29歳	267	20.2	44.9	17.6	4.5	7.9	4.9	65.1	22.1
	30～34歳	247	17.0	49.8	16.6	5.3	6.5	4.9	66.8	21.9
	35～39歳	300	16.7	48.0	24.3	4.0	4.3	2.7	64.7	28.3
	40～44歳	319	▽ 11.9	51.7	△ 25.1	4.7	5.3	1.3	63.6	29.8
結婚の有無	結婚している(既婚者)	715	▽ 13.4	△ 52.6	▲ 25.6	△ 5.6	▼ 1.4	▼ 1.4	66.0	31.2
	結婚していない(未婚者)	647	△ 20.1	▽ 43.6	▼ 15.3	▽ 2.5	▲ 13.8	△ 4.8	63.7	17.8
	離別・死別している	71	25.4	47.9	15.5	2.8	2.8	5.6	73.3	18.3
本人の年収	収入はない	197	17.3	48.7	17.8	4.1	△ 11.7	▽ 0.5	66.0	21.9
	100万未満	173	17.9	49.7	16.2	6.4	5.2	4.6	67.6	22.6
	100万以上200万未満	294	20.4	46.6	20.1	2.0	7.8	3.1	67.0	22.1
	200万以上300万未満	287	14.6	50.9	19.2	2.8	8.0	4.5	65.5	22.0
	300万以上400万未満	225	16.4	49.8	19.6	4.4	6.2	3.6	66.2	24.0
	400万以上500万未満	101	19.8	42.6	26.7	4.0	5.0	2.0	62.4	30.7
	500万以上600万未満	66	13.6	50.0	27.3	6.1	1.5	1.5	63.6	33.4
	600万以上800万未満	53	7.5	47.2	△ 32.1	△ 9.4	1.9	1.9	54.7	41.5
	800万以上	17	11.8	35.3	△ 41.2	11.8	-	-	47.1	53.0

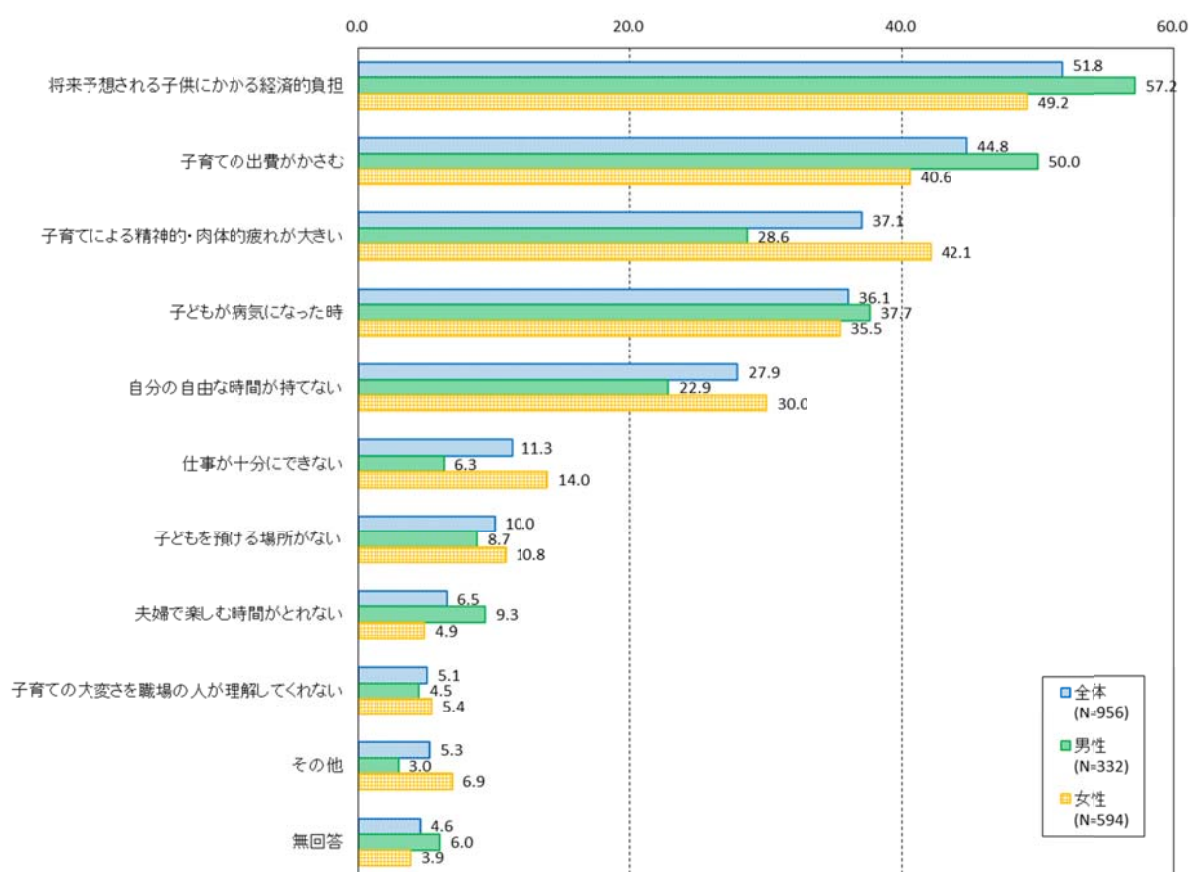
（５）子育てについての不安感や負担感の内容

子育てについて不安感や負担感を感じている 956 人では、そう感じる内容として半数以上が「将来予想される子供にかかる経済的負担」（51.8％）をあげている。

次いで、「子育ての出費がかさむ」（44.8％）、「子育てによる精神的・肉体的疲れが大きい」（37.1％）、「子どもが病気になった時」（36.1％）、「自分の自由な時間が持てない」（27.9％）などが続いている。

その他として、「しつけ、教育がきちんとできるか。」、「一人の人間を育てる責任の重さ」といった回答（意見）があった。

図表－93 問 26 副問1 それはどのような内容ですか。
あてはまるものを3つ選んでください。（○は3つまで）



【属性別傾向】

<性別>

男女とも「将来予想される子供にかかる経済的負担」が最も高いが、男性（57.2％）は女性（49.2％）を 8.0 ポイント上回っている。女性は男性より「子育てによる精神的・肉体的疲れが大きい」（女性 42.1％、男性 28.6％）が高く、男性を 13.5 ポイント上回っている。

<年齢別>

25～29 歳以外では「将来予想される子供にかかる経済的負担」が最も高い。

25～29 歳では「子育てによる精神的・肉体的疲れが大きい」(47.1%) が「将来予想される子供にかかる経済的負担」(44.8%) よりも高い。

<結婚の有無別>

結婚の有無にかかわらず「将来予想される子供にかかる経済的負担」が最も高い。

既婚者は「子育てによる精神的・肉体的疲れが大きい」(32.4%) が未婚者(45.6%) を 13.2 ポイント下回っている。

図表－94 問 26 副問1 それはどのような内容ですか。(属性別)

		サンプル 数	それはどのような内容ですか										
			子育ての 出費がか さむ	自分の自由な時間 が持てない	夫婦で楽し む時間が とれない	子どもを預 ける場所 がない	子育てによる精神的・ 肉体的疲れが大きい	子育てでの 大変さを職 場の人が 理解してく れない	仕事が多 忙にできな い	子どもが 病気になっ た時	将来予想 される子供 にかかる 経済的負担	その他	無回答
全体		956	44.8	27.9	6.5	10.0	37.1	5.1	11.3	36.1	51.8	5.3	4.6
本人 性別	男性	332	50.0	▽ 22.9	△ 9.3	8.7	▼ 28.6	4.5	▼ 6.3	37.7	△ 57.2	3.0	6.0
	女性	594	▽ 40.6	30.0	4.9	10.8	△ 42.1	5.4	△ 14.0	35.5	49.2	6.9	3.9
本人 年齢	20～24歳	168	45.8	26.8	6.5	7.7	38.1	6.0	8.9	38.7	53.0	3.6	4.2
	25～29歳	174	42.5	30.5	8.6	14.4	▲ 47.1	4.0	15.5	33.3	44.8	4.6	3.4
	30～34歳	165	41.2	33.3	5.5	9.1	36.4	3.6	10.3	38.8	53.3	5.5	3.6
	35～39歳	194	45.4	25.3	6.2	9.8	36.6	6.7	9.8	33.0	56.7	7.2	5.2
	40～44歳	203	46.8	25.1	5.9	9.4	▽ 29.1	4.9	11.3	37.4	51.7	4.9	6.9
結婚 の有 無	結婚している(既婚者)	472	48.3	27.8	7.6	11.0	▽ 32.4	4.7	10.8	36.0	51.5	5.1	4.7
	結婚していない(未婚者)	412	▽ 38.8	28.4	5.1	9.7	▲ 45.6	5.8	11.7	36.9	51.0	5.1	4.6
	離別・死別している	52	51.9	25.0	5.8	3.8	▼ 17.3	3.8	13.5	32.7	61.5	△ 11.5	3.8

※複数回答

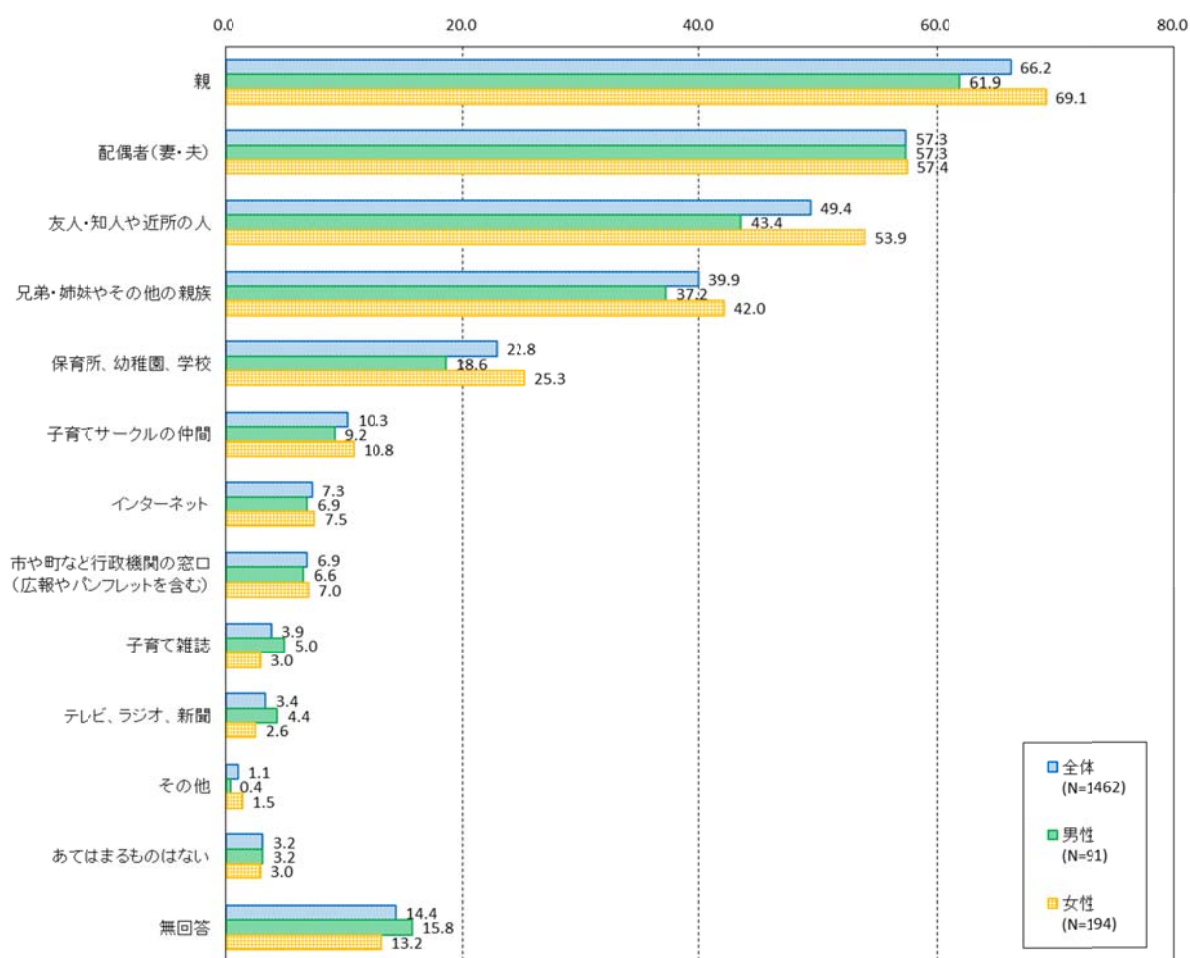
（６）子育てに関する相談先や情報入手先

①子育てに関する相談先

子育てに関する相談先は「親」(66.2%) が最も高く、次いで「配偶者(妻・夫)」(57.3%)、「友人・知人や近所の人」(49.4%)、「兄弟・姉妹やその他の親族」(39.9%)、「保育所、幼稚園、学校」(22.8%) などとなっている。

その他として、「職場の先輩や仲間」、「ママ友」といった回答（意見）があった。

図表－95 問 27 子育てに関する相談先は何でしょうか。
あてはまるものをすべて選んでください(○はいくつでも)



【属性別傾向】

<性別>

男女とも「親」、「配偶者(妻・夫)」の優位度が高いものの、男性に比べると女性は「友人・知人や近所の人」(53.9%) の優位度が高く、男性(43.4%) を 10.5 ポイント上回っている。

<年齢別>

40歳未満までは、「親」の優位度が最も高くなっているものの、年齢が高くなるほど「配偶者（妻・夫）」の優位度が高くなる傾向にあり、40～44歳では「配偶者（妻・夫）」（65.2%）が「親」（63.0%）を上回り、最も優位度が高い。

30～34歳では他の年齢に比べて「兄弟・姉妹やその他の親族」（48.6%）の優位度が高い。

<結婚の有無別>

既婚者は「配偶者（妻・夫）」（73.6%）の優位度が高い。「友人・知人や近所の人」（55.4%）、「保育所、幼稚園、学校」（26.2%）は全体を大きく上回っている。

<子どもの有無別>

子どもがいる人も既婚者同様、圧倒的に「配偶者（妻・夫）」（69.8%）の優位度が高く、子どもがいない人に比べて「友人・知人や近所の人」（55.0%）、「保育所、幼稚園、学校」（28.9%）が高い。

<本人の就労状況別>

就労状況にかかわらず「親」の優位度が最も高い。

働いていない人は全体と比べて「友人・知人や近所の人」（39.9%）が低く、全体を9.5ポイント下回っている。

図表－96 問 27 子育てに関する相談先は何でしょうか。(属性別)

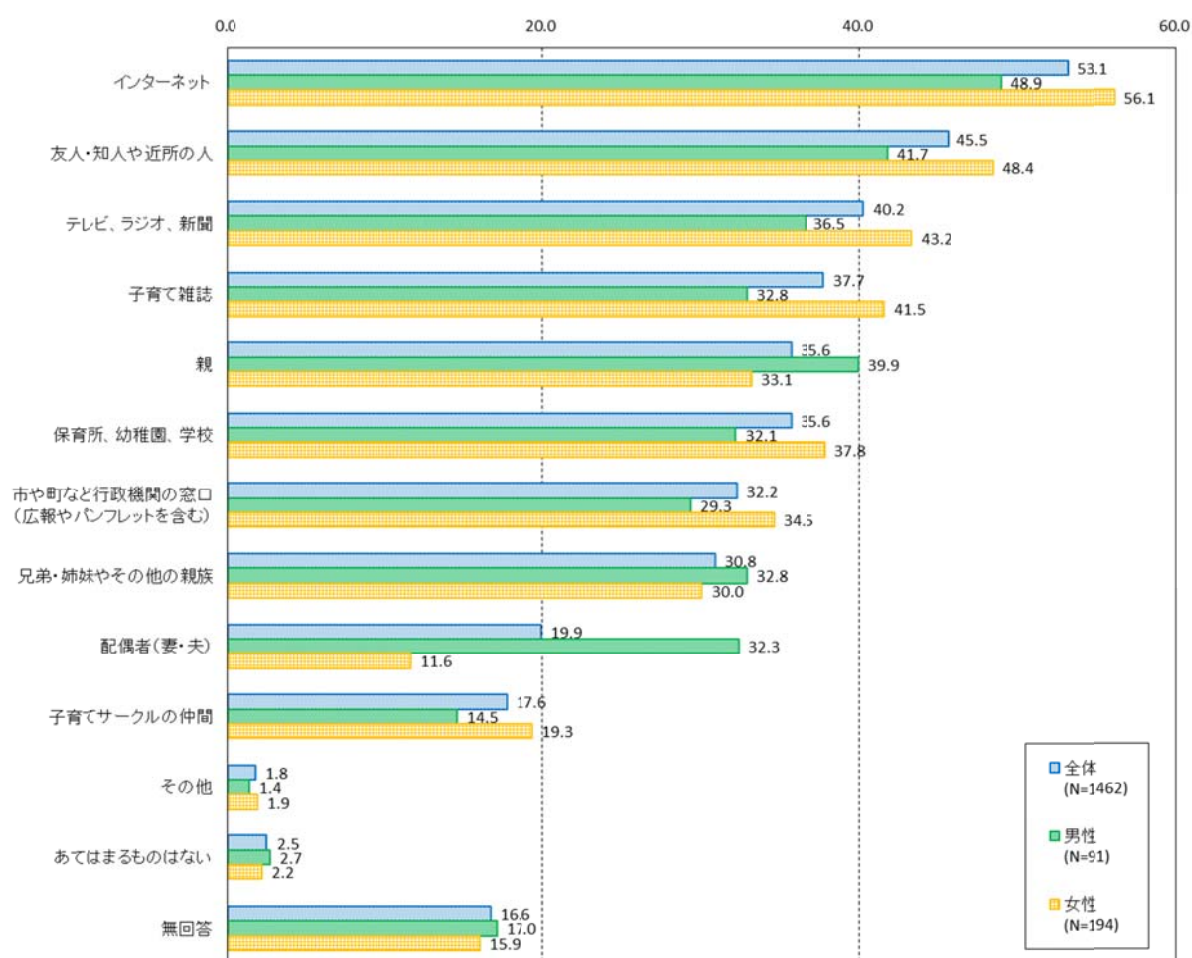
		サンプル 数	子育てに関する相談先												
			配偶者 (妻・夫)	親	兄弟・姉妹 やその他の 親族	友人・知人 や近所の 人	子育て サークル の仲間	保育所、幼 稚園、学校	市や町な ど行政機 関の窓口 (広報やバ ンフレット を含む)	テレビ、ラ ジオ、新聞	子育て雑 誌	インター ネット	その他	あてはまる ものはない	無回答
全体		1462	57.3	66.2	39.9	49.4	10.3	22.8	6.9	3.4	3.9	7.3	1.1	3.2	14.4
本人 性別	男性	564	57.3	▽ 61.9	37.2	▼ 43.4	9.2	▽ 18.6	6.6	4.4	5.0	6.9	0.4	3.2	15.8
	女性	854	57.4	69.1	42.0	▲ 53.9	10.8	25.3	7.0	2.6	3.0	7.5	1.5	3.0	13.2
本人 年齢	20～24歳	250	▼ 46.4	69.6	37.2	45.6	13.6	20.8	8.0	3.2	3.6	10.0	0.4	3.6	16.4
	25～29歳	267	55.8	71.2	39.7	50.6	12.0	▼ 15.7	4.9	3.0	5.6	7.9	－	3.7	13.9
	30～34歳	247	59.5	67.2	▲ 48.6	52.2	8.9	24.3	4.0	1.2	2.8	6.5	0.8	2.4	16.2
	35～39歳	300	61.7	63.3	36.3	49.0	8.3	26.0	6.7	4.0	2.0	6.3	1.0	4.0	12.7
	40～44歳	319	▲ 65.2	63.0	40.8	51.1	9.7	25.4	9.1	4.1	4.1	5.3	1.6	2.8	11.6
結 婚 の 有 無	結婚している(既婚者)	715	▲ 73.6	68.1	42.1	▲ 55.4	9.5	△ 26.2	5.9	2.9	2.8	6.3	1.3	▼ 1.3	▼ 9.1
	結婚していない(未婚者)	647	▼ 43.7	65.1	37.9	▼ 43.1	11.6	▼ 18.2	7.6	3.4	4.5	8.0	0.5	▲ 5.3	▲ 19.8
	離別・死別している	71	▼ 25.4	63.4	40.8	52.1	7.0	31.0	9.9	7.0	7.0	11.3	△ 4.2	2.8	12.7
子 ど も の 有 無	子ども有り	678	▲ 69.8	67.4	41.3	▲ 55.0	9.0	▲ 28.9	5.6	3.2	3.1	6.8	1.5	▼ 1.0	▼ 9.0
	子ども無し	784	▼ 46.6	65.2	38.8	▼ 44.5	11.4	▼ 17.6	8.0	3.4	4.6	7.8	0.8	▲ 5.1	▲ 19.1
就 労 状 況 本人の	働いている	1197	57.5	65.7	39.9	50.3	9.5	22.9	6.9	3.6	3.9	6.9	1.3	3.3	14.1
	働いていない	163	55.2	69.9	38.0	▽ 39.9	14.1	19.6	7.4	3.7	5.5	△ 11.7	0.6	3.1	15.3
	働いていたが、現在は働いていない	95	61.1	67.4	45.3	55.8	13.7	29.5	7.4	－	1.1	5.3	－	2.1	14.7

※複数回答

②子育てに関する情報入手先

情報入手先は「インターネット」(53.1%)が最も高く、次いで「友人・知人や近所の人」(45.5%)、「テレビ、ラジオ、新聞」(40.2%)と続き、3割台で「子育て雑誌」(37.7%)、「親」「保育所、幼稚園、学校」(同率 35.6%)、「市や町など行政機関の窓口(広報やパンフレットを含む)」(32.2%)、「兄弟・姉妹やその他の親族」(30.8%)などが続いている。その他として、「職場の先輩や仲間」、「ママ友」といった回答(意見)があった。

図表-97 問 27 子育てに関する情報入手先は何でしょうか。
 あてはまるものをすべて選んでください(○はいくつでも)



【属性別傾向】

<性別>

男女とも「インターネット」の優位度が最も高いが、女性に比べると男性は「親」(39.9%)、「配偶者(妻・夫)」(32.3%)の優位度が高い。

男性に比べると女性は「インターネット」(56.1%)、「テレビ、ラジオ、雑誌」(43.2%)、「子育て雑誌」(41.5%)の優位度が高い。

<年齢別>

年齢にかかわらず半数以上の人が「インターネット」をあげている。

若い年代ほど「親」の優位度が高く、20～24歳の47.6%、25～29歳の43.8%が「親」から子育てに関する情報を入手している。

年齢が高くなるほど「保育所、幼稚園、学校」は高くなる傾向にあり、35～39歳では40.7%が、40～44歳では42.0%が情報入手先としてあげている。

相談先同様、全体に比べて30～34歳では「兄弟・姉妹やその他の親族」(36.8%)が高い。

<結婚の有無別>

結婚の有無にかかわらず「インターネット」が最も高い。

既婚者は、全体に比べて「友人・知人や近所の人」(53.0%)、「保育所、幼稚園、学校」(42.1%)、「市や町など行政機関の窓口（広報やパンフレットを含む）」(35.8%)、「兄弟・姉妹やその他の親族」(34.3%)が高い。

<子どもの有無別>

子どもの有無にかかわらず半数以上の人が「インターネット」をあげている。

子どもがいる人は、全体に比べて「友人・知人や近所の人」(53.5%)、「保育所、幼稚園、学校」(46.0%)、「配偶者（妻・夫）」(25.2%)が高い。

<本人の就労状況別>

働いていない人は全体に比べて「インターネット」(45.4%)、「配偶者（妻・夫）」(13.5%)が低い。

図表－98 問 27 子育てに関する情報入手先は何でしょうか。(属性別)

		サンプル 数	子育てに関する情報入手先												
			配偶者 (妻・夫)	親	兄弟・姉妹 やその他の 親族	友人・知人 や近所の 人	子育て サークル の仲間	保育所、幼 稚園、学校	市や町な ど行政機 関の窓口 (広報やパ ンフレット を含む)	テレビ、ラ ジオ、新聞	子育て雑 誌	インター ネット	その他	あてはまる ものはない	無回答
全体		1462	19.9	35.6	30.8	45.5	17.6	35.6	32.2	40.2	37.7	53.1	1.8	2.5	16.6
本人 性別	男性	564	▲ 32.3	△ 39.9	32.8	41.7	14.5	32.1	29.3	36.5	▽ 32.8	▽ 48.9	1.4	2.7	17.0
	女性	854	▼ 11.6	33.1	30.0	48.4	19.3	37.8	34.5	43.2	△ 41.5	56.1	1.9	2.2	15.9
本人 年齢	20～24歳	250	15.2	▲ 47.6	28.4	▼ 36.0	20.0	▽ 29.6	27.6	43.6	36.0	54.8	1.6	3.2	20.4
	25～29歳	267	18.0	▲ 43.8	32.6	46.1	18.0	▽ 28.5	33.0	39.7	△ 44.6	△ 59.2	2.2	2.6	12.7
	30～34歳	247	21.5	35.6	△ 36.8	48.2	16.6	36.4	31.6	36.8	36.8	52.2	1.6	2.0	19.0
	35～39歳	300	22.3	▽ 30.0	30.0	47.7	15.7	40.7	35.0	40.3	38.7	52.7	1.7	3.7	14.0
	40～44歳	319	23.5	▽ 29.2	31.7	50.8	18.5	△ 42.0	36.4	42.0	34.2	50.5	0.9	1.6	13.8
結 婚 の 有 無	結婚している(既婚者)	715	▲ 26.9	34.3	△ 34.3	▲ 53.0	16.4	▲ 42.1	△ 35.8	41.4	38.0	△ 56.9	1.5	▼ 0.7	▼ 11.7
	結婚していない(未婚者)	647	▼ 13.1	39.3	28.3	▼ 37.7	19.3	▼ 28.3	29.5	40.3	38.8	49.5	1.9	▲ 4.5	▲ 21.0
	離別・死別している	71	14.1	▽ 22.5	26.8	47.9	12.7	38.0	23.9	32.4	26.8	53.5	1.4	1.4	18.3
子 ど も の 有 無	子ども有り	678	▲ 25.2	32.2	32.7	▲ 53.5	15.9	▲ 46.0	35.1	40.6	36.0	55.9	1.5	▼ 0.4	▼ 11.8
	子ども無し	784	▼ 15.3	38.6	29.2	▼ 38.5	19.0	▼ 26.7	29.7	39.9	39.2	50.8	2.0	▲ 4.3	▲ 20.7
就 労 状 況 本人の	働いている	1197	20.9	35.0	30.6	45.5	16.8	36.3	32.7	39.2	37.1	53.2	1.6	2.6	16.3
	働いていない	163	▽ 13.5	38.0	30.1	41.1	19.6	35.0	27.6	41.1	38.7	▽ 45.4	2.5	2.5	19.6
	働いていたが、現在は働いていない	95	18.9	38.9	36.8	54.7	△ 25.3	30.5	35.8	▲ 53.7	43.2	▲ 67.4	3.2	2.1	12.6

※複数回答

(7) 子育て支援制度の認知度

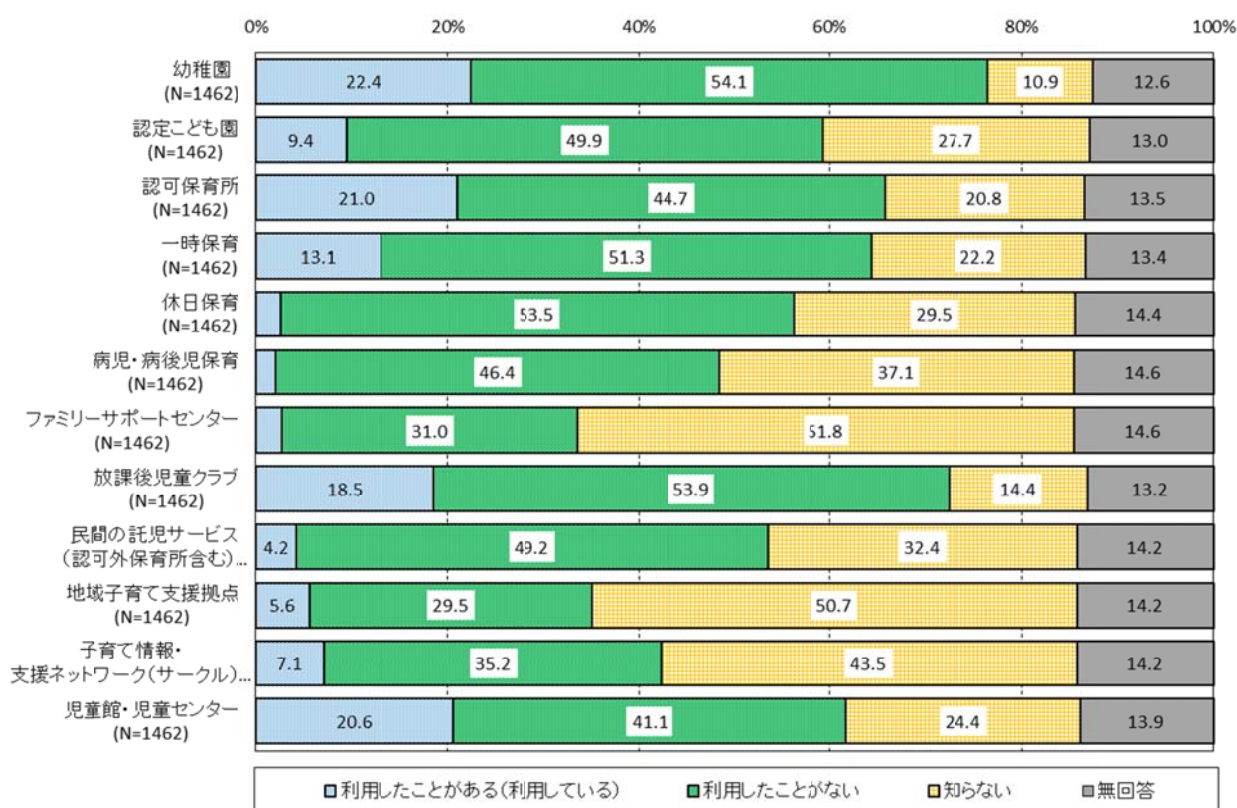
子育て支援制度として半数以上の人認知している（知っている）のは、「幼稚園」（76.5%）、「放課後児童クラブ」（72.4%）、「認可保育所」（65.7%）、「一時保育」（64.4%）、「児童館・児童センター」（61.7%）、「認定こども園」（59.3%）、「休日保育」（56.1%）、「民間の託児サービス（認可外保育所含む）」（53.4%）である。

認知度が低い（「知らない」の割合が高い）のは「ファミリーサポートセンター」（51.8%）、「地域子育て支援拠点」（50.7%）、「子育て情報・支援ネットワーク（サークル）」（43.5%）である。

利用度が高い（「知っている」のうち「利用したことがある（利用している）」の割合）のは「幼稚園」（22.4%）、「認可保育所」（21.0%）、「児童館・児童センター」（20.6%）、「放課後児童クラブ」（18.5%）である。

図表－99 問 28 あなたは次の子育て支援制度を知っていますか。また、利用したことがありますか。

すべての支援制度について、「知っている（利用したことがある・利用している）」、「知っている（利用したことがない）」、「知らない」のいずれか1つに○をつけてください。



①幼稚園の認知度

<性別>

男性は女性より認知度が低く、男性の 14.7%が「知らない」と回答している。

<年齢別>

年齢が高くなるほど認知度や利用度は高くなる傾向にあり、「利用したことがある（利用している）」は 35 歳以上で 3 割を超えている。

<子どもの有無別>

子どもがいる人は「知っている」が 88.2%で、うち 37.5%が「利用したことがある（利用している）」と回答している。

子どもがいない人は 17.3%が「知らない」と回答している。

<子どもの属性別>

子どもの年齢が高くなるほど認知度は高くなる傾向にあり、「利用したことがある（利用している）」が最も高いのは小学校高学年（4～6 年生）の子どもを持つ人（47.9%）である。

<居住地域別>

認知度に大きな違いは見られないが、「利用したことがある（利用している）」の割合は、県東地域（28.6%）が県西地域（15.8%）を 12.8 ポイント上回っている。

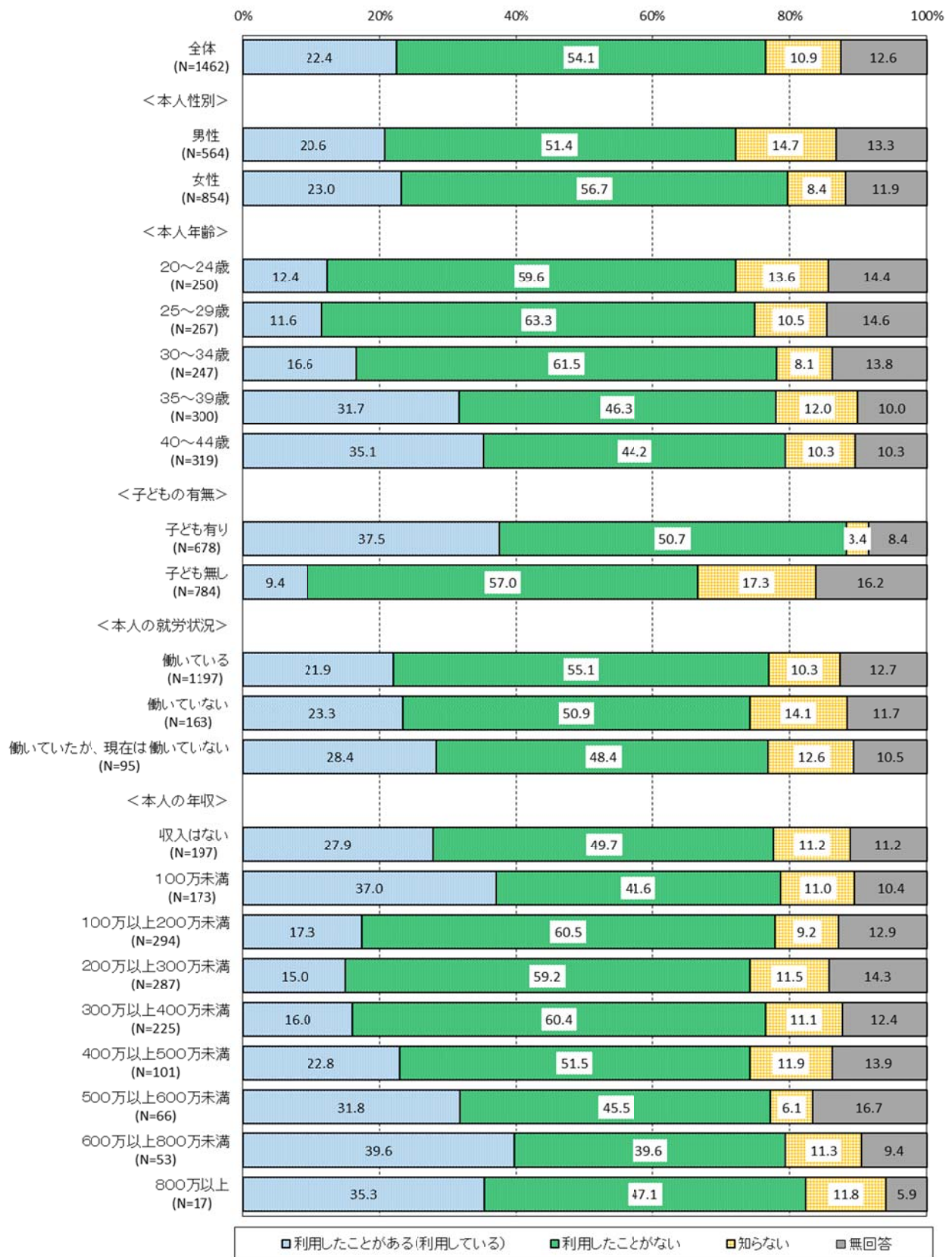
<本人の就労状況別>

就労状況による違いは見られない。

<本人の年収別>

「利用したことがある（利用している）」の割合は 100 万未満（37.0%）に高く、100 万以上 200 万未満では「（知っているが）利用したことはない」が 60.5%と全体を 6.4 ポイント上回っている。

図表—100 問 28 1. 幼稚園



図表－101 問 28 1. 幼稚園(属性別)

		サンプル 数	知っている子育て支援制度(幼稚園)				
			知っている			知らない	無回答
				利用した ことがある (利用して いる)	利用したこ とがない		
全体		1462	76.5	22.4	54.1	10.9	12.6
本人 性別	男性	564	72.0	20.6	51.4	▲ 14.7	13.3
	女性	854	79.7	23.0	56.7	▽ 8.4	11.9
本人 年齢	20～24歳	250	72.0	▼ 12.4	59.6	13.6	14.4
	25～29歳	267	74.9	▼ 11.6	▲ 63.3	10.5	14.6
	30～34歳	247	78.1	▽ 16.6	△ 61.5	8.1	13.8
	35～39歳	300	78.0	▲ 31.7	▼ 46.3	12.0	10.0
	40～44歳	319	79.3	▲ 35.1	▼ 44.2	10.3	10.3
子 ども 有 無 の 有 無	子ども有り	678	88.2	▲ 37.5	50.7	▼ 3.4	▼ 8.4
	子ども無し	784	66.4	▼ 9.4	57.0	▲ 17.3	▲ 16.2
子 ども の 属 性	未就学児	428	87.4	33.4	54.0	2.8	9.8
	小学生(1～3年生)	241	88.4	40.7	47.7	5.0	6.6
	小学生(4～6年生)	192	89.6	▲ 47.9	▽ 41.7	4.2	6.3
	中学生	133	89.5	41.4	48.1	3.0	7.5
	高校生	80	90.0	47.5	42.5	5.0	5.0
	大学生	14	92.9	28.6	64.3	7.1	–
	社会人	24	91.6	△ 58.3	33.3	–	8.3
居 住 地 域	県東	766	76.8	▲ 28.6	▼ 48.2	11.7	11.5
	県西	671	76.9	▼ 15.8	▲ 61.1	9.8	13.3
就 労 状 況 本 人 の	働いている	1197	77.0	21.9	55.1	10.3	12.7
	働いていない	163	74.2	23.3	50.9	14.1	11.7
	働いていたが、現在は働いていない	95	76.8	28.4	48.4	12.6	10.5
本 人 の 年 収	収入はない	197	77.6	27.9	49.7	11.2	11.2
	100万未満	173	78.6	▲ 37.0	▼ 41.6	11.0	10.4
	100万以上200万未満	294	77.8	▽ 17.3	△ 60.5	9.2	12.9
	200万以上300万未満	287	74.2	▼ 15.0	59.2	11.5	14.3
	300万以上400万未満	225	76.4	▽ 16.0	60.4	11.1	12.4
	400万以上500万未満	101	74.3	22.8	51.5	11.9	13.9
	500万以上600万未満	66	77.3	31.8	45.5	6.1	16.7
	600万以上800万未満	53	79.2	▲ 39.6	▽ 39.6	11.3	9.4
	800万以上	17	82.4	35.3	47.1	11.8	5.9

②認定こども園の認知度

<性別>

男性は女性より認知度が低く、男性の 35.6%が「知らない」と回答している。

<年齢別>

年齢が高くなるほど認知度や利用度は高くなる傾向にあり、「利用したことがある（利用している）」は 35～39 歳が 14.3%、40～44 歳が 13.8%と全体（9.4%）を大きく上回っている。

<子どもの有無別>

子どもがいる人では「知っている」が 79.8%で、うち 19.2%が「利用したことがある（利用している）」と回答している。

子どもがいない人では 42.1%が「知らない」と回答しており、子どもがいる人（11.1%）を 31.0 ポイント上回っている。

<子どもの属性別>

子どもの年齢が低くなるほど認知度は高くなる傾向にあり、「利用したことがある（利用している）」が最も高いのは、未就学児の子どもを持つ人（23.6%）である。

<居住地域別>

居住地域による違いは見られない。

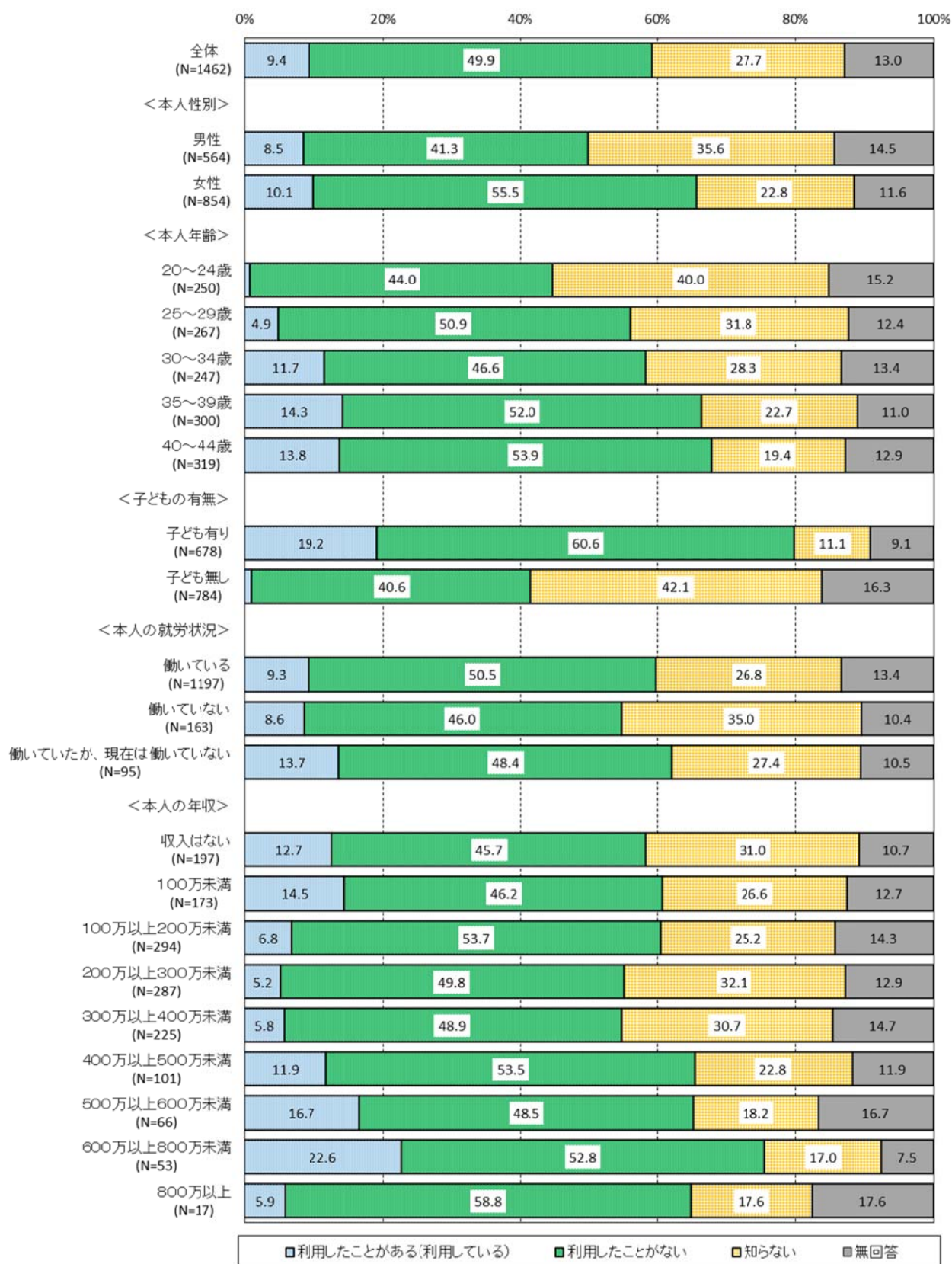
<本人の就労状況別>

働いていない人の認知度は低く、「知らない」（35.0%）が全体を 7.3 ポイント上回っている。

<本人の年収別>

「利用したことがある（利用している）」の割合は、100 万未満（14.5%）が最も高く、全体（9.4%）を 5.1 ポイント上回っている。

図表－102 問 28 2. 認定こども園



図表－103 問 28 2. 認定こども園(属性別)

		サンプル 数	知っている子育て支援制度(認定こども園)				
			知っている			知らない	無回答
				利用したこ とがある (利用して いる)	利用したこ とがない		
全体		1462	59.3	9.4	49.9	27.7	13.0
本人 性別	男性	564	49.8	8.5	▼ 41.3	▲ 35.6	14.5
	女性	854	65.6	10.1	▲ 55.5	▼ 22.8	11.6
本人 年齢	20～24歳	250	44.8	▼ 0.8	44.0	▲ 40.0	15.2
	25～29歳	267	55.8	▽ 4.9	50.9	31.8	12.4
	30～34歳	247	58.3	11.7	46.6	28.3	13.4
	35～39歳	300	66.3	▲ 14.3	52.0	22.7	11.0
	40～44歳	319	67.7	▲ 13.8	53.9	▼ 19.4	12.9
子 ど も の 有 無	子ども有り	678	79.8	▲ 19.2	▲ 60.6	▼ 11.1	▼ 9.1
	子ども無し	784	41.6	▼ 1.0	▼ 40.6	▲ 42.1	▲ 16.3
子 ど も の 属 性	未就学児	428	82.5	△ 23.6	58.9	8.9	8.6
	小学生(1～3年生)	241	81.4	21.2	60.2	11.6	7.1
	小学生(4～6年生)	192	76.0	15.1	60.9	12.5	11.5
	中学生	133	78.2	15.0	63.2	15.0	6.8
	高校生	80	70.0	▽ 10.0	60.0	17.5	12.5
	大学生	14	64.2	7.1	57.1	△ 28.6	7.1
	社会人	24	70.8	8.3	62.5	12.5	16.7
居 住 地 域	県東	766	60.7	11.5	49.2	27.2	12.1
	県西	671	58.0	▽ 7.2	50.8	28.5	13.6
就 労 状 況 本人の	働いている	1197	59.8	9.3	50.5	26.8	13.4
	働いていない	163	54.6	8.6	46.0	△ 35.0	10.4
	働いていたが、現在は働いていない	95	62.1	13.7	48.4	27.4	10.5
本人の 年 収	収入はない	197	58.4	12.7	45.7	31.0	10.7
	100万未満	173	60.7	△ 14.5	46.2	26.6	12.7
	100万以上200万未満	294	60.5	6.8	53.7	25.2	14.3
	200万以上300万未満	287	55.0	▽ 5.2	49.8	32.1	12.9
	300万以上400万未満	225	54.7	5.8	48.9	30.7	14.7
	400万以上500万未満	101	65.4	11.9	53.5	22.8	11.9
	500万以上600万未満	66	65.2	△ 16.7	48.5	18.2	16.7
	600万以上800万未満	53	75.4	▲ 22.6	52.8	17.0	7.5
	800万以上	17	64.7	5.9	58.8	17.6	17.6

③認可保育所の認知度

<性別>

男性は女性より認知度が低く、男性の 27.1%が「知らない」と回答している。

<年齢別>

年齢が高くなるほど認知度や利用度は高くなる傾向にあり、「利用したことがある（利用している）」は、最も利用度が高い 40～44 歳（34.8%）で 3 割を超えている。

<子どもの有無別>

子どもがいる人では「知っている」が 83.2%で、うち 41.6%が「利用したことがある（利用している）」と回答している。

子どもがいない人では 32.4%が「知らない」と回答しており、子どもがいる人（7.4%）を 25.0 ポイント上回っている。

<子どもの属性別>

子どもの年齢が低くなるほど認知度は高くなる傾向にあり、「利用したことがある（利用している）」は中学生の子どもを持つ人（51.9%）で 5 割を超えている。

<居住地域別>

居住地域による違いは見られない。

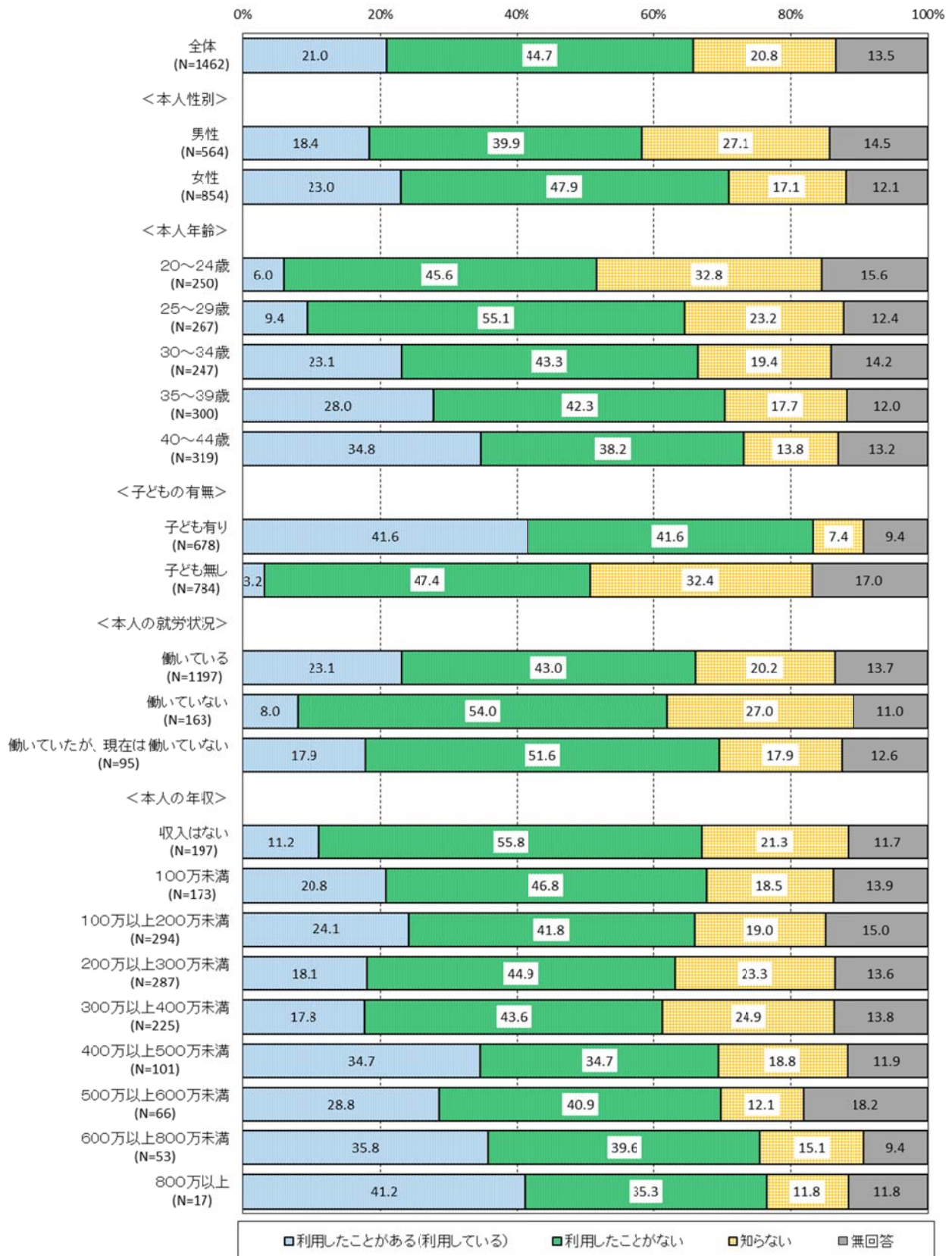
<本人の就労状況別>

働いていない人の利用度は低く、「（知っているが）利用したことがない」（54.0%）は全体を 9.3 ポイント上回っている。

<本人の年収別>

認知度も利用度も高いのは 400 万以上 500 万未満で、「利用したことがある（利用している）」（34.7%）が全体を 13.7 ポイント上回っている。

図表－104 問 28 3. 認可保育所



図表－105 問 28 3. 認可保育所(属性別)

		サンプル 数	知っている子育て支援制度(認可保育所)				
			知っている			知らない	無回答
				利用したこ とがある (利用して いる)	利用したこ とがない		
全体		1462	65.7	21.0	44.7	20.8	13.5
本人 性別	男性	564	58.3	18.4	▽ 39.9	▲ 27.1	14.5
	女性	854	70.9	23.0	47.9	▼ 17.1	12.1
本人 年齢	20～24歳	250	51.6	▼ 6.0	45.6	▲ 32.8	15.6
	25～29歳	267	64.5	▼ 9.4	▲ 55.1	23.2	12.4
	30～34歳	247	66.4	23.1	43.3	19.4	14.2
	35～39歳	300	70.3	▲ 28.0	42.3	17.7	12.0
	40～44歳	319	73.0	▲ 34.8	▽ 38.2	▼ 13.8	13.2
子 ども の 有 無	子ども有り	678	83.2	▲ 41.6	41.6	▼ 7.4	▼ 9.4
	子ども無し	784	50.6	▼ 3.2	47.4	▲ 32.4	▲ 17.0
子 ども の 属 性	未就学児	428	83.7	39.3	44.4	6.1	10.3
	小学生(1～3年生)	241	83.4	45.2	38.2	8.3	8.3
	小学生(4～6年生)	192	82.9	46.4	36.5	7.3	9.9
	中学生	133	85.7	△ 51.9	33.8	8.3	6.0
	高校生	80	75.1	43.8	31.3	▲ 15.0	10.0
	大学生	14	78.5	57.1	21.4	14.3	7.1
	社会人	24	75.0	29.2	45.8	8.3	16.7
居 住 地 域	県東	766	66.1	19.1	47.0	21.0	12.9
	県西	671	65.7	23.8	41.9	20.7	13.6
就 労 状 況 本人の	働いている	1197	66.1	23.1	43.0	20.2	13.7
	働いていない	163	62.0	▼ 8.0	△ 54.0	27.0	11.0
	働いていたが、現在は働いていない	95	69.5	17.9	51.6	17.9	12.6
本人 の 年 収	収入はない	197	67.0	▼ 11.2	▲ 55.8	21.3	11.7
	100万未満	173	67.6	20.8	46.8	18.5	13.9
	100万以上200万未満	294	65.9	24.1	41.8	19.0	15.0
	200万以上300万未満	287	63.0	18.1	44.9	23.3	13.6
	300万以上400万未満	225	61.4	17.8	43.6	24.9	13.8
	400万以上500万未満	101	69.4	▲ 34.7	▽ 34.7	18.8	11.9
	500万以上600万未満	66	69.7	28.8	40.9	12.1	18.2
	600万以上800万未満	53	75.4	▲ 35.8	39.6	15.1	9.4
	800万以上	17	76.5	△ 41.2	35.3	11.8	11.8

④一時保育の認知度

<性別>

男性は女性より認知度が低く、男性の 29.8%が「知らない」と回答している。

<年齢別>

年齢が高くなるほど認知度や利用度は高くなる傾向にあり、「利用したことがある（利用している）」は 35～39 歳及び 40～44 歳とともに 20.7%である。

<子どもの有無別>

子どもがいる人では「知っている」が 82.2%で、うち 26.3%が「利用したことがある（利用している）」と回答している。

子どもがいない人では 34.7%が「知らない」と回答しており、子どもがいる人（7.8%）を 26.9 ポイント上回っている。

<子どもの属性別>

子どもの年齢が低くなるほど認知度は高くなる傾向にあり、「利用したことがある（利用している）」は小学生、中学生の子どもを持つ人で 3 割を超えている。

<居住地域別>

居住地域による違いは見られない。

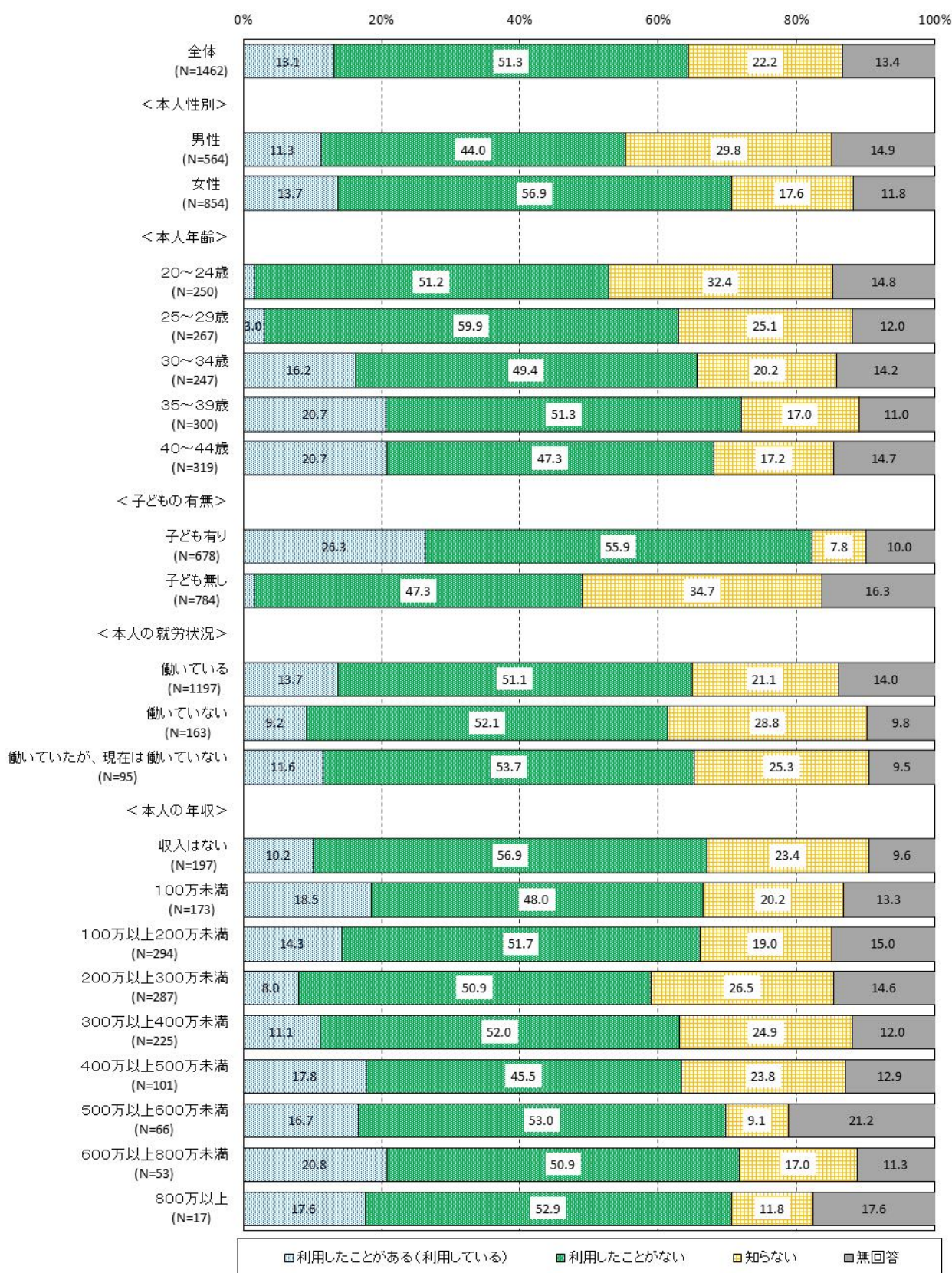
<本人の就労状況別>

就労状況による違いは見られないが、働いていない人では「知らない」（28.8%）が全体を 6.6 ポイント上回っている。

<本人の年収別>

年収による違いは見られない。

図表－106 問 28 4. 一時保育



図表－107 問 28 4. 一時保育(属性別)

		サンプル 数	知っている子育て支援制度(一時保育)				
			知っている			知らない	無回答
				利用したこ とがある (利用して いる)	利用したこ とがない		
全体		1462	64.4	13.1	51.3	22.2	13.4
本人 性別	男性	564	55.3	11.3	▼ 44.0	▲ 29.8	14.9
	女性	854	70.6	13.7	▲ 56.9	▼ 17.6	11.8
本人 年齢	20～24歳	250	52.8	▼ 1.6	51.2	▲ 32.4	14.8
	25～29歳	267	62.9	▼ 3.0	▲ 59.9	25.1	12.0
	30～34歳	247	65.6	16.2	49.4	20.2	14.2
	35～39歳	300	72.0	▲ 20.7	51.3	▽ 17.0	11.0
	40～44歳	319	68.0	▲ 20.7	47.3	▽ 17.2	14.7
子 ど も の 有 無	子ども有り	678	82.2	▲ 26.3	△ 55.9	▼ 7.8	▼ 10.0
	子ども無し	784	49.0	▼ 1.7	▽ 47.3	▲ 34.7	△ 16.3
子 ど も の 属 性	未就学児	428	82.7	24.8	57.9	7.5	9.8
	小学生(1～3年生)	241	83.4	△ 33.2	50.2	7.5	9.1
	小学生(4～6年生)	192	80.8	31.8	49.0	7.8	11.5
	中学生	133	83.4	△ 33.8	49.6	7.5	9.0
	高校生	80	77.6	23.8	53.8	10.0	12.5
	大学生	14	71.5	28.6	42.9	21.4	7.1
	社会人	24	75.0	25.0	50.0	8.3	16.7
居住 地域	県東	766	64.6	13.4	51.2	22.8	12.5
	県西	671	64.6	12.7	51.9	21.6	13.9
就 労 状 況 本人の	働いている	1197	64.8	13.7	51.1	21.1	14.0
	働いていない	163	61.3	9.2	52.1	△ 28.8	9.8
	働いていたが、現在は働いていない	95	65.3	11.6	53.7	25.3	9.5
本人の 年 収	収入はない	197	67.1	10.2	56.9	23.4	9.6
	100万未満	173	66.5	△ 18.5	48.0	20.2	13.3
	100万以上200万未満	294	66.0	14.3	51.7	19.0	15.0
	200万以上300万未満	287	58.9	▽ 8.0	50.9	26.5	14.6
	300万以上400万未満	225	63.1	11.1	52.0	24.9	12.0
	400万以上500万未満	101	63.3	17.8	45.5	23.8	12.9
	500万以上600万未満	66	69.7	16.7	53.0	▽ 9.1	21.2
	600万以上800万未満	53	71.7	20.8	50.9	17.0	11.3
	800万以上	17	70.5	17.6	52.9	11.8	17.6

⑤休日保育の認知度

<性別>

男性は女性より認知度が低く、男性の 38.1%が「知らない」と回答している。

<年齢別>

年齢が高くなるほど認知度や利用度は高くなる傾向にあるが、「利用したことがある（利用している）」は最も利用度が高い 35～39 歳でも 4.0%にとどまっている。

<子どもの有無別>

子どもがいる人では「知っている」が 72.3%あるが、「利用したことがある（利用している）」は 4.6%と僅かである。

子どもがいない人では 41.5%が「知らない」と回答しており、子どもがいる人（15.8%）を 25.7 ポイント上回っている。

<子どもの属性別>

子どもの年齢が低くなるほど認知度は高くなる傾向にあり、他の層に比べて「利用したことがある（利用している）」が高いのは、小学校高学年（4～6 年生）の子どもを持つ人（5.7%）、中学生（5.3%）である。

<居住地域別>

居住地域による違いは見られない。

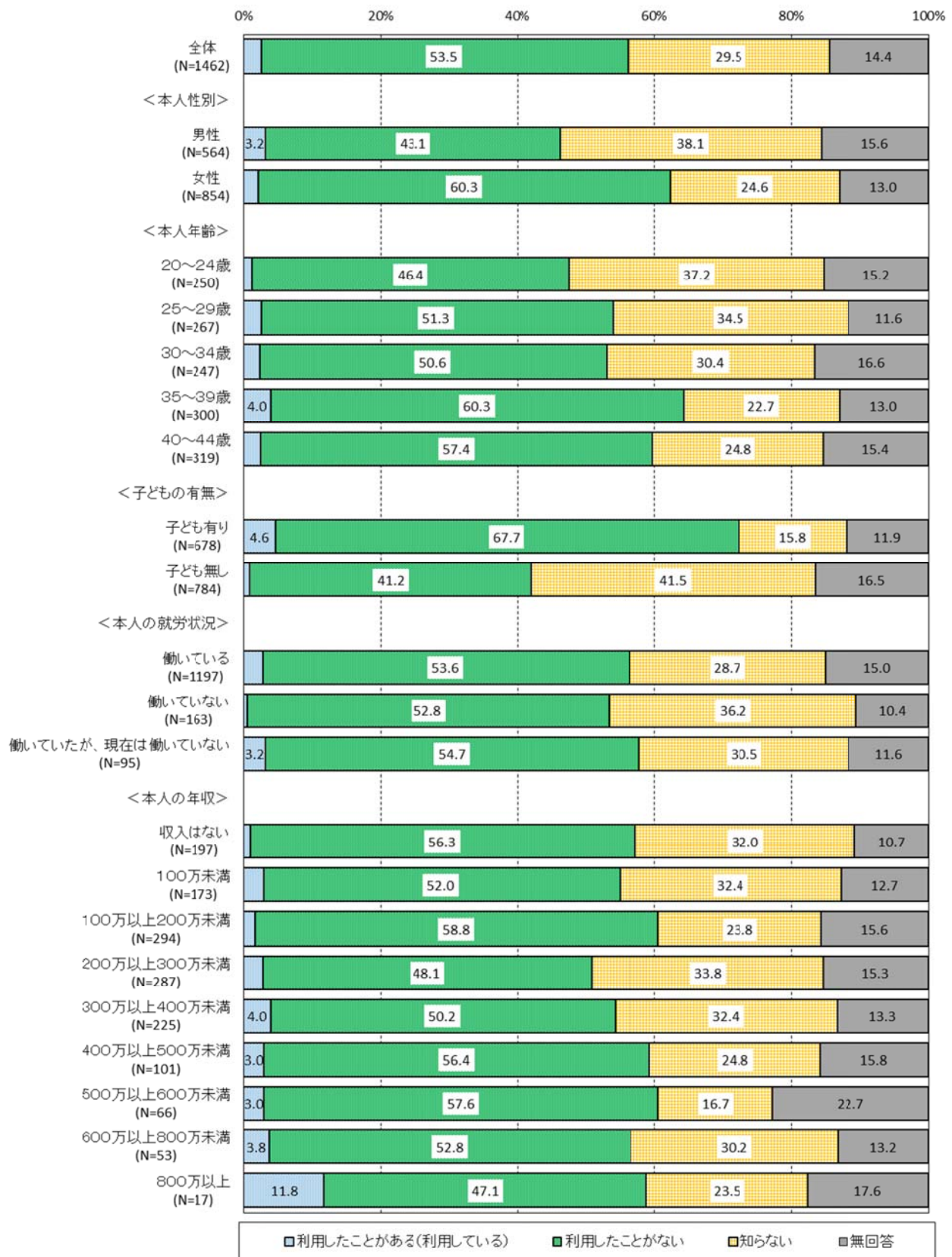
<本人の就労状況別>

働いていない人の利用度は低く、「（知っているが）利用したことがない」（36.2%）は全体を 6.7 ポイント上回っている。

<本人の年収別>

年収による違いは見られない。

図表－108 問 28 5. 休日保育



図表－109 問 28 5. 休日保育(属性別)

		サンプル 数	知っている子育て支援制度(休日保育)				
			知っている			知らない	無回答
				利用したこ とがある (利用して いる)	利用したこ とがない		
全体		1462	56.1	2.6	53.5	29.5	14.4
本人 性別	男性	564	46.3	3.2	▼ 43.1	▲ 38.1	15.6
	女性	854	62.4	2.1	▲ 60.3	▼ 24.6	13.0
本人 年齢	20～24歳	250	47.6	1.2	▽ 46.4	▲ 37.2	15.2
	25～29歳	267	53.9	2.6	51.3	34.5	11.6
	30～34歳	247	53.0	2.4	50.6	30.4	16.6
	35～39歳	300	64.3	4.0	△ 60.3	▼ 22.7	13.0
	40～44歳	319	59.9	2.5	57.4	24.8	15.4
子 ど も の 有 無	子ども有り	678	72.3	▲ 4.6	▲ 67.7	▼ 15.8	11.9
	子ども無し	784	42.1	▼ 0.9	▼ 41.2	▲ 41.5	16.5
子 ど も の 属 性	未就学児	428	72.7	4.0	68.7	15.4	11.9
	小学生(1～3年生)	241	75.6	4.6	71.0	14.1	10.4
	小学生(4～6年生)	192	69.8	5.7	64.1	17.2	13.0
	中学生	133	70.7	5.3	65.4	18.0	11.3
	高校生	80	68.8	2.5	66.3	13.8	17.5
	大学生	14	57.1	－	57.1	△ 35.7	7.1
	社会人	24	70.9	4.2	66.7	12.5	16.7
居住 地域	県東	766	57.8	3.1	54.7	29.1	13.1
	県西	671	54.4	2.1	52.3	30.3	15.4
就 労 状 況 本人の	働いている	1197	56.4	2.8	53.6	28.7	15.0
	働いていない	163	53.4	0.6	52.8	36.2	10.4
	働いていたが、現在は働いていない	95	57.9	3.2	54.7	30.5	11.6
本人の 年収	収入はない	197	57.3	1.0	56.3	32.0	10.7
	100万未満	173	54.9	2.9	52.0	32.4	12.7
	100万以上200万未満	294	60.5	1.7	58.8	▽ 23.8	15.6
	200万以上300万未満	287	50.9	2.8	48.1	33.8	15.3
	300万以上400万未満	225	54.2	4.0	50.2	32.4	13.3
	400万以上500万未満	101	59.4	3.0	56.4	24.8	15.8
	500万以上600万未満	66	60.6	3.0	57.6	▽ 16.7	22.7
	600万以上800万未満	53	56.6	3.8	52.8	30.2	13.2
	800万以上	17	58.9	△ 11.8	47.1	23.5	17.6

⑥病児・病後児保育の認知度

<性別>

男性は女性より認知度が低く、男性の 46.8%が「知らない」と回答している。

<年齢別>

年齢が高くなるほど認知度や利用度は高くなる傾向にあるが、「利用したことがある（利用している）」は最も利用度が高い 35～39 歳でも 3.3%である。

<子どもの有無別>

子どもがいる人では「知っている」が 69.1%で、「利用したことがある（利用している）」のは 4.1%と僅かである。

子どもがいない人では半数以上が「知らない」（52.6%）と回答しており、子どもがいる人（19.2%）を 33.4 ポイント上回っている。

<子どもの属性別>

子どもの年齢が低くなるほど認知度は高くなる傾向にあるが、「利用したことがある（利用している）」が最も高いのは小学校高学年（4～6 年生）を持つ人（7.8%）である。

<居住地域別>

居住地域による違いは見られない。

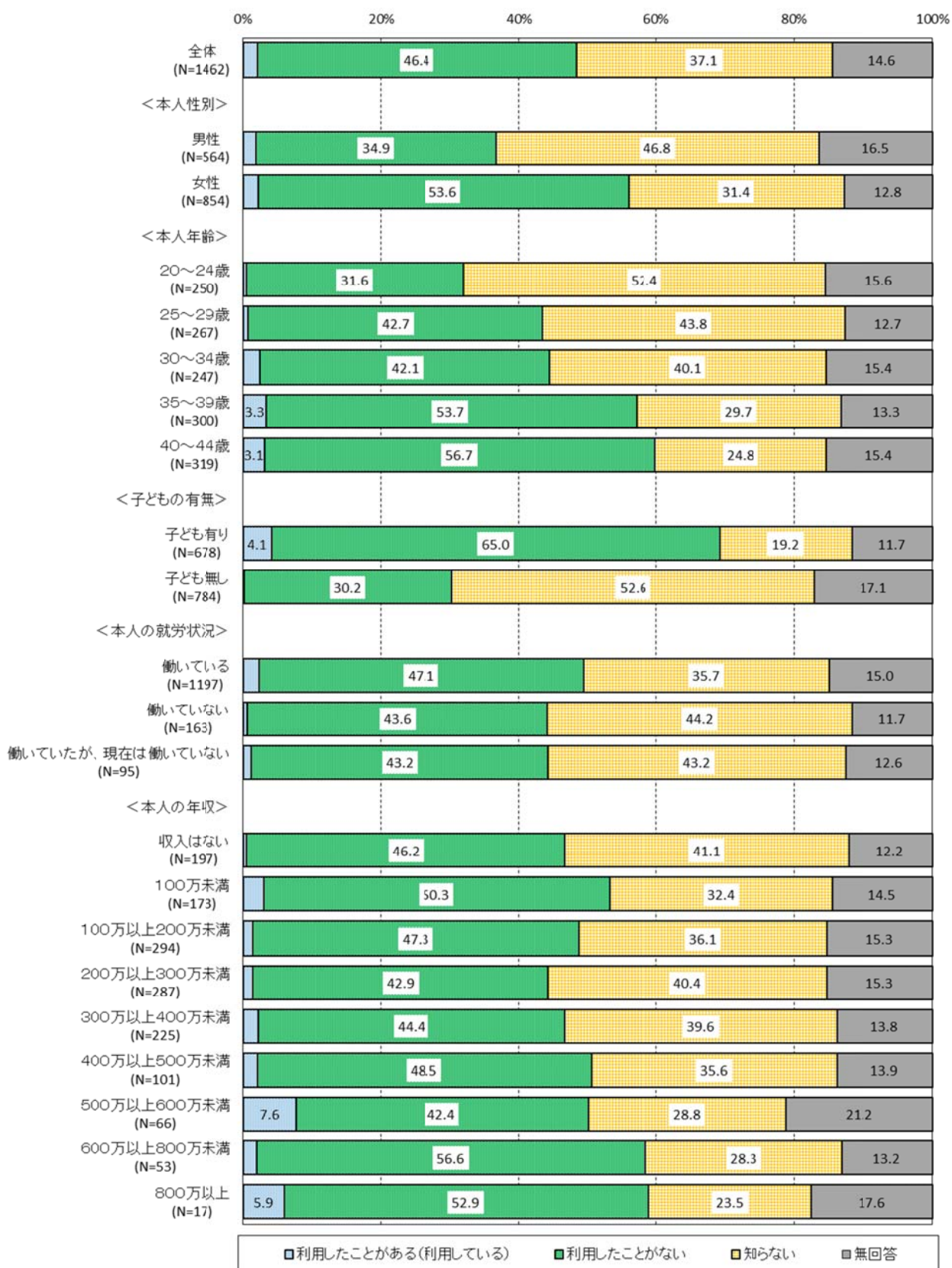
<本人の就労状況別>

働いていない人の認知度は低く、「（知っているが）利用したことがない」（44.2%）は全体を 7.1 ポイント上回っている。

<本人の年収別>

年収による違いは見られない。

図表－110 問 28 6. 病児・病後児保育



図表－111 問 28 6. 病児・病後児保育(属性別)

		サンプル 数	知っている子育て支援制度(病児・病後児保育)				
			知っている			知らない	無回答
				利用した ことがある (利用して いる)	利用したこ とがない		
全体		1462	48.4	2.0	46.4	37.1	14.6
本人 性別	男性	564	36.7	1.8	▼ 34.9	▲ 46.8	16.5
	女性	854	55.8	2.2	▲ 53.6	▼ 31.4	12.8
本人 年齢	20～24歳	250	32.0	0.4	▼ 31.6	▲ 52.4	15.6
	25～29歳	267	43.4	0.7	42.7	△ 43.8	12.7
	30～34歳	247	44.5	2.4	42.1	40.1	15.4
	35～39歳	300	57.0	3.3	△ 53.7	▼ 29.7	13.3
	40～44歳	319	59.8	3.1	▲ 56.7	▼ 24.8	15.4
子 ど も の 有 無	子ども有り	678	69.1	▲ 4.1	▲ 65.0	▼ 19.2	▽ 11.7
	子ども無し	784	30.3	▼ 0.1	▼ 30.2	▲ 52.6	△ 17.1
子 ど も の 属 性	未就学児	428	70.5	3.7	66.8	17.8	11.7
	小学生(1～3年生)	241	72.2	4.6	67.6	17.0	10.8
	小学生(4～6年生)	192	69.3	△ 7.8	61.5	17.2	13.5
	中学生	133	67.7	6.0	61.7	21.1	11.3
	高校生	80	63.8	2.5	61.3	20.0	16.3
	大学生	14	57.1	7.1	50.0	35.7	7.1
	社会人	24	62.5	－	62.5	20.8	16.7
居 住 地 域	県東	766	50.0	2.3	47.7	36.3	13.7
	県西	671	46.6	1.6	45.0	38.3	15.1
就 労 状 況 本人の	働いている	1197	49.4	2.3	47.1	35.7	15.0
	働いていない	163	44.2	0.6	43.6	44.2	11.7
	働いていたが、現在は働いていない	95	44.3	1.1	43.2	43.2	12.6
本人の 年 収	収入はない	197	46.7	0.5	46.2	41.1	12.2
	100万未満	173	53.2	2.9	50.3	32.4	14.5
	100万以上200万未満	294	48.7	1.4	47.3	36.1	15.3
	200万以上300万未満	287	44.3	1.4	42.9	40.4	15.3
	300万以上400万未満	225	46.6	2.2	44.4	39.6	13.8
	400万以上500万未満	101	50.5	2.0	48.5	35.6	13.9
	500万以上600万未満	66	50.0	▲ 7.6	42.4	28.8	21.2
	600万以上800万未満	53	58.5	1.9	56.6	28.3	13.2
	800万以上	17	58.8	5.9	52.9	23.5	17.6

⑦ファミリーサポートセンターの認知度

<性別>

男性は女性より認知度が低く、男性の 58.9%が「知らない」と回答している。「ファミリーサポートセンター」はすべての子育て支援制度の中で最も男性の認知度が低い。

<年齢別>

年齢が高くなるほど認知度や利用度は高くなる傾向にあるが、「利用したことがある（利用している）」は最も利用度が高い 35～39 歳でも 5.7%である。

20 代の認知度は低く、20～24 歳の 66.0%、25～29 歳の 61.4%が「知らない」と回答している。

<子どもの有無別>

子どもがいる人では「知っている」が 51.3%で、「利用したことがある（利用している）」のは 5.6%である。

子どもがいない人では 6 割強が「知らない」（64.4%）と回答しており、子どもがいる人（37.2%）を 27.2 ポイント上回っている。

<子どもの属性別>

子どもの属性による違いは見られない。

<居住地域別>

居住地域による違いは見られない。

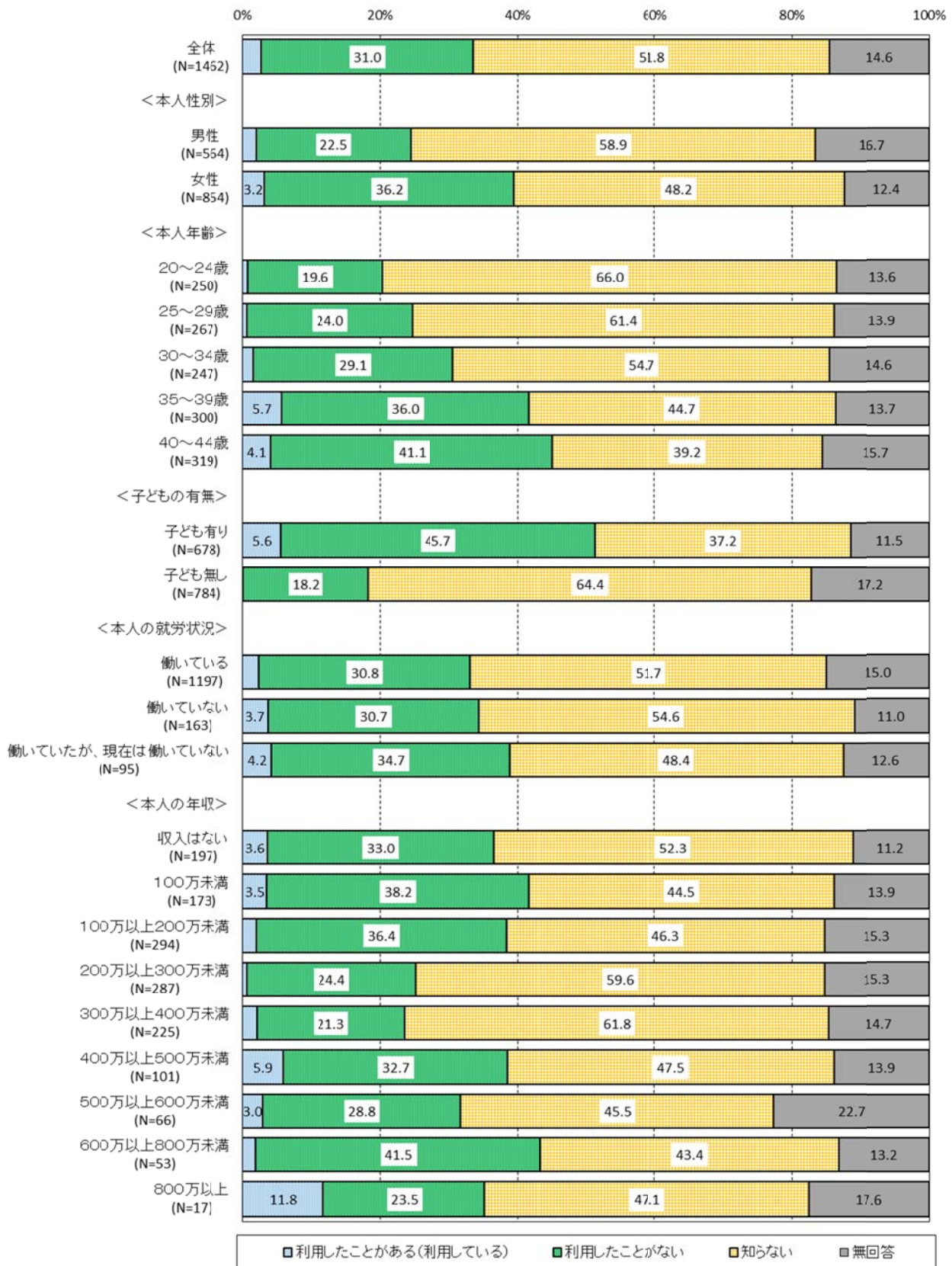
<本人の就労状況別>

就労状況による違いは見られない。

<本人の年収別>

年収 200 万～400 万未満の層で認知度が低く、「知らない」の割合は、200 万以上 300 万未満が 59.6%、300 万以上 400 万未満が 61.8%となっている。

図表－112 問 28 7. ファミリーサポートセンター



図表－113 問 28 7. ファミリーサポートセンター(属性別)

		サンプル数	知っている子育て支援制度(ファミリーサポートセンター)				無回答
			知っている	利用したことがある(利用している)	利用したことがない	知らない	
全体		1462	33.7	2.7	31.0	51.8	14.6
本人性別	男性	564	24.5	2.0	▼ 22.5	▲ 58.9	16.7
	女性	854	39.4	3.2	▲ 36.2	▽ 48.2	12.4
本人年齢	20～24歳	250	20.4	0.8	▼ 19.6	▲ 66.0	13.6
	25～29歳	267	24.7	0.7	▽ 24.0	▲ 61.4	13.9
	30～34歳	247	30.7	1.6	29.1	54.7	14.6
	35～39歳	300	41.7	▲ 5.7	36.0	▽ 44.7	13.7
	40～44歳	319	45.2	4.1	▲ 41.1	▼ 39.2	15.7
子ども有無	子ども有り	678	51.3	▲ 5.6	▲ 45.7	▼ 37.2	▽ 11.5
	子ども無し	784	18.3	▼ 0.1	▼ 18.2	▲ 64.4	△ 17.2
子どもの属性	未就学児	428	51.7	6.1	45.6	37.6	10.7
	小学生(1～3年生)	241	53.1	6.6	46.5	35.7	11.2
	小学生(4～6年生)	192	53.7	4.7	49.0	31.8	14.6
	中学生	133	53.4	5.3	48.1	35.3	11.3
	高校生	80	53.8	3.8	50.0	31.3	15.0
	大学生	14	50.0	–	50.0	42.9	7.1
	社会人	24	50.0	4.2	45.8	33.3	16.7
居住地域	県東	766	36.7	3.3	33.4	50.1	13.2
	県西	671	30.4	2.1	28.3	54.1	15.5
就労状況	働いている	1197	33.2	2.4	30.8	51.7	15.0
	働いていない	163	34.4	3.7	30.7	54.6	11.0
	働いていたが、現在は働いていない	95	38.9	4.2	34.7	48.4	12.6
本人の年収	収入はない	197	36.6	3.6	33.0	52.3	11.2
	100万未満	173	41.7	3.5	△ 38.2	44.5	13.9
	100万以上200万未満	294	38.4	2.0	△ 36.4	46.3	15.3
	200万以上300万未満	287	25.1	▽ 0.7	▽ 24.4	▲ 59.6	15.3
	300万以上400万未満	225	23.5	2.2	▼ 21.3	▲ 61.8	14.7
	400万以上500万未満	101	38.6	△ 5.9	32.7	47.5	13.9
	500万以上600万未満	66	31.8	3.0	28.8	45.5	22.7
	600万以上800万未満	53	43.4	1.9	41.5	43.4	13.2
	800万以上	17	35.3	△ 11.8	23.5	47.1	17.6

⑧放課後児童クラブの認知度

<性別>

男性の認知度は 64.0%、女性の認知度が 78.2%で、他の支援制度の中では男女ともに認知度が高い制度となっている。

「利用したことがある（利用している）」の割合は、男性が 16.7%、女性が 19.7%である。

<年齢別>

年齢が高くなるほど認知度や利用度は高くなる傾向にある。

「利用したことがある（利用している）」の割合は 35～39 歳が 29.3%、40～44 歳が 33.5%である。

<子どもの有無別>

子どもがいない人はいる人よりも認知度が低く、子どもがいない人での 22.7%が「知らない」と回答している。

<子どもの属性別>

子どもの年齢が高くなるほど認知度は高くなる傾向にある。

「利用したことがある（利用している）」の割合は小学校低学年（1～3年生）の子どもを持つ人（55.6%）、小学校高学年（4～6年生）の子どもを持つ人（53.6%）で5割を超えている。

<居住地域別>

居住地域による違いは見られない。

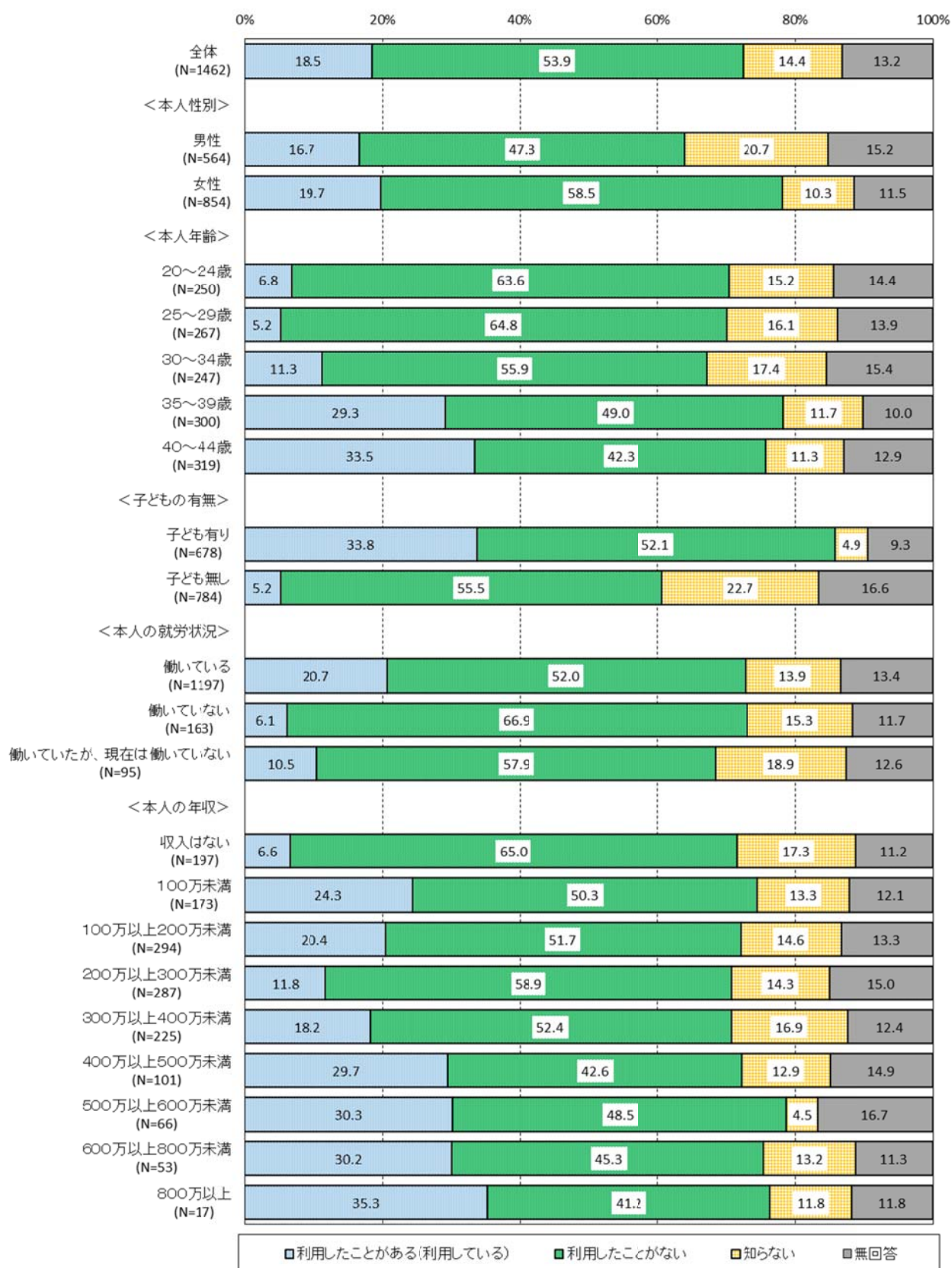
<本人の就労状況別>

「利用したことがある（利用している）」の割合は就労者（20.7%）が働いていない人（6.1%）を 14.6 ポイント上回っている。

<本人の年収別>

年収が高くなるほど「利用したことがある（利用している）」の割合が高くなる傾向にあり、年収 400 万以上の層では3割程度に利用経験がある。

図表－114 問 28 8. 放課後児童クラブ



図表－115 問 28 8. 放課後児童クラブ(属性別)

		サンプル 数	知っている子育て支援制度(放課後児童クラブ)				
			知っている	利用したことがある (利用している)		知らない	無回答
				利用したこ とがある (利用して いる)	利用したこ とがない		
全体		1462	72.4	18.5	53.9	14.4	13.2
本人 性別	男性	564	64.0	16.7	▼ 47.3	▲ 20.7	15.2
	女性	854	78.2	19.7	▲ 58.5	▼ 10.3	11.5
本人 年齢	20～24歳	250	70.4	▼ 6.8	▲ 63.6	15.2	14.4
	25～29歳	267	70.0	▼ 5.2	▲ 64.8	16.1	13.9
	30～34歳	247	67.2	▼ 11.3	55.9	17.4	15.4
	35～39歳	300	78.3	▲ 29.3	49.0	11.7	10.0
	40～44歳	319	75.8	▲ 33.5	▼ 42.3	11.3	12.9
子 ども の 有 無	子ども有り	678	85.9	▲ 33.8	52.1	▼ 4.9	▼ 9.3
	子ども無し	784	60.7	▼ 5.2	55.5	▲ 22.7	▲ 16.6
子 ども の 属 性	未就学児	428	83.4	▼ 22.2	▲ 61.2	6.1	10.5
	小学生(1～3年生)	241	89.6	▲ 55.6	▼ 34.0	2.9	7.5
	小学生(4～6年生)	192	90.6	▲ 53.6	▼ 37.0	2.1	7.3
	中学生	133	91.0	▲ 47.4	43.6	3.8	5.3
	高校生	80	90.0	▲ 52.5	▼ 37.5	3.8	6.3
	大学生	14	100.0	△ 64.3	35.7	—	—
	社会人	24	83.4	41.7	41.7	4.2	12.5
居 住 地 域	県東	766	73.2	19.3	53.9	14.8	12.0
	県西	671	72.0	17.9	54.1	13.9	14.2
就 労 状 況 本人の	働いている	1197	72.7	△ 20.7	52.0	13.9	13.4
	働いていない	163	73.0	▼ 6.1	▲ 66.9	15.3	11.7
	働いていたが、現在は働いていない	95	68.4	▽ 10.5	57.9	18.9	12.6
本人の 年収	収入はない	197	71.6	▼ 6.6	▲ 65.0	17.3	11.2
	100万未満	173	74.6	△ 24.3	50.3	13.3	12.1
	100万以上200万未満	294	72.1	20.4	51.7	14.6	13.3
	200万以上300万未満	287	70.7	▼ 11.8	58.9	14.3	15.0
	300万以上400万未満	225	70.6	18.2	52.4	16.9	12.4
	400万以上500万未満	101	72.3	▲ 29.7	▼ 42.6	12.9	14.9
	500万以上600万未満	66	78.8	△ 30.3	48.5	▽ 4.5	16.7
	600万以上800万未満	53	75.5	△ 30.2	45.3	13.2	11.3
	800万以上	17	76.5	35.3	41.2	11.8	11.8

⑨民間の託児サービス（認可外保育所含む）の認知度

<性別>

男性は女性より認知度が低く、男性の 37.6%が「知らない」と回答している。

<年齢別>

年齢が高くなるほど認知度や利用度は高くなる傾向にあり、「利用したことがある（利用している）」が最も高いのは 40～44 歳（7.5%）である。

<子どもの有無別>

子どもがいる人の認知度は 70.2%と高いものの、「利用したことがある（利用している）」の割合は 7.8%である。

<子どもの属性別>

子どもの属性による違いは見られない。

<居住地域別>

居住地域による違いは見られない。

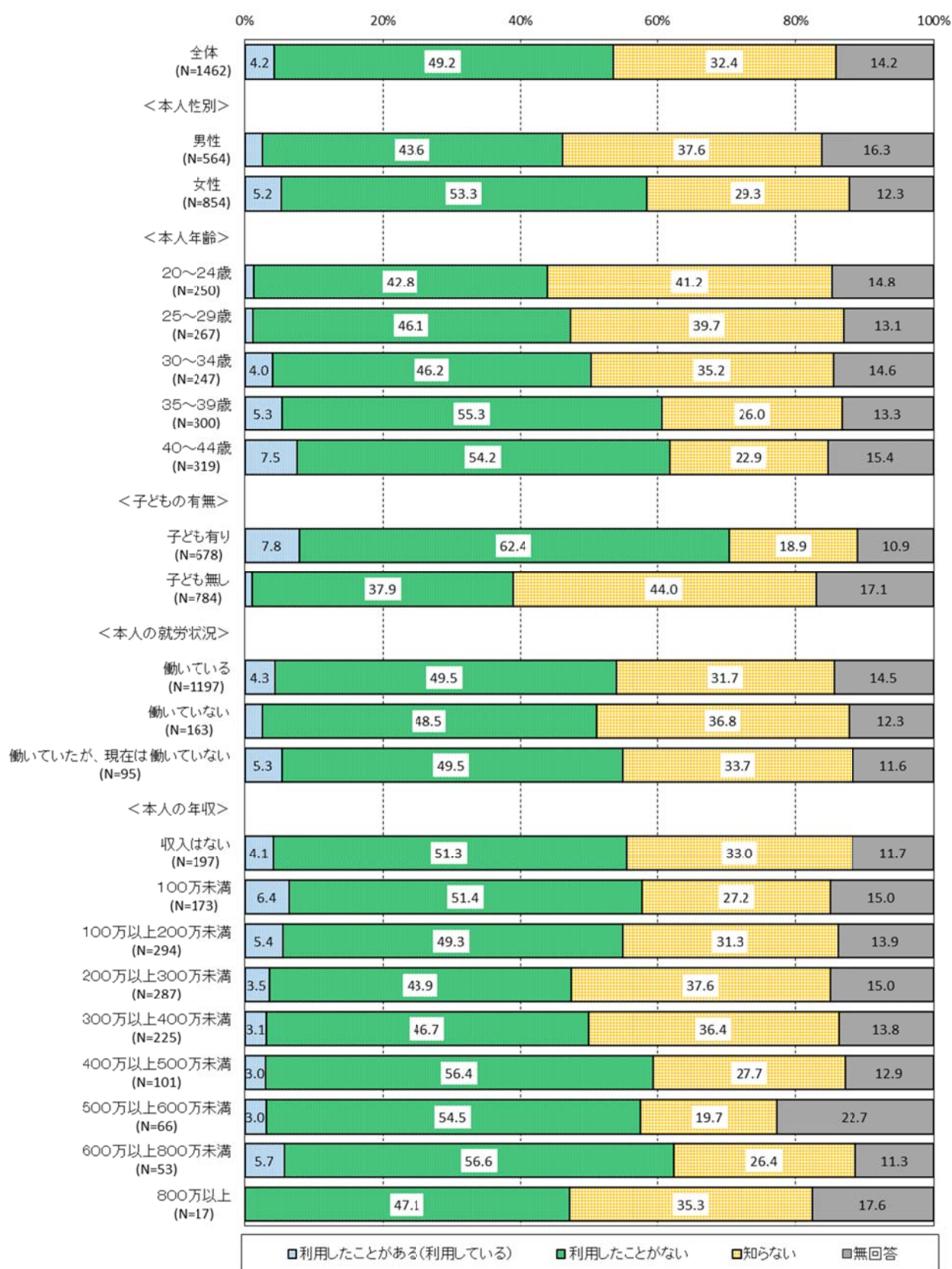
<本人の就労状況別>

就労状況による違いは見られない。

<本人の年収別>

年収による違いは見られない。

図表－116 問 28 9. 民間の託児サービス(認可外保育所含む)



図表－117 問 28 9. 民間の託児サービス(認可外保育所含む)(属性別)

		サンプル 数	知っている子育て支援制度(民間の託児サービス)				
			知っている			知らない	無回答
				利用したこ とがある (利用して いる)	利用したこ とがない		
全体		1462	53.4	4.2	49.2	32.4	14.2
本人 性別	男性	564	46.1	▽ 2.5	▼ 43.6	▲ 37.6	16.3
	女性	854	58.5	5.2	△ 53.3	29.3	12.3
本人 年齢	20～24歳	250	44.0	▽ 1.2	▽ 42.8	▲ 41.2	14.8
	25～29歳	267	47.2	▽ 1.1	46.1	△ 39.7	13.1
	30～34歳	247	50.2	4.0	46.2	35.2	14.6
	35～39歳	300	60.6	5.3	△ 55.3	▽ 26.0	13.3
	40～44歳	319	61.7	▲ 7.5	54.2	▼ 22.9	15.4
子 ど も の 有 無	子ども有り	678	70.2	▲ 7.8	▲ 62.4	▼ 18.9	▽ 10.9
	子ども無し	784	38.9	▼ 1.0	▼ 37.9	▲ 44.0	△ 17.1
子 ど も の 属 性	未就学児	428	68.9	7.0	61.9	20.8	10.3
	小学生(1～3年生)	241	73.0	10.8	62.2	17.0	10.0
	小学生(4～6年生)	192	67.8	8.9	58.9	18.8	13.5
	中学生	133	70.0	6.8	63.2	18.8	11.3
	高校生	80	70.1	8.8	61.3	16.3	13.8
	大学生	14	78.6	14.3	64.3	14.3	7.1
	社会人	24	70.8	8.3	62.5	12.5	16.7
居 住 地 域	県東	766	55.0	3.7	51.3	31.9	13.2
	県西	671	51.8	4.6	47.2	33.1	15.1
就 労 状 況	働いている	1197	53.8	4.3	49.5	31.7	14.5
	働いていない	163	51.0	2.5	48.5	36.8	12.3
	働いていたが、現在は働いていない	95	54.8	5.3	49.5	33.7	11.6
本 人 の 年 収	収入はない	197	55.4	4.1	51.3	33.0	11.7
	100万未満	173	57.8	6.4	51.4	27.2	15.0
	100万以上200万未満	294	54.7	5.4	49.3	31.3	13.9
	200万以上300万未満	287	47.4	3.5	43.9	37.6	15.0
	300万以上400万未満	225	49.8	3.1	46.7	36.4	13.8
	400万以上500万未満	101	59.4	3.0	56.4	27.7	12.9
	500万以上600万未満	66	57.5	3.0	54.5	▼ 19.7	△ 22.7
	600万以上800万未満	53	62.3	5.7	56.6	26.4	11.3
	800万以上	17	47.1	－	47.1	35.3	17.6

⑩地域子育て支援拠点の認知度

<性別>

男女ともに認知度は低く、男性の認知度は 28.2%、女性の認知度は 39.3%である。

<年齢別>

年齢が高くなるほど認知度や利用度は高くなる傾向がある。

「利用したことがある（利用している）」が最も高いのは 40～44 歳（10.7%）である。

<子どもの有無別>

子どもがいない人の認知度（21.8%）は子どもがいる人（50.5%）の半分程度である。

「利用したことがある（利用している）」の割合は子どもがいる人で 1 割強（11.7%）である。

<子どもの属性別>

子どもの属性による違いは見られない。

<居住地域別>

居住地域による違いは見られない。

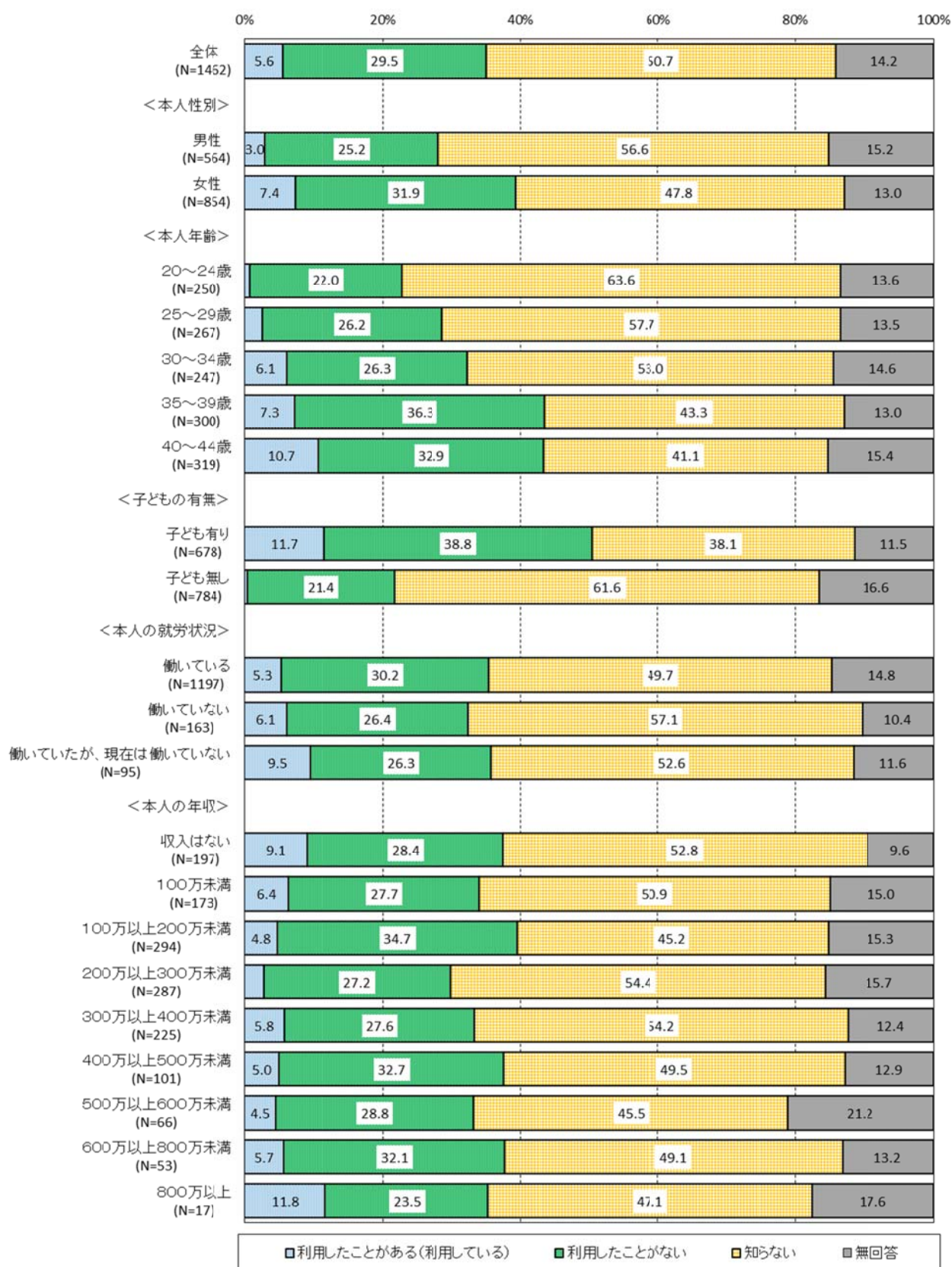
<本人の就労状況別>

就労状況による違いは見られない。

<本人の年収別>

年収による違いは見られない。

図表－118 問 28 10. 地域子育て支援拠点



図表－119 問 28 10. 地域子育て支援拠点(属性別)

		サンプル 数	知っている子育て支援制度(地域子育て支援拠点)				
			知っている			知らない	無回答
				利用したこ とがある (利用して いる)	利用したこ とがない		
全体		1462	35.1	5.6	29.5	50.7	14.2
本人性別	男性	564	28.2	▼ 3.0	▽ 25.2	▲ 56.6	15.2
	女性	854	39.3	△ 7.4	31.9	47.8	13.0
本人年齢	20～24歳	250	22.8	▼ 0.8	▼ 22.0	▲ 63.6	13.6
	25～29歳	267	28.8	▽ 2.6	26.2	△ 57.7	13.5
	30～34歳	247	32.4	6.1	26.3	53.0	14.6
	35～39歳	300	43.6	7.3	▲ 36.3	▽ 43.3	13.0
	40～44歳	319	43.6	▲ 10.7	32.9	▼ 41.1	15.4
子どもの有無	子ども有り	678	50.5	▲ 11.7	▲ 38.8	▼ 38.1	▽ 11.5
	子ども無し	784	21.8	▼ 0.4	▼ 21.4	▲ 61.6	16.6
子どもの属性	未就学児	428	51.6	12.6	39.0	37.1	11.2
	小学生(1～3年生)	241	53.5	12.4	41.1	36.5	10.0
	小学生(4～6年生)	192	48.4	10.9	37.5	37.5	14.1
	中学生	133	49.6	10.5	39.1	39.1	11.3
	高校生	80	47.6	8.8	38.8	38.8	13.8
	大学生	14	42.8	7.1	35.7	50.0	7.1
	社会人	24	45.9	4.2	41.7	37.5	16.7
居住地域	県東	766	34.5	5.1	29.4	52.3	13.2
	県西	671	35.7	6.3	29.4	49.5	14.9
就労状況 本人の	働いている	1197	35.5	5.3	30.2	49.7	14.8
	働いていない	163	32.5	6.1	26.4	57.1	10.4
	働いていたが、現在は働いていない	95	35.8	9.5	26.3	52.6	11.6
本人の年収	収入はない	197	37.5	△ 9.1	28.4	52.8	9.6
	100万未満	173	34.1	6.4	27.7	50.9	15.0
	100万以上200万未満	294	39.5	4.8	△ 34.7	45.2	15.3
	200万以上300万未満	287	30.0	▽ 2.8	27.2	54.4	15.7
	300万以上400万未満	225	33.4	5.8	27.6	54.2	12.4
	400万以上500万未満	101	37.7	5.0	32.7	49.5	12.9
	500万以上600万未満	66	33.3	4.5	28.8	45.5	21.2
	600万以上800万未満	53	37.8	5.7	32.1	49.1	13.2
	800万以上	17	35.3	11.8	23.5	47.1	17.6

⑪子育て情報・支援ネットワーク（サークル）の認知度

<性別>

男性は女性より認知度が低く、男性の51.8%が「知らない」と回答している。男性の認知度は「ファミリーサポートセンター」(58.9%)の次に低い。

<年齢別>

年齢が高くなるほど認知度や利用度は高くなる傾向にある。

「利用したことがある（利用している）」は最も高い40～44歳で12.9%、35～39歳で11.0%である。

<子どもの有無別>

子どもがいない人の認知度(26.8%)は子どもがいる人(60.1%)の半分以下である。

「利用したことがある（利用している）」の割合は子どもがいる人が14.7%、子どもがいない人の0.5%である。

<子どもの属性別>

子どもの属性による違いは見られない。

<居住地域別>

居住地域による違いは見られない。

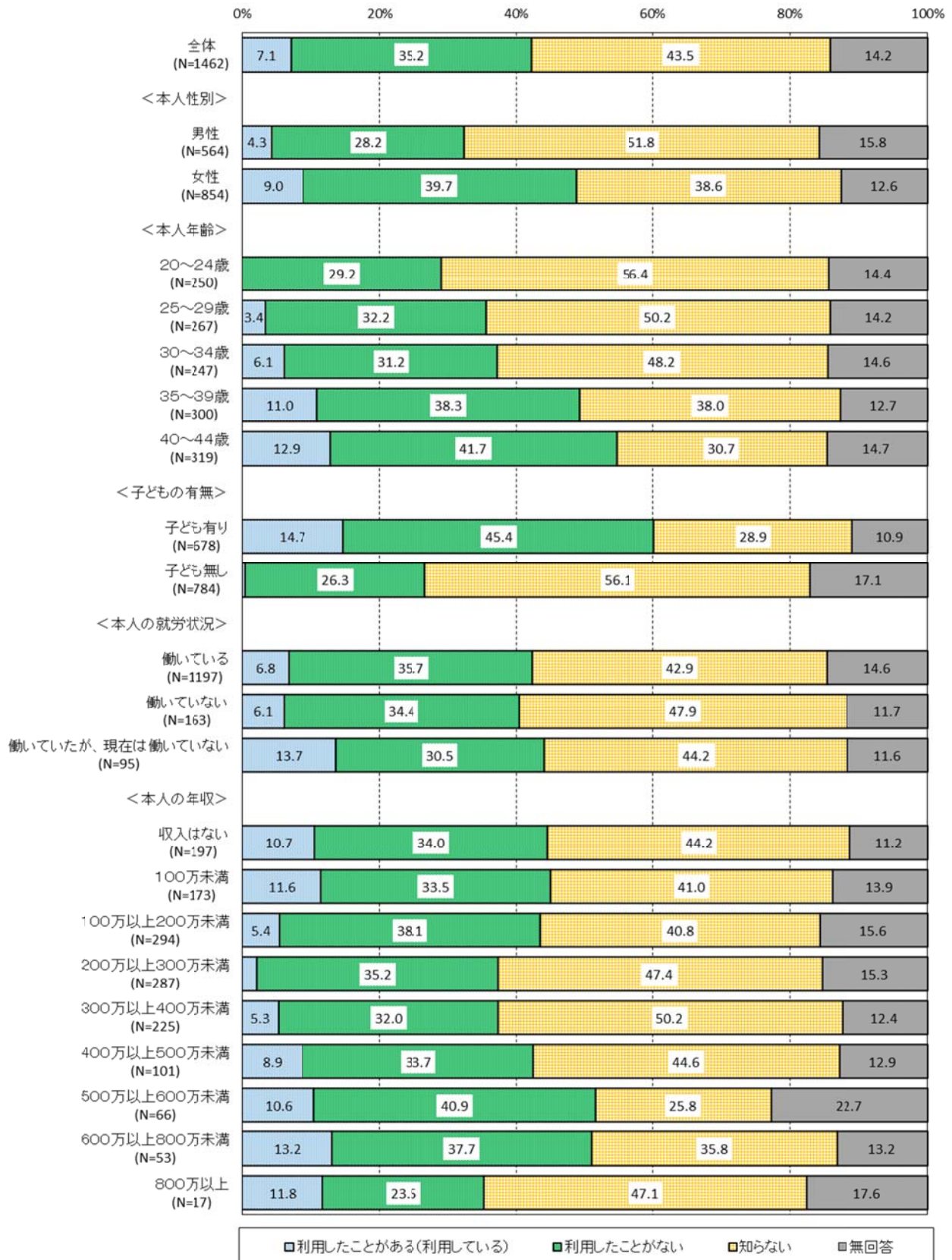
<本人の就労状況別>

就労状況による違いは見られない。

<本人の年収別>

年収による違いは見られない。

図表－120 問 28 11. 子育て情報・支援ネットワーク(サークル)



図表－121 問 28 11. 子育て情報・支援ネットワーク(サークル)(属性別)

		サンプル 数	知っている子育て支援制度(子育て情報・支援ネットワーク)				
			知っている	利用した ことがある (利用して いる)	利用したこ とがない	知らない	無回答
全体		1462	42.3	7.1	35.2	43.5	14.2
本人 性別	男性	564	32.5	▼ 4.3	▼ 28.2	▲ 51.8	15.8
	女性	854	48.7	△ 9.0	▲ 39.7	▼ 38.6	12.6
本人 年齢	20～24歳	250	29.2	▼ -	▽ 29.2	▲ 56.4	14.4
	25～29歳	267	35.6	▽ 3.4	32.2	△ 50.2	14.2
	30～34歳	247	37.3	6.1	31.2	48.2	14.6
	35～39歳	300	49.3	▲ 11.0	38.3	38.0	12.7
	40～44歳	319	54.6	▲ 12.9	△ 41.7	▼ 30.7	14.7
子 ども の 有 無	子ども有り	678	60.1	▲ 14.7	▲ 45.4	▼ 28.9	▽ 10.9
	子ども無し	784	26.8	▼ 0.5	▼ 26.3	▲ 56.1	△ 17.1
子 ども の 属 性	未就学児	428	60.7	15.4	45.3	28.7	10.5
	小学生(1～3年生)	241	61.4	16.6	44.8	28.6	10.0
	小学生(4～6年生)	192	62.0	13.0	49.0	24.5	13.5
	中学生	133	59.4	14.3	45.1	30.8	9.8
	高校生	80	50.0	10.0	40.0	35.0	15.0
	大学生	14	50.0	14.3	35.7	42.9	7.1
	社会人	24	54.2	12.5	41.7	29.2	16.7
居 住 地 域	県東	766	44.0	7.4	36.6	42.7	13.3
	県西	671	40.4	6.6	33.8	44.9	14.8
就 労 状 況 本人の	働いている	1197	42.5	6.8	35.7	42.9	14.6
	働いていない	163	40.5	6.1	34.4	47.9	11.7
	働いていたが、現在は働いていない	95	44.2	△ 13.7	30.5	44.2	11.6
本人の 年収	収入はない	197	44.7	10.7	34.0	44.2	11.2
	100万未満	173	45.1	△ 11.6	33.5	41.0	13.9
	100万以上200万未満	294	43.5	5.4	38.1	40.8	15.6
	200万以上300万未満	287	37.3	▼ 2.1	35.2	47.4	15.3
	300万以上400万未満	225	37.3	5.3	32.0	△ 50.2	12.4
	400万以上500万未満	101	42.6	8.9	33.7	44.6	12.9
	500万以上600万未満	66	51.5	10.6	40.9	▼ 25.8	△ 22.7
	600万以上800万未満	53	50.9	13.2	37.7	35.8	13.2
	800万以上	17	35.3	11.8	23.5	47.1	17.6

⑫児童館・児童センターの認知度

<性別>

女性の認知度は67.4%で男性（53.5%）を13.9ポイント上回っている。

女性は「利用したことがある（利用している）」（24.5%）も男性（15.2%）を9.3ポイント上回っている。

<年齢別>

年齢が高くなるほど認知度や利用度は高くなる傾向にある。

「利用したことがある（利用している）」は最も高い40～44歳が29.2%、35～39歳が29.0%となっている。

<子どもの有無別>

子どもがいる人の認知度は76.4%で、そのうち37.6%が「利用したことがある（利用している）」と回答している。

子どもがいない人では「知らない」が33.9%である。

<子どもの属性別>

認知度に大きな違いは見られないが、小学生の子どもを持つ人の利用度は高く、小学校低学年（1～3年生）の子どもを持つ人の利用度は45.6%、小学校高学年（4～6年生）の子どもを持つ人の利用度は40.1%である。

<居住地域別>

県東居住者の認知度は県西居住者より高く、「利用したことがある（利用している）」は県東居住者（28.1%）が県西居住者（12.5%）を15.6ポイント上回っている。

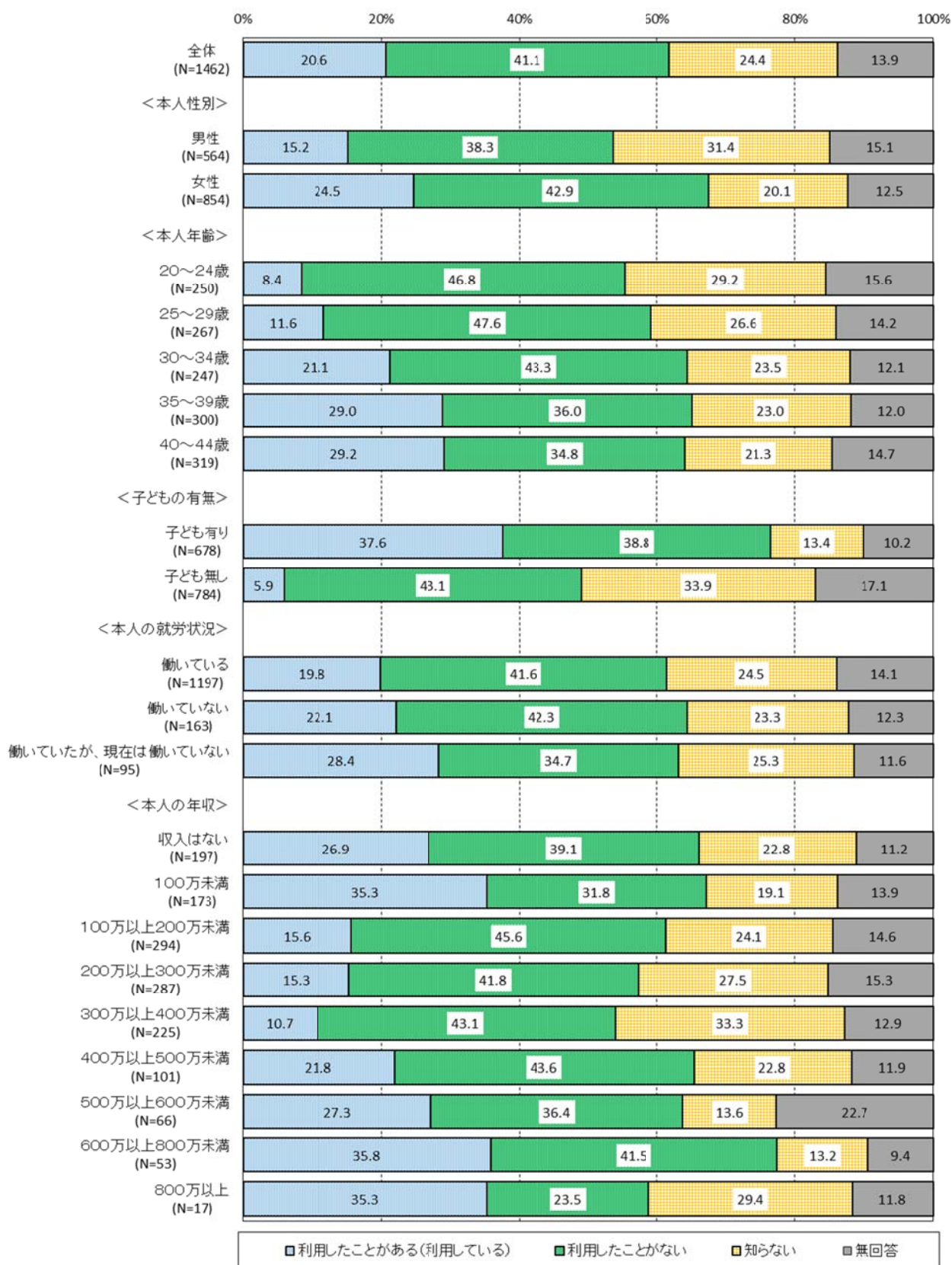
<本人の就労状況別>

就労状況による違いは見られない。

<本人の年収別>

利用度が高いのは100万未満で、「利用したことがある（利用している）」が35.3%と全体を14.7ポイント上回っている。

図表-122 問 28 12. 児童館・児童センター



図表－123 問 28 12. 児童館・児童センター(属性別)

		サンプル 数	知っている子育て支援制度(児童館・児童センター)				
			知っている			知らない	無回答
				利用した ことがある (利用して いる)	利用したこ とがない		
全体		1462	61.7	20.6	41.1	24.4	13.9
本人 性別	男性	564	53.5	▼ 15.2	38.3	▲ 31.4	15.1
	女性	854	67.4	▲ 24.5	42.9	▼ 20.1	12.5
本人 年齢	20～24歳	250	55.2	▼ 8.4	46.8	29.2	15.6
	25～29歳	267	59.2	▼ 11.6	△ 47.6	26.6	14.2
	30～34歳	247	64.4	21.1	43.3	23.5	12.1
	35～39歳	300	65.0	▲ 29.0	36.0	23.0	12.0
	40～44歳	319	64.0	▲ 29.2	▽ 34.8	21.3	14.7
子 ど も の 有 無	子ども有り	678	76.4	▲ 37.6	38.8	▼ 13.4	▼ 10.2
	子ども無し	784	49.0	▼ 5.9	43.1	▲ 33.9	▲ 17.1
子 ど も の 属 性	未就学児	428	76.9	38.1	38.8	13.3	9.8
	小学生(1～3年生)	241	77.6	△ 45.6	▽ 32.0	15.8	6.6
	小学生(4～6年生)	192	75.0	40.1	34.9	12.0	13.0
	中学生	133	79.7	32.3	△ 47.4	12.0	8.3
	高校生	80	76.3	32.5	43.8	11.3	12.5
	大学生	14	71.4	21.4	50.0	21.4	7.1
	社会人	24	62.5	20.8	41.7	20.8	16.7
居 住 地 域	県東	766	64.9	▲ 28.1	▽ 36.8	22.1	13.1
	県西	671	58.4	▼ 12.5	△ 45.9	27.1	14.5
就 労 状 況 本人の	働いている	1197	61.4	19.8	41.6	24.5	14.1
	働いていない	163	64.4	22.1	42.3	23.3	12.3
	働いていたが、現在は働いていない	95	63.1	28.4	34.7	25.3	11.6
本人の 年 収	収入はない	197	66.0	△ 26.9	39.1	22.8	11.2
	100万未満	173	67.1	▲ 35.3	▽ 31.8	19.1	13.9
	100万以上200万未満	294	61.2	▽ 15.6	45.6	24.1	14.6
	200万以上300万未満	287	57.1	▽ 15.3	41.8	27.5	15.3
	300万以上400万未満	225	53.8	▼ 10.7	43.1	▲ 33.3	12.9
	400万以上500万未満	101	65.4	21.8	43.6	22.8	11.9
	500万以上600万未満	66	63.7	27.3	36.4	▽ 13.6	△ 22.7
	600万以上800万未満	53	77.3	▲ 35.8	41.5	13.2	9.4
	800万以上	17	58.8	35.3	23.5	29.4	11.8

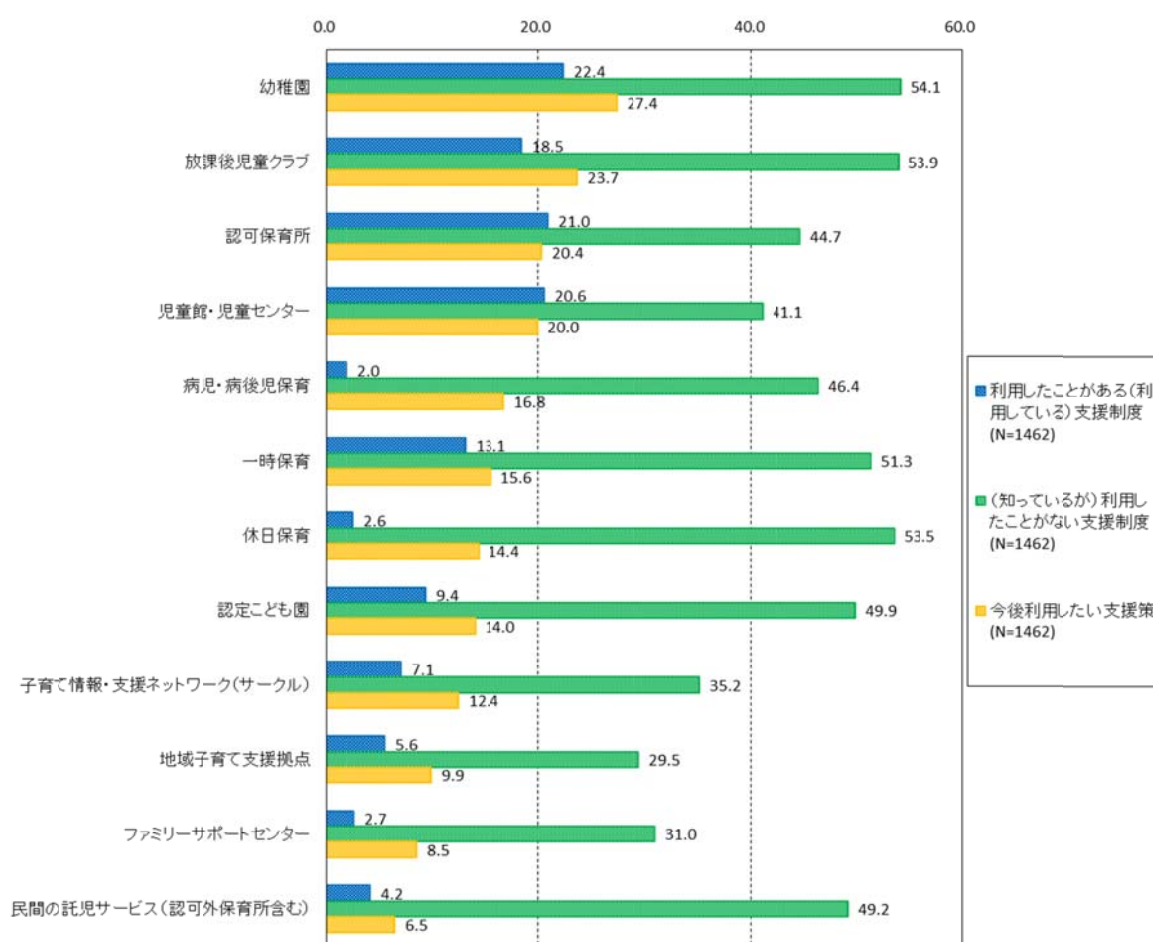
（８）今後利用したい子育て支援制度について

今後利用したい子育て支援制度では「幼稚園」(27.4%)が最も高く、次いで「放課後児童クラブ」(23.7%)、「認可保育所」(20.4%)、「児童館・児童センター」(20.0%)、「病児病後児保育」(16.3%)、「一時保育」(15.6%)、「休日保育」(14.4%)、「認定こども園」(14.0%)などが続いている。

認知度（利用度）との関係を見ると、「幼稚園」は現在の利用度も高く、今後の利用意向も高い。「放課後児童クラブ」は現在の利用度を今後の利用意向が上回っている。「認可保育所」、「児童館・児童センター」は現在の利用度と今後の利用意向がほぼ同程度である。

これら以外の支援制度については、現在の利用度はさほど高くないものの、今後の利用意向は現在の利用度を上回っており、「病児・病後児保育」は現在の利用度（2.0%）を今後の利用意向（16.8%）が大きく上回っている。

図表－124 問 28 今後利用したい支援制度について、(これまでの利用の有無にかかわらず)
利用したいものをすべて選んでください。(○はいくつでも)



(注) 無回答は表示していない。

【属性別傾向】

<性別>

性別による違いは見られない。

<年齢別>

最も若い20～24歳は、全体に比べて「幼稚園」(41.2%)、「認可保育所」(25.6%)、「一時保育」(22.4%)、「休日保育」(21.2%)の利用意向が高い。

25～29歳は20～24歳同様、全体に比べて「幼稚園」(40.1%)、「認可保育所」(32.2%)、「病児・病後児保育」(22.1%)、「認定こども園」(21.3%)、「一時保育」(20.2%)、「放課後児童クラブ」(28.8%)、「児童館・児童センター」(28.1%)の利用意向が高い。

30～34歳では「幼稚園」(30.8%)と「放課後児童クラブ」(30.8%)の利用意向が同率で最も高い割合となっている。

35～39歳では、最も利用意向が高い「幼稚園」が19.0%で、その他の支援制度の利用意向は10%台である。

40～44歳で最も利用意向が高いのは「放課後児童クラブ」(19.7%)で、その他の支援制度の利用意向は10%台である。

<子どもの有無別>

子どもがいる人の利用意向が最も高いのは「放課後児童クラブ」(22.3%)で、「児童館・児童センター」(16.5%)、「幼稚園」(14.7%)、「認可保育所」(13.7%)、「病児・病後児保育」(13.6%)が続いている。子どもがいない人の利用意向が最も高いのは「幼稚園」(38.4%)で、「認可保育所」(26.1%)、「放課後児童クラブ」(24.9%)、「児童館・児童センター」(23.1%)、「一時保育」(20.7%)が続いている。

<子どもの属性別>

未就学の子どもがいる人は、小学生以上の子どもがいる人に比べて様々な支援制度への利用意向が高く、「放課後児童クラブ」(29.2%)、「児童館・児童センター」(21.7%)、「幼稚園」(21.0%)の利用意向が2割を超えている。

<居住地域別>

居住地域による大きな違いは見られないが、県東居住者は県西居住者に比べて「児童館・児童センター」(24.7%)、「ファミリーサポートセンター」(10.7%)の利用意向が高い。

<本人の就労状況別>

働いていない人は就労者に比べて、「幼稚園」(38.0%)の利用意向が高い。

<本人の年収別>

収入はない人は全体に比べて「幼稚園」(39.1%)、「一時保育」(20.8%)、「子育て情報・支援ネットワーク(サークル)」(18.8%)の利用意向が高く、「放課後児童クラブ」(19.3%)の利用意向が低い。

図表－125 問 28 今後利用したい支援制度について、(これまでの利用の有無にかかわらず)
利用したいものをすべて選んでください。(属性別)

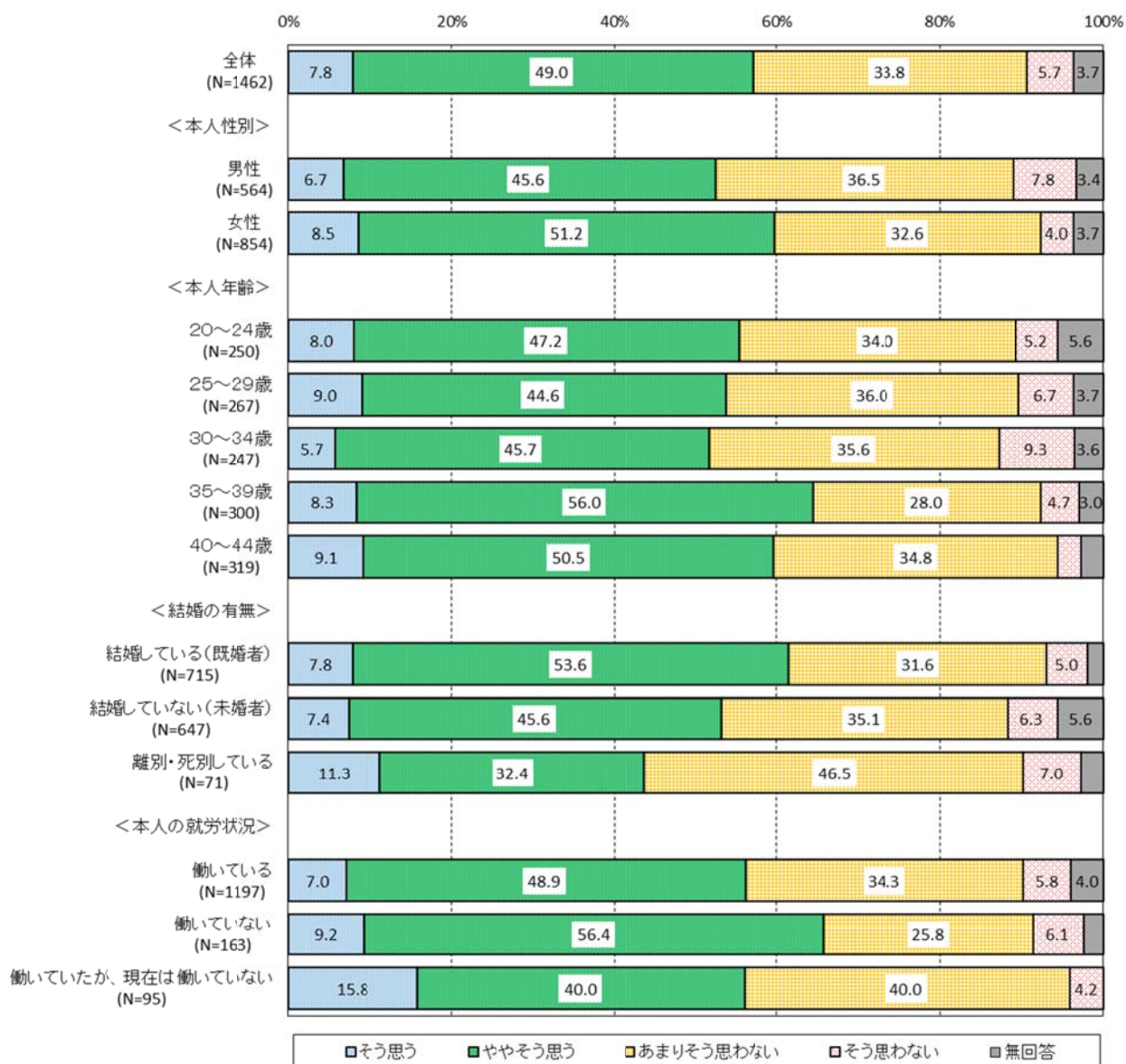
		サンプル 数	今後利用したい子育て支援制度												
			幼稚園	認定こども 園	認可保育 所	一時保育	休日保育	病児・病後 児保育	ファミリー サポートセ ンター	放課後児 童クラブ	民間の託 児サービ ス(認可外 保育所含 む)	地域子育 て支援拠 点	子育て情 報・支援 ネットワ ーク(サー クル)	児童館・児 童センタ ー	無回答
全体		1462	27.4	14.0	20.4	15.6	14.4	16.8	8.5	23.7	6.5	9.9	12.4	20.0	51.8
本人性別	男性	564	29.1	13.5	20.6	14.7	14.0	15.1	8.9	22.0	7.1	9.9	10.6	18.3	53.5
	女性	854	27.0	14.6	20.5	16.5	15.1	18.1	8.7	25.5	6.2	10.2	13.9	21.5	49.6
本人年齢	20～24歳	250	▲ 41.2	15.6	△ 25.6	▲ 22.4	▲ 21.2	15.6	7.6	24.4	6.8	11.2	16.0	20.8	▼ 42.4
	25～29歳	267	▲ 40.1	▲ 21.3	▲ 32.2	△ 20.2	18.0	△ 22.1	9.0	△ 28.8	7.5	12.7	15.4	▲ 28.1	▼ 37.8
	30～34歳	247	30.8	16.2	20.2	15.4	16.2	19.4	9.3	▲ 30.8	6.9	11.3	14.2	23.9	▼ 42.9
	35～39歳	300	▼ 19.0	10.3	▼ 13.0	▽ 10.3	12.3	14.7	9.7	▽ 17.7	5.7	8.7	10.3	18.3	▲ 59.7
	40～44歳	319	▼ 11.6	▼ 8.2	▼ 13.8	12.2	▼ 8.2	12.9	7.8	19.7	5.6	7.2	▽ 8.5	▼ 12.5	▲ 69.0
子どもの有無	子ども有り	678	▼ 14.7	▼ 10.3	▼ 13.7	▼ 9.7	▼ 9.1	▽ 13.6	6.9	22.3	4.9	▽ 7.2	▽ 9.3	▽ 16.5	▲ 58.1
	子ども無し	784	▲ 38.4	△ 17.1	▲ 26.1	▲ 20.7	▲ 19.0	△ 19.6	9.9	24.9	7.9	△ 12.2	△ 15.2	△ 23.1	▼ 46.4
子どもの属性	未就学児	428	▲ 21.0	▲ 15.0	△ 18.0	△ 12.6	△ 12.4	▲ 18.0	8.4	▲ 29.2	6.3	9.1	11.7	▲ 21.7	▼ 45.3
	小学生(1～3年生)	241	▼ 8.3	▼ 3.7	▼ 5.8	▽ 5.0	6.2	12.0	5.4	17.8	2.9	▽ 3.7	▽ 4.6	12.4	▲ 68.0
	小学生(4～6年生)	192	▼ 5.2	▼ 3.1	▼ 6.8	7.3	5.7	9.4	6.8	▼ 13.5	3.1	4.2	5.7	▽ 9.9	▲ 73.4
	中学生	133	▼ 2.3	▼ 3.0	8.3	6.0	5.3	9.8	5.3	▽ 14.3	▽ 0.8	6.0	9.0	▽ 9.0	▲ 75.2
	高校生	80	▼ 3.8	3.8	8.8	6.3	6.3	7.5	3.8	▼ 10.0	1.3	6.3	6.3	▼ 3.8	▲ 83.8
	大学生	14	7.1	7.1	7.1	7.1	—	—	—	14.3	—	7.1	7.1	7.1	△ 85.7
	社会人	24	12.5	4.2	12.5	12.5	8.3	12.5	4.2	12.5	8.3	4.2	4.2	8.3	△ 79.2
居住地域	県東	766	30.3	15.7	21.9	17.6	14.9	17.8	△ 10.7	25.8	8.2	10.1	13.3	▲ 24.7	50.0
	県西	671	24.4	12.1	18.8	13.3	14.0	15.6	▽ 6.3	21.6	▽ 4.3	9.8	11.6	▼ 15.1	53.4
就労状況 本人の	働いている	1197	25.6	13.1	21.1	14.8	14.6	17.4	8.4	24.2	6.2	9.9	11.3	19.4	52.9
	働いていない	163	▲ 38.0	12.3	15.3	19.0	14.1	15.3	6.7	22.1	6.7	7.4	17.2	23.3	46.6
	働いていたが、現在は働いていない	95	34.7	▲ 28.4	21.1	20.0	12.6	12.6	13.7	21.1	10.5	15.8	18.9	24.2	45.3
本人の年収	収入はない	197	▲ 39.1	17.3	16.8	△ 20.8	13.2	13.7	9.1	19.3	7.6	9.6	▲ 18.8	24.9	▽ 44.7
	100万未満	173	▽ 20.2	9.8	▽ 12.7	▽ 9.2	11.6	17.9	7.5	23.1	4.0	9.2	10.4	16.8	54.3
	100万以上200万未満	294	25.9	12.6	21.8	13.9	14.3	17.3	8.8	21.1	6.1	10.5	12.2	17.7	55.8
	200万以上300万未満	287	29.3	12.9	23.7	17.1	16.0	15.7	8.7	26.8	5.9	12.2	11.1	22.0	46.3
	300万以上400万未満	225	31.1	△ 19.1	24.0	18.7	18.2	19.6	9.8	27.6	9.3	10.7	15.1	21.8	48.4
	400万以上500万未満	101	24.8	13.9	22.8	14.9	14.9	16.8	8.9	24.8	5.0	8.9	▽ 5.9	17.8	58.4
	500万以上600万未満	66	21.2	12.1	24.2	13.6	10.6	16.7	6.1	30.3	7.6	3.0	10.6	18.2	54.5
	600万以上800万未満	53	▽ 13.2	9.4	▽ 9.4	7.5	7.5	15.1	5.7	15.1	7.5	3.8	5.7	13.2	▲ 69.8
	800万以上	17	23.5	11.8	17.6	17.6	11.8	11.8	11.8	17.6	5.9	17.6	5.9	17.6	64.7

※複数回答

(9) 佐賀県は妊婦や子連れの親が外出しやすい社会・環境か

佐賀県は妊婦や子連れの親が外出しやすい社会・環境かどうかについて、「そう思う」「ややそう思う」を合わせた割合は56.8%、「そう思わない」「あまりそう思わない」を合わせた割合は39.5%で、半数以上が佐賀県は妊婦や子育て中の人にやさしい町だと感じている。

図表－126 問 29 あなたは、佐賀県は妊婦や子連れの親が外出しやすい社会・環境だと思いますか。
(〇は1つ)



【属性別傾向】

※「そう思う」「ややそう思う」を外出しやすいと思う、「あまりそう思わない」「そう思わない」を外出しにくいと思わないで表記している。

<性別>

女性は男性に比べて外出しやすいと思う割合が高く、女性 59.7%、男性 52.3%と女性が男性を 7.4 ポイント上回っている。

<年齢別>

年齢にかかわらず外出しやすいと思う割合が 5 割を超えており、最も高いのは 35～39 歳（64.3%）で、全体を 7.5 ポイント上回っている。

<結婚の有無別>

外出しやすいと思う割合は、既婚者（61.4%）が未婚者（53.0%）を大きく上回っている。

<本人の就労状況別>

就労状況にかかわらず外出しやすいと思う割合が 5 割を超えている。

図表－127 問 29 あなたは、佐賀県は妊婦や子連れの親が外出しやすい社会・環境だと思いますか。
(属性別)

		サンプル 数	本県は妊婦や子連れの親が外出しやすい社会・環境だと思いますか					外出しや すいと思 う割合	外出しや すいと思 わない割 合
			そう思う	ややそう 思う	あまりそう 思わない	そう思わ ない	無回答		
全体		1462	7.8	49.0	33.8	5.7	3.7	56.8	39.5
本人 性別	男性	564	6.7	45.6	36.5	△ 7.8	3.4	52.3	44.3
	女性	854	8.5	51.2	32.6	▽ 4.0	3.7	59.7	36.6
本人 年齢	20～24歳	250	8.0	47.2	34.0	5.2	5.6	55.2	39.2
	25～29歳	267	9.0	44.6	36.0	6.7	3.7	53.6	42.7
	30～34歳	247	5.7	45.7	35.6	△ 9.3	3.6	51.4	44.9
	35～39歳	300	8.3	△ 56.0	▽ 28.0	4.7	3.0	64.3	32.7
	40～44歳	319	9.1	50.5	34.8	▽ 2.8	2.8	59.6	37.6
結 婚 の 有 無	結婚している(既婚者)	715	7.8	△ 53.6	31.6	5.0	▽ 2.0	61.4	36.6
	結婚していない(未婚者)	647	7.4	45.6	35.1	6.3	△ 5.6	53.0	41.4
	離別・死別している	71	11.3	▼ 32.4	△ 46.5	7.0	2.8	43.7	53.5
就 労 状 況 本人の	働いている	1197	7.0	48.9	34.3	5.8	4.0	55.9	40.1
	働いていない	163	9.2	56.4	▽ 25.8	6.1	2.5	65.6	31.9
	働いていたが、現在は働いていない	95	▲ 15.8	40.0	40.0	4.2	-	55.8	44.2

(10) 重視する子育て支援策

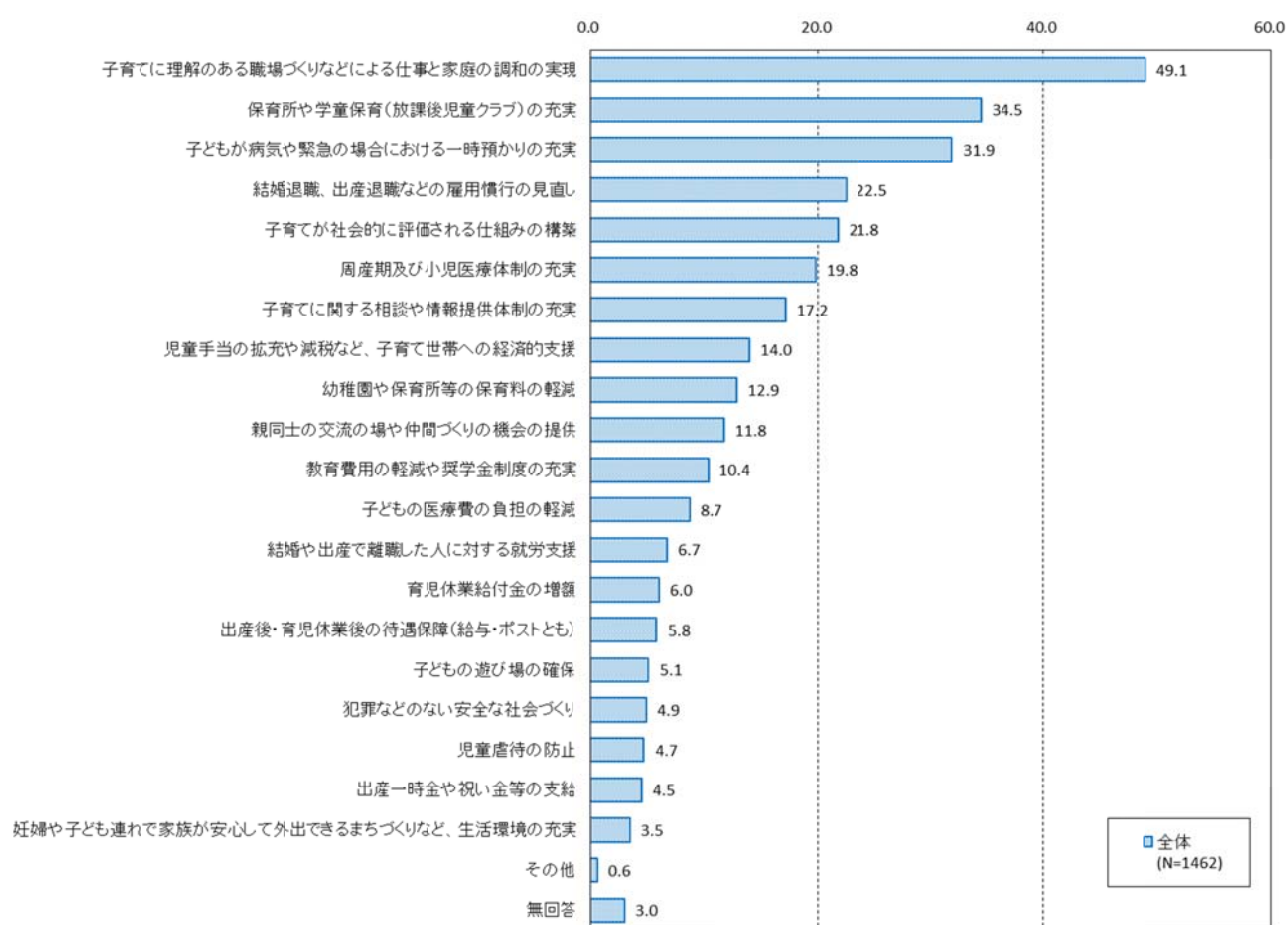
重視する子育て支援策では「子育てに理解のある職場づくりなどによる仕事と家庭の調和の実現」(49.1%)に回答が集中している。就労者が全体の8割を占めていることもあり、多くの人が仕事と家庭の調和（ワーク・ライフ・バランス）の実現に向けた支援策を重視している。

次いで「保育所や学童保育（放課後児童クラブ）の充実」(34.5%)、「子どもが病気や緊急の場合における一時預かりの充実」(31.9%)、「結婚退職、出産退職などの雇用慣行の見直し」(22.5%)、「子育てが社会的に評価される仕組みの構築」(21.8%)、「周産期及び小児医療体制の充実」(19.8%)、「子育てに関する相談や情報提供体制の充実」(17.2%)などが続いている。

その他として、「ひとり親に対しての支援」、「教育無料化」といった回答（意見）があった。

図表－128 問 30 あなたが重視する子育て支援策について、あてはまるものを3つ選んでください。

（○は3つまで）



【属性別傾向】

<性別>

男女とも「子育てに理解のある職場づくりなどによる仕事と家庭の調和の実現」（男性 46.5%、女性 50.2%）が最も高いが、男性と女性で大きく違うのは「子育てが社会的に評価される仕組みの構築」（男性 28.2%、女性 17.6%）で、男性が女性を 10.6 ポイント上回っている。

<年齢別>

年齢にかかわらず「子育てに理解のある職場づくりなどによる仕事と家庭の調和の実現」が最も高いが、20～24 歳（56.4%）、25～29 歳（54.3%）で 5 割を大きく超えており、若い年代ほど仕事と家庭の調和（ワーク・ライフ・バランス）の実現に向けた支援策を重視している。

20～24 歳は、全体に比べて「子育てに関する相談や情報提供体制の充実」（25.2%）や「親同士の交流の場や仲間づくりの機会の提供」（16.8%）も重視している。

25～29 歳は、全体に比べて「育児休業給付金の増額」（9.7%）、「出産一時金や祝い金等の支給」（7.1%）など金銭的な支援を重視している。

30～34 歳は、全体に比べて「児童手当の拡充や減税など、子育て世帯への経済的支援」（19.8%）、「幼稚園や保育所等の保育料の軽減」（19.0%）などの経済的支援や「子どもの遊び場の確保」（8.5%）を重視している。

35～39 歳は、全体に比べて「教育費用の軽減や奨学金制度の充実」（14.0%）、40～44 歳では「子どもの医療費の負担の軽減」（15.7%）を重視している。

<子どもの有無別>

子どもの有無にかかわらず「子育てに理解のある職場づくりなどによる仕事と家庭の調和の実現」が最も高いが、子どもがいる人は、いない人に比べて「保育所や学童保育（放課後児童クラブ）の充実」（40.1%）、「児童手当の拡充や減税など、子育て世帯への経済的支援」（22.0%）、「幼稚園や保育所等の保育料の軽減」（18.4%）、「子どもの医療費の負担の軽減」（13.4%）を重視している。

子どもがいない人は子どもがいる人に比べて「結婚退職、出産退職などの雇用慣行の見直し」（25.6%）、「子育てに関する相談や情報提供体制の充実」（22.6%）を重視している。

<子どもの属性別>

子どもの属性にかかわらず「子育てに理解のある職場づくりなどによる仕事と家庭の調和の実現」が最も高いが、全体に比べて未就学児の子どもがいる人では「幼稚園や保育所等の保育料の軽減」(24.8%)を重視している。

小学校低学年(1～3年生)の子どもがいる人では、全体に比べて「子育てが社会的に評価される仕組みの構築」(27.4%)、「子どもの医療費の負担の軽減」(17.8%)、「教育費用の軽減や奨学金制度の充実」(15.8%)を重視している。

小学校高学年(4～6年生)の子どもがいる人では「子どもの医療費の負担の軽減」(20.8%)、「教育費用の軽減や奨学金制度の充実」(17.2%)を重視している。

<本人の就労状況別>

就労状況にかかわらず「子育てに理解のある職場づくりなどによる仕事と家庭の調和の実現」が最も高いが、働いていない人は、全体に比べて「子育てが社会的に評価される仕組みの構築」(28.8%)、「子育てに関する相談や情報提供体制の充実」(23.9%)、「親同士の交流の場や仲間づくりの機会の提供」(19.6%)を重視している。

図表－129 問 30 あなたが重視する子育て支援策について、あてはまるものを3つ選んでください。

(属性別)

		サンプル 数	あなたが重視する子育て支援策										
			子育てが 社会的に 評価される 仕組みの 構築	周産期及 び小児医 療体制の 充実	子育てに 関する相 談や情報 提供体制 の充実	親同士の 交流の場 や仲間づ くりの機 会の提供	保育所や 学童保育 (放課後児 童クラブ) の充実	子どもが 病気や緊 急の場合 における 一時預かり の充実	子育てに 理解のある 職場づく りなどによる 仕事と家 庭の調和 の実現	結婚退職、 出産退職 などの雇 用慣行の 見直し	出産後・育 児休業後の 待遇保障 (給与・ポ ストとも)	育児休業 給付金の 増額	結婚や出 産で離職 した人に対する就労 支援
全体		1462	21.8	19.8	17.2	11.8	34.5	31.9	49.1	22.5	5.8	6.0	6.7
本人 性別	男性	564	▲ 28.2	18.6	17.7	12.9	31.4	30.5	46.5	24.5	5.7	4.6	4.8
	女性	854	▼ 17.6	21.2	16.9	11.5	36.4	32.7	50.2	21.5	5.6	6.7	8.2
本人 年齢	20～24歳	250	26.4	16.0	▲ 25.2	△ 16.8	34.0	▼ 24.4	△ 56.4	26.8	4.8	7.6	5.2
	25～29歳	267	18.7	18.7	20.6	10.9	30.7	32.2	54.3	25.5	6.4	△ 9.7	7.9
	30～34歳	247	21.1	24.3	16.6	12.6	36.0	29.1	44.1	22.7	5.3	4.5	8.9
	35～39歳	300	20.7	19.3	▼ 11.3	10.7	37.7	35.3	48.7	19.3	5.7	5.7	6.3
	40～44歳	319	22.3	19.7	15.4	10.3	37.3	36.4	▼ 43.3	19.1	6.3	▼ 3.1	6.0
子 ども の 有 無	子ども有り	678	22.0	20.5	▼ 11.1	11.1	▲ 40.1	30.7	46.0	▼ 18.9	6.0	6.2	8.0
	子ども無し	784	21.6	19.3	▲ 22.6	12.5	▼ 29.6	33.0	51.8	△ 25.6	5.6	5.9	5.6
子 ども の 属 性	未就学児	428	21.5	21.3	12.6	10.7	39.7	28.7	46.3	18.0	6.1	6.8	8.2
	小学生(1～3年生)	241	△ 27.4	21.2	10.4	7.9	41.5	27.0	44.8	14.1	4.6	5.0	7.1
	小学生(4～6年生)	192	19.3	22.4	9.4	9.9	42.2	33.9	39.6	17.2	5.7	▼ 2.1	7.8
	中学生	133	20.3	21.8	▼ 5.3	14.3	42.9	33.1	45.9	23.3	6.0	3.8	6.0
	高校生	80	27.5	20.0	6.3	△ 18.8	32.5	32.5	52.5	23.8	5.0	2.5	5.0
	大学生	14	21.4	21.4	7.1	14.3	28.6	42.9	57.1	21.4	7.1	7.1	-
	社会人	24	25.0	12.5	16.7	12.5	41.7	37.5	45.8	25.0	4.2	△ 16.7	4.2
就 労 状 況	働いている	1197	20.9	19.6	16.2	10.7	35.6	32.6	48.0	21.6	6.6	6.5	6.0
	働いていない	163	△ 28.8	24.5	△ 23.9	▲ 19.6	27.6	27.6	52.8	25.8	▼ 1.2	2.5	8.0
	働いていたが、現在は働いていない	95	21.1	14.7	20.0	13.7	34.7	32.6	58.9	27.4	4.2	6.3	11.6

		サンプル 数	あなたが重視する子育て支援策										
			出産一時 金や祝い 金等の支 給	児童手当 の拡充や 減税など、 子育てに 世帯への 経済的支援	幼稚園や 保育所等 の保育料 の軽減	教育費用 の軽減や 奨学金制 度の充実	子どもの 医療費の 負担の軽減	児童虐待 の防止	子どもの 遊び場の 確保	妊婦や子ども 連れで家族が 安心して外出 できるまち づくりなど、 生活環境 の充実	犯罪などの 不安のない 安全な社会 づくり	その他	無回答
全体		1462	4.5	14.0	12.9	10.4	8.7	4.7	5.1	3.5	4.9	0.6	3.0
本人 性別	男性	564	5.3	14.4	11.9	11.5	8.0	4.4	4.8	2.1	4.8	0.7	3.5
	女性	854	4.0	14.1	13.7	10.1	9.3	4.9	5.3	4.6	5.3	0.5	2.5
本人 年齢	20～24歳	250	4.4	▼ 6.0	▼ 6.8	10.4	▼ 2.4	4.4	2.4	2.4	2.4	-	2.8
	25～29歳	267	△ 7.1	10.5	12.0	6.7	6.0	2.2	4.9	4.5	4.9	0.4	3.0
	30～34歳	247	4.9	▲ 19.8	▲ 19.0	9.7	5.7	6.1	△ 8.5	4.5	4.5	0.8	3.6
	35～39歳	300	4.3	15.0	15.0	△ 14.0	11.0	5.7	4.0	3.0	5.3	△ 1.7	2.3
	40～44歳	319	2.5	17.6	11.3	11.3	▲ 15.7	4.4	5.0	3.1	6.0	0.3	2.8
子 ども の 有 無	子ども有り	678	3.8	▲ 22.0	▲ 18.4	11.4	▲ 13.4	4.0	6.0	3.5	4.7	0.7	▼ 1.0
	子ども無し	784	5.1	▼ 7.0	▼ 8.0	9.6	▼ 4.6	5.4	4.2	3.4	5.1	0.5	▲ 4.7
子 ども の 属 性	未就学児	428	5.4	21.0	▲ 24.8	10.5	▼ 10.0	3.5	5.8	4.0	4.2	0.7	1.4
	小学生(1～3年生)	241	2.9	26.6	19.1	△ 15.8	△ 17.8	2.9	5.8	2.1	3.3	-	1.2
	小学生(4～6年生)	192	2.1	27.6	▼ 12.5	△ 17.2	▲ 20.8	3.6	4.7	1.6	5.2	0.5	1.0
	中学生	133	0.8	25.6	▼ 6.0	13.5	16.5	3.8	4.5	0.8	3.0	0.8	-
	高校生	80	-	16.3	▼ 6.3	10.0	15.0	△ 8.8	5.0	2.5	5.0	1.3	-
	大学生	14	-	▼ -	14.3	14.3	21.4	-	7.1	7.1	-	-	-
	社会人	24	-	16.7	8.3	8.3	20.8	4.2	12.5	8.3	4.2	-	-
就 労 状 況	働いている	1197	5.1	15.1	13.6	10.4	9.2	4.2	5.3	3.6	4.4	0.8	2.9
	働いていない	163	▼ 0.6	▼ 6.1	▼ 6.7	9.8	6.7	7.4	2.5	2.5	7.4	-	3.1
	働いていたが、現在は働いていない	95	4.2	12.6	14.7	9.5	6.3	5.3	5.3	4.2	7.4	-	2.1

※複数回答

【問 30 重視する子育て支援策×問 25 男性の子育て参加に必要なこと】

重視する子育て支援策と男性の子育て参加に必要なこととの関連性を見ると、「子育てが社会的に評価される仕組みの構築」、「児童手当の拡充や減税など、子育て世帯への経済的支援」を子育て支援策として重視する人は、男性の子育て参加に必要なことで「家庭より仕事が優先という社会全体の仕組みを改めること」（55.0%）を選択した割合が全体よりも高い。

「周産期及び小児医療体制の充実」を子育て支援策として重視する人は、男性の子育て参加に必要なことで「家事や育児は女性の役割だという固定的な考え方を改めること」（67.9%）を選択した割合が全体よりも高い。

「子育てに関する相談や情報提供体制の充実」を子育て支援策として重視する人は、男性の子育て参加に必要なことで「家事や育児を男女が一緒に担えるような教育や育て方をすること」（50.0%）、「仕事と家庭の両立などの問題について相談できる窓口を設けること」（26.6%）を選択した割合が全体よりも高い。

「親同士の交流の場や仲間づくりの機会の提供」を子育て支援策として重視する人は、男性の子育て参加に必要なことで「仕事と家庭の両立などの問題について相談できる窓口を設けること」（21.4%）、「子育てに関わる男性（イクメン）によるネットワークを増やすこと」（15.0%）を選択した割合が全体よりも高い。

「保育所や学童保育（放課後児童クラブ）の充実」、「子どもが病気や緊急の場合における一時預かりの充実」を子育て支援策として重視する人は、男性の子育て参加に必要なことで「家事や育児を男女が一緒に担えるような教育や育て方をすること」（各 48.6%）を選択した割合が全体よりも高い。

「子育てに理解のある職場づくりなどによる仕事と家庭の調和の実現」、「結婚退職、出産退職などの雇用慣行の見直し」を子育て支援策として重視する人は、男性の子育て参加に必要なことで「労働時間短縮や休暇制度を普及させること」（各 62.0%）を選択した割合が全体よりも高い。

「児童手当の拡充や減税など、子育て世帯への経済的支援」を子育て支援策として重視する人は、男性の子育て参加に必要なことで「家庭より仕事が優先という社会全体の仕組みを改めること」（53.9%）を選択した割合が全体よりも高い。

図表－130 問 30 重視する子育て支援策×問 25 男性の子育て参加に必要なこと

		サンプル数	男性が女性と一緒に子育てに関わっていくために必要なこと						
			家事や育児は女性の役割だという固定的な考え方を改めること	家庭より仕事優先という社会全体の仕組みを改めること	労働時間短縮や休暇制度を普及させること	家事や育児を男女が一緒に担えるような教育や育て方をすること	男性の仕事中心の生き方や働き方を改めること	子育てに関わる男性(イクメン)によるネットワークを増やすこと	仕事と家庭の両立などの問題について相談できる窓口を設けること
全体		1462	61.1	44.8	54.6	43.6	17.5	7.9	15.3
あなたが重視する子育て支援策	子育てが社会的に評価される仕組みの構築	318	65.7	▲ 55.0	57.5	43.4	17.6	8.5	13.8
	周産期及び小児医療体制の充実	290	△ 67.9	39.7	55.5	41.4	16.9	10.3	15.5
	子育てに関する相談や情報提供体制の充実	252	56.7	▼ 36.5	49.2	△ 50.0	15.5	8.3	▲ 26.6
	親同士の交流の場や仲間づくりの機会の提供	173	59.5	38.7	50.3	50.3	18.5	▲ 15.0	△ 21.4
	保育所や学童保育(放課後児童クラブ)の充実	504	64.7	45.6	55.8	△ 48.6	17.7	6.7	15.7
	子どもが病気や緊急の場合における一時預かりの充実	467	62.1	44.3	55.7	△ 48.6	19.5	7.7	17.3
	子育てに理解のある職場づくりなどによる仕事と家庭の調和の実現	718	62.1	△ 49.0	▲ 62.0	44.7	△ 20.5	6.5	16.0
	結婚退職、出産退職などの雇用慣行の見直し	329	65.7	49.5	▲ 62.0	38.6	18.2	9.4	16.4
	児童手当の拡充や減税など、子育て世帯への経済的支援	204	61.8	▲ 53.9	53.4	46.6	19.1	4.4	10.8
	幼稚園や保育所等の保育料の軽減	188	68.1	49.5	53.7	41.0	16.5	7.4	▼ 8.0
	教育費用の軽減や奨学金制度の充実	152	61.2	50.0	58.6	45.4	14.5	5.9	15.1
	子どもの医療費の負担の軽減	127	69.3	44.1	47.2	48.0	18.1	4.7	11.8

※複数回答

(注) 重視する子育て支援策でサンプル数が 100 未満の項目は表示していない。

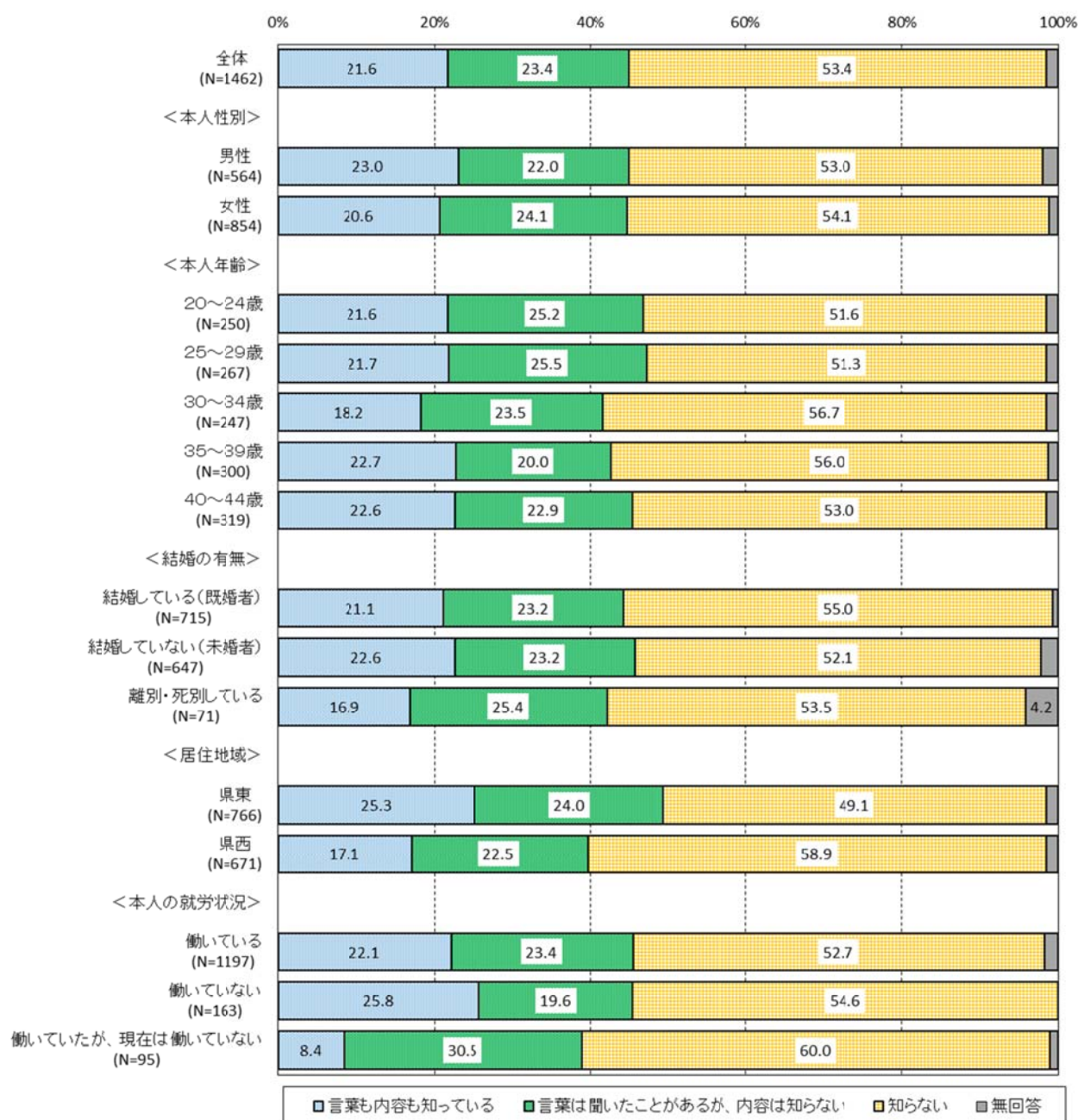
7. 仕事と家庭の調査（ワーク・ライフ・バランス）について

（１）「ワーク・ライフ・バランス」という言葉の認知度

「ワーク・ライフ・バランス」という言葉については、「言葉も内容も知っている」(21.6%)、「言葉は聞いたことがあるが、内容は知らない」(23.4%)で、内容はともかく言葉は聞いたことがある割合が45.0%で、「知らない」は53.4%である。

※ワーク・ライフ・バランスとは、「男女がともに、人生の各段階において、仕事、家庭生活、地域生活、個人の自己啓発など、様々な活動について、自らの希望に沿った形で、バランスを取りながら展開できる状態」をいいます。

図表－131 問 31 あなたは「ワーク・ライフ・バランス」という言葉を知っていますか。(〇は1つ)



【属性別傾向】

<性別>

性別による違いは見られない。

<年齢別>

年齢による違いは見られない。

<結婚の有無別>

結婚の有無による違いは見られない。

<地域別>

「言葉も内容も知っている」は県東地域（25.3%）が県西地域（17.1%）を 8.2 ポイント上回っており、県東地域の認知度は県西地域に比べて高い。

<本人の就労状況別>

就労状況による違いは見られない。

図表－132 問 31 あなたは「ワーク・ライフ・バランス」という言葉を知っていますか。(属性別)

		サンプル 数	「ワーク・ライフ・バランス」という言葉を知っていますか				
			言葉を聞いたことがある		知らない	無回答	
			言葉も内 容も知って いる	言葉は聞 いたことが あるが、内 容は知ら ない			
全体		1462	45.0	21.6	23.4	53.4	1.6
本人 性別	男性	564	45.0	23.0	22.0	53.0	2.0
	女性	854	44.7	20.6	24.1	54.1	1.2
本人 年齢	20～24歳	250	46.8	21.6	25.2	51.6	1.6
	25～29歳	267	47.2	21.7	25.5	51.3	1.5
	30～34歳	247	41.7	18.2	23.5	56.7	1.6
	35～39歳	300	42.7	22.7	20.0	56.0	1.3
	40～44歳	319	45.5	22.6	22.9	53.0	1.6
結 婚 の 有 無	結婚している(既婚者)	715	44.3	21.1	23.2	55.0	▽ 0.7
	結婚していない(未婚者)	647	45.8	22.6	23.2	52.1	2.2
	離別・死別している	71	42.3	16.9	25.4	53.5	4.2
居 住 地 域	県東	766	49.3	△ 25.3	24.0	▽ 49.1	1.6
	県西	671	39.6	▼ 17.1	22.5	▲ 58.9	1.5
就 労 状 況 本人の	働いている	1197	45.5	22.1	23.4	52.7	1.8
	働いていない	163	45.4	25.8	19.6	54.6	－
	働いていたが、現在は働いていない	95	38.9	▼ 8.4	30.5	60.0	1.1

【問 31 ワーク・ライフ・バランス認知度×問 25 男性の子育て参加に必要なこと】

ワーク・ライフ・バランスの認知度と男性の子育て参加に必要なこととの関連性を見ると、「言葉も内容も知っている」人は、全体に比べて「家庭より仕事が優先という社会全体の仕組みを改めること」（52.2%）、「男性の仕事中心の生き方や働き方を改めること」（21.8%）を選択した割合が高く、「家事や育児は女性の役割だという固定的な考え方を改めること」（53.2%）を選択した割合が低い。

「知らない」人は、全体に比べて「子育てに関わる男性（イクメン）によるネットワークを増やすこと」（10.1%）を選択した割合が高い。

図表－133 問 31 ワーク・ライフ・バランス認知度×問 25 男性の子育て参加に必要なこと

		サンプル数	男性が女性と一緒に子育てに関わっていくために必要なこと						
			家事や育児は女性 の役割だとい う固定的な考 え方を改める こと	家庭より仕事 が優先という 社会全体の仕 組みを改める こと	労働時間短縮 や休暇制度を 普及させるこ と	家事や育児を 男女が一緒に 担えるような 教育や育て方 をすること	男性の仕事中心 の生き方や働 き方を改める こと	子育てに関わ る男性(イクメ ン)によるネッ トワークを増や すこと	仕事と家庭の 両立などの問 題について相 談できる窓口 を設けること
合 計		1462	61.1	44.8	54.6	43.6	17.5	7.9	15.3
W L B 認 知 度	言葉も内容も知っている	316	▼ 53.2	▲ 52.2	55.7	45.3	△ 21.8	▽ 4.1	11.4
	言葉は聞いたことがあるが、 内容は知らない	342	65.5	43.9	59.6	41.8	16.1	6.4	17.3
	知らない	780	63.6	42.3	52.4	44.4	16.5	△ 10.1	16.2

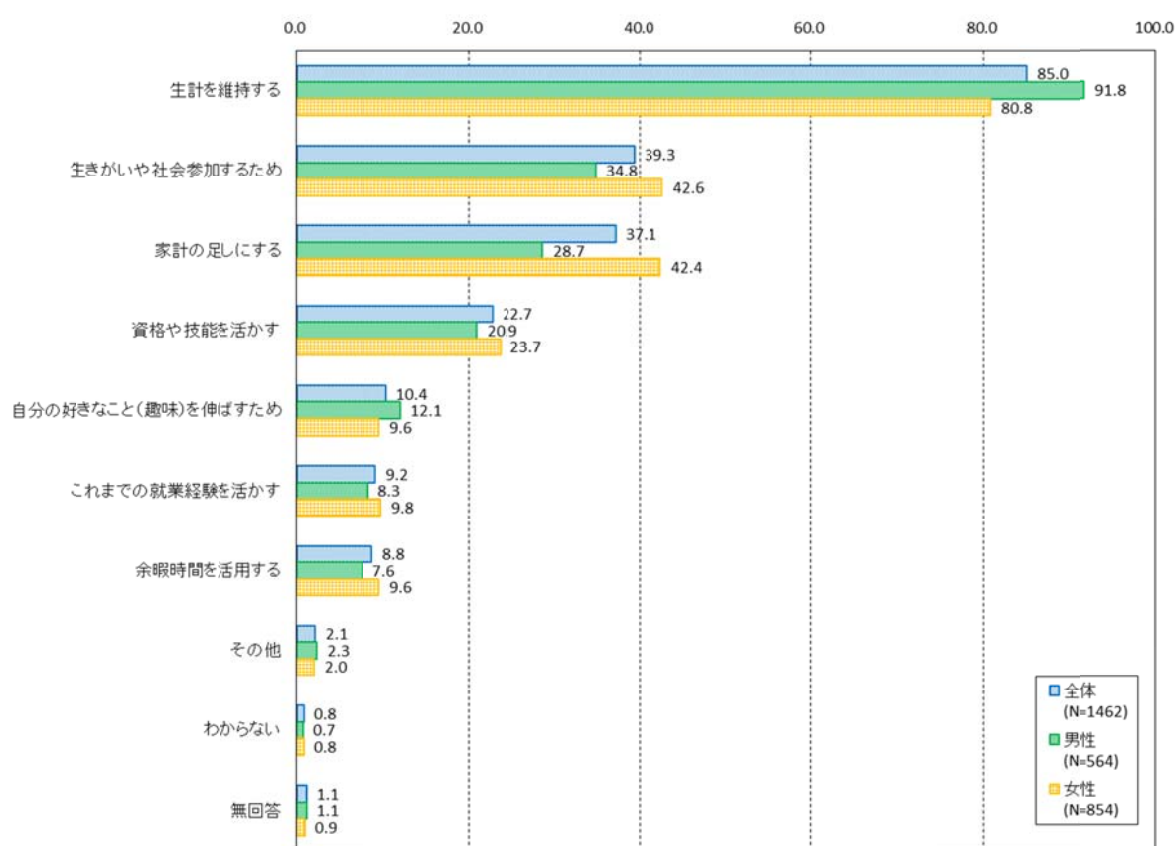
※複数回答

（２）“働く”ことの意味・理由

“働く”ことの意味・理由としては「生計を維持する」（85.0％）に回答が集中し、次いで「生きがいや社会参加するため」（39.3％）、「家計の足しにする」（37.1％）、「資格や技能を活かす」（22.7％）などが続いている。

その他として、「生きていく、生活するため。」「社会とつながる。人とつながる。」といった回答（意見）があった。

図表－134 問 32 あなたにとって“働く”ことの意味・理由は何でしょうか。
あてはまるものをすべて選んでください。（○はいくつでも）



【属性別傾向】

<性別>

男女とも「生計を維持する」が最も高いが、男性（91.8％）は女性（80.8％）を 11.0 ポイント上回っている。女性は男性に比べて「生きがいや社会参加するため」（女性 42.6％、男性 34.8％）、「家計の足しにする」（女性 42.4％、男性 28.7％）が高い。

<年齢別>

「生計を維持する」は年齢にかかわらず最も高い。

「資格や技能を活かす」、「自分の好きなこと（趣味）を伸ばすため」は年齢が若くなるほど高くなる傾向にあり、20～24歳の「資格や技能を活かす」（30.4%）は全体を7.7ポイント、「自分の好きなこと（趣味）を伸ばすため」（20.4%）は全体を10.0ポイント上回っている。

<結婚の有無別>

「生計を維持する」は結婚の有無にかかわらず最も高い。

既婚者は「家計の足しにする」（47.7%）が未婚者（26.6%）を21.1ポイント上回っている。

未婚者は「生計を維持する」（88.4%）が既婚者（81.3%）を7.1ポイント上回っている。

<本人の就労状況別>

「生計を維持する」は就労状況にかかわらず最も高く、就労者の「生計を維持する」は（87.0%）は働いていない人（78.5%）を大きく上回っている。

働いていない人は全体に比べて「生きがいや社会参加するため」（47.9%）、「資格や技能を活かす」（32.5%）が高い。

<本人の年収別>

「生計を維持する」は年収にかかわらず最も高く、年収200万～500万未満の層に高い割合となっている。

「家計の足しにする」は収入が低くなるほど高くなる傾向にある。

図表－135 問 32 あなたにとって“働く”ことの意味・理由は何でしょうか。(属性別)

		サンプル 数	あなたにとって“働く”ことの意味・理由は何でしょうか									
			生計を維持する	家計の足しにする	資格や技能を活かす	これまでの就業経験を活かす	生きがいや社会参加するため	余暇時間を活用する	自分の好きなこと(趣味)を伸ばすため	その他	わからない	無回答
全体		1462	85.0	37.1	22.7	9.2	39.3	8.8	10.4	2.1	0.8	1.1
本人性別	男性	564	▲ 91.8	▼ 28.7	20.9	8.3	▽ 34.8	7.6	12.1	2.3	0.7	1.1
	女性	854	▼ 80.8	▲ 42.4	23.7	9.8	△ 42.6	9.6	9.6	2.0	0.8	0.9
本人年齢	20～24歳	250	88.4	34.0	▲ 30.4	8.4	40.0	9.2	▲ 20.4	3.2	1.6	0.8
	25～29歳	267	87.3	32.6	20.6	8.2	40.8	8.6	11.2	1.9	0.4	1.1
	30～34歳	247	83.8	39.7	25.9	8.9	40.9	5.7	11.3	2.4	0.8	1.2
	35～39歳	300	85.0	40.3	21.3	12.0	36.7	11.0	▼ 5.0	1.3	0.3	1.0
	40～44歳	319	81.5	41.1	▼ 16.3	8.8	38.6	9.1	7.2	2.2	0.6	0.9
結婚の有無	結婚している(既婚者)	715	▼ 81.3	▲ 47.7	21.3	10.9	40.4	9.5	▼ 7.0	1.7	0.3	0.4
	結婚していない(未婚者)	647	△ 88.4	▼ 26.6	25.2	7.6	40.5	8.8	▲ 14.5	2.6	1.4	1.4
	離別・死別している	71	93.0	28.2	14.1	7.0	▼ 21.1	2.8	7.0	2.8	－	△ 4.2
就労状況	働いている	1197	87.0	35.5	21.4	8.5	38.3	8.2	9.7	2.1	0.7	1.1
	働いていない	163	▽ 78.5	40.5	▲ 32.5	9.8	△ 47.9	11.7	14.1	3.1	1.2	0.6
	働いていたが、現在は働いていない	95	▼ 74.7	▲ 52.6	22.1	△ 16.8	35.8	11.6	12.6	1.1	1.1	1.1
本人の年収	収入はない	197	▼ 74.1	▲ 51.3	26.9	△ 13.7	42.6	11.7	13.2	3.0	1.5	1.0
	100万未満	173	▼ 68.2	▲ 56.6	16.8	7.5	39.9	▲ 14.5	9.8	4.0	1.7	0.6
	100万以上200万未満	294	85.7	▲ 45.9	20.1	9.9	38.8	10.9	11.2	1.4	1.0	1.0
	200万以上300万未満	287	△ 89.2	▼ 29.3	24.7	9.8	34.1	▽ 4.9	9.8	1.0	0.3	1.7
	300万以上400万未満	225	▲ 94.7	▼ 24.4	21.3	7.1	40.0	▽ 4.4	6.7	1.8	－	1.3
	400万以上500万未満	101	△ 93.1	29.7	16.8	7.9	34.7	6.9	11.9	3.0	1.0	－
	500万以上600万未満	66	89.4	27.3	27.3	7.6	37.9	12.1	12.1	3.0	－	1.5
	600万以上800万未満	53	88.7	▼ 13.2	28.3	5.7	50.9	5.7	5.7	－	－	－
	800万以上	17	100.0	23.5	29.4	11.8	41.2	11.8	11.8	5.9	－	－

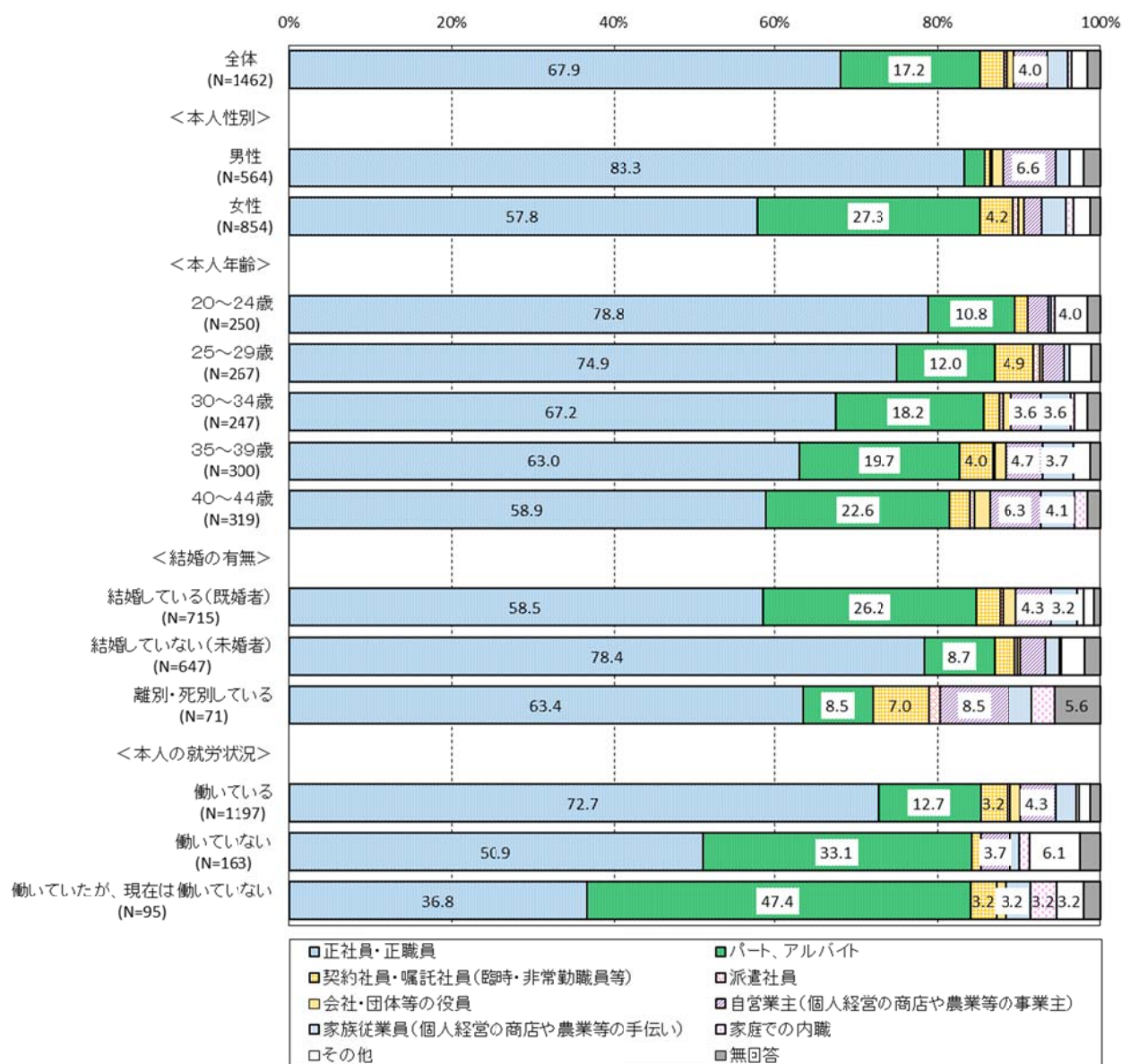
※複数回答

(3) 今後3年間の希望する働き方

今後3年間の希望する働き方では「正社員・正職員」が67.9%を占め、次いで「パート、アルバイト」(17.2%)が続く、これ以外の働き方を希望する人は僅少である。

その他として、「学業に専念する。」「子育てが落ち着くまでは家事、育児に専念したい。」といった回答(意見)があった。

図表-136 問33 あなたは今後3年間について、どのような働き方を希望しますか。(〇は1つ)



【属性別傾向】

<性別>

「正社員・正職員」を希望する割合は、男性が 83.3%、女性が 57.8%と男性が女性を 25.5 ポイント上回っている。

「パート、アルバイト」を希望する割合は、男性が 2.5%、女性が 27.3%と女性が男性を 24.8 ポイント上回っている。

<年齢別>

年齢が若くなるほど「正社員・正職員」を希望する割合が高くなる傾向にあり、「パート、アルバイト」は年齢が高くなるほど高くなる傾向がある。

<結婚の有無別>

「正社員・正職員」を希望する割合は、既婚者が 58.5%、未婚者が 78.4%と未婚者が既婚者を 19.9 ポイント上回っている。

「パート、アルバイト」を希望する割合は、既婚者が 26.2%、未婚者が 8.7%と、既婚者が未婚者を 17.5 ポイント上回っている。

<本人の就労状況別>

「正社員・正職員」を希望する割合は、就労者が 72.7%、働いていない人が 50.9%と就労者が働いていない人を 21.8 ポイント上回っている。

「パート、アルバイト」を希望する割合は、就労者が 12.7%、働いていない人が 33.1%と、働いていない人が就労者を 20.4 ポイント上回っている。

<本人の年収別>

年収 200 万以上の層では「正社員・正職員」を希望する割合が 8 割を超えている。

100 万未満と収入はない人は「正社員・正職員」を「パート、アルバイト」が上回っている。

図表－137 問 33 あなたは今後3年間について、どのような働き方を希望しますか。(属性別)

		サンプル 数	あなたは今後3年間について、どのような働き方を希望しますか									
			正社員・正 職員	パート、ア ルバイト	契約社員・ 嘱託社員 (臨時・非 常勤職員 等)	派遣社員	会社・団体 等の役員	自営業主 (個人経営 の商店や 農業等の 事業主)	家族従業 員(個人経 営の商店 や農業等 の手伝い)	家庭での 内職	その他	無回答
全体		1462	67.9	17.2	2.9	0.4	1.0	4.0	2.5	0.5	1.9	1.6
本人 性別	男性	564	▲ 83.3	▼ 2.5	▼ 0.7	0.2	1.4	▲ 6.6	1.6	－	1.8	2.0
	女性	854	▼ 57.8	▲ 27.3	△ 4.2	0.6	0.7	▼ 2.2	2.9	0.9	2.1	1.2
本人 年齢	20～24歳	250	▲ 78.8	▼ 10.8	1.6	－	－	2.4	▽ 0.4	0.4	△ 4.0	1.6
	25～29歳	267	△ 74.9	▽ 12.0	4.9	0.7	0.4	2.6	0.7	－	2.6	1.1
	30～34歳	247	67.2	18.2	2.0	0.4	1.2	3.6	3.6	0.4	1.6	1.6
	35～39歳	300	63.0	19.7	4.0	0.3	1.3	4.7	3.7	－	2.0	1.3
	40～44歳	319	▼ 58.9	△ 22.6	2.5	0.6	1.9	△ 6.3	4.1	△ 1.6	▽ ー	1.6
結 婚 の 有 無	結婚している(既婚者)	715	▼ 58.5	▲ 26.2	2.9	0.4	1.7	4.3	3.2	0.7	1.3	0.8
	結婚していない(未婚者)	647	▲ 78.4	▼ 8.7	2.6	0.3	0.3	3.1	1.7	0.2	2.9	1.9
	離別・死別している	71	63.4	▽ 8.5	△ 7.0	1.4	－	8.5	2.8	▲ 2.8	－	▲ 5.6
就 労 状 況 本人の	働いている	1197	▲ 72.7	▼ 12.7	3.2	0.5	1.2	4.3	2.6	0.3	1.3	1.3
	働いていない	163	▼ 50.9	▲ 33.1	1.2	－	－	3.7	1.2	1.2	▲ 6.1	2.5
	働いていたが、現在は働いていない	95	▼ 36.8	▲ 47.4	3.2	－	1.1	▽ ー	3.2	▲ 3.2	3.2	2.1
本人の 年 収	収入はない	197	▼ 40.6	▲ 42.6	2.0	－	－	3.6	3.6	1.5	△ 4.1	2.0
	100万未満	173	▼ 30.1	▲ 46.2	2.9	1.2	－	△ 7.5	△ 5.2	1.2	▲ 4.6	1.2
	100万以上200万未満	294	▼ 60.5	20.1	▲ 7.1	0.7	0.7	3.1	▲ 5.1	－	1.0	1.7
	200万以上300万未満	287	▲ 84.7	▼ 3.5	3.1	0.7	0.3	3.5	0.7	0.3	1.4	1.7
	300万以上400万未満	225	▲ 86.2	▼ 2.7	0.9	－	1.8	4.4	0.9	－	1.3	1.8
	400万以上500万未満	101	▲ 95.0	▼ 3.0	1.0	－	1.0	▽ ー	－	－	－	－
	500万以上600万未満	66	▲ 93.9	▼ 1.5	1.5	－	－	1.5	－	－	－	1.5
	600万以上800万未満	53	△ 83.0	▼ ー	－	－	▲ 9.4	7.5	－	－	－	－
	800万以上	17	64.7	－	－	－	▲ 11.8	▲ 23.5	－	－	－	－

（４）１週間の（残業時間を含む）労働時間

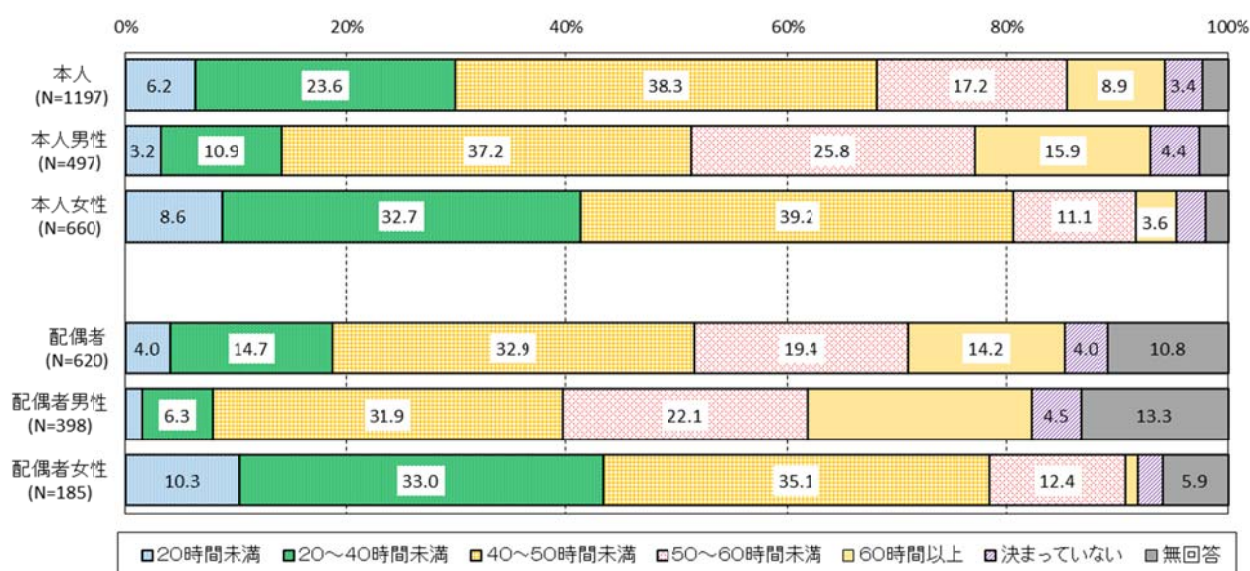
本人の１週間の労働時間は、労基法の原則週 40 時間労働を含む「40～50 時間未満」が 38.3%を占め、「20～40 時間未満」(23.6%)、「50～60 時間未満」(17.2%)となっている。

配偶者の１週間の労働時間は「40～50 時間未満」が 32.9%で、「50～60 時間未満」(19.4%)、「20～40 時間未満」(14.7%)となっている。

図表－138 問 34（働いている方に）あなたの1週間の労働時間（残業時間を含む）はどの程度ですか。

時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンでお答えください。

配偶者のある方は配偶者の方についてもお答えください。（○は1つ）



【属性別傾向】

<性別>

週 50 時間以上働く人の割合は、本人が男性の場合は 41.7%、女性の場合は 14.7%である。配偶者が男性の場合は 42.5%、女性の場合は 13.5%である。

<年齢別>

週 50 時間以上働く人の割合が最も高いのは、25～29 歳 (31.1%) で、次が 40～44 歳 (28.0%)である。

配偶者の年齢別に見ると、週 50 時間以上働く人の割合が最も高いのは、40 歳以上 (41.8%)で、20.1%が「60 時間以上」である。

<結婚の有無別>

週 50 時間以上働く人の割合に結婚の有無による違いは見られないが、未婚者は全体に比べて「20～40 時間未満」(19.8%) の割合が低く、「40～50 時間未満」(42.9%) の割合が高い。

図表－139 問 34（働いている方に）あなたの1週間の労働時間（残業時間を含む）はどの程度ですか。
時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンでお答えください。（属性別）

		サンプル 数	（本人）1週間の労働時間（残業時間を含む）はどの程度ですか							週50時 間以上 働く人の 割合
			20時間未 満	20～40時 間未満	40～50時 間未満	50～60時 間未満	60時間以 上	決まってい ない	無回答	
全体		1197	6.2	23.6	38.3	17.2	8.9	3.4	2.3	26.1
性 本 別 人	男性	497	▼ 3.2	▼ 10.9	37.2	▲ 25.8	▲ 15.9	4.4	2.6	41.7
	女性	660	▲ 8.6	▲ 32.7	39.2	▼ 11.1	▼ 3.6	2.6	2.1	14.7
本 人 年 齢	20～24歳	146	7.5	20.5	41.1	15.1	8.9	3.4	3.4	24.0
	25～29歳	235	4.3	18.7	41.7	20.9	10.2	2.6	1.7	31.1
	30～34歳	217	6.9	23.0	41.5	12.4	8.3	5.5	2.3	20.7
	35～39歳	264	6.4	25.4	38.6	17.0	7.6	2.7	2.3	24.6
	40～44歳	282	7.1	27.0	▽ 32.3	18.1	9.9	3.5	2.1	28.0
結 婚 の 有 無	結婚している(既婚者)	605	7.4	26.6	34.7	17.4	9.1	3.1	1.7	26.5
	結婚していない(未婚者)	501	4.8	▽ 19.8	△ 42.9	16.8	9.0	3.6	3.2	25.8
	離別・死別している	68	7.4	26.5	30.9	20.6	7.4	4.4	2.9	28.0

図表－140 問 34（働いている方に）あなたの1週間の労働時間（残業時間を含む）はどの程度ですか。
時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンでお答えください。
配偶者のある方は配偶者の方についてもお答えください。（属性別）

		サンプル 数	（配偶者）1週間の労働時間（残業時間を含む）はどの程度ですか							週50時 間以上 働く人の 割合
			20時間未 満	20～40時 間未満	40～50時 間未満	50～60時 間未満	60時間以 上	決まってい ない	無回答	
全体		620	4.0	14.7	32.9	19.4	14.2	4.0	10.8	33.6
性 配 別 偶 者	男性	398	▽ 1.5	▼ 6.3	31.9	22.1	▲ 20.4	4.5	13.3	42.5
	女性	185	▲ 10.3	▲ 33.0	35.1	▽ 12.4	▼ 1.1	2.2	▽ 5.9	13.5
配 偶 者 年 齢	24歳以下	12	—	16.7	33.3	25.0	8.3	—	16.7	33.3
	25～29歳	64	1.6	15.6	31.3	23.4	12.5	3.1	12.5	35.9
	30～34歳	102	2.9	17.6	31.4	24.5	9.8	2.0	11.8	34.3
	35～39歳	172	6.4	14.5	△ 40.7	▼ 10.5	9.9	4.7	13.4	20.4
	40歳以上	249	3.6	13.3	28.9	21.7	▲ 20.1	4.4	8.0	41.8

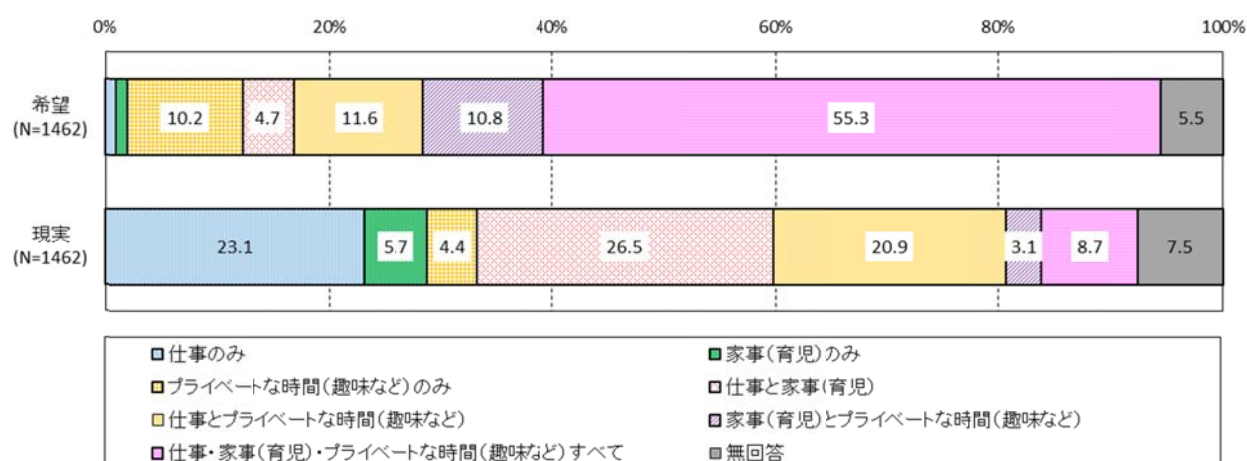
（５）生活時間のバランス

日常生活における仕事、家事、プライベートのバランスを見ると、希望としては「仕事・家事（育児）・プライベートな時間（趣味など）すべて」が55.3%を占めており、「仕事とプライベートな時間（趣味など）」（11.6%）、「家事（育児）とプライベートな時間（趣味など）」（10.8%）、「プライベートな時間（趣味など）のみ」（10.2%）がほぼ同率で分け合っている。

現実では「仕事と家事（育児）」（26.5%）、「仕事のみ」（23.1%）、「仕事とプライベートな時間（趣味など）」（20.9%）となっており、仕事優先の生活時間の過ごし方となっている。

図表－141 問 35 あなたの生活の中で、仕事・家事(育児)・プライベートな時間(趣味など)の優先度はどのようになっていますか。

「希望」と「現実」のそれぞれについて、あなたの考えや現状に最も近いものを囲んでください。



【属性別傾向】

<性別>

希望する生活バランスは、男女とも「仕事・家事（育児）・プライベートな時間（趣味など）すべて」が過半数を超えており、大きな違いはないが、女性は男性に比べて「家事（育児）とプライベートな時間（趣味など）」（女性 13.0%、男性 7.3%）の割合が高い。

現実では、男性は女性に比べて「仕事のみ」（男性 32.1%、女性 17.2%）、「仕事とプライベートな時間（趣味など）」（男性 25.5%、女性 18.1%）の割合が高く、女性は「仕事と家事（育児）」（女性 30.0%、男性 20.6%）の割合が高い。

「仕事・家事（育児）・プライベートな時間（趣味など）すべて」は男性が 8.3%、女性が 8.9%とほぼ同率である。

<年齢別>

希望する生活バランスは、年齢にかかわらず「仕事・家事（育児）・プライベートな時間（趣味など）すべて」が最も高いが、年齢が高くなるほど「仕事・家事（育児）・プライベートな時間（趣味など）すべて」が高くなる傾向にあり、40～44 歳（65.2%）は全体（55.3%）を 9.9 ポイント上回っている。

「仕事とプライベートな時間（趣味など）」「プライベートな時間（趣味など）のみ」は年齢が若いほど高くなる傾向にある。

30～34 歳は希望する生活バランスとして「家事（育児）とプライベートな時間（趣味など）」（15.4%）を望む割合が全体より高い。

現実の生活バランスは、「仕事とプライベートな時間（趣味など）」は年齢が若いほど高くなる傾向にあり、20～24 歳（31.2%）、25～29 歳（30.0%）で最も高い割合となっている。年齢が高くなるほど「仕事と家事（育児）」が高くなる傾向にあり、35～39 歳（35.3%）、40～44 歳（36.7%）で最も高い割合となっている。

<子どもの有無別>

希望する生活バランスは、子どもの有無にかかわらず「仕事・家事（育児）・プライベートな時間（趣味など）すべて」が最も高く、子どもがいる人では 67.4%に達している。

子どもがいる人は子どもがいない人に比べて「家事（育児）とプライベートな時間（趣味など）」（15.0%）を希望する割合が高く、子どもがいない人は子どもがいる人に比べて「仕事とプライベートな時間（趣味など）」（19.3%）を希望する割合が高い。

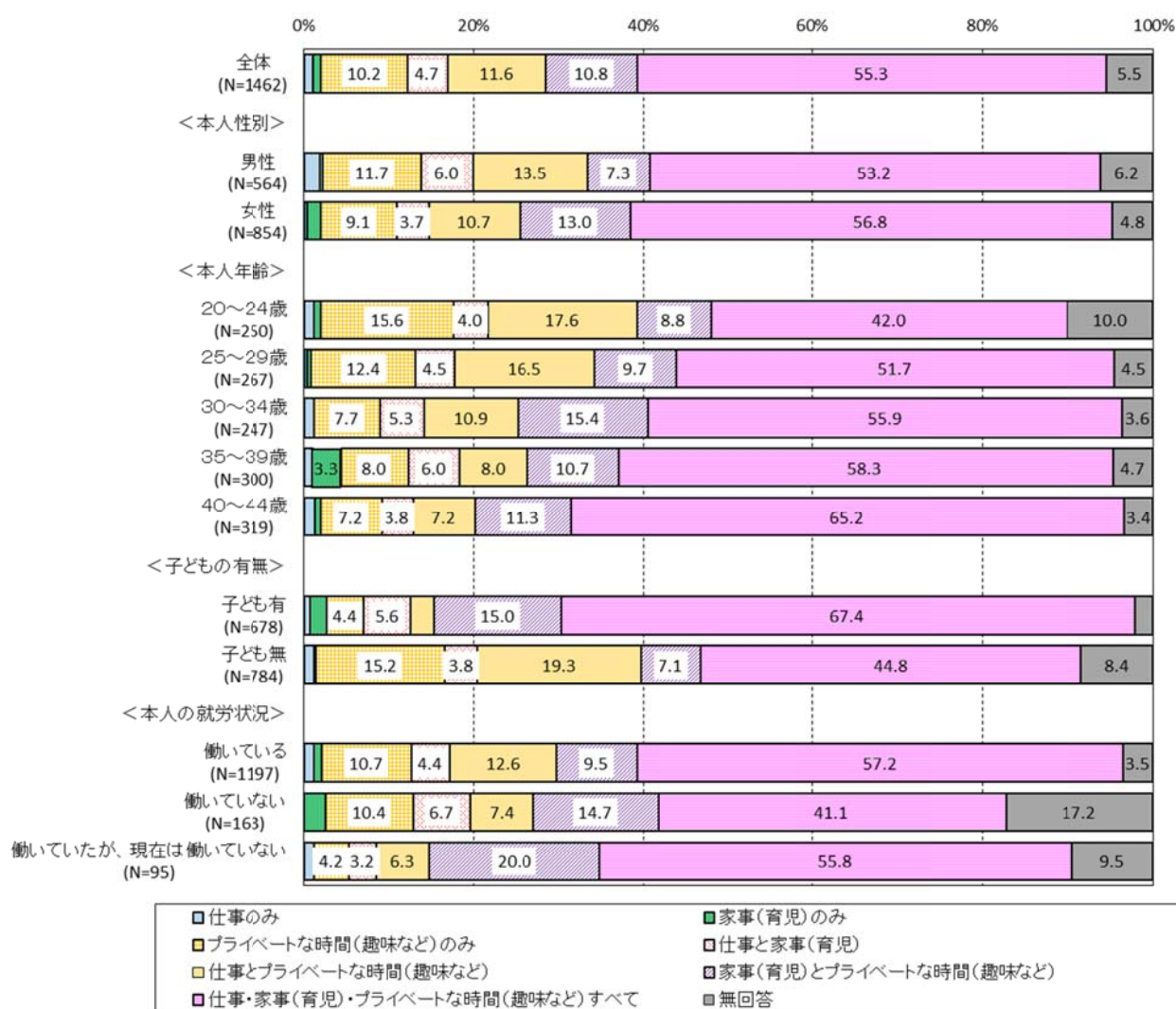
現実の生活バランスは、子どもがいる人は「仕事と家事（育児）」（47.8%）が最も高く、次に高いのは「仕事のみ」（17.6%）である。子どもがいない人では、「仕事とプライベートな時間（趣味など）」（36.2%）が最も高く、次に高いのは「仕事のみ」（27.8%）である。

<本人の就労状況別>

希望する生活バランスは、就労状況にかかわらず「仕事・家事（育児）・プライベートな時間（趣味など）すべて」が最も高く、就労者では 57.2%と 5 割を超えている。

現実の生活バランスは、就労者では「仕事と家事（育児）」（30.7%）が最も高く、次に高いのは「仕事のみ」（26.1%）である。働いていない人では、無回答が 26.4%で最も高く、次に高いのは「家事（育児）のみ」（17.2%）である。

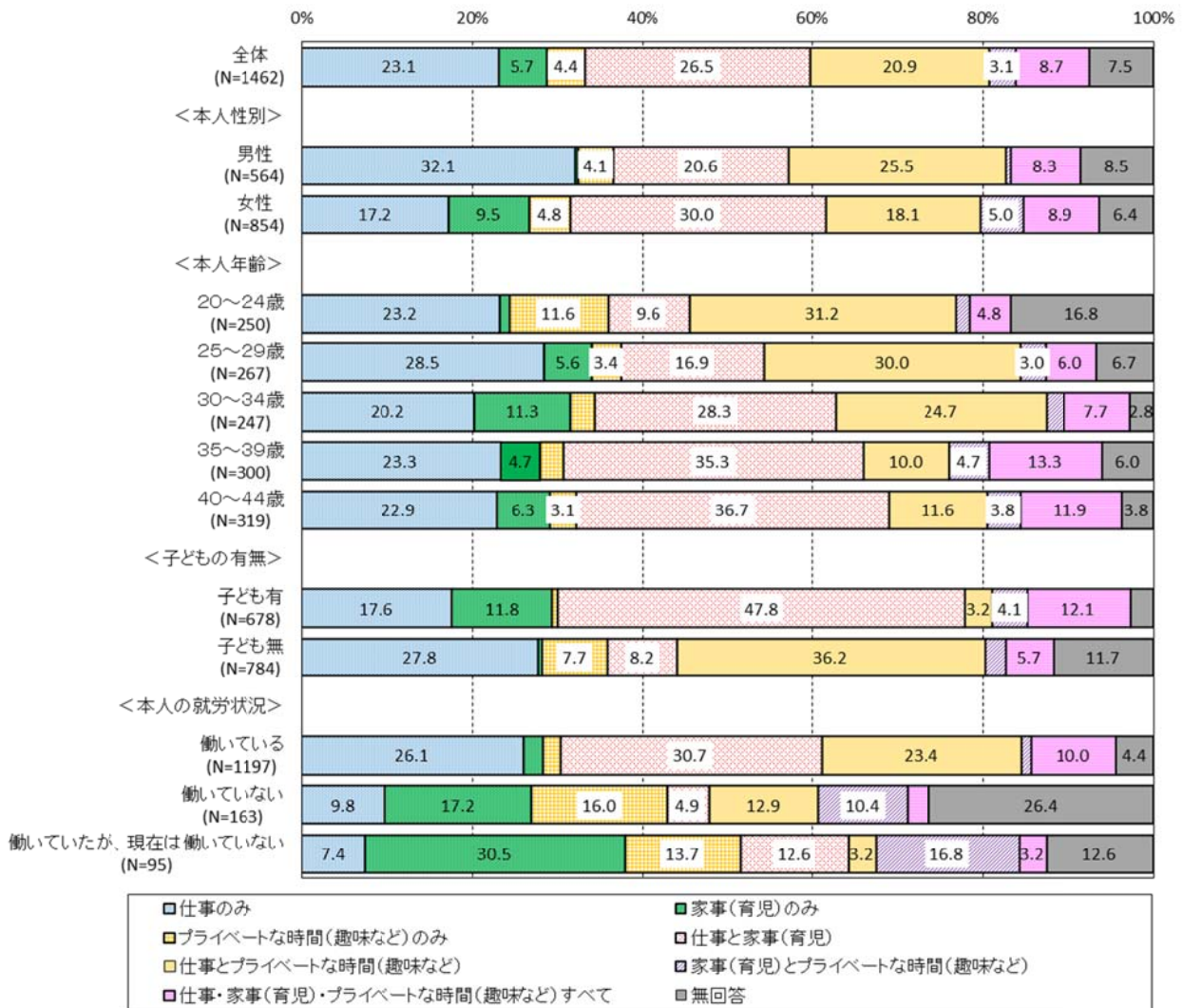
図表－142 (1)希望



図表－143 (1)希望(属性別)

		サンプル数	生活バランス(希望)							無回答
			仕事のみ	家事(育児)のみ	プライベートな時間(趣味など)のみ	仕事と家事(育児)	仕事とプライベートな時間(趣味など)	家事(育児)とプライベートな時間(趣味など)	仕事・家事(育児)・プライベートな時間(趣味など)すべて	
全体		1462	1.0	1.0	10.2	4.7	11.6	10.8	55.3	5.5
本人性別	男性	564	△ 1.8	0.4	11.7	6.0	13.5	▼ 7.3	53.2	6.2
	女性	854	0.4	1.5	9.1	3.7	10.7	△ 13.0	56.8	4.8
本人年齢	20～24歳	250	1.2	0.8	▲ 15.6	4.0	▲ 17.6	8.8	▼ 42.0	▲ 10.0
	25～29歳	267	0.4	0.4	12.4	4.5	△ 16.5	9.7	51.7	4.5
	30～34歳	247	1.2	－	7.7	5.3	10.9	△ 15.4	55.9	3.6
	35～39歳	300	1.0	▲ 3.3	8.0	6.0	8.0	10.7	58.3	4.7
	40～44歳	319	1.3	0.6	7.2	3.8	▽ 7.2	11.3	▲ 65.2	3.4
子どもの有無	子ども有り	678	0.7	△ 1.9	▼ 4.4	5.6	▼ 2.7	▲ 15.0	▲ 67.4	▼ 2.2
	子ども無し	784	1.1	▽ 0.3	▲ 15.2	3.8	▲ 19.3	▼ 7.1	▼ 44.8	▲ 8.4
就労状況 本人の	働いている	1197	1.1	0.9	10.7	4.4	12.6	9.5	57.2	▼ 3.5
	働いていない	163	－	2.5	10.4	6.7	7.4	14.7	▼ 41.1	▲ 17.2
	働いていたが、現在は働いていない	95	1.1	－	4.2	3.2	6.3	▲ 20.0	55.8	9.5

図表－144 (2)現実



図表－145 (2)現実(属性別)

		サンプル 数	生活バランス(現実)							無回答
			仕事のみ	家事(育児)のみ	プライベートな時間(趣味など)のみ	仕事と家事(育児)	仕事とプライベートな時間(趣味など)	家事(育児)とプライベートな時間(趣味など)	仕事・家事(育児)・プライベートな時間(趣味など)すべて	
全体		1462	23.1	5.7	4.4	26.5	20.9	3.1	8.7	7.5
本人性別	男性	564	▲ 32.1	▼ 0.4	4.1	▼ 20.6	▲ 25.5	▼ 0.5	8.3	8.5
	女性	854	▼ 17.2	▲ 9.5	4.8	△ 30.0	▽ 18.1	▲ 5.0	8.9	6.4
本人年齢	20～24歳	250	23.2	▼ 1.2	▲ 11.6	▼ 9.6	▲ 31.2	1.6	▽ 4.8	▲ 16.8
	25～29歳	267	△ 28.5	5.6	3.4	▼ 16.9	▲ 30.0	3.0	6.0	6.7
	30～34歳	247	20.2	▲ 11.3	2.8	28.3	24.7	2.0	7.7	▼ 2.8
	35～39歳	300	23.3	4.7	2.7	▲ 35.3	▼ 10.0	4.7	▲ 13.3	6.0
	40～44歳	319	22.9	6.3	3.1	▲ 36.7	▼ 11.6	3.8	△ 11.9	▽ 3.8
子どもの有無	子ども有り	678	▼ 17.6	▲ 11.8	▼ 0.7	▲ 47.8	▼ 3.2	4.1	▲ 12.1	▼ 2.7
	子ども無し	784	▲ 27.8	▼ 0.4	▲ 7.7	▼ 8.2	▲ 36.2	2.3	▼ 5.7	▲ 11.7
本人の就労状況	働いている	1197	△ 26.1	▼ 2.2	▼ 2.1	▲ 30.7	△ 23.4	▼ 1.1	10.0	▼ 4.4
	働いていない	163	▼ 9.8	▲ 17.2	▲ 16.0	▼ 4.9	▽ 12.9	▲ 10.4	▼ 2.5	▲ 26.4
	働いていたが、現在は働いていない	95	▼ 7.4	▲ 30.5	▲ 13.7	▼ 12.6	▼ 3.2	▲ 16.8	3.2	12.6

希望する生活バランスと現実の生活バランスの差が大きいものを属性別に見ると、次のようになっている。

<性別>

男性の「仕事のみ」は希望より現実が 30.3 ポイント高い。

女性の「仕事と家事（育児）」は希望より現実が 26.3 ポイント高い。

<年齢別>

25～29 歳の「仕事のみ」は希望より現実が 28.1 ポイント高い。

35～39 歳の「仕事と家事」は希望より現実が 29.3 ポイント高い。

40～44 歳の「仕事と家事」は希望より現実が 32.9 ポイント高く、「仕事・家事（育児）・プライベートな時間（趣味など）すべて」は現実が 53.3 ポイント低い。

<子どもの有無別>

子どもがいる人の「仕事と家事」は希望より現実が 42.2 ポイント高く、「仕事・家事（育児）・プライベートな時間（趣味など）すべて」は現実が 55.3 ポイント低い。

子どもがいない人の「仕事のみ」は希望より現実が 26.7 ポイント高い。

<本人の就労状況>

就労者の「仕事と家事」は希望より現実が 26.3 ポイント、「仕事のみ」は 25.0 ポイント高い。働いていたが、現在は働いていない人の「家事（育児）のみ」は希望より現実が 30.5 ポイント高く、「仕事・家事（育児）・プライベートな時間（趣味など）すべて」は 52.6 ポイント低い。

図表－146 仕事・家事(育児)・プライベートな時間の(1)希望と(2)現実の差

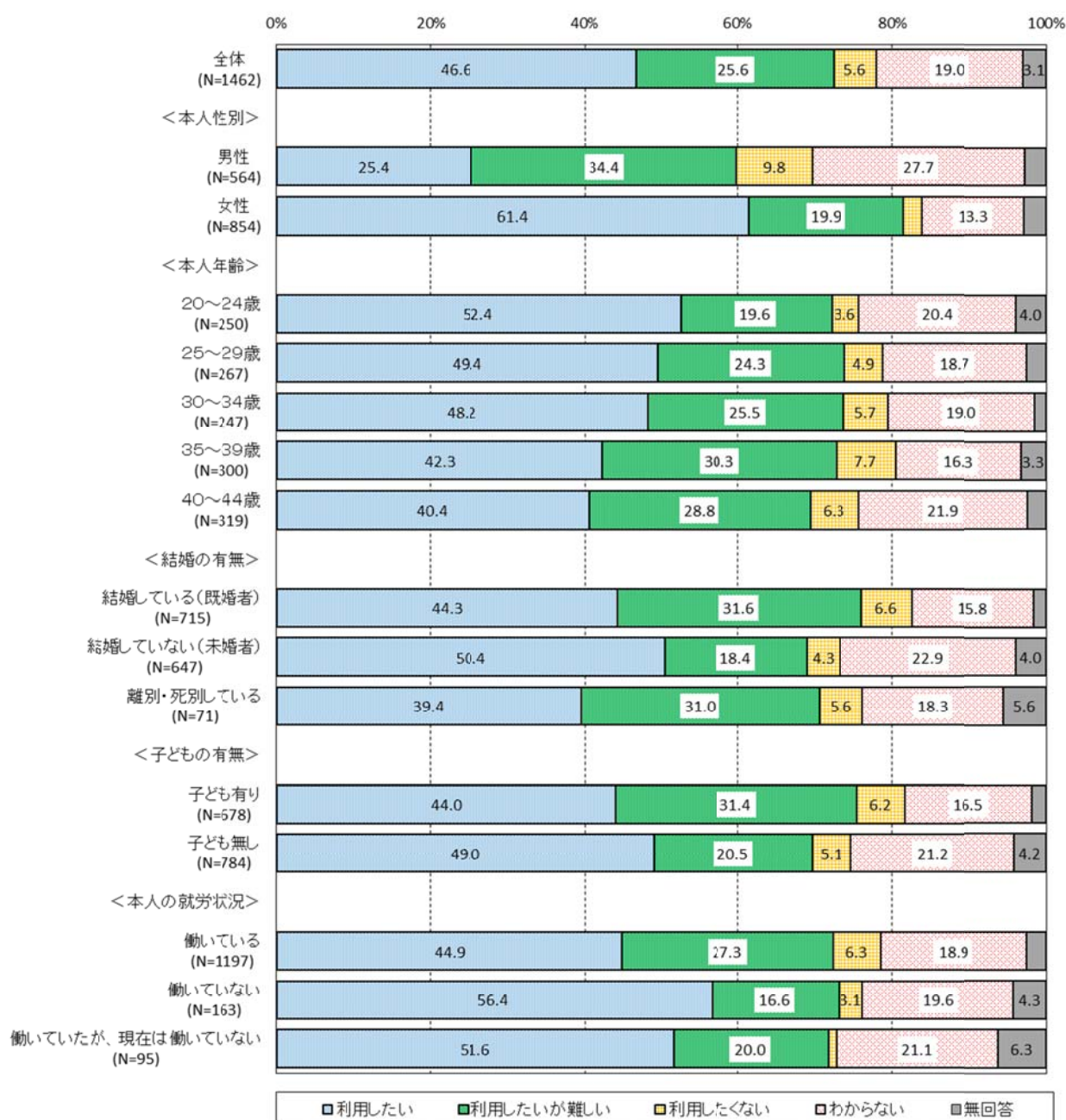
		サンプル 数	仕事・家事(育児)・プライベートな時間のバランスの差(現実-希望)						
			仕事のみ	家事(育 児)のみ	プライベ ートな時間 (趣味な ど)のみ	仕事と家 事(育児)	仕事とプ ライベートな 時間(趣味 など)	家事(育 児)とプ ライベートな 時間(趣味 など)	仕事・家事 (育児)・プ ライベート な時間(趣 味など)す べて
全体		1462	22.1	4.7	-5.8	21.8	9.3	-7.7	-46.6
本人 性別	男性	564	30.3	0.0	-7.6	14.6	12.0	-6.8	-44.9
	女性	854	16.8	8.0	-4.3	26.3	7.4	-8.0	-47.9
本人 年齢	20～24歳	250	22.0	0.4	-4.0	5.6	13.6	-7.2	-37.2
	25～29歳	267	28.1	5.2	-9.0	12.4	13.5	-6.7	-45.7
	30～34歳	247	19.0	11.3	-4.9	23.0	13.8	-13.4	-48.2
	35～39歳	300	22.3	1.4	-5.3	29.3	2.0	-6.0	-45.0
	40～44歳	319	21.6	5.7	-4.1	32.9	4.4	-7.5	-53.3
子 ど も 有 無 の	子ども有り	678	16.9	9.9	-3.7	42.2	0.5	-10.9	-55.3
	子ども無し	784	26.7	0.1	-7.5	4.4	16.9	-4.8	-39.1
就 労 状 況 本人の	働いている	1197	25.0	1.3	-8.6	26.3	10.8	-8.4	-47.2
	働いていない	163	9.8	14.7	5.6	-1.8	5.5	-4.3	-38.6
	働いていたが、現在は働いていない	95	6.3	30.5	9.5	9.4	-3.1	-3.2	-52.6

(6) 育児休業制度の利用意向

育児休業制度については「利用したい」が46.6%を占め、「利用したいが難しい」が25.6%で、「利用したくない」は5.6%と僅少である。

図表－147 問 36 あなたは、育児休業制度を利用したいと思いますか。(〇は1つ)

※現在働いていない人や出産予定がない人も、子どもがいると想定してお答えください。



【属性別傾向】

<性別>

女性の育休利用意向は男性よりも高く、「利用したい」（女性 61.4%、男性 25.4%）が男性を 36.0 ポイント上回っている。

男性では「利用したいが難しい」（男性 34.4%、女性 19.9%）が女性を 14.5 ポイント上回っている。

<年齢別>

年齢が若くなるほど育休の利用意向も高くなる傾向にあり、「利用したい」は 20～24 歳で 52.4%を占めている。「利用したいが難しい」は 20～24 歳（19.6%）が全体を 6.0 ポイント下回っている。

<子どもの有無別>

子どもがいる人の「利用したい」は 44.0%、子どもがいない人は 49.0%である。

「利用したいが難しい」は子どもがいる人（31.4%）が、子どもがいない人（20.5%）を 10.9 ポイント上回っている。

<本人の就労状況別>

就労者の「利用したい」は 44.9%、働いていない人は 56.4%で、働いていない人が就労者を 11.5 ポイント上回っている。

「利用したいが難しい」は働いていない人（16.6%）が全体を 9.0 ポイント下回っている。

図表－148 問 36 あなたは、育児休業制度を利用したいと思いますか。（属性別）
※現在働いていない人や出産予定がない人も、子どもがいると想定してお答えください。

		サンプル数	あなたは、育児休業制度を利用したいと思いますか				
			利用したい	利用したいが難しい	利用したくない	わからない	無回答
全体		1462	46.6	25.6	5.6	19.0	3.1
本人性別	男性	564	▼ 25.4	▲ 34.4	▲ 9.8	▲ 27.7	2.8
	女性	854	▲ 61.4	▼ 19.9	▼ 2.5	▼ 13.3	2.9
本人年齢	20～24歳	250	52.4	▽ 19.6	3.6	20.4	4.0
	25～29歳	267	49.4	24.3	4.9	18.7	2.6
	30～34歳	247	48.2	25.5	5.7	19.0	1.6
	35～39歳	300	42.3	30.3	7.7	16.3	3.3
	40～44歳	319	▽ 40.4	28.8	6.3	21.9	2.5
子どもの有無	子ども有り	678	44.0	▲ 31.4	6.2	16.5	1.9
	子ども無し	784	49.0	▼ 20.5	5.1	21.2	4.2
就労状況	働いている	1197	44.9	27.3	6.3	18.9	2.6
	働いていない	163	△ 56.4	▼ 16.6	3.1	19.6	4.3
	働いていたが、現在は働いていない	95	51.6	20.0	1.1	21.1	6.3

（７）育児休業制度を利用したくない（利用したいが難しい）理由

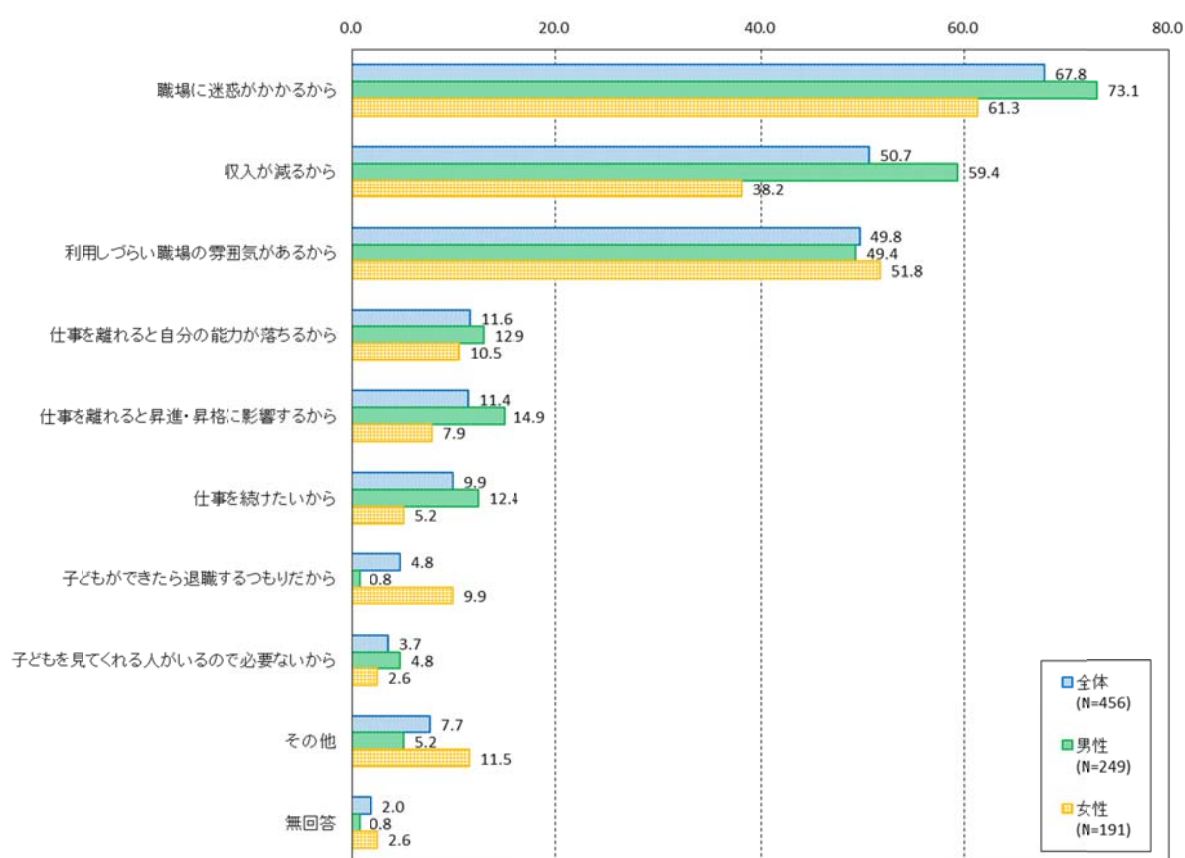
育児休業制を利用したくない、利用したいが難しいと感じている 456 人の理由では、「職場に迷惑がかかるから」（67.8％）が最も多く、次いで「収入が減るから」（50.7％）、「利用しづらい職場の雰囲気があるから」（49.8％）が続いている。

その他として、「現在の仕事では育児休業制度がない。」、「他に仕事できる人が育成されていないから（分担できていない）。」といった回答（意見）があった。

図表－149 問 36 副問1 あなたが利用したくない(利用したいが難しい)と思う理由は何でしょうか。

あてはまるものを3つ選んでください。(〇は3つまで)

※現在働いていない人や出産予定がない人も、子どものことを想定してお答えください。



【属性別傾向】

<性別>

男女とも「職場に迷惑がかかるから」（男性 73.1％、女性 61.3％）が最も多く、男性が女性を 11.8 ポイント上回っている。

男性は女性に比べて「収入が減るから」（男性 59.4％、女性 38.2％）が高く、女性は男性に比べて「子どもができたなら退職するつもりだから」（女性 9.9％、男性 0.8％）が高い。

<年齢別>

25～29 歳以外の年齢では「職場に迷惑がかかるから」が最も高く、40～44 歳では 79.5% が理由としてあげている。

25～29 歳では「利用しづらい職場の雰囲気があるから」(62.8%) が「職場に迷惑がかかるから」(55.1%) を上回り、最も高い割合となっている。また全体に比べて「子どもができたなら退職するつもりだから」(11.5%) が高い。

<子どもの有無別>

子どもの有無にかかわらず「職場に迷惑がかかるから」が最も高く、大きな違いは見られない。

<地域別>

地域にかかわらず「職場に迷惑がかかるから」が最も高い。

県西地域では「収入が減るから」(60.8%) が「利用しづらい職場の雰囲気があるから」(47.9%) を上回っている。

<本人の就労状況別>

就労状況にかかわらず「職場に迷惑がかかるから」が最も高い。

図表－150 問 36 副問1 あなたが利用したくない(利用したいが難しい)と思う理由は何でしょうか。あてはまるものを3つ選んでください。(属性別)

		サンプル 数	利用したくない(利用したいが難しい)と思う理由									
			職場に迷 惑がかか るから	利用しづら い職場の 雰囲気があるから	仕事を離 れると自分 の能力が 落ちるから	仕事を続 けたいから	仕事を離 れると昇 進・昇格に 影響する から	収入が減 るから	子どもがで きたら退職 するつもり だから	子どもを見 てくれる人 がいるので 必要ない から	その他	無回答
全体		456	67.8	49.8	11.6	9.9	11.4	50.7	4.8	3.7	7.7	2.0
本人 性別	男性	249	73.1	49.4	12.9	12.4	14.9	▲ 59.4	▼ 0.8	4.8	5.2	0.8
	女性	191	61.3	51.8	10.5	▽ 5.2	7.9	▼ 38.2	▲ 9.9	2.6	△ 11.5	2.6
本人 年齢	20～24歳	58	65.5	39.7	19.0	10.3	15.5	48.3	8.6	6.9	6.9	3.4
	25～29歳	78	▽ 55.1	△ 62.8	10.3	6.4	15.4	41.0	▲ 11.5	1.3	12.8	－
	30～34歳	77	62.3	48.1	9.1	9.1	7.8	46.8	3.9	5.2	10.4	1.3
	35～39歳	114	70.2	50.0	12.3	8.8	9.6	55.3	2.6	4.4	7.0	1.8
	40～44歳	112	▲ 79.5	50.0	11.6	11.6	11.6	56.3	1.8	2.7	4.5	1.8
子 ど も 有 無	子ども有り	255	68.6	52.2	9.4	8.2	11.0	50.6	3.9	3.9	8.2	1.6
	子ども無し	201	66.7	46.8	14.4	11.9	11.9	50.7	6.0	3.5	7.0	2.5
居 住 地 域	県東	232	66.4	52.6	12.1	11.6	14.7	▼ 40.9	3.9	2.2	7.8	0.9
	県西	217	69.6	47.9	11.5	7.4	8.3	▲ 60.8	6.0	5.5	7.8	2.3
就 労 状 況 本人の	働いている	403	67.7	48.4	11.7	10.7	11.4	52.9	4.5	4.2	7.2	2.0
	働いていない	32	65.6	53.1	15.6	3.1	15.6	▽ 28.1	9.4	－	12.5	3.1
	働いていたが、現在は働いていない	20	70.0	△ 75.0	5.0	5.0	－	40.0	5.0	－	10.0	－

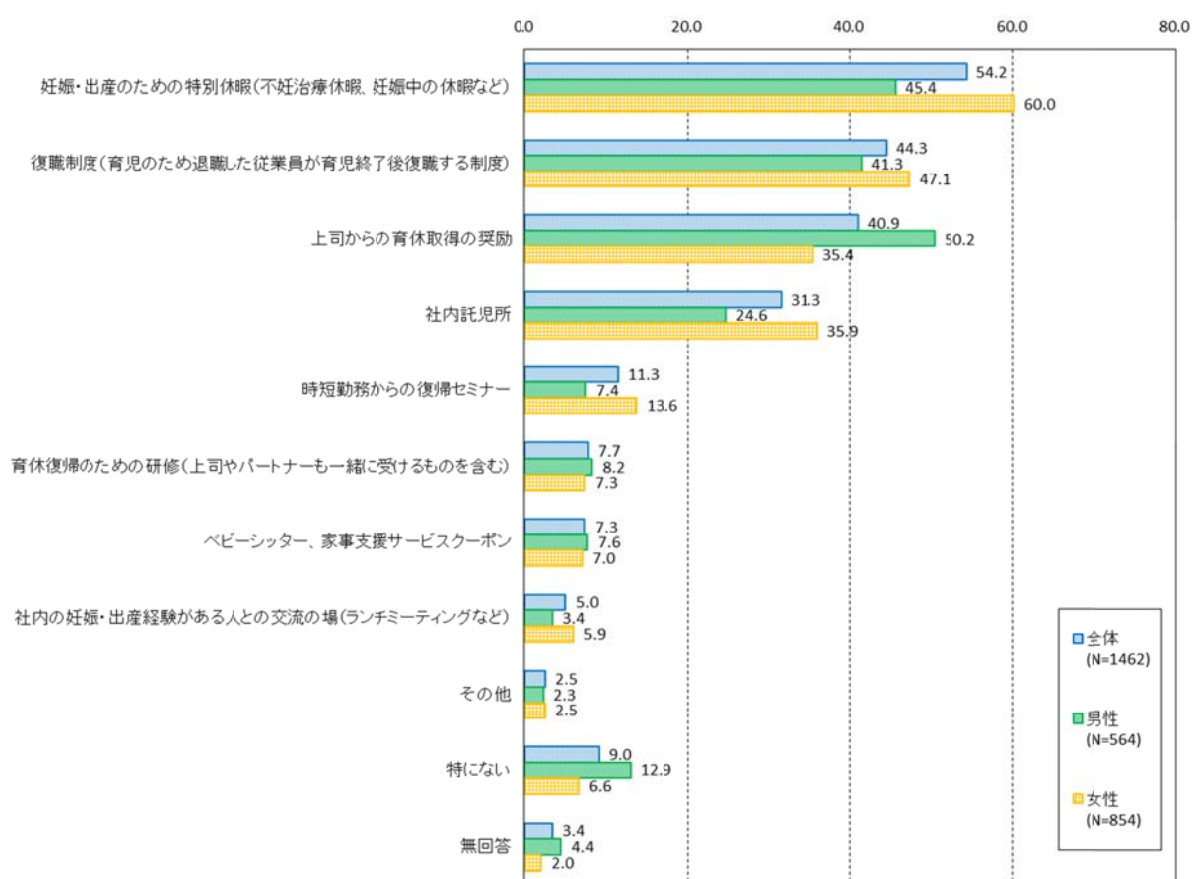
※複数回答

（８）職場に求める出産・子育て支援制度や取組

最も要望する割合が高いのは「妊娠・出産のための特別休暇（不妊治療休暇、妊娠中の休暇などの休暇など）」（54.2％）で、次いで、「復職制度（育児のため退職した従業員が育児終了後復職する制度）」（44.3％）、「上司からの育休取得の奨励」（40.9％）、「社内託児所」（31.3％）が3割を超えている。

その他として、「休暇を取りやすい職場」、「時短勤務か勤務態勢の見直し」といった回答（意見）があった。

図表－151 問 37 あなたが職場に求める出産・子育て支援制度や取組は何でしょうか。
あてはまるものを3つ選んでください。（〇は3つまで）



【属性別傾向】

<性別>

男性は「上司からの育休取得の奨励」（50.2％）が最も高く、女性（35.4％）を14.8ポイント上回っている。男性の2番目は「妊娠・出産のための特別休暇（不妊治療休暇、妊娠中の休暇などの休暇など）」（45.4％）、3番目は「復職制度（育児のため退職した従業員が育児終了後復職する制度）」（41.3％）である。

女性は「妊娠・出産のための特別休暇（不妊治療休暇、妊娠中の休暇などの休暇など）」（60.0％）が最も高く、男性を14.6ポイント上回っている。女性の2番目は「復職制度（育児のため

退職した従業員が育児終了後復職する制度)」(47.1%)、3番目は「社内託児所」(35.9%)である。

<年齢別>

最も若い20～24歳では、他の年齢よりも「復職制度（育児のため退職した従業員が育児終了後復職する制度）」(56.0%)の割合が高く、僅かではあるが、「妊娠・出産のための特別休暇（不妊治療休暇、妊娠中の休暇など）」(54.0%)を上回っている。「育休復帰のための研修（上司やパートナーも一緒に受けるものを含む）」(13.6%)も全体に比べて高い。

25～29歳では全体に比べて「上司からの育休取得の奨励」(49.4%)が高い。

40～44歳では他の年代の中で「妊娠・出産のための特別休暇（不妊治療休暇、妊娠中の休暇など）」(48.0%)が最も低く、全体に比べて「ベビーシッター、家事支援サービスクーポン」(10.7%)の割合が高い。

<子どもの有無別>

子どもの有無にかかわらず「妊娠・出産のための特別休暇（不妊治療休暇、妊娠中の休暇など）」が最も高いが、子どもがいる人はいない人に比べて「社内託児所」(37.8%)が高い。

子どもがいない人は子どもがいる人に比べて「妊娠・出産のための特別休暇（不妊治療休暇、妊娠中の休暇など）」(58.9%)が高い。

<本人の就労状況別>

就労状況にかかわらず「妊娠・出産のための特別休暇（不妊治療休暇、妊娠中の休暇など）」が最も高いが、働いていない人は全体に比べて「復職制度（育児のため退職した従業員が育児終了後復職する制度）」(56.4%)、「育休復帰のための研修（上司やパートナーも一緒に受けるものを含む）」(13.5%)が高い。

図表－152 問 37 あなたが職場に求める出産・子育て支援制度や取組は何でしょうか。(属性別)

		サンプル 数	あなたが職場に求める出産・子育て支援制度や取組										
			妊娠・出産 のための 特別休暇 (不妊治療 休暇、妊娠 中の休暇 など)	復職制度 (育児のた め退職した 従業員が 育児終了 後復職す る制度)	上司から の育児取 得の奨励	社内託児 所	ベビーシッ ター、家事 支援サー ビスクーポ ン	時短勤務 からの復 帰セミナー	育休復帰 のための 研修(上司 やパート ナーも一 緒に受ける ものを含 む)	社内の妊 娠・出産経 験がある 人との交 流の場(ラ ンチミー ティングな ど)	その他	特にない	無回答
全体		1462	54.2	44.3	40.9	31.3	7.3	11.3	7.7	5.0	2.5	9.0	3.4
本人 性別	男性	564	▼ 45.4	41.3	▲ 50.2	▼ 24.6	7.6	▼ 7.4	8.2	3.4	2.3	▲ 12.9	4.4
	女性	854	▲ 60.0	47.1	▼ 35.4	▲ 35.9	7.0	△ 13.6	7.3	5.9	2.5	▽ 6.6	▽ 2.0
本人 年齢	20～24歳	250	54.0	▲ 56.0	40.4	▼ 23.2	▽ 4.0	13.2	▲ 13.6	4.4	2.4	7.2	4.8
	25～29歳	267	59.6	41.6	▲ 49.4	32.6	4.9	14.6	8.2	6.0	1.9	6.0	1.5
	30～34歳	247	58.7	41.3	41.3	32.0	8.5	10.5	4.9	4.9	2.8	10.1	3.2
	35～39歳	300	50.7	40.7	38.0	33.3	8.3	9.0	7.0	5.0	2.3	10.3	2.7
	40～44歳	319	▽ 48.0	43.9	38.9	32.9	△ 10.7	10.3	5.3	5.0	2.8	11.3	3.4
子 ど も 有 無 の 有 無	子ども有り	678	▼ 48.7	41.7	40.6	▲ 37.8	9.1	11.8	6.0	4.7	3.4	9.0	▽ 1.8
	子ども無し	784	▲ 58.9	46.6	41.2	▼ 25.8	5.7	10.8	9.2	5.2	1.7	8.9	△ 4.7
就 労 状 況 本 人	働いている	1197	53.6	42.2	41.9	30.6	7.9	10.8	7.3	4.8	2.3	9.5	3.1
	働いていない	163	58.3	▲ 56.4	38.7	34.4	▽ 3.1	12.9	▲ 13.5	4.3	3.1	8.6	3.1
	働いていたが、現在は働いていない	95	56.8	53.7	33.7	35.8	8.4	15.8	4.2	8.4	3.2	▽ 3.2	5.3

※複数回答

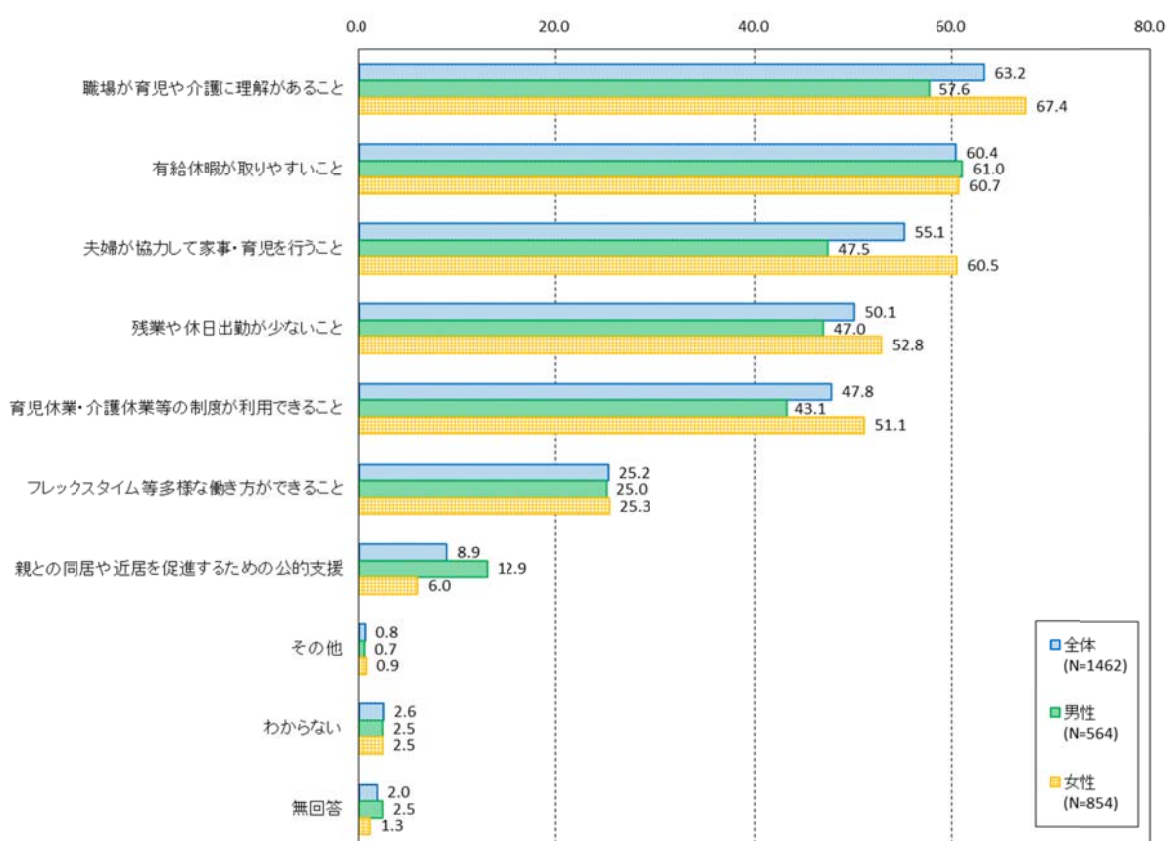
(9) 仕事と家庭の調和を図るために必要なこと

仕事と家庭の調和（ワーク・ライフ・バランス）を図るために必要なことでは「職場が育児や介護に理解があること」（63.2%）の割合が最も高く、次いで「有給休暇が取りやすいこと」（60.4%）、「夫婦が協力して家事・育児を行うこと」（55.1%）、「残業や休日出勤が少ないこと」（50.1%）、「育児休業・介護休業等の制度が利用できること」（47.8%）などが続いている。

その他として、「収入の増加」、「残業しない、させないこと。」といった回答（意見）があった。

図表－153 問 38 あなたが仕事と生活の調和を図るために必要だと思うことは何でしょうか。

あてはまるものをすべて選んでください。（○はいくつでも）



【属性別傾向】

<性別>

男性は「有給休暇が取りやすいこと」（61.0%）が最も高く、2番目が「職場が育児や介護に理解があること」（57.6%）、3番目が「夫婦が協力して家事・育児を行うこと」（47.5%）である。

女性は「職場が育児や介護に理解があること」（67.4%）が最も高く、男性を9.8ポイント上回っている。2番目は「有給休暇が取りやすいこと」（60.7%）で、ほぼ同率で「夫婦が協力して家事・育児を行うこと」（60.5%）が続いている。

<年齢別>

25～29 歳を除いて「職場が育児や介護に理解があること」が最も高い。25～29 歳では「有給休暇が取りやすいこと」(67.4%) が全体を 7.0 ポイント上回り、その他の項目の中で最も高い割合となっている。

「残業や休日出勤が少ないこと」は若い年齢になるほど高くなる傾向にあり、最も若い 20～24 歳 (58.8%) で全体を 8.7 ポイント上回っている。20～24 歳では「育児休業・介護休業等の制度が利用できること」(55.2%) も全体を 7.4 ポイント上回っている。

35～39 歳では全体に比べて「育児休業・介護休業等の制度が利用できること」(40.0%) の割合が低い。

40～44 歳では「有給休暇が取りやすいこと」(53.3%) が全体を 7.1 ポイント下回り、「フレックスタイム等多様な働き方ができること」(30.1%) が全体を 4.9 ポイント上回っている。

<子どもの有無別>

子どもの有無にかかわらず「職場が育児や介護に理解があること」が最も高く、子どもがいる人 (67.0%) はいない人 (59.9%) を 7.1 ポイント上回っている。

子どもがいない人は子どもがいる人に比べて「育児休業・介護休業等の制度が利用できること」(51.4%) が高く、子どもがいる人を 7.7 ポイント上回っている。

<本人の就労状況別>

就労状況にかかわらず「職場が育児や介護に理解があること」が最も高い。

図表－154 問 38 あなたが仕事と生活の調和を図るために必要だと思うことは何でしょうか。(属性別)

		サンプル 数	あなたが仕事と生活の調和を図るために必要だと思うこと									
			育児休業・ 介護休業 等の制度 が利用で きること	職場が育 児や介護 に理解が あること	残業や休 日出勤が 少ないこと	有給休暇 が取りや すいこと	フレックス タイム等多 様な働き 方ができ ること	夫婦が協 力して家 事・育児を 行うこと	親との同 居や近居 を促進する ための公 的支援	その他	わからない	無回答
全体		1462	47.8	63.2	50.1	60.4	25.2	55.1	8.9	0.8	2.6	2.0
本人 性別	男性	564	▽ 43.1	▼ 57.6	47.0	61.0	25.0	▼ 47.5	▲ 12.9	0.7	2.5	2.5
	女性	854	51.1	△ 67.4	52.8	60.7	25.3	▲ 60.5	▼ 6.0	0.9	2.5	1.3
本人 年齢	20～24歳	250	△ 55.2	65.2	▲ 58.8	64.0	23.2	54.0	7.2	1.2	2.8	2.4
	25～29歳	267	50.6	61.8	53.6	△ 67.4	22.8	56.9	8.6	-	2.2	1.1
	30～34歳	247	49.4	65.6	50.2	63.6	23.9	59.1	6.9	0.4	2.8	1.6
	35～39歳	300	▼ 40.0	64.0	46.0	59.7	24.3	54.7	10.7	0.7	2.7	2.0
	40～44歳	319	44.8	60.8	46.4	▼ 53.3	△ 30.1	52.4	10.3	1.6	2.8	2.2
子 ども 有 無 の	子ども有り	678	▽ 43.7	△ 67.0	51.8	61.2	25.4	58.6	9.3	1.2	▽ 1.2	1.3
	子ども無し	784	△ 51.4	59.9	48.7	59.7	25.1	52.0	8.5	0.5	△ 3.8	2.6
就 労 状 況 本人の	働いている	1197	47.2	61.9	49.2	61.2	24.7	53.6	8.5	0.8	2.8	1.8
	働いていない	163	53.4	67.5	50.3	57.7	27.6	62.0	12.3	0.6	3.1	1.2
	働いていたが、現在は働いていない	95	46.3	72.6	△ 61.1	54.7	27.4	60.0	6.3	1.1	-	4.2

※複数回答

【問 38 ワーク・ライフ・バランスに必要なこと×問 37 職場に求める支援制度や取組】

仕事と生活の調和を図るために必要なことと職場に求める支援制度や取組との関連性を見ると、仕事と生活の調和を図るために「育児休業・介護休業等の制度が利用できること」、「職場が育児や介護に理解があること」を必要と考える人は、職場に求める支援制度や取組として「妊娠・出産のための特別休暇（不妊治療休暇、妊娠中の休暇など）」、「復職制度（育児のため退職した従業員が育児終了後復職する制度）」、「上司からの育休取得の奨励」、「社内託児所」が全体よりも高い割合となっている。

仕事と生活の調和を図るために「残業や休日出勤が少ないこと」を必要と考える人は、職場に求める支援制度や取組として「妊娠・出産のための特別休暇（不妊治療休暇、妊娠中の休暇など）」、「上司からの育休取得の奨励」、「時短勤務からの復帰セミナー」が全体よりも高い割合となっている。

仕事と生活の調和を図るために「有給休暇が取りやすいこと」を必要と考える人は、職場に求める支援制度や取組として「妊娠・出産のための特別休暇（不妊治療休暇、妊娠中の休暇など）」、「上司からの育休取得の奨励」が全体よりも高い割合となっている。

仕事と生活の調和を図るために「フレックスタイム等多様な働き方ができること」を必要と考える人は、職場に求める支援制度や取組として「上司からの育休取得の奨励」、「復職制度（育児のため退職した従業員が育児終了後復職する制度）」、「社内託児所」、「時短勤務からの復帰セミナー」が全体よりも高い割合となっている。

仕事と生活の調和を図るために「夫婦が協力して家事・育児を行うこと」を必要と考える人は、職場に求める支援制度や取組として「妊娠・出産のための特別休暇（不妊治療休暇、妊娠中の休暇など）」、「復職制度（育児のため退職した従業員が育児終了後復職する制度）」、「社内託児所」が全体よりも高い割合となっている。

図表－155 問 38 ワーク・ライフ・バランスに必要なこと×問 37 職場に求める支援制度や取組

		サンプル数	職場に求める出産・子育て支援制度や取組							
			妊娠・出産のための特別休暇（不妊治療休暇、妊娠中の休暇など）	復職制度（育児のため退職した従業員が育児終了後復職する制度）	上司からの育休取得の奨励	社内託児所	ベビーシッター、家事支援サービスクーポン	時短勤務からの復帰セミナー	育休復帰のための研修（上司やパートナーと一緒に受けるものを含む）	社内の妊娠・出産経験がある人との交流の場（ランチミーティングなど）
合 計		1462	54.2	44.3	40.9	31.3	7.3	11.3	7.7	5.0
W L B に 必 要 な こ と	育児休業・介護休業等の制度が利用できること	699	▲ 68.8	▲ 53.8	▲ 49.5	△ 35.2	7.0	12.2	9.3	5.9
	職場が育児や介護に理解があること	924	▲ 61.7	▲ 50.3	▲ 46.9	△ 34.7	7.7	12.7	7.3	6.1
	残業や休日出勤が少ないこと	733	▲ 58.9	46.2	△ 45.4	34.7	7.9	▲ 14.7	9.1	6.3
	有給休暇が取りやすいこと	883	▲ 60.4	47.6	▲ 47.1	31.5	7.1	13.0	8.5	4.6
	フレックスタイム等多様な働き方ができること	369	53.9	△ 49.6	▲ 50.7	△ 36.9	▲ 11.9	▲ 16.5	▲ 11.9	5.1
	夫婦が協力して家事・育児を行うこと	805	△ 57.6	▲ 50.4	44.2	▲ 36.0	8.0	12.5	8.8	6.0
	親との同居や近居を促進するための公的支援	130	50.8	51.5	45.4	27.7	11.5	13.8	△ 13.1	6.9

※複数回答

8. 県の少子化対策や子育て支援についての意見等（自由回答）

県の少子化対策や子育て支援について自由な意見を求めたところ、346 件の記入があった。

1 人が様々な意見を記入している場合は、記入内容ごとに細分化して分類した結果、延べ件数が 399 件となった。

記入内容を分類した結果、最も多かったのが、「経済的支援にかかわること」(85 件)で、次が「保育制度にかかわること」(46 件)、「子育て支援策や子育て環境の整備にかかわること」(42 件)、「職場や社会の意識改革にかかわること」(36 件)、「働き方（育休制度や休暇の取りやすさ）、女性が働きやすい社会づくりにかかわること」(31 件)などとなっている。

分類した内容	延べ件数
経済的支援にかかわること	85
保育制度にかかわること	46
子育て支援策や子育て環境の整備にかかわること	42
職場や社会の意識改革にかかわること	36
働き方(育休制度や休暇の取りやすさ)、女性が働きやすい社会づくりにかかわること	31
妊活(妊娠・出産・不妊治療など)にかかわること	27
施設や交通機関(ハード面の)整備にかかわること	24
婚活や結婚にかかわること	22
医療にかかわること	21
子育てしやすいまちづくり施策にかかわること	18
就学児への支援にかかわること	17
家族のありかたや家族同士の関係にかかわること	14
子どもがいない、持たない人への偏見にかかわること	7
仕事と家庭の両立にかかわること	6
夫・父親の理解や協力にかかわること	3
(計)	399

参考資料（調査に使用した調査票）

少子化に関する県民意識調査

～ ご協力をお願い ～

日ごろから県政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

さて、本県では、結婚、出産、子育ての希望がかなう環境を整え「佐賀で子育てがしたい」と思ってもらえるような佐賀県づくりを推進する「^{こそだ}子育てし大県^{たいけん}“さが”プロジェクト」に取り組んでいます。今回の調査は、出会いから結婚そして子育てについての県民の皆様のお考えをお尋ねし、今後の施策を進めていくための基礎資料を得ることを目的としています。

そこで、県内にお住まいの20歳以上45歳未満の方々の中から、選挙人名簿等より無作為に抽出して選ばせていただいた男女合わせて4,000人の方をお願いするものです。

調査票は無記名でご回答いただき、ご回答いただいた内容は全てコンピューターによる処理を行い、統計的な集計、分析に用いるもので、個人の回答内容がそのまま公表されることはありません。

お忙しい中たいへん恐れ入りますが、調査の趣旨をご理解いただき、調査にご協力いただきますようお願い申し上げます。

平成28年2月

佐賀県こども未来課 ^{こそだ}子育てし大県^{たいけん}推進担当

[ご記入に際してのお願い]

- この調査票は、調査票を郵送させていただいた宛名氏名の方ご本人がお答えください。
- ご回答は、あてはまる選択肢の番号に○をつけてください。また、ご自分の意見に近い選択肢がない場合は「その他（ ）」の選択肢の番号を○で囲み、（ ）の中に具体的な内容をご記入ください。
- 回答数が3つまでといった場合は、○印は1つでも2つでも結構です。
- 質問によっては、さらに追加してお聞きする副問があります。これは、主問の回答の中で、ある条件に該当する人だけに回答していただく質問です。
- 設問によって回答していただく方が限られる場合があります。説明文や矢印に従ってお進みください。
- この調査についての疑問やご不明な点については、下記調査委託機関にお問い合わせください。

【調査実施機関】 佐賀県こども未来課 ^{こそだ}子育てし大県^{たいけん}推進担当 担当：高取

TEL：0952-25-7381

【調査委託機関】 株式会社日本統計センター調査部 担当：田島

TEL：093-513-5575（調査専用回線）



ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒（切手不要）をご使用の上、
平成28年2月18日（木）までにご投函いただきますようお願い申し上げます。

はじめに、あなたご自身のことについておたずねします

F 1 あなたの性別と年齢をお答えください。配偶者がいる方は配偶者の方の年齢もご記入ください。

	性別	年齢
あなた	1. 男性 2. 女性	1. 20～24 歳 2. 25～29 歳 3. 30～34 歳 4. 35～39 歳 5. 40～44 歳
配偶者	1. 男性 2. 女性	1. 24 歳以下 2. 25～29 歳 3. 30～34 歳 4. 35～39 歳 5. 40 歳以上

F 2 (あなたを含めて) 同居しているご家族は何人でしょうか。 () 人

F 3 あなたは現在、どなたと一緒に暮らしていますか。あてはまるものにすべて○をつけてください。※あなたご自身から見た続柄でお答えください。(○はいくつでも)

1. 配偶者(事実婚を含む)	2. 親	3. 子ども	4. 祖父母
5. 配偶者の親	6. 配偶者の祖父母	7. 兄弟、姉妹	8. 配偶者の兄弟、姉妹
9. 甥、姪	10. 恋人	11. 自分のみ	12. その他(具体的に)

F 4 お子様がいらっしゃる方にお聞きします。お子様は何人いらっしゃいますか。 () 人

F 4-1 お子様について、あてはまるものすべて○をつけてください。

1. 未就学児	2. 小学生(1～3年生)	3. 小学生(4～6年生)
4. 中学生	5. 高校生	6. 大学生 7. 社会人

F 5 あなたは結婚(事実婚を含む)をしていますか。(○は1つ)

1. 結婚している(既婚者)	2. 結婚していない(未婚者)	3. 離別・死別している
----------------	-----------------	--------------

F 6 現在、あなたが住んでいる住居形態はどれにあたりますか。(○は1つ)

1. 持ち家(一戸建て)	2. 持ち家(集合住宅)	3. 民間の賃貸住宅(一戸建て)
4. 民間の賃貸住宅(集合住宅)	5. 公団・公社・公営の賃貸住宅	6. 社宅・宿舎などの給与住宅
7. その他(具体的に)		

F 7 あなたが現在住んでいる市町はどこでしょうか。(○は1つ)

1. 佐賀市	2. 唐津市	3. 鳥栖市	4. 多久市
5. 伊万里市	6. 武雄市	7. 鹿島市	8. 小城市
9. 嬉野市	10. 神崎市	11. 吉野ヶ里町	12. 基山町
13. 上峰町	14. みやき町	15. 玄海町	16. 有田町
17. 大町町	18. 江北町	19. 白石町	20. 太良町

F 8 あなたは、現在お住まいの市町にどのくらい住んでいますか。（○は1つ）

1. 生まれてからずっと同じ市町に住んでいる
2. 県内の他の市町から転入してきた →現在（ ）年住んでいる
3. 県外の都道府県から転入してきた →[都道府県]から転入してきた →現在（ ）年住んでいる

F 8-1 （県外から転入された方に）佐賀県に転入されたきっかけは何ですか。（○は1つ）

1. 通学・卒業	2. 仕事の都合	3. 結婚・離婚	4. 出産	5. 子育て
6. 親の介護	7. 退職	8. その他（具体的に ）		

F 9 あなたは現在、働いていますか。配偶者がいる方は配偶者の方についてもお答えください。
（○は1つ）※出産休暇や育児休業中の方は、「働いている」に○をつけてください。

あなた→	1. <u>働いている</u>	2. 働いていない	3. 働いていたが、現在は働いていない
配偶者→	1. <u>働いている</u>	2. 働いていない	3. 働いていたが、現在は働いていない

F 9-1 （働いている方に）就労形態についてお答えください。配偶者がいる方は配偶者の方についてもお答えください。（○は1つ）

	あなた	配偶者
1. 正社員・正職員	1	1
2. パート、アルバイト	2	2
3. 契約社員・嘱託社員（臨時・非常勤職員等）	3	3
4. 派遣社員	4	4
5. 会社・団体等の役員	5	5
6. 自営業主（個人経営の商店や農業等の事業主）	6	6
7. 家族従業員（個人経営の商店や農業等の手伝い）	7	7
8. 家庭での内職	8	8
9. その他（具体的に ）	9	9

F 10 あなたの年収（税込）についてお答えください。（○は1つ）

1. 収入はない	2. 100 万未満	3. 100 万以上 200 万未満
4. 200 万以上 300 万未満	5. 300 万以上 400 万未満	6. 400 万以上 500 万未満
7. 500 万以上 600 万未満	8. 600 万以上 800 万未満	9. 800 万以上

F 11 （配偶者がいる方に）配偶者の年収（税込）についてお答えください。（○は1つ）

1. 収入はない	2. 100 万未満	3. 100 万以上 200 万未満
4. 200 万以上 300 万未満	5. 300 万以上 400 万未満	6. 400 万以上 500 万未満
7. 500 万以上 600 万未満	8. 600 万以上 800 万未満	9. 800 万以上

少子化問題についておたずねします

問1 あなたは、子どもの数が減少してきていることについてどう思いますか。（〇は1つ）

- | | | |
|-----------------|------------------|-------------|
| 1. 非常に問題だと思う | 2. 多少は問題だと思う | |
| 3. あまり問題ではないと思う | 4. まったく問題ではないと思う | 5. 考えたことはない |

問2 あなたは、子どもの数が減少してきている主な原因は何だと思いますか。あてはまるものを3つ選んでください。（〇は3つまで）

- | |
|------------------------------------|
| 1. 住宅事情が悪いから |
| 2. 収入に対して、子どもの生活費や教育費が高いから |
| 3. 出産や育児に対する夫の理解や協力が足りず、妻の負担が大きいから |
| 4. 共働き世帯が増え、家庭と仕事の両立が困難だから |
| 5. 結婚しない人が増えたから |
| 6. 男女とも平均初婚年齢が上昇したから |
| 7. 夫婦二人の生活を充実させたいと考える人が増えたから |
| 8. 子どもよりも自分の生活を充実させたいと考える人が増えたから |
| 9. 介護や看護の必要な人が家族にいて、育児との両立が困難だから |
| 10. 家庭と仕事を両立させるための就労環境が整っていないから |
| 11. その他（具体的に |

問3 あなたは、少子化が進むことで、今後どのような影響が出てくると思いますか。あてはまるものを3つ選んでください。（〇は3つまで）

- | |
|----------------------------------|
| 1. 子ども一人ひとりの教育を充実させることができる |
| 2. 子どもが大切にされることによって、子どもの生活が豊かになる |
| 3. 受験戦争が緩和される |
| 4. 住宅や食料に社会的なゆとりができる |
| 5. 労働力不足に伴い、女性や高齢者、障がい者の雇用が進む |
| 6. 子どもの社会性を育む機会が減少する |
| 7. 将来の労働力の減少につながり、経済が停滞する |
| 8. 将来、年金等の社会保障の個人負担が増加する |
| 9. その他（具体的に |
| 10. 特に大きな影響はない |

問4 県や市町など行政が少子化対策に取り組むことについて、あなたはどのようにお考えですか。（〇は1つ）

- | |
|------------------------------|
| 1. 積極的に取り組むべきである |
| 2. どのような方法・方策であっても取り組むべきではない |
| 3. 有効な対策はなく、何をやっても無駄である |
| 4. わからない |
| 5. その他（具体的に |

あなたのライフプランについておたずねします

問5 あなたは現在の生活にどの程度満足していますか。1～6の項目について、それぞれあてはまるものを1つ選び、○をつけてください。(○は1つずつ)

	満足している	どちらかといえば満足している	どちらかといえば不満	不満
1. 所得・収入について	1	2	3	4
2. 資産・貯蓄について	1	2	3	4
3. 住環境について	1	2	3	4
4. 健康状態について	1	2	3	4
5. レジャーや余暇生活について	1	2	3	4
6. 生活全般を総合して	1	2	3	4

問6 あなたの生活の程度は、世間一般から見てどのように思われますか。(○は1つ)

1. 平均より上	2. 平均よりやや上	3. 平均的
4. 平均よりやや下	5. 平均より下	6. わからない

問7 あなたが結婚生活をスタートさせるにあたって、必要だと思う夫婦の世帯年収はいくらぐらいだと思われますか。あてはまる金額の ☐ に○をつけてください。(○は1つ)

300万
以下

400万

500万

600万

700万

800万

900万

1,000万
以上

わからない

問8 あなたが希望する子どもの人数を育てるのに、最低限必要だと思う世帯年収はいくらぐらいだと思われますか。あてはまる金額の ☐ に○をつけてください。(○は1つ)

300万
以下

400万

500万

600万

700万

800万

900万

1,000万
以上

わからない

地域とのかかわりについておたずねします

問 9 あなたがお住まいの地域についてどのように思われますか。（〇は1つ）

- | | | |
|----------------|-------------|-------------------|
| 1. 非常に住みやすいと思う | 2. 住みやすいと思う | 3. あまり住みやすいとは思わない |
| 4. 住みやすいとは思わない | 5. わからない | |

問 10 あなたがそう思われる理由は何でしょうか。あてはまるものを3つ選んでください。（〇は3つまで）

- | |
|-----------------------------|
| 1. 子育てのしやすさ |
| 2. 子どもの教育・学習施設 |
| 3. 通勤・通学などの交通利便性 |
| 4. 医療機関の利便性 |
| 5. 買物の利便性 |
| 6. 防犯や防災対策（犯罪の少なさ） |
| 7. 家族や親せき、友人・知人との近接性 |
| 8. 地域の活動（まちづくり・町内会・PTA 活動等） |
| 9. 公園や自然などの生活環境 |
| 10. その他（具体的に |

）

問 11 あなたはご近所との付き合いをどの程度されていますか。（〇は1つ）

- | |
|-------------------------|
| 1. 家の行き来をするなど、親しく交流している |
| 2. 地域の清掃など、決まりごとに参加している |
| 3. 挨拶をする程度でほとんど付き合いがない |
| 4. まったく付き合いはない |

問 12 あなたがお住まいの地域の地域活動のうち、あなたが参加したことがあるものは何でしょうか。あてはまるものをすべて選んでください。（〇はいくつでも）

- | |
|---------------------------|
| 1. 自治会・町内会 |
| 2. 婦人会、老人会、子ども会、PTA 活動など |
| 3. ボランティア活動など |
| 4. 消防団活動など自主防犯活動 |
| 5. 参加している（参加したことがある）ものはない |
| 6. その他（具体的に |

）



次のページにお進みください。

出会いや結婚観についておたずねします

問13 あなたは現在、お付き合いしている特定の異性（恋人）がいますか。（○は1つ）

1. 恋人がいる 2. 結婚している 3. いない（過去にはいたことがある） 4. いない（過去にもいない）

└──────────▶ 副問１へ

 └──────────▶ 副問２へ

副問1 (恋人がいる・結婚している方に) あなたが、現在の配偶者、恋人と知り合ったきっかけは何でしょうか。(○は1つ)

1. 学校	2. 学校以外のサークルやクラブ活動、習い事
3. アルバイト先	4. 職場や仕事の関係
5. 友人や親・兄弟姉妹・親戚を通じて	6. 合コンやパーティ
7. インターネット	8. その他（具体的に ）

副問2 (交際経験がない方に) あなたは今、特定の異性(恋人)がほしいですか。(〇は1つ)

1. はい	2. いいえ
-------	--------

問14 結婚相手と出会うためにどのようなきっかけ（場）があるとよいと思いますか。あてはまるものを3つ選んでください。（〇は3つまで）
※既婚者の方は、結婚前にどう考えていたかでお答えください。

1. 友人からの紹介	2. 職場の同僚や先輩の紹介
3. 合コンや婚活パーティ	4. ネットの婚活サイト
5. 親や親せきの紹介（お見合い）	6. 趣味のサークル
7. 結婚相談所	8. 特にない
9. その他（具体的に	）

問15 (未婚の方のみ) あなたが独身でいる理由は何ですか。あてはまるものを3つ選んでください。(〇は3つまで)

1. 結婚するにはまだ若すぎるから	2. 結婚する必要性をまだ感じないから
3. 今は仕事（または学業）にうちこみたいから	4. 今は、趣味や娯楽を楽しみたいから
5. 独身の自由さや気楽さを失いたくないから	6. 適当な相手にまだめぐり会わないから
7. 異性と知り合うきっかけがないから	8. 結婚資金（挙式、新生活の費用等）が足りないから
9. 結婚生活を送るだけの経済力がないから	10. 仕事が安定していないから
11. 家事や育児が負担に思えるから	12. 親や周囲が結婚に同意しない（だろう）から
13. 他人と長く生活していく自信がないから	14. その他（具体的に）

問16 結婚に対する考え方について、最もあなたのお考えに近いのはどれでしょうか。(〇は1つ)
※既婚者の方は、結婚前にどう考えていたかでお答えください。

1. 結婚した方がよい 2. できれば結婚した方がよい 3. 無理に結婚しなくてもよい 4. 結婚しなくてもよい

問17 あなたが思う結婚の「良いところ」は何でしょうか。あてはまるものを3つ選んでください。
(〇は3つまで)

- | | |
|-----------------|-----------------------------|
| 1. 経済的に余裕が持てる | 2. 社会的信用が得られる |
| 3. 精神的な安らぎが得られる | 4. 好きな人と一緒に暮らせる |
| 5. 家族を持てる | 6. 老後に一人じゃない |
| 7. 生活上便利になる | 8. 親から独立できる |
| 9. 親や周囲を安心させられる | 10. 当てはまるものはない(良いと思うところはない) |
| 11. その他(具体的に |) |

問18 あなたが結婚相手に望むことは何でしょうか。あてはまるものを3つ選んでください。
(〇は3つまで) ※既婚者の方は、結婚前にどう考えていたかでお答えください。

- | | |
|--------------------------|--------------------|
| 1. 自分と価値観が近いこと | 2. 家事や育児を分担できること |
| 3. 恋愛感情があること | 4. 共通の趣味があること |
| 5. 学歴が高いこと | 6. 安定した職業についていること |
| 7. 人柄や容姿が好みであること | 8. 金銭感覚が自分と合っていること |
| 9. 自分の仕事に理解があり、協力してくれること | 10. お互いの親が認めてくれること |
| 11. 親と同居をしてくれること | 12. 年齢 |
| 13. 経済力 | 14. その他(具体的に |
| |) |

妊娠や出産についておたずねします

問19 あなたが欲しいと思う子どもの人数は何人ですか。(〇は1つ)

1. 1人 2. 2人 3. 3人 4. 4人以上 5. 子どもは欲しくない

問20 あなたが子どもを欲しいと思う理由は何ですか。あてはまるものを3つ選んでください。
(〇は3つまで)

- | | |
|--------------------------|---------------------|
| 1. 子どもが好きだから | 2. 好きな人の子どもを持ちたいから |
| 3. 子どもがいると生活が楽しく豊かになるから | 4. 子どもは老後支えになるから |
| 5. 子どもは将来の社会の支えになるから | 6. 子どもは夫婦関係を安定させるから |
| 7. 結婚して子どもを持つことは自然なことだから | 8. 配偶者や親などの周囲が望むから |
| 9. その他(具体的に |) |

問21 妊娠・出産に適した時期は男女とも20代で、それ以降は加齢に伴い妊娠する・させる力は低下します。また、妊娠中や分娩時のリスク、出生児のリスクも増加します。あなたはこのことを知っていますか。(〇は1つ)

1. 知っている

2. 知らない

副問1 このことについて、あなたはどのように思いますか。あてはまるものをすべて選んでください。(〇はいくつでも)

1. 結婚する時期を早くしようと思う
2. 早く子どもを持つと思う
3. 結婚相手を積極的に探そうと思う
4. 将来設計を考えるとと思う
5. 行動や考え方は特に変化しないと思う
6. このことを身近な人に知らせたいと思う
7. その他(具体的に

)

問22 (実際に子どもを持つ方に)あなたが欲しいと思う子どもの人数は、実際の子どもの人数よりも少ないですか。(〇は1つ)

1. 欲しいと思う人数よりも少ない

2. ほぼ同じ

3. 欲しいと思う人数よりも多い

→ 副問1へ

副問1 (実際の子どもの人数より欲しいと思う子どもの人数が少ない方に)その理由は何でしょうか。あてはまるものを3つ選んでください。(〇は3つまで)

1. 自分の仕事(勤めや家業)に差し支えるから
2. 子育てや教育にお金がかかりすぎるから
3. 自分や夫婦の生活を大切にしたいから
4. 家が狭いから
5. 配偶者の家事・育児への協力が得られないから
6. 育児の心理的、肉体的負担に耐えられないから
7. 自分もしくは配偶者の年齢が高いから
8. 健康上の理由から
9. 欲しいけれどもできないから
10. 配偶者が望まないから
11. 子どもがのびのび育つ社会環境ではないから
12. その他(具体的に

)



次のページにお進みください。

子育てについておたずねします

問23 あなたはどのような支援や環境があれば、安心して子どもを生み育てることができると思いますか。それぞれの項目について、あてはまるものを選んでください。(〇はそれぞれ1つ)

	そう思う	ややそう思う	どちらとも いえない	そう思わない	あまり 思わない
1. 妊娠・出産に関する正しい知識を得られる	1	2	3	4	5
2. 妊娠・出産後も同じ勤務先で継続して就業できる環境がある	1	2	3	4	5
3. 妊娠や出産で退職しても再就職や同じ勤務先へ復職できる環境がある	1	2	3	4	5
4. 妊娠・出産・子育てまで一貫した相談ができる環境がある	1	2	3	4	5
5. 出産する病院が近くにある	1	2	3	4	5
6. 産後ケア・産後うつへの支援・取り組みが整備されている	1	2	3	4	5
7. 幼稚園・保育園・認定こども園などへの入園の見通しが立っている	1	2	3	4	5
8. 子どもを預けられるサポート体制（病児保育や一時預かりなど）が整備されている	1	2	3	4	5
9. 自分または配偶者の勤務先の働き方が見直される	1	2	3	4	5
10. 配偶者の協力・理解が得られる	1	2	3	4	5
11. 身近に仕事と子育てを両立している手本となる人がいる	1	2	3	4	5
12. 妊婦や子連れで外出しやすい施設やサービスが地域に整っている	1	2	3	4	5

問24 あなたは、子育てについてどのようなイメージをお持ちですか。あてはまるものを3つ選んでください。(〇は3つまで)

1. 楽しい生活
2. 将来が楽しみ
3. 家族が増えることがうれしい
4. 精神的に安定する
5. 親や周囲の人が喜んでくれる
6. 世界が広がる
7. 自分自身の成長につながる
8. 責任が重くなる
9. 制約が多くなり自分の時間が持てなくなる
10. 精神的な負担が大きくなる
11. 経済的な負担が大きくなる
12. 家事・育児など身体的な負担が大きくなる
13. その他（具体的に
14. あてはまるものはない

問25 あなたは、今後、男性が女性と一緒に子育てに関わっていくためには、どのようなことが必要だと思いますか。あてはまるものを3つ選んでください。(〇は3つまで)

1. 家事や育児は女性の役割だという固定的な考え方を改めること
2. 家庭より仕事が優先という社会全体の仕組みを改めること
3. 労働時間短縮や休暇制度を普及させること
4. 家事や育児を男女が一緒に担えるような教育や育て方をすること
5. 男性の仕事中心の生き方や働き方を改めること
6. 子育てに関わる男性（イクメン）によるネットワークを増やすこと
7. 仕事と家庭の両立などの問題について相談できる窓口を設けること
8. その他（具体的に

)

問26 あなたは、子育てについて、不安感や負担感を感じますか。(〇は1つ)

1. 非常に感じる
2. やや感じる
3. あまり感じない
4. 感じない
5. わからない

→ 副問1へ

副問1 それはどのような内容ですか。あてはまるものを3つ選んでください。(〇は3つまで)

- | | |
|------------------------|--------------------------|
| 1. 子育ての出費がかさむ | 2. 自分の自由な時間が持てない |
| 3. 夫婦で楽しむ時間がとれない | 4. 子どもを預ける場所がない |
| 5. 子育てによる精神的・肉体的疲れが大きい | 6. 子育ての大変さを職場の人が理解してくれない |
| 7. 仕事が十分にできない | 8. 子どもが病気になった時 |
| 9. 将来予想される子供にかかる経済的負担 | 10. その他（具体的に |

)

問27 子育てに関する相談先や情報入手先は何でしょうか。あてはまるものをすべて選んでください(〇はいくつでも)

	相談先	情報入手先
1. 配偶者（妻・夫）	1	1
2. 親	2	2
3. 兄弟・姉妹やその他の親族	3	3
4. 友人・知人や近所の人	4	4
5. 子育てサークルの仲間	5	5
6. 保育所、幼稚園、学校	6	6
7. 市や町など行政機関の窓口（広報やパンフレットを含む）	7	7
8. テレビ、ラジオ、新聞	8	8
9. 子育て雑誌	9	9
10. インターネット	10	10
11. その他（具体的に	11	11
12. あてはまるものはない	12	12

問28 あなたは次の子育て支援制度を知っていますか。また、利用したことがありますか。すべての支援制度について、「知っている（利用したことがある・利用している）」、「知っている（利用したことがない）」、「知らない」のいずれか1つに○をつけてください。

また、今後利用したい支援制度について、（これまでの利用の有無にかかわらず）利用したいものをすべて選んでください。（○はいくつでも）

	知っている		知らない	今後利用したいもの
	利用したことがある (利用している)	利用したことがない		
1. 幼稚園	1	2	3	4
2. 認定こども園	1	2	3	4
3. 認可保育所	1	2	3	4
4. 一時保育	1	2	3	4
5. 休日保育	1	2	3	4
6. 病児・病後児保育	1	2	3	4
7. ファミリーサポートセンター	1	2	3	4
8. 放課後児童クラブ	1	2	3	4
9. 民間の託児サービス（認可外保育所含む）	1	2	3	4
10. 地域子育て支援拠点	1	2	3	4
11. 子育て情報・支援ネットワーク（サークル）	1	2	3	4
12. 児童館・児童センター	1	2	3	4

問29 あなたは、佐賀県は妊婦や子連れの親が外出しやすい社会・環境だと思いますか。（○は1つ）

1. そう思う	2. ややそう思う	3. あまりそう思わない	4. そう思わない
---------	-----------	--------------	-----------

問30 あなたが重視する子育て支援策について、あてはまるものを3つ選んでください。（○は3つまで）

1. 子育てが社会的に評価される仕組みの構築
2. 周産期及び小児医療体制の充実
3. 子育てに関する相談や情報提供体制の充実
4. 親同士の交流の場や仲間づくりの機会の提供
5. 保育所や学童保育（放課後児童クラブ）の充実
6. 子どもが病気や緊急の場合における一時預かりの充実
7. 子育てに理解のある職場づくりなどによる仕事と家庭の調和の実現
8. 結婚退職、出産退職などの雇用慣行の見直し

9. 出産後・育児休業後の待遇保障（給与・ポストとも）
10. 育児休業給付金の増額
11. 結婚や出産で離職した人に対する就労支援
12. 出産一時金や祝い金等の支給
13. 児童手当の拡充や減税など、子育て世帯への経済的支援
14. 幼稚園や保育所等の保育料の軽減
15. 教育費用の軽減や奨学金制度の充実
16. 子どもの医療費の負担の軽減
17. 児童虐待の防止
18. 子どもの遊び場の確保
19. 妊婦や子ども連れで家族が安心して外出できるまちづくりなど、生活環境の充実
20. 犯罪などのない安全な社会づくり
21. その他（具体的に

)

仕事と家庭の調和(ワーク・ライフ・バランス)についておたずねします

問31 あなたは「ワーク・ライフ・バランス」という言葉を知っていますか。(○は1つ)

1. 言葉も内容も知っている
2. 言葉は聞いたことがあるが、内容は知らない
3. 知らない

※ワーク・ライフ・バランスとは、「男女がともに、人生の各段階において、仕事、家庭生活、地域生活、個人の自己啓発など、様々な活動について、自らの希望に沿った形で、バランスを取りながら展開できる状態」をいいます。

問32 あなたにとって“働く”ことの意味・理由は何でしょうか。あてはまるものをすべて選んでください。(○はいくつでも)

- | | |
|-----------------------|------------------|
| 1. 生計を維持する | 2. 家計の足しにする |
| 3. 資格や技能を活かす | 4. これまでの就業経験を活かす |
| 5. 生きがいや社会参加するため | 6. 余暇時間を活用する |
| 7. 自分の好きなこと（趣味）を伸ばすため | 8. その他（具体的に |
| 9. わからない |) |

問33 あなたは今後3年間について、どのような働き方を希望しますか。(○は1つ)

- | | | |
|---------------------------|--------------|--------------------------|
| 1. 正社員・正職員 | 2. パート、アルバイト | 3. 契約社員・嘱託社員（臨時・非常勤職員等） |
| 4. 派遣社員 | 5. 会社・団体等の役員 | 6. 自営業主（個人経営の商店や農業等の事業主） |
| 7. 家族従業員（個人経営の商店や農業等の手伝い） | 8. 家庭での内職 | |
| 9. その他（具体的に | |) |

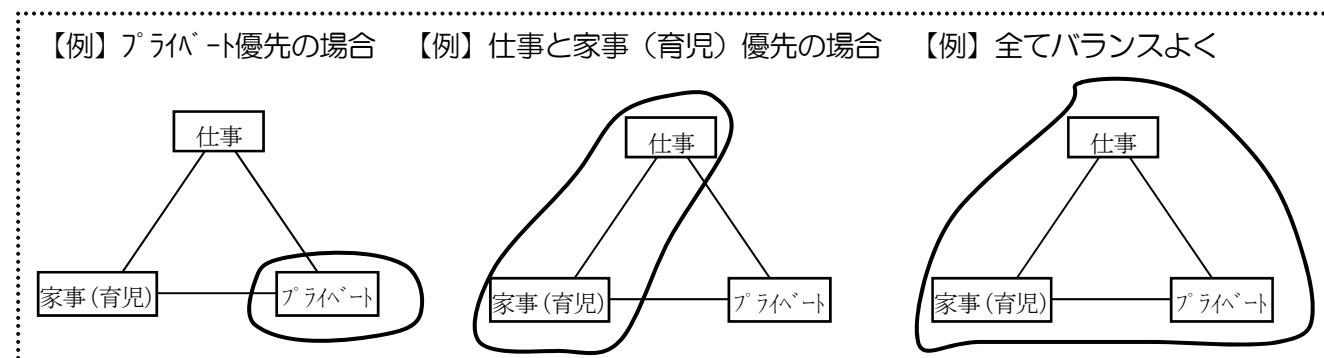


あと少しです。よろしく願います。

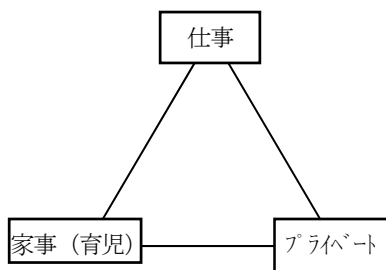
問34 (働いている方に) あなたの1週間の労働時間(残業時間を含む)はどの程度ですか。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンでお答えください。配偶者のある方は配偶者の方についてもお答えください。(○は1つ)

	20時間未満	20～40時間 未満	40～50時間 未満	50～60時間 未満	60時間以上	決まっていない
あなた→	1	2	3	4	5	6
配偶者→	1	2	3	4	5	6

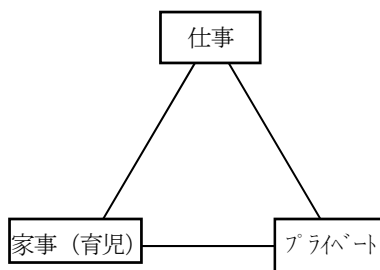
問35 あなたの生活の中で、仕事・家事(育児)・プライベートな時間(趣味など)の優先度はどのようになっていますか。「希望」と「現実」のそれぞれについて、あなたの考えや現状に最も近いものを【例】を参照に囲んでください。



(1) 希望



(2) 現実



問36 あなたは、育児休業制度を利用したいと思いますか。(○は1つ)

※現在働いていない人や出産予定がない人も、子どもがいると想定してお答えください。

1. 利用したい	2. 利用したいが難しい	3. 利用したくない	4. わからない
----------	--------------	------------	----------

→ 副問1へ

副問1 あなたが利用したくない(利用したいが難しい)と思う理由は何でしょうか。あてはまるものを3つ選んでください。(○は3つまで)

※現在働いていない人や出産予定がない人も、子どものことを想定してお答えください。

1. 職場に迷惑がかかるから	2. 利用しづらい職場の雰囲気があるから
3. 仕事を離れると自分の能力が落ちるから	4. 仕事を続けたいから
5. 仕事を離れると昇進・昇格に影響するから	6. 収入が減るから
7. 子どもができたらず退職するつもりだから	8. 子どもを見てくれる人がいるので必要ないから
9. その他(具体的に	)

問37 あなたが職場に求める出産・子育て支援制度や取組は何でしょうか。あてはまるものを3つ選んでください。(○は3つまで)

1. 妊娠・出産のための特別休暇 (不妊治療休暇、妊娠中の休暇など)	2. 復職制度 (育児のため退職した従業員が育児終了後復職する制度)
3. 上司からの育休取得の奨励	4. 社内託児所
5. ベビーシッター、家事支援サービスクーポン	6. 時短勤務からの復帰セミナー
7. 育休復帰のための研修 (上司やパートナーと一緒に受けるものを含む)	8. 社内の妊娠・出産経験がある人との交流の場 (ランチミーティングなど)
9. その他(具体的に)	10. 特にない

問38 あなたが仕事と生活の調和を図るために必要だと思うことは何でしょうか。あてはまるものをすべて選んでください。(○はいくつでも)

1. 育児休業・介護休業等の制度が利用できること	2. 職場が育児や介護に理解があること
3. 残業や休日出勤が少ないこと	4. 有給休暇が取りやすいこと
5. フレックスタイム等多様な働き方ができること	6. 夫婦が協力して家事・育児を行うこと
7. 親との同居や近居を促進するための公的支援	8. その他(具体的に)
9. わからない	

●最後に、本県の少子化対策や子育て支援について、ご意見がありましたら、どのようなことでも構いませんので、ご記入ください。



お疲れ様でした。これで終了です。
ご協力いただきありがとうございます。

大変恐縮ですが、記入もれなどがないかお確かめいただき、同封の返信用封筒(切手不要)にて2月18日(木)までにご投函ください。

「少子化に関する県民意識調査報告書」

(平成28年3月発行)

発行：佐賀県くらし環境本部 こども未来課
〒840-8570 佐賀県佐賀市城内一丁目1番59号
電話 0952-25-7381